

1 年 表

凡 例

1. この年表は、国と県の2つに大別し、県に関してはこれをさらに政治・経済・社会・教育文化の4分野に区分した。各分野の主要内容は次のとおりである。

区 分	主 要 内 容
国内・国際	国内の政治・経済・社会・教育文化の中で重要なもの 県政に関する重要事項・法令 県出身政財界人等の消息（特に重要なもの） 国際的事項・事件で特に重要なもの
県	政治 <ul style="list-style-type: none"> 政党・選挙（市町村段階のもので定例的なものは除く） 県条例・規則・要綱・告示・訓令の中で重要なもの 県行政の重要施策・重要事件 県機構の変遷、県首脳部人事、警察、消防（制度的なもの）、県議会（会期・会派・役員人事・主要な動き・主要案件）、行政区域（町村合併等）、一部事務組合等、公共団体、県人口、国の出先機関
内	経済 <ul style="list-style-type: none"> 農業、林業、水産業、商業、工業、鉱業、食糧供出、金融、交通、鉄道、運輸、通信、貿易、観光、雇用・団体（農協・漁協・商工会・商工会議所等）、開発事業、建設事業、企業誘致、公害対策、水資源問題
社	社会 <ul style="list-style-type: none"> 衛生、医療、福祉、引揚、社会保険、労働運動、政治活動、住民運動、公害問題、災害、青少年問題、県民生活、物価問題、事件、風俗、トピックス、娯楽
教文	学校教育、社会教育、体育・スポーツ
育化	文化、文化財、民俗芸能、歴史、報道関係

2. 本年表では敬語、敬称は省略した。
3. 「佐賀県」という文字は、固有名詞以外は用いず、単に「県」という文字を用いた。
4. 月日の不明確な事項、あるいは月日でとらえることのできない事項については、それぞれ当該年月の末尾に○を付して、まとめて記載した。

昭和20年（1945年）

	国内・国際	県治
		政
8 月	<p>15 天皇「終戦の詔勅」放送 鈴木内閣総辞職 17 東久邇宮内閣成立</p> <p>21 国民義勇隊解散決定</p> <p>22 ラジオ天気予報復活</p> <p>30 マッカーサー元帥、厚木飛行場に到着</p>	<p>15 宮崎知事、緊急部課長会議で、終戦に際し官吏としての誇りを堅持し、執務態勢を崩さぬよう指示</p> <p>17 佐賀地方司令官、県民に告諭（進駐軍の来駐に万全を期し軽率な行動を止め大和民族の誇りを持つよう）</p> <p>31 地方防衛本部県本部解散</p> <p>○ 県、長崎被爆地に救護班3班を派遣 ○ 宮崎知事、野田九州総監府総監に辞表提出</p>
9 月	<p>1 国民学校再開</p> <p>2 ミズリー艦上で降伏文書に調印 3 九州進駐部隊鹿児島県鹿屋に上陸</p> <p>11 G・H・Q、東条英機以下38人の戦争犯罪容疑者逮捕を命令 13 大本営廃止</p> <p>15 文部省、新日本建設の教育方針を公表（国体護持・平和国家建設・科学的思考力の養成を強調）</p> <p>18 閣議、青果物・鮮魚類の統制撤廃決定</p> <p>20 文部省、教科書の部分削除を指示</p> <p>24 G・H・Q 賃金物価の統制維持を指令</p> <p>28 天皇陛下、マ元帥と会見</p>	<p>1 機構改革、警防課・戦時施設課廃止、警備課設置 軍需商工課、商工課と名称変更</p> <p>4 神崎国民勤労員署、出張所となる</p> <p>6 国民義勇隊県本部解散</p> <p>10 引揚邦人連絡所設置 県参事会</p> <p>11 県営白石用水事業工事再開</p> <p>22 占領軍、佐世保進駐</p> <p>○ 戦後食糧対策要綱決定 ○ 県復員者身上相談所を厚生課内に設置</p>
10 月		<p>1 機構改革 社事兵事課廃止、教育課を教学課に、振興課を地方課に改め、保安課を新設 国民勤労員課、勤労課と改称 地方事務所機構改革</p>

内 会		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>17 学徒動員解除</p> <p>31 産業報国道場閉鎖</p>	<p>17 家屋確保のため住居統制強化さる</p> <p>19 燈火管制中止 20 通信検閲の中止</p> <p>25 県庁警防隊解散</p> <p>○ 赤痢・疫病の流行 ○ 米軍上陸の流言により婦女子の避難騒ぎ県下に発生 ○ 流言により家畜密殺、物資隠匿横行</p>	 <p>21 男子中学校授業開始（国民学校9月1日から開始） 22 映画・演劇再開</p>
<p>○ 軍需工場生産停止で電力に余裕（街路燈復活） ○ 軍需工場転換要綱決定 ○ 9月末の失業者約2万4,300人に達す</p>	<p>1 外食券制度実施により客減少し、県下一流旅館の廃業相次ぐサイレン復活</p> <p>17 枕崎台風、橋・電燈電話等に大被害（官人橋流失・死亡58人・不明43人）</p> <p>22 有明干拓堤防決壊</p> <p>27 唐津への引揚邦人1万人を突破</p>	<p>1 唐津図書館再開</p> <p>6 復員・軍学校関係者の大学・高専・中学等への転入学・復学の要領発表</p> <p>○ 各学校で動員学徒葬 ○ 食糧不足で下宿を追われる学徒続出</p>
<p>1 米軍工作隊、県下の国道補修工事に参加</p>		<p>1 佐賀高等学校転入学志願者受付始まる</p>

昭和20年（1945年）

	国内・国際	県治
		政
10 月	<p>4 G・H・Q、治安維持法廃止、政治犯釈放指令</p> <p>5 東久邇宮内閣総辞職 戦時教育令廃止</p> <p>9 幣原喜重郎内閣成立</p> <p>11 G・H・Q、日本民主化のため5大改革（ 婦人解放・労働者団結権・教育の自由主義 化・専制政治からの解放・経済民主化）を 指令</p> <p>13 特高警察関係機関廃止</p> <p>22 G・H・Q、教育民主化指令</p> <p>29 宝くじ第1回売出し</p> <p>31 G・H・Q、軍国主義教員の即時追放指令</p>	<p>1 特設警備隊廃止</p> <p>6 米軍佐賀進駐部隊、佐賀市外高木瀬村兵舎等に進駐</p> <p>9 各国民勤労働員署を勤労署と改称</p> <p>10 佐賀軍政部設置（軍政官ウォーカー少佐） 県、外務課を設置</p> <p>11 進駐軍との事務処理円滑化のため、県連絡委員会設置</p> <p>13 食糧増産学徒動員督励要領決定</p> <p>14 特別高等警察課廃止</p> <p>27 宮崎謙太知事退官 沖森源一知事発令</p>
11 月	<p>2 日本社会党結党</p> <p>3 労働組合総同盟結成</p> <p>9 日本自由党結成（総裁鳩山一郎）</p> <p>16 日本進歩党結成</p> <p>22 第1次農地改革案・選挙法改正案閣議決定</p> <p>30 陸・海軍省廃止</p>	<p>1 国勢調査（県人口83万431人）</p> <p>3 東松浦郡町村長、敗戦の責任をとるとして総退陣を決定</p> <p>12 婦農対策要綱決まる</p> <p>20 県食糧供出委員設置</p> <p>25 進駐軍司令官に、クラーク中佐着任</p> <p>26 戦後初の通常県議会（11/26～12/17）</p>
12 月	<p>1 全日本教員組合結成</p> <p>8 日本文芸家協会発足</p> <p>9 G・H・Q、農地改革を指令</p> <p>15 G・H・Q、國家と神道の分離を指令</p>	<p>1 佐賀地方世話部設置 警察部経済保安課を防犯課と改称</p> <p>15 社会党県連合会結成</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>4 進駐軍工作隊、県下の国道補修に関し、県との間に協力協定調印</p> <p>13 県下甘薯供出割当決定</p> <p>○ 石炭出炭激減</p>	<p>10 阿久根台風、死亡1人・家屋全壊29戸・浸水家屋284戸 目達原飛行場を米軍接收</p> <p>25 進駐軍による夜間外出禁止令出る</p> <p>28 1万石目標どんぐり採取割当</p> <p>○ 闇の横行・取締り目立つ</p>	<p>5 外地引揚げ学徒の学校編入臨時措置</p> <p>15 長崎医科大学附属薬学専門学校、佐賀市日東航機工場青年学校に疎開</p> <p>25 県立佐賀農芸学校同盟休校</p> <p>29 佐高25年記念式典</p>
<p>15 県産業報国会解散</p> <p>20 魚介類の統制撤廃により、唐津水産業会と鮮魚配給会社との間に紛争生ず</p> <p>25 産米供出割当決定 (割当米59万石)</p> <p>○ 魚貝類の価格暴騰</p>	<p>1 唐津市国民健康保険組合認可(全市町村に国保普及)</p> <p>18 杵島炭鉱労働組合結成</p> <p>22 餓死寸前の長崎に救援米2万石移送</p>	<p>1 同人誌「不知火」(佐賀)創刊</p> <p>6 学校教育から武道廃止</p> <p>20 国民学校教科書から軍国主義的内容削除修正</p> <p>○ 欠食児童激増 ○ 外地からの引揚げにより中学生2千人・小学生1万人増加(県下で348学級増加)</p>
<p>1 炭鉱労務者確保のため賃上げと食糧5合配給実施</p> <p>12 佐賀経済研究会発足</p>	<p>2 杵島炭鉱戦時利得金と賃上げをめぐるストライキ</p> <p>7 夜間通行禁止解除</p> <p>15 石炭不足のため長崎本線・佐賀線・唐津線列車削減</p>	<p>2 九州青年弁論大会開催</p>

昭和20年（1945年）・昭和21年（1946年）

	国内・国際	県
		政 治
12月	<p>17 衆議院議員選挙法改正公布（婦人の参政権なる）</p> <p>18 衆議院解散</p> <p>22 労働組合法公布</p> <p>27 憲法研究会「憲法草案要綱」を発表</p> <p>31 G・H・Q、修身・国史・地理の授業停止命令</p> <p>○ この年、米供出実績23%</p>	<p>23 沖森知事、供米割当補正陳情のため上京（産米供出割当59万石のうち9万石を市町村共同保管とする）</p> <p>24 機構改革、警察部所属の労政・保険・勤労の3課を内政部に所管換、労政課を勤労課に統合</p> <p>26 佐賀軍政部、暴利取締の即時実行と暴利商人厳罰を指令</p> <p>○ 北山ダム建設方針決定</p>
1月	<p>1 天皇、人間宣言</p> <p>4 G・H・Q、軍国主義者の公職追放指令</p> <p>10 國家神道、神社神道に関する連合軍通牒</p> <p>12 大蔵省、新物価体系要綱決定</p> <p>17 日本労働組合総同盟結成大会</p> <p>30 「衆議院議員の議員候補者たるべき者の資格確認に関する件」公布施行</p>	<p>5 緊急開拓事業推進部設置</p> <p>9 佐賀占領軍司令部、県議会議事堂内に移転</p> <p>14 佐賀占領軍軍政官ウォーカー少佐帰国</p> <p>15 警察部輸送課廃止</p> <p>22 県行政資料調査委員設置</p> <p>24 県の行政整理決定（現員の3割減員）</p> <p>25 米代替食糧品検査要綱制定</p> <p>30 第1復員省、佐賀上陸地支局設置</p>
2月	<p>1 第1次農地改革実施</p> <p>5 食糧制度審議会設置</p> <p>9 日本農民組合結成大会</p>	<p>1 県、内政部を内務部に改め、土木課を経済部から内務部に移管唐津木船工補導所設置</p> <p>4 衆議院議員立候補資格審査説明会</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>○ この年、米、明治33年以來の大凶作、収量74万石</p> <p>○ 耕地の荒廃4千町歩に達す</p>	<p>20 西杵炭鉱労働組合結成</p> <p>26 労働組合県支部発会式</p> <p>○ 県市町村の塩田工事目立つ</p> <p>○ 石炭不足のためバスに、「木炭」か「まき」を使用</p>	<p>27 第1回レコード鑑賞会</p> <p>○ 石炭不足のため通学列車停止、各学校とも授業の方策に苦慮</p>
<p>8 九州鉱山局、佐賀分駐所設置</p> <p>11 供米10万石に達する</p> <p>22 供米督励に知事行脚</p> <p>25 鮮魚の標準価格決定</p> <p>31 佐賀市公設市場開設</p>	<p>4 佐賀市営ガス、石炭不足のため夜間供給停止</p> <p>13 消費組合設立懇談会開催</p> <p>15 伊万里の立川炭鉱でガス爆発（11人死亡）</p> <p>20 佐賀婦人平和クラブ設立</p> <p>21 唐津港湾労働組合結成</p>	<p>5 神祇会県支部、佐賀神祇庁に改名</p> <p>10 県主催巡回時局講演会始まる</p> <p>14 佐賀文化振興会発会（古賀元帥記念事業団を改組、資金百万円で育英事業を推進）</p> <p>16 県下104町村に母親学級設置</p> <p>27 県青年弁論大会開催</p>
<p>4 供米15万石をオーバー</p> <p>8 県商工経済会、工場診断を始める</p> <p>9 県下集団開拓隊員373人金立・三間坂の訓練修了</p>	<p>3 県鉱山労働組合連合会結成</p> <p>5 日本農民組合佐賀県連結成</p> <p>7 社会保険佐賀病院設立</p>	<p>1 同人誌「筑紫」（久保田）創刊</p>

昭和21年（1946年）

	国内・国際	政	県治
2月	<p>13 G・H・Q、日本政府に憲法草案を送付</p> <p>17 金融緊急措置令公布（新円発行） 食糧緊急措置令公布 隠匿物資等緊急措置令公布</p> <p>18 G・H・Q、中等学校教科書は自由選択と発表</p> <p>25 新円の交換開始</p>	<p>18 県地方労働委員会第1回総会</p> <p>21 唐津地方引揚援護局設置</p> <p>26 県緊急開拓委員会設置</p> <p>27 社会党県支部連合会結成</p>	
3月	<p>1 第1回日展開催 労働組合法施行</p> <p>3 物価統制令公布施行、旧円停止 臨時財産調査令施行</p> <p>6 政府憲法改正草案要綱発表</p> <p>11 第22回衆議院議員選挙公示</p> <p>17 全官公庁職員労組連絡協議会結成</p>	<p>1 地方労働委員会事務局設置</p> <p>8 衆議院議員立候補資格審査発表</p> <p>9 佐賀日雇労働署設置</p> <p>11 衆議院議員選挙立候補受付開始 佐賀建築工補導所新設</p> <p>12 第2警察練習所特設 警察部に教養監察課設置、警備課を公安課と改称</p> <p>30 民主党県支部結成</p> <p>31 共産党県地方委員会結成</p> <p>○ 自由党県支部結成</p>	
4月	<p>1 国家総動員法、戦時緊急措置法廃止 預金封鎖強化</p> <p>5 第1回対日理事会</p> <p>10 全日本炭鉱労働組合連合会結成</p> <p>17 政府、憲法改正草案発表</p>	<p>1 県学校教育委員会設置 日雇労働処理委員会設置</p> <p>10 衆議院議員選挙・立候補者数37人、投票率78.8%、当選者大島多蔵(無)・江藤夏雄(自由)・田中善内(自由)・中村又一(進歩)・保利茂(進歩) (自由党2、進歩党2、無所属1)</p> <p>19 供米納入期限を4月30日と告示</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>18 日本銀行佐賀駐在員事務所開設 県内金融機関、金融緊急措置令につ き協議</p> <p>○ 預金閉鎖、新円切替により金融機 関の窓口に行列できる</p>	<p>14 塩不足のため海水販売（佐賀市）</p> <p>17 労働組合総同盟県連合会結成大会</p> <p>○ 県下、天然痘流行</p>	<p>10 鹿島町民主主義文化研究会発会 県婦人連盟結成</p> <p>17 松浦文化会発会式</p> <p>26 神埼農学校女子部同盟休校</p>
<p>1 県独自の生鮮食糧品販売統制実施</p> <p>3 米価生産者価格300円、消費者価格 250円となる</p> <p>11 供米不振のため知事激励行脚</p> <p>12 県地方木材会社解散決定</p> <p>24 市町村農会長改選</p> <p>25 供米30万石を突破（目標の半分）</p> <p>30 東松浦地方事務所、11町村に塩田 設置決定</p> <p>○ 炭鉱スト続発により出炭不振</p>	<p>3 県民の500円生活始まる</p> <p>13 二つの県鉱山労働組合連合会合併</p> <p>15 農民組合次々と誕生</p> <p>25 県戦災者団体連盟結成</p> <p>○ 発疹チフス流行</p>	<p>3 佐賀文芸談話会第1回例会開催</p> <p>5 県教学錬成会等、戦時中の教育団体 廃止</p> <p>7 婦人政治推進講演会開催</p> <p>10 佐賀合唱団設立 佐賀文化研究会発会式</p> <p>30 国家神道の廃止により各学校の奉安 殿取壊し始める</p>
<p>5 県農村協同組合協会結成</p> <p>11 佐賀市内のデパート再開</p>	<p>1 県下28の労働組合、労働委員会の審 査をパス</p>	<p>1 佐賀高等実業女学校、旭高等女学校 に改組 中等学校教諭、地方教官に名称がえ</p> <p>7 米日交歓写真コンクール</p> <p>9 福岡・長崎・佐賀公民教育講習会</p>

昭和21年（1946年）

	国内・国際	政	県治
4 月	<p>22 幣原内閣総辞職 沖縄民政府誕生</p> <p>30 経済同友会発足</p>	<p>26 人口調査（85万6,228人）</p> <p>29 佐賀軍政部司令官、クラーク中佐辞任</p>	
5 月	<p>1 第17回メーデー12年ぶり復活</p> <p>3 極東国際軍事裁判開廷</p> <p>4 G・H・Q、鳩山自由党総裁を追放</p> <p>7 教職員の追放令公布施行</p> <p>9 瀟州引揚第1船佐世保入港</p> <p>12 東京で「米よこせデモ」行わる</p> <p>22 第1次吉田内閣成立</p> <p>24 天皇、食糧危機突破について放送</p> <p>25 協同民主党結成</p> <p>29 文部省「新教育方針」配布</p>	<p>1 供米に初の強権発動 県工芸指導所設置 県立治療院武雄分院設置</p> <p>13 官公庁文書平易化始まる</p> <p>15 臨時県議会（5/15） 副議長古賀健達選任</p> <p>16 県農民組合協議会初の農民大会</p> <p>19 県開拓増産建設隊員140人募集</p> <p>31 三養基郡田代町、県内で初めて町長公選実施 知事、米供出不成績の町村への配給停止を表明</p>	
6 月	<p>2 美術団体連盟結成</p> <p>8 枢密院、憲法改正草案を可決</p> <p>15 日本文学協会創立総会</p>	<p>6 県手持食糧を発表し、供米促進と混食利用を要請（拳食いのぼし運動）</p> <p>10 県、食糧難打開のため3,000町歩の開墾計画を決定</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>22 消費者代表の供米感謝・依頼行脚</p> <p>30 供米実績39万2,517石(78%)</p>	<p>20 有田警察合同労組決定</p> <p>21 県庁内に労働組合誕生</p> <p>24 海上警備艇「桜号」進水式(唐津警察署)</p> <p>25 県農青連第1回大会</p> <p>27 公娼の前借証書を警察官立会の上焼く</p>	<p>○ 食糧不足解決のため学校農園流行</p> <p>○ 生活難のため教員の退職者続出</p> <p>○ 歌集「序曲」発刊</p>
<p>10 長崎本線(鳥栖以西)・唐津線・佐賀線切符の自由販売始む</p>	<p>1 保健施設強調月間始まる 戦後初の復活メーデー、佐賀・鳥栖で盛況</p> <p>4 沖繩県人250人佐賀到着</p> <p>7 県農民組合協議会発足</p> <p>20 県下中等学校教職員組合結成</p> <p>28 食肉の自由販売始まる</p> <p>○ 佐賀県農村青年連盟結成</p>	<p>16 新女性講演会</p> <p>19 青年弁論大会</p> <p>27 佐賀美術協会主催佐賀美術展</p> <p>29 佐賀高等学校校長に島地威雄発令</p> <p>○ 欠食児童依然として増加</p>
<p>1 国鉄電信号所、肥前麗駅に昇格</p> <p>3 供米不振市町村に対する配給停止声明に関係町村抗議</p> <p>17 県農会、和牛登録検査開始</p> <p>20 佐賀市に工芸指導所開所</p>	<p>1 警察官、サーベルをはずし、警棒と拳銃にかえる</p> <p>7 県民主化連盟結成準備会</p> <p>11 馬渡島でコレラ発生(後、佐賀市等にもまん延、県下患者80余名、死亡34名に達す)</p>	<p>1 食糧不足のため県下学校授業の短縮を始める</p> <p>9 佐高対福高の野球戦復活</p> <p>15 青年芸能コンクール</p>

昭和21年（1946年）

	国内・国際	県治
		政
6月	29 「公職適否審査委員会官制」公布施行	21 県、食糧危機突破対策要綱発表 25 県行政懇談会設置 29 県臨時防疫対策委員会設置
7月	1 通信省設置 6 政府、公民館の設立要綱発表 20 国民学校などでの(8月1日から)旧教科書使用禁止を通達 21 日本教育者組合全国大会	5 県食糧危機突破対策本部設置 8 第1回県行政懇談会開催 沖森源一知事退官 戸沢盛男知事発令 12 県食糧委員会設置 県食糧調整委員会設置 15 厚生省唐津地方引揚援護局閉鎖 21 5代議士、引揚同胞救援連盟結成 27 県物価監視委員100人設置を決定 31 県参事会
8月	1 日本労働組合総同盟第1回大会 10 文部省教育刷新委員会設置 12 経済安定本部および物価庁発足 16 経済団体連合会発足（経団連） 19 全日本産業別労働組合同議結成大会 24 新憲法案衆議院通過	1 県水産物配給管理委員会設置 県水産物統制規則制定 6 県肥料協議会設置 20 教職員適格審査委員会第1回審査会を開き、8人の失格者を決定 23 県水産物統制協議会設置 27 県立治療院再開

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 米不足深刻化に伴い、いもの増産を計る ○ 県、雑草の食べ方について指導 	<p>28 県、引揚者更生会を設け、引揚者の援護団体を統一する</p>	<p>21 児童連合音楽会復活</p>
<p>5 米重、道路修築用にトラック、ブルドーザー等土木機械25台無償交付</p> <p>6 有田町陶芸指導所開所式</p> <p>7 武内村で農民協同学校開校</p> <p>10 新麦、県割当 9万284石と決定</p> <p>26 有田陶器市再開</p>	<p>1 重労働者の食糧、3合3勺に減配</p> <p>2 佐賀市神野公園にコレラ患者共同収容所を設ける（収容者82人）</p> <p>14 県中等学校教職員組合結成大会 県下失業者 1万5,000人と発表さる</p> <p>15 県内の海外復員者 2万9,122人、国内及び海外引揚者 6万305人 コレラ絶滅県民運動始まる</p> <p>○ 不法入国の朝鮮人急増し、唐津署の留置場超満員</p>	<p>5 県海洋協会設立</p> <p>24 県籠球協会発会式</p> <p>25 教員の再教育講習会始まる</p> <p>26 学生同盟佐賀支部発会</p> <p>29 県体育協会設立</p>
<p>5 知事、供麦督励行脚（～8/12）</p> <p>21 県、不在地主の保有米全量供出決定</p> <p>26 日本航機鳥栖、戸上電機賠償管理工場指定</p> <p>28 開拓自興会県支部結成</p>	<p>1 主食 1割減配実施さる</p> <p>3 県内の青年団代表、食糧危機突破青年決起運動を申し合わせる</p> <p>6 県引揚者戦災者更生会結成</p> <p>10 職業指導会県支部開設</p> <p>12 満州佐賀村開拓団帰る</p> <p>19 藤津郡多良村本町大火（59戸全焼）</p> <p>25 新日本建設佐賀県青年大会</p> <p>26 佐賀労働組合連合会結成</p>	<p>11 第1回県軟式野球大会始まる</p> <p>15 海洋展始まる</p> <p>19 佐高女で女性文化講座開催</p> <p>25 「不知火創作選」発行</p>

昭和21年（1946年）

	国内・国際	県治
		政
8 月		
9 月	<p>5 第1回芸術祭始まる</p> <p>9 生活保護法公布</p> <p>11 国語審議会設置</p> <p>20 海員組合争議</p> <p>26 G・H・Q、ソ連領の邦人送還発表</p> <p>27 労働関係調整法公布</p> <p>○ 終戦以来8月末日迄の引揚者440万人と発表</p>	<p>1 有明干拓国営移管 県連絡委員会、集会等取締令を改正し、政治的集会は100人以下でも届出るよう規制</p> <p>28 臨時県議会（9/28～9/30） 小城郡芦刈村で供麦に初の強権発動</p>
10 月	<p>1 地代家賃統制令全面改正施行 臨時物資需給調整法公布</p> <p>8 国管による放送の一部開始 文部省教育勅語奉読廃止通達</p> <p>9 文部省男女共学実施を指示</p> <p>11 第2次農地改革諸法令成立（21日公布）</p> <p>14 G・H・Q、国史授業の再開を許可</p> <p>18 全国教員組合大会</p> <p>19 戦時補償特別措置法公布</p> <p>20 日本商工会議所設立</p> <p>22 21年度産米価格を改定</p>	<p>1 県民税賦課徴収条例制定 方面委員を民生委員に改称 地方公職適否審査委員会発足</p> <p>10 地方自治について知事訓令</p> <p>11 県立治療院唐津分院設置</p> <p>16 県議10人、町村長88人追放内定</p> <p>18 戸沢知事病氣のため、武下内務部長を知事代理に任命</p> <p>22 民生委員の定数を定める</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
	30 県遊族連合会結成	31 全九州籠排球大会佐賀市で開催 ○ 引揚者の増加に伴い、佐賀市の国民学校すし詰め学級となる
2 県商工奨励館再開 4 県観光協会創立総会 5 甘藷早期供出401万1,000貫と決定 15 佐賀市戦災者共済の松原マーケット開店 19 21年度産米割当決定（収穫予想121万2,000石、供出割当74万4,400石） 23 県酪農協会創立総会 26 県、知識階級失業対策の一環として公衆衛生監視員と防疫要員募集 27 県下の統制組合188、施設組合112が一般商工業組合に改組 ○ 県農業会自給体制確立のため澱粉、飼料、石灰工場建設を急ぐ	1 県民主化連盟結成 5 協和館を戦災引揚者に開放決定 26 佐賀保健所、結核予防実践運動の一環として街頭診察を行う 28 電力不足で週2回の電休日を設定 ○ 唐津引揚援護局跡の引揚体養所住宅、引揚者住宅転用決定 ○ 引揚者15日現在で11万人に達す ○ 太陽開発合資会社、大浦干拓着工	1 国民学校の地理授業再開 音楽教育、イロハ唱読からドレミファ唱読に変わる 5 県相撲連盟生まる 8 第1回国体県予選始まる 13 佐賀市にオーケストラ楽団誕生 22 有田美術研究所開所
4 県商工経済会解散 7 県農会に農村科学研究所設置決定 12 全国農機具共進会開催 21 本県供出米74万1,423石に割当決定	1 米なし配給はじまる 2 東川副村で配給麦粉中毒患者100人に達す 10 唐津市戦災引揚者連盟、元唐津引揚援護局引揚者収容所に押しかけ100世帯300人が共同生活を始める 17 佐賀競馬再開	1 県歌人協会誕生 6 佐高食糧休暇（10/6～11/5） 県下中等学校陸上競技対抗試合 10 県連合青年団結成 12 郡市青年団対抗相撲大会 17 佐賀セレネーダースの第1回公演

昭和21年（1946年）

	国内・国際	政	県治
10 月	<p>生産者米価 消費者米価 新 550円 450円 旧 300円 350円 24 全日本労働組合統一協議会結成</p>		
11 月	<p>1 第1回国民体育大会（京都府） 3 日本国憲法公布 4 地方通貨安定推進委員会設置 5 当用漢字閣議決定 8 政府「地方公職に対する追放賞書の適用に関する件」公表 12 特飲街赤線区域指定 17 電力大幅制限 20 日本商工会議所設立 22 農地調整法改正 25 第91臨時議会召集（12/25～12/26）</p>	<p>1 県失業対策実施本部設置 3 新憲法を祝して県下各地で記念式典表彰等行われる（県地方自治功労者・永年勤続者・県政功労者表彰、学校記念式典、植樹、体育祭） 8 臨時県議会（11/8） 11 九州地方行政協議会新発足 12 県進駐軍接收土地・建物・その他評価委員会設置 15 県人口、90万4,691人 進歩党県本部設置 18 機構改革 教育民生部設置（学務・社会教育・厚生・衛生・勤労・労政・保険の7課） 農地部設置（農地、開拓事業、開拓計画の3課） 製塩課廃止 20 県通貨安定推進委員会結成 28 定例県議会（11/28～12/14） 29 県下74町村長辞表提出</p>	
12 月			<p>6 県地方社会事業委員会設置 9 戸沢知事、越冬同胞援護についてラジオを通じて県民に協力を呼びかける</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 電産スト、石炭不足による送電の停止・制限で工場の操業中止おこる ○ 供麦の強権発動盛んに行われる ○ 北山ダム建設反対運動起こる 	<p>31 県立仁比山診療所閉鎖</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 街に米を贈る農民運動行われる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書を持たない佐賀市内の国民学校児童が半数となる ○ 県下公民館設置運動盛ん
<p>2 唐津商工会議所創立総会</p> <p>10 杵島郡武内村2年連続供米完遂日本一(和田農相、現地感謝慰問)</p> <p>13 農林省、八平搦国営事業所設置</p> <p>15 県開拓協会発足</p> <p>16 県下の新円1億6千万円と発表</p> <p>18 佐賀商工会議所創立総会</p> <p>22 県営筑後川改修工事起工式 嬉野町の製茶指導部県管移管決定</p> <p>25 杵島郡福富村地先国営八平搦干拓起工式 佐世保線長尾信号所、長尾駅に昇格決定</p> <p>28 伊万里商工会議所創立総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 牛馬税新設に農業団体反対運動をおこす 	<p>15 主食2合1勺に復活</p> <p>24 本県の電力供給6,600kWに落ち込む</p> <p>25 県からの引揚開拓民、北海道へ出発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県下停電続きでローソク品不足 ○ 小城の桜岡公園食糧増産の1坪農園のため桜枯死寸前 	<p>3 佐賀市連合青年団体育大会 九州高等学校対抗陸上競技大会</p> <p>10 佐賀新聞「ミス佐賀」募集</p> <p>21 佐高記念祭復活</p> <p>24 九州茶道大会</p> <p>30 郷土作家「油絵展」開催</p>
<p>1 佐賀中央銀行、本店を唐津市から佐賀市に移転 県鉱山労働組合連合会産業危機突破増産運動起こす</p> <p>2 県木工補習所開所式</p> <p>9 県農業会会長ら幹部12人辞職</p>	<p>1 米の配給1日2合9勺の復配始まる</p> <p>5 県物価監視委員会連合会結成</p> <p>10 鳥栖労農協議会結成</p>	<p>1 佐賀絵画研究所開校</p> <p>8 佐高主催、福岡・佐賀・長崎3県男女中等学校弁論大会</p>

昭和21年（1946年）・昭和22年（1947年）

	国内・国際	政	県治
12月	<p>17 生活権確保・吉田内閣打倒国民大会 18 日本石炭鉱業連盟発足</p> <p>27 第92国会召集 29 自作農創設特別措置法施行 30 文部省6・3・3・4の教育制度を発表</p> <p>○ この年、6大学野球・全国中等学校優勝野球大会・プロ野球復活 ○ 発疹チフス大流行（患者3万2,000人、死亡3,000人）</p>	<p>11 佐賀軍政部、県下教育改善案を提示</p> <p>16 県農業会、農地改革強調週間を設け啓蒙活動を行う</p> <p>20 行進・示威運動・集会の軍政府への届出実施 第2次教職員適格審査委員会発足</p> <p>22 第1回市町村農地委員総選挙</p> <p>27 県機構改革 土木部新設（監理・道路・河港・建築の4課）</p>	
1月	<p>4 公職追放令改正（財界、言論界、地方公職に拡大） 石炭不足で国鉄非常ダイヤ開始</p> <p>11 全官公共関係委員会ゼネスト体制確立大会</p> <p>16 内閣法公布 皇室典範・皇室経済法公布</p> <p>17 G・H・Q、町内会・部落会等の廃止を指示</p> <p>20 学校給食始まる ローマ字教育の採用を決定</p> <p>24 石炭等17品目の割当切符制実施 25 復興金融金庫設置</p> <p>31 G・H・Q、2・1ゼネスト中止命令</p>	<p>1 西松浦郡有田村、東有田町として発足 地方事務所機構改革</p> <p>7 県監査委員設置</p> <p>17 警察官公務死傷特別救慰金給与審査委員会設置</p> <p>21 県議13人辞表提出</p> <p>25 初の婦人警察官試験実施</p>	
2月	<p>6 経済復興会議結成大会 7 マッカーサー、吉田首相に書簡をおくり総選挙を指示</p>		<p>1 占領軍住宅管理委員会設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>12 国鉄、鉄道用石炭確保のため臨時石炭列車を岩屋～西唐津間に走らす</p> <p>31 供米35万1,144石(目標の47%)に達する</p> <p>○ 食糧事情の好転により炭鉱労務者の下山相次ぐ</p>	<p>15 満蒙同胞援護会県支部、八幡神社前に引揚者マーケットを開く</p> <p>22 地方競馬法による初の競馬開催</p> <p>25 左側通行に逆戻り</p> <p>27 国鉄利用通学生の学生定期使用を禁止(12/29～1/31)</p> <p>○ 小作人への開放田畑4,300町歩に達す</p> <p>○ 越冬同胞援護運動始まる</p>	<p>12 県出版社協会発足</p> <p>20 教員に越年資金本俸の20割支給</p> <p>○ 同人誌創刊、「九州文壇」(厳木)「海原」(小城)</p>
<p>12 呼子町で港湾調査協議会開催 西松浦郡東山代村干拓着工(約120町歩) 藤津郡七浦村干拓起工式(90町歩)</p> <p>14 九州高等酪農塾開校決定</p> <p>21 県、ワラ工品緊急増産運動実施</p>	<p>1 佐賀～祐徳間の直通バス開通</p> <p>10 学生定期使用一部復活</p> <p>14 国民学校教職員組合連合会「団体協約の締結」を知事に要求</p> <p>15 県労働協議会結成</p>	<p>1 県社会教育委員18人委嘱</p> <p>4 唐津新興美術協会第1回洋画展を開く</p> <p>7 佐賀・長崎・熊本・福岡4県対抗相撲大会</p> <p>10 同人誌「誕生」(佐賀)創刊</p> <p>15 九州各県学務関係者、不用教科書・古紙の回収を徹底的に行い、教科書の材料に用いることを申し合わせる</p> <p>22 第1回社会教育委員会開催</p> <p>25 全九州公式バスケットボール大会開催</p> <p>27 民主主義教育講習会開催</p> <p>○ 佐賀軍政部民間教育情報班「市民と教育」を公表</p>
<p>1 自給肥料増産のため泥土あげ運動始まる</p> <p>7 西松浦郡の木場開拓地、全国優良開拓地と指定</p>		<p>1 現在までの教員の公職追放33人に達す 佐賀市で学校給食開始</p>

昭和22年（1947年）

	国内・国際	県治
		政
2月	<p>15 政府、中小企業復興対策要綱発表 高等学校の男女共学決定</p> <p>17 選挙日程を閣議決定 4/5 知事・市町村長 4/15 上記の決戦投票 4/20 参議院議員 4/25 衆議院議員 4/30 県市町村会議員</p> <p>18 日農刷新同盟結成</p> <p>24 参議院議員選挙法公布施行</p>	<p>10 婦人警察官27人、第1警察練習所に入所</p> <p>14 県警察部、愛される民衆警察をめざし、警察整備改善委員会を庁内に設ける</p> <p>15 東松浦郡内の進歩自由両党員、松浦民主党結成を決定</p> <p>18 知事、佐賀郡を供米奨励</p> <p>20 憲法普及会県支部結成</p> <p>25 第1回県農地委員選挙（小作10・地主6・自作4、計20人、立候補38人、投票率96.9%、定員20人） 県公職適否審査委員会設置</p>
3月	<p>8 国民協同党結成</p> <p>10 全国労組連絡協議会結成</p> <p>11 G・H・Q、供米に強権発動を指令</p> <p>20 文部省、学習指導要領発表（一般編試案） 第1回参議院議員選挙公示</p> <p>22 統制撤廃国民連盟結成大会</p> <p>25 日本進歩党解党</p> <p>28 日本民主党結成</p> <p>31 衆議院解散（帝國議会終幕） 衆議院議員選挙法改正公布 第33回衆議院議員選挙公示 第1回農地買い上げ 教育基本法・学校教育法公布</p>	<p>1 県内配給人口調査（人口93万565人）</p> <p>7 県立春日山公民倶楽部設置 佐賀地方事務所に生活相談所設置</p> <p>11 戸沢盛男知事退官 金山国治知事発令 県新学制実施準備協議会結成 自由党県支部結成</p> <p>15 第1回知事選挙告示</p> <p>23 国民協同党県支部結成</p> <p>25 松浦民主党結成</p> <p>26 町村長選挙告示</p> <p>31 県農地委員会、県下農地買上げ第1回2,232町歩を実施 町内会・部落会・隣組の廃止</p>
4月	<p>1 6・3・3・4制発足 国民学校は小学校となり新制中学校発足</p>	<p>1 県茶業試験場設置 県治療院設置（佐賀・唐津）</p> <p>5 第1回知事選挙、立候補者7人（無所属6・社会党1、投票率</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 石炭の開流し防止のため、各炭鉱に監査委員を置く</p> <p>18 県内工業の再編成・中小企業建直しのため県、操業の実態調査と指導に乗り出す</p> <p>20 石炭増産推進委員会（3月危機対策）発会</p> <p>22 県果実協同組合創立総会</p> <p>28 県林業会誕生（県森連と業種別林産組合）</p> <p>○ 目達原陸軍飛行場跡、開拓地に開放(420町歩)</p>	<p>8 一般市民と占領軍との時局討論会開催</p> <p>10 県教員組合協議会発足</p> <p>15 「佐賀県復興くじ」発売（盲啞学校ほか3校の復興資金調達と県下浮動購買力の吸収措置）・（1枚10円、1等1万円・2等千円・3等百円・4等10円、景品リヤカー1台・サッカー・D D T・齒磨き粉）</p> <p>終戦からの武器回収（日本刀2万7,173本・軍刀703本・指揮刀2,809本・その他の刀剣5,524本・銃剣9,602本・拳銃408丁・猟銃3,600丁）</p> <p>22 佐賀物資交換即売所、物資斡旋協会として再発足</p>	<p>9 第1回公認10マイル短縮マラソン大会 軍政部、県会議事堂内に民間情報教育読書室を設ける</p> <p>21 児童工芸品展覧会</p>
<p>10 三養基郡田代町で亜炭採掘始まる</p> <p>12 県農業協同化委員会結成</p>	<p>7 佐賀占領軍より防火について嚴重指令出さる</p> <p>20 県の「復興くじ」の抽選会</p> <p>22 佐賀郡高木瀬村元高木瀬兵舎跡の戦災者引揚者収容所入所受付開始</p> <p>28 県農民大会</p> <p>○ 間取りき取り締まり強化（列車内に武装警察官を配置）</p>	<p>15 佐賀市国民学校校長会新学期から男女共学実施を決定 民主主義と新教育論文審査発表</p> <p>30 佐賀高等学校に初の女子合格者決定</p> <p>○ 県教育関係者、新学制の施行による校舎・教育内容・教員不足に頭を痛める</p>
<p>1 県金庫、佐賀中央と佐賀興業の2銀行となる</p>		<p>1 男女共学実施</p>

昭和22年（1947年）

	国内・国際	政	県治
4 月	7 労働基準法公布	83%) 沖森源一当選 第1回市町村長選挙、投票率83.4%、40町村無投票当選	8 労政事務所設置（佐賀・鳥栖・唐津・武雄・伊万里） 勤労署、公共職業安定所と改称
	14 独占禁止法公布	10 県会議員・市議会議員選挙告示 12 金山国治知事退任、内務省へ転任 沖森源一知事就任	15 沖森知事就任あいさつ、占領政策協力・供米確保を強調 県児童保護委員会設置
5 月	17 地方自治法公布	20 参議院議員選挙、立候補者数3人（社会党1・民主党1・無所属1）投票率76.3%、6年任期議員に深川栄左衛門、3年任期議員に今泉政喜当選	22 県農家必需物資委員会設置
	29 日本経営者連盟発足	23 町村議会議員選挙告示 25 衆議院議員選挙、立候補18人（自由党5・民主党3・社会党1・国民協同党2・共産党1・諸派1・無所属5）投票率77.7% 当選者、中村又一（民主）・森直次（自由）・大島多蔵（国民協同）・梁井順二（自由）・角田藤三郎（社会）	30 民設巡査請願手続廃止 県議会・市町村議会議員選挙、投票率88.3%（女性議員15人誕生） 県議会勢力（自由党10・民主党10・社会党1・松浦民主党1・無所属17） 地方事務所機構改革
5 月	1 経済安定本部令施行	1 県唐津港務所設置 食糧検査所園に移管 警察署所管の社会事業関係を地方事務所に、衛生関係を知事及び市町村長に所管替 県勤労課、職業安定課と名称変更	2 消防委員設置 知事官房廃止
	3 日本国憲法施行 地方自治法施行	3 新憲法施行記念式典 内務部を総務部と改称 佐賀地方世話部、教育民生部世話課となる	9 佐賀簡易裁判所設置
5 月	11 日本炭鉱労組総連合結成	13 県生活物資配給委員会設置	18 県議会無所属議員12人で革新クラブを結成
	17 参議院緑風会結成		
5 月	19 経営者団体連合会創立総会		
	20 吉田内閣総辞職		
5 月	23 片山哲、総理大臣の指名を受ける		
	28 日本貿易会発足	27 警察部の防犯課を経済保安課と改称 28 県庁舎別棟完成 29 沖森知事・久間農地部長供米督励 31 現在の県公職適否審査委員会、審査件数6,930件、追放128人	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>10 県下の供米106.26%に達す</p>	<p>12 南方残留同胞引揚促進全国家族同盟 県支部大会</p> <p>○ 全県民にBCGの接種を行う</p>	<p>8 県美術工芸展開催</p> <p>21 新学制実施に伴う校長人事を発表、 女性校長誕生 佐賀師範学校付属中学校開校</p>
<p>9 鮮魚介家庭配給登録要綱</p> <p>20 唐津港発展期成同盟を結成 経済監視官採用試験行われる</p> <p>23 優良特産見本市</p> <p>29 県下の値下げ協力店2,500軒に達 す</p>	<p>7 佐賀郡高木瀬村高木瀬兵舎跡に入居 者入所はじめる</p> <p>20 小川島に電燈つく</p> <p>24 県労働委員会、炭鉱の納屋頭の組合 加入を認めぬと判断</p> <p>25 同胞援護会県支部新生活運動展開</p>	<p>1 県総合美術展有田で開催</p> <p>3 県下新制中学校134校開校</p> <p>4 九州陸上競技大会開催</p> <p>7 県社会教育研究大会始まる</p> <p>20 新憲法記念美術展開催</p> <p>27 高木瀬協楽園内に高木瀬小分校開校</p>

昭和22年（1947年）

	国内・国際	県治
		政
6月	<p>1 片山三党連立内閣成立</p> <p>8 日本教職員組合（日教組）結成</p> <p>10 G・H・Q、民間貿易再開を許可</p> <p>11 経済危機突破緊急対策要綱発表</p> <p>19 農業復興会議結成大会</p> <p>20 政府、公職適否資格審査基準諮問委員会設置</p> <p>21 経済復興会議食糧配給確保国民大会</p> <p>24 農林省、食糧緊急対策本部設置決定</p>	<p>2 定例県議会（6/2～6/4） 議長田中虎登・副議長安永沢太選任</p> <p>4 副議長に小柳儀六選任</p> <p>副知事に大浜芳雄任命</p> <p>12 県、分譲庶民住宅約700戸建設を決定 県性病予防委員会設置</p> <p>20 県公職適否審査委員会、県職員の審査を始める</p> <p>24 九州各県知事、九州地方県協議会を設立</p>
	<p>1 公正取引委員会発足</p> <p>3 G・H・Q、三井物産・三菱商事の解散を指令</p> <p>4 第1次経済白書を発表</p> <p>5 新物価体系発表（1,800円ベース）</p> <p>8 食糧緊急対策本部発足</p> <p>25 全国農民組合結成大会</p>	<p>1 伊万里税務署開設</p> <p>8 県専門委員設置</p> <p>9 沖森県知事、供米完遂について県民に要望</p> <p>12 農地委員会内に未墾地買収専門委員会設ける</p> <p>14 県、農村工業振興対策の基本構想を発表</p> <p>15 警察部に交通課新設 経済部に企画室設置</p> <p>18 地方労働委員会事務局、総務・調査・調整の3課制</p> <p>22 臨時県議会（7/22～7/29）</p> <p>31 県立脊振診療所閉鎖</p>
8月		<p>2 第1回児童保護委員会発足</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>7 佐賀商工会議所会頭に戸上信文を選出</p> <p>9 県農会、農業近代化指定町村を決定</p> <p>11 北山ダム水没予定部落、条件闘争に軟化</p> <p>16 本県22年度供麦16万2,000石・じゃが芋81万8,000貫と決定</p> <p>23 県干拓開墾計画決定(干拓3,800町歩・開墾4,000町歩)</p>	<p>1 1,000万円の厚生事業資金(コミュニティ、チェスト)募集始まる</p> <p>18 県衛生展覧会開く</p> <p>19 県労働研究所創立委員会</p> <p>30 結核予防委員会発会式(21年度結核死亡率全国第2位)</p> <p>○ 北方鉾に鉾害発生(耕作不能田出る)</p>	<p>26 佐高、大学昇格運動のため後援会組織</p> <p>○ やっと小中学校の教科書到着</p>
<p>2 佐賀地区炭鉍保安委員会結成 唐津港拡張期成委員会発会</p> <p>11 杵島郡武内村、供麦日本一の名乗りあげる</p> <p>15 県救国定期貯金募集開始</p> <p>25 東京銀行(旧横浜正金銀行)、佐賀市に出張所を設ける</p> <p>○ 佐賀板紙に県内初の輸出品許可が おける</p>	<p>15 残留同胞引揚促進大会</p> <p>18 県下各地に豪雨禍</p> <p>○ 寄付金取締規則が廃止され、寄付が 流行</p>	<p>11 県内の小中校短縮授業に入る</p> <p>16 九州地区第1回新聞講座開かれる</p> <p>21 純潔運動展開 新教育講習会実施</p> <p>28 県議会、佐賀師範の学芸大学昇格を 決談</p>
<p>1 肥料公団佐賀支所発足</p>		

昭和22年（1947年）

	国内・国際	政	県治
8 月	<p>4 最高裁判所発足</p> <p>14 浅間山大爆発 15 制限付民間貿易再開許可</p> <p>22 G・H・Q、追放教員11万人を発表</p>	<p>5 第2回九州各県協議会、兩陛下の九州巡幸を決議</p> <p>7 県、23億円にのぼる土木15か年計画を決定 開拓5か年計画決定</p> <p>22 県国民健康保険委員会設置 県経済再建整備委員会設置 水産物配給統制委員会設置</p> <p>26 県産業振興対策審議会設置</p> <p>30 定例県議会（8/30～9/1）</p> <p>○ 小城郡南山村・北山村の佐賀郡編入運動始まる</p>	
9 月	<p>1 労働省、特別調達庁設置 2 重要物資輸送証明制要領閣議決定</p> <p>5 臨時石炭鉱業管理法案閣議決定</p> <p>11 文部省、教科書検定制度発表</p> <p>15 キャスリン台風、関東地方大水害</p> <p>22 文部省、通信教育認定規程を発表</p>	<p>2 初代県出納長に横尾将夫（食糧課長）を任命</p> <p>4 サクサー佐賀軍政部司令官辞任 5 県営業税審査委員会設置 10 県食糧調整委員会委員発令 ダーリントン大尉、佐賀軍政部司令官代理に就任</p> <p>18 軍政部監督下で、県下の農地測量</p>	
10 月	<p>1 臨時国勢調査実施</p> <p>6 文部省、当用漢字音訓・当用漢字別表を発表</p>	<p>1 臨時国勢調査、県人口91万7,797人</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>4 伊万里商工会議所創立総会</p> <p>10 杵島5坑着炭式</p> <p>18 県貿易振興会発足</p> <p>28 佐賀板紙、本県の輸出入貿易品のトップをきって板紙50トンを買戻しに発送</p> <p>30 県下開拓促進大会</p> <p>31 県精農連盟結成</p>	<p>3 明るい生活物価展開催</p> <p>11 県下電力節約のため1戸1灯を実施</p> <p>31 コミュニティ・チェスト(厚生事業資金募集)締切(1,002万1,300円)</p>	<p>4 教育資格認定講習会は教組の反対で再教育研修会に改められ実施さる</p> <p>14 新制中学校設立費1,800万円の起債決定</p> <p>21 全九州師範体育大会開催</p>
<p>1 本県農業の根本的復興をはかるため、県農業界の各層を参集した農業復興会議行われる 衣料関係の登録配給実施</p> <p>15 佐賀県電力確保期成会結成 鳥栖商工会議所創立総会</p> <p>29 衣料品登録業者の選定、消費者の選挙によって実施</p>	<p>5 県、生活保護法による保護施設として、春日寮・希望寮・松濤寮・協楽園を設置</p> <p>13 カザン台風により東松浦地方1千町歩に潮害</p> <p>14 カザン台風により嘉瀬村成申崩壊(20町歩冠水)</p> <p>21 一般家庭用電力、昼間使用禁止</p>	<p>1 佐賀師範付属中学校、文部省より新教育の実験学校に指定さる</p> <p>5 一般社会人の文化資質向上に資するため、佐賀中学で県下初の「市民学校」開設</p> <p>17 唐津小学校児童図書館を設ける</p>
<p>5 22年度産米県供出割当87万5,000石と決定</p> <p>6 久間県農地部長、地主の小作地取上げに警告</p> <p>9 有田焼に戦後初の注文、花瓶など900本</p>	<p>1 国勢調査の結果、4万人の幽霊配給人口発生</p> <p>7 県連合婦人会結成</p>	<p>1 県教育会解散決定</p> <p>2 成美高、全国体育大会への生徒出場を禁止</p> <p>4 全日本陸上選手権大会で西村政平(砲丸投)・西原稔子(走高跳)優勝 県学務課、小学生の対外試合を禁止</p> <p>6 民主主義講座</p> <p>8 婦人教養大会</p>

昭和22年（1947年）

	国内・国際	県治
		政
10月	<p>13 戦後初の皇族会議（一部皇族の皇籍離脱）</p> <p>21 国家公務員法公布</p> <p>26 改正刑法公布（不敬罪、姦通罪廃止）</p>	<p>13 農地委員会佐賀県協議会結成</p> <p>16 佐賀軍政部司令官にウィリアム・P・キャラハー着任</p> <p>20 定例県議会（10/20～10/22）</p> <p>24 県財政審議会設置</p> <p>27 県内の各政党、供米に協力の共同声明をだす</p>
11月	<p>1 労働基準法施行</p> <p>3 片山首相、平野農相を罷免</p> <p>11 文部省、視学制度の廃止・指導主事の設置を通牒</p> <p>19 農業協同組合法公布</p> <p>20 経済安定施策四原則決定</p> <p>23 自由人権協会結成</p> <p>25 共同募金始まる</p> <p>30 職業安定法公布</p>	<p>1 県内の警防団、消防団として再発足</p> <p>3 県町村長会、町村会（協議会）として再発足</p> <p>4 県産業振興対策審議会発足</p> <p>20 県公職適格審査委員会、714人の公職追放指定者を発表</p> <p>21 財政審議会に県営印刷所設置計画提出 指定農業資材及び指定農産品配給諮問委員会設置</p> <p>28 佐賀軍政部、共産主義者を労働組合から除外するよう声明を発表</p>
12月	<p>1 百万円宝くじ売出し 児童福祉法公布</p> <p>15 農業協同組合法施行</p> <p>17 警察法公布</p> <p>20 臨時石炭鉱業管理法公布</p>	<p>1 県共同作業特別施設指導委員会設置</p> <p>14 県教員組合協議会、労働協約締結</p> <p>15 県産業振興対策審議会、産業振興に関する答申を決定</p> <p>17 自由党県支部結成大会</p> <p>22 定例県議会（12/22～12/26）</p> <p>23 2市20町1村に自治体警察設置決まる</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>17 供米完遂県民大会</p> <p>25 昭和バス、佐賀～唐津間の定期バス運行を復活</p> <p>27 県、農地買収予定の87%を完了</p>	<p>15 県地方労働委員会、中等学校校長の組合加入は不相当と決議</p> <p>24 日赤県支部、赤十字奉仕団を結成</p>	<p>28 佐中生に長髪禁止令でる</p> <p>30 第2回国体で、西村政平砲丸投で優勝</p> <p>○ 小学校の修学旅行の宿泊禁止</p>
<p>3 第1回農地売渡式 田 313町歩 畑 36町歩</p> <p>7 杵島郡武内村、全国のトップをきって供米を完遂</p> <p>12 県開拓者蹴起大会 電力危機突破県民大会</p> <p>21 玄海国立公園昇格運動のため、3県で国立公園期成同盟を結成</p> <p>28 鳥栖商工会議所創立総会</p> <p>29 有田商工会議所創立総会</p>	<p>6 ローソク送電開始</p> <p>20 退職教職員、組合結成</p> <p>22 川南造船所争議、スト突入以来76日ぶりに解決</p>	<p>6 県下男女中等学校討論会</p> <p>9 九州エスペラント普及大会 ひのくに25周年記念大会</p> <p>22 県学校衛生会総会</p> <p>29 第2回全九州バスケットボール大会開催</p> <p>○ 鹿島農商をめぐり、新制中か新制高かで意見わかれる</p>
<p>5 県下炭山の非常石炭増産対策協議会</p> <p>8 第1回県経済再建整備委員会</p> <p>10 親和銀行佐賀特別出張所開設 第1回九州馬耕大会</p> <p>18 総司令部石炭庁炭鉱調査団（団長バトラー）、杵島鉱を調査 伊万里港開港期成同盟会結成</p>	<p>1 県衛生予防協会設置</p> <p>6 酒の自由販売始まる</p> <p>11 川上川上流で、日本初の人工降雨実験行われる</p>	<p>10 新制高校設置案を第1回実施準備協議会に諮問（中等学校・高等学校全部の昇格、定時制本校14校）</p>

昭和22年（1947年）・昭和23年（1948年）

	国内・国際	政	県治
12月	<p>22 改正民法公布（「家」制度廃止）</p> <p>30 食糧管理法改正公布（食糧配給公団の設立を規定、食糧営団を廃止）</p> <p>31 内務省廃止</p> <p>○ この年、性病蔓延（患者40万人）、流行語・アプレゲール・斜陽族、流行歌・炭鉱節</p>	<p>27 機構改革 衛生部設置（医務課・公衆衛生課・予防課・薬務課）</p>	
1月	<p>1 新戸籍法・新郵便法施行 皇居一般参賀始まる（二重橋開放）</p> <p>4 日米国際電話開通</p> <p>7 財閥同族支配力排除法公布</p> <p>26 帝銀事件発生</p> <p>28 関西汽船女王丸沈没（死亡・不明183人）</p>	<p>1 機構改革 農林部設置 佐賀自動車事務所、佐賀道路運送監理事務所と名称変更</p> <p>15 県商工課内に、県中小企業指導本部設置</p> <p>21 機構改革 8部に編成（総務部・民生部・教育部・経済部・農地部・農林部・土木部・衛生部）、県下8か所に土木出張所を設置</p> <p>22 キャラハークン令官、県民の供米完遂に祝意</p> <p>27 県救済用物資配分委員会設置</p> <p>31 臨時県議会（1/31）</p>	
2月	<p>10 片山内閣総辞職</p> <p>12 極東委員会、日本非武装化の指令採択</p> <p>14 農業会解散</p> <p>15 法務庁設置（司法省廃止）</p> <p>16 内閣、当用漢字を告示</p> <p>20 食糧配給公団発足</p>	<p>1 県母子相談所開設</p> <p>4 警察部解散式</p> <p>11 新警察制度発足に備えて地区署10、支所2、市町警察署22、警部派出所1、警部補派出所5、巡査部長派出所11、巡査派出所184</p> <p>16 警察部機構改革（総務・警務・警備・刑事の4部制、10課となる）</p> <p>17 県松樹害虫防除対策推進委員会設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>○ 各炭山の12月の出炭、戦後最高を記録</p>	<p>19 県労連主催「最低生活確保人民大会」</p> <p>21 県教育会解散式</p> <p>22 県教職員組合協議会、県教職員組合に発展解消</p> <p>25 炭労県支部結成大会</p> <p>○ 県、「開採減移動展」を県下各地で開催</p>	
<p>13 小城商工会議所創立総会</p> <p>15 総司令部貿易庁関係者からなる貿易使節団来佐</p> <p>16 北山ダム建設を中心とする嘉瀬川調査団、現地調査</p> <p>21 供米87万5,000石の目標達成 佐賀郵便局電話課、佐賀電話局に昇格</p> <p>23 県経営者協会発足</p>	<p>7 第1回労働者教育大会開催</p> <p>14 立川炭鉱「君」づけでストに入る</p> <p>15 炭全協佐賀県協議会解散</p> <p>18 全石炭佐賀地方本部結成</p> <p>20 県下各地で厚生事業協議会開催</p>	<p>5 唐津文芸懇話会発足</p>
<p>9 農業協同組合に関する講習会始まる</p> <p>10 嘉瀬川総合開発協議会現地視察 県中小企業本部第1回総会</p> <p>13 北山ダム予定水没地住民、北山ダム建設反対同盟期成会を結成し、県に反対を陳情</p>	<p>4 杵島郡武内村東京見物団、両陛下から激励のお言葉をいただく</p> <p>9 県労働教育講習会開催</p> <p>11 石炭特別委員会の県側労働者代表決定</p> <p>20 鮮魚店の再登録、消費者の選挙によって行われる</p>	<p>18 社会教育資料展</p>

昭和23年（1948年）

	国内・国際	政	県治
2月	21 衆議院、芦田首相指名	24 県農林部に農業協同組合課設置（旧農政課） 26 県農業協同組合課、農協相談所を開設 28 定例県議会（2/28～3/19） 県児童福祉委員会設置	
3月	7 新警察制度発足（国家地方警察本部制度） 10 芦田内閣成立 11 文部省、史跡・名勝、天然記念物指定 15 民主自由党結成（総裁吉田茂） 全国92新制高等学校通信教育開始	1 佐賀軍政府ゲーリントン大尉帰国 5 県食料品配給諮問委員会設置 6 県下の新警察開庁式 7 警察制度改正 国家警察と自治体警察となる 県公安委員会、国家地方警察佐賀県本部設置（県警察部廃止） 県警察学校設置 10 県中央公民館設置 12 県、新日本建設県民運動始める 30 臨時県議会（3/30） ○ 公職適否審査委員会の審査は22年2月から3月末まで9,017件・ 該当者721人 ○ 教職適格審査は22年度審査件数1,897件・該当者11人	
4月	1 新制高校発足 児童福祉法施行 4 総司令部、国旗掲揚を許可	1 県産業奨励館設置 県紙業試験場設置 県中央児童相談所設置 県木竹工業試験場設置 県園芸試験場設置 国警県本部刑事課、捜査課と改称 9 県労働者教育諮問委員会設置	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
	23 衛生列車、佐賀駅で公開	21 新制高設立準備会、知事に答申 ○ 佐賀高等学校、九州大学編入の方向で準備をすすめる
1 23年産米、県事前割当82万7,600石と決定 9 県優良炭鉱機器生産工場に42工場を指定 10 第8軍司令官アイケル・バーガー中将、沖森知事宛供米感謝状を贈る 12 県内資源の科学的調査のため、地下資源懇談会を設ける 22 飯木・諸富北・嬉野・玉島の農業協同組合に初の認可 24 労働者教育諮問委員会委員決定	1 県貯蓄推進委員会、救国貯蓄運動を実施 8 県婦人解放大会 11 川崎経済部長、放送を通じ県民に節電を要望 県労働教育大会 12 児童大会 23 県地労委、全財佐賀支部一斉賜暇ストで、検察庁に処罰請求 県庁職組、背空ダンス教習会開く 24 国鉄鳥栖管理部、団体旅行を許可 25 全官公庁労組、ストに入る ○ 昭和22年度末労働組合の組織状況、組合数289組合・組合員数7万3,843人	1 旧中学校最後の卒業式 同人誌「佐賀文学」(佐賀) 創刊 2 佐賀少年美術展 19 県教育復興県民大会 20 神埼郡神埼町神陽実践女学校廃校式 21 松浦文化連盟結成式 27 佐賀市民グラウンド開き ○ 占領軍後援社会教育資料展示会
1 県貿易振興会東京事務所開設 5 観光事業の一本化をはかるため、観光事業協議会設立 10 第1回経済復興会議	1 民生委員1,500人改選 済生会佐賀診療所開設 5 佐賀地検、全財佐賀支部長を起訴 6 県教職員組合臨時大会で、勤務条件の改善を要求してストを決議 12 県労働学校開校	1 新制高等学校開校 県立(全日制22・定時制18) 私立(竜谷高等学校・佐賀清和高等学校・旭高等学校) 2 中央公民館開館式

昭和23年（1948年）

	国内・国際	政	県治
4月	<p>16 極東軍事裁判終わる</p> <p>19 全官公争議妥結</p>	<p>14 知事と教組、勤務条件の改善について仮調印</p> <p>17 県消防協会発会式</p> <p>20 県食糧増産対策委員会設置</p> <p>27 県地方児童福祉委員会設置</p> <p>28 定例県議会（4/28～4/30）</p> <p>○ 県市町村、財政の民主化と県民の理解を得るため、財政白書を発行</p> <p>○ 東松浦郡久里村の合併問題紛糾する（新制中の校舎の位置が原因）</p> <p>○ 労働省婦人少年局佐賀職員室設置</p>	
5月	<p>1 海上保安庁設置 軽犯罪法公布 初のサマータイム実施</p> <p>6 シベリア引揚第1船舞鶴港入港</p> <p>10 石炭庁設置 公職適否審査委員会・公職資格訴願審査委員会廃止 公職適否審査員設置</p> <p>17 第1回経済復興委員会開催「経済復興5か年計画第1次試案」提出</p>	<p>1 県議会事務局設置</p> <p>10 県、「調査課」を「統計課」に改める 県公職適否審査委員会廃止</p> <p>21 公選後初の県下町村長会議開催</p> <p>28 第1回「財政事情」公表</p> <p>29 県議会「大学設置問題」で全体会議</p>	
6月	<p>2 文部省、当用漢字の新字体発表</p> <p>5 国立国会図書館開館</p>	<p>1 監査委員事務局設置 呼子港を県費支弁港湾に編入 佐賀タイピスト補導所設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 唐津線小城～多久駅間の一本松トンネル迂回工事完成</p> <p>20 県通貨安定推進委員会 経済問題についての移動展を開く</p>		<p>17 旧制佐高入学式</p> <p>26 新制高校の開校式始まる</p> <p>31 社会教育研究大会始まる</p>
<p>1 有田商工会議所、8年ぶりに陶磁器品評会を復活</p> <p>5 農協設立の進捗状況88%</p> <p>15 唐津観光協会創立総会</p> <p>20 県園芸試験場竣工式</p> <p>28 石炭増産協会の会・県石炭鉱業会共催石炭展（玉屋）</p>	<p>1 佐賀地検、全財中調委員長を全国初の労調法第38条違反で起訴</p> <p>5 児童福祉週間行事として「子供祭」を行う 唐津保健所、模範保健所に指定</p> <p>13 占領軍406研究所ハンター博士一行、日本住血吸虫病研究のため来佐</p> <p>20 食料品配給公社佐賀支所開団 風土病日本住血吸虫病調査団、鳥栖・基山を調査</p> <p>25 県赤ちゃん大会 佐賀養老院伊万里分院の名称を向陽園と決定 県民生委員大会</p> <p>26 県労協主催労働者大会</p> <p>31 小関・松梅・南山3村の共立病院開院</p>	<p>1 NHK佐賀放送局開局 県下初の女性視学誕生</p> <p>10 県中央公民館、童話会を行う</p> <p>15 祐徳国際グラウンド開場式 県下軟式野球大会 NHK佐賀放送局、JOSPのコールサインで放送開始</p> <p>17 佐賀美術展覧会</p> <p>20 東松浦郡敵木村、スクールバスで天川地区の新制中学生を通学させる SPでローカル放送開始</p>
<p>4 農林省、北山ダム建設費を本年度予算に計上決定</p> <p>6 小城郡北多久村三菱鉱業多久炭鉱、古賀山炭鉱と改名、開鉱式</p>	<p>8 県連合婦人会、結婚改善運動で結納最高5千円と決定</p> <p>12 生業資金760万円金庫に眠り、関係者参議院国外在住邦人引揚促進特別委員会から喚問を受ける</p>	<p>1 佐賀高等学校自治会、九大分校案に対する公聴会開く</p> <p>3 佐賀師範学校に佐賀大学設置協議会設置</p> <p>7 有田・東有田両町組合立中学校起工式</p> <p>8 佐賀高校に九大分校設定期成会設置</p> <p>11 ボーイスカウトクラブ結成</p>

昭和23年（1948年）

	国内・国際	県治
		政
6 月	<p>16 日ソ貿易協定調印</p> <p>19 衆議院、教育勅語等排除に関する決議 参議院、教育勅語等の失効確認に関する決議を行う</p> <p>28 福井で大地震(3,895人死亡)</p>	<p>15 進徳学校、東松浦郡浜崎町に移転決定 県議会全員協議会、大学問題について文部省一任を決定 県下公安委員長会議、自治体警察官に危険手当月額500円支給を決定</p> <p>16 沖森知事、大学問題について、3校合併やむを得ないと佐賀大学設置支持を表明</p> <p>23 菜種増産配分委員会設置</p> <p>28 定例県議会（6/28）</p>
7 月	<p>1 水産庁発足 地方財政法公布</p> <p>10 建設省発足 改正刑事訴訟法公布 風俗営業取締法公布施行</p> <p>15 教育委員会法公布施行</p> <p>20 政府経済安定10原則を発表 国民の祝日に関する法律公布施行</p> <p>22 マッカーサー書簡、公務員の争議禁止などを要求</p>	<p>1 県農業経営研究所設置（旧農業労働研究所） 県衣料品小売業者登録実施要綱制定</p> <p>6 被災地に災害救助法適用</p> <p>9 県食糧増産技術員設置</p> <p>22 地方自治法会議始まる</p> <p>27 県治山治水調査委員会設置</p> <p>28 県、集会やデモについて警告（県庁舎・市庁舎・裁判所周辺は禁止）</p> <p>30 臨時県議会（7/30～7/31）</p>
8 月	<p>1 経済調査庁・中小企業庁・工業技術庁発足</p>	<p>1 佐賀競馬、馬匹連合会から県営移管 常住人口調査（人口93万1,336人・世帯数17万4,711世帯） 県新給与苦情処理委員会設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>25 23年度供麦完了、供麦日本一、割当19万7,400石</p> <p>26 県立園芸試験場竣工</p> <p>27 県中小企業指導本部第1回工場診断</p> <p>31 県農業共済保険組合創立総会</p> <p>○ 鍋島綴通初輸出決まる</p>	<p>26 県下初の農協組合長総会</p>	<p>16 佐賀新聞主催大学問題公聴会開催</p> <p>19 新制高校生徒、学生新聞研究会を開く</p> <p>30 佐高、「九大編入問題」で文部省と折衝、主張通らず</p>
<p>7 配炭公園、唐津市に石炭分析所を設ける</p> <p>13 唐津観光協会改組総会</p> <p>16 県下の農協設立を完了(総合133・特殊36)</p> <p>30 県、馬匹組合連合会解散させる</p> <p>31 買収農地の売渡1万6,757町歩に達す(買収面積の90%)</p>	<p>5 豪雨、被害5億7,000万円にのぼる(死亡5人・負傷15人・不明1人・家屋全壊5戸・半壊16戸・流失5戸・浸水1万2,936戸)</p> <p>7 県下初の100万円宝くじ当選者でる県教組主催「アメリカへの感謝図画展」</p> <p>15 県下列車一斉警乗始まる</p> <p>18 国鉄運賃値上げ、佐賀～東京間320円が840円となる。</p> <p>19 共産党書記長徳田球一狙撃される</p> <p>20 鳥栖駅の機関助手113人一斉欠勤</p> <p>25 生業資金の貸出業務、県更生会に委託</p>	<p>1 警察軽音楽隊初演奏</p> <p>21 高校野球大会西九州代表に鹿島校決定</p> <p>23 3校長、佐賀大学設置について意見一致し、共同声明</p> <p>24 県音楽研究会発会式</p> <p>26 佐賀大学設立準備委員会初会合</p>
<p>1 食糧増産技術員を設ける</p> <p>4 農業各種連合会設立認可(指導連・信用連・販売連・購買連・園芸連・畜産連・養蚕連)</p> <p>5 唐津無線局の新設許可</p>	<p>3 県未亡人大会開催</p>	

昭和23年（1948年）

	国内・国際	県治
		政
8 月	23 G・H・Q、電源スト中止を命令	24 県使用者教育諮問委員会設置 31 定例県議会（8/31～9/5）
9 月	1 取引高税実施 16 アイオン台風、関東・東北を襲う（死亡512人） 18 全日本学生自治会総連合結成	1 県選挙管理委員会事務局設置 県立公共職業補導所設置（補導所の改称） 県蚕業技術指導所設置 県食糧増産技術員駐在制度設置 県教育委員の選挙啓蒙運動始まる 5 第1回県教育委員選挙告示 県議会、佐賀大学設置に関する諮問案・決議案を可決 9 県財務事務所設置（佐賀・唐津） 11 県水害対策本部設置 15 県に税務課設置 17 高松宮、水害視察のため来佐 県競馬運営委員会設置 22 臨時県議会（9/22） 25 県競馬事務局設置
10 月	1 第1回新聞週間始まる 7 芦田内閣総辞職	1 久里村の一部を相知町と鏡村に編入 5 第1回教育委員選挙（定員6人）立候補者数13人・投票率77.1%（九州第1位・全国第2位・全国平均56.5%） 当選者、石橋三作・鍋島直紹・中島辰巳・松信定雄・有浦三雄・古賀マツヨ 9 第1回県営競馬開催

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
14 県農業会解散 15 系統農業会解散し、機能停止す 18 県営デパート開館 25 親和銀行伊万里詰所開設 ○ 佐賀市内の引揚者の新興マーケット、転売業相次ぐ	16 引揚促進全国一斉大会佐賀地区大会 20 炭山殉職者追悼式 26 佐賀地区治安協力会発会 29 民生委員連合会結成 ○ 佐賀婦人刑務所、三養基郡礪村に移転決定	15 県中央公民館誌「明」創刊 18 佐賀大学設立準備委員会、佐賀大学設立計画書決定 20 新制高校教員再教育始まる 教育委員会法普及運動始まる 26 県教育復興会議結成 ○ 県内高校教員の内地大学留学制度を決める(第1回8人) ○ 第2学期から、小城・鹿島・武雄各校で全面的男女共学実施を決定
1 知事、インフレ撲滅のため貯蓄30億円突破を呼びかく 5 鉱害対策組合県連合会発会 6 炭鉱災害救護隊結成を申し合わせ 8 県養鶏農業協同組合発足 9 電力対策協議会準備会開く 24 県みそ、しょう油原料配給諮問審議会設置	1 鳥栖駅の集団欠勤に逮捕状 6 県営伊万里厚生寮竣工 11 50年ぶりの豪雨(死者78人・不明10人・負傷80人・家屋倒壊256戸・流失197戸・浸水2万2,720戸 9/11～9/12) 14 佐賀12景県民人気投票 第1位 武雄 第2位 脊振 第3位 多良 ○ 国鉄・全通労組員の職場放棄者の逮捕相次ぐ ○ 9月水害の原因として、山林乱伐・無計画な開墾が批判的となる	1 男女共学、新制中全面実施 12 県下新制高校新聞連盟結成大会 13 佐賀市赤松小学校に子供銀行店開き 22 スポーツコーチ団結成 24 県小中学校長会設立
8 農事参観デー 10 県物産展開く	3 北茂安村農民組合、農民学校開設	9 初の県民体育大会開催 10 新聞文化展

昭和23年（1948年）

	国内・国際	県治
		政
10 月	<p>11 第3臨時国会召集</p> <p>19 第2次吉田内閣成立</p> <p>29 第3回国民体育大会秋季大会開催(福岡県)</p>	<p>19 定例県議会（10/19～10/20）</p> <p>20 議会選出教育委員に金子道雄選出</p> <p>23 知事、産業振興対策審議会に対して、治山・治水・農村工業について諮問</p> <p>25 教育委員初会合（委員長に松信定雄・副委員長に鍋島直紹） 基山町公安委員、町長の予算案削減に抗議して辞表提出</p> <p>28 佐賀地方経済調査庁経済調査委員会初会合</p>
11 月	<p>1 日本鉄鋼連盟発足</p> <p>11 G・H・Q、賃金3原則を発表</p> <p>12 極東軍事裁判判決</p>	<p>1 県教育委員会発足 教育委員会事務局（教育庁）設置（総務課・調査課・指導課・学事課・体育保健課・社会教育課の6課、教育委員会事務局出張所（8か所）設置、職員144人） 失業保険徴収課設置 県衛生研究所設置 県地区農業委員会設置 地方農業調整委員会設置（県下8か所）</p> <p>6 傷痍者保護対策委員会設置</p> <p>17 沖森知事、公吏の自肅・自戒を要望</p> <p>20 県農業普及技術員資格試験委員会設置</p> <p>24 農地改革完遂記念大会 県産業振興対策審議会 第1回治山治水特別委員協議会開催</p> <p>30 市町村農業調整委員会委員選挙、投票率86.8%</p>
12 月	<p>1 第4国会召集</p> <p>2 労働者農民党結成</p> <p>4 新自由党結成</p> <p>7 昭電事件で、芦田前首相逮捕さる</p>	<p>2 県蚕業技術委員会発足</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>12 松浦川改修促進委員会発足</p> <p>20 供米日本一に対する占領軍放出衣料、佐賀駅に到着</p> <p>28 本年度供米、75万7,600石に補正</p> <p>○ 産業奨励館前に石炭塔建つ</p>	<p>15 県警、闇米取締のバリケート一斉取締りを復活</p> <p>23 佐賀市交通安全協会発足</p> <p>27 第1回労働学校開く</p>	<p>10 青年文化祭開催</p> <p>14 ミルトン・ストウファー博士夫妻、県盲啞学校を訪問し、ヘレン・ケラー女史のメッセージを伝える</p> <p>17 第1回新制高校陸上競技大会</p> <p>19 現代美術展覧会開催</p> <p>24 中島哀浪歌碑除幕式</p> <p>30 県郷土研究会発足</p>
<p>1 唐津港振興会発会</p> <p>4 西松浦郡曲川村、県内のトップを切って供米完遂 県生産技術振興第1回連絡協議会</p> <p>8 県電力協議会発足</p> <p>21 県中小企業指導本部、中小企業振興討論会を開く</p> <p>30 多久振興会発会式</p> <p>○ 北山ダム実地測量始む</p>	<p>4 佐賀軍政部、身の上相談に応じる</p> <p>11 身体障害者更生同盟県支部結成</p> <p>15 伊万里向陽園竣工</p> <p>20 新生活大展覧会</p> <p>21 県下で初の日本プロ野球試合行わる</p> <p>29 非常災害模倣演習</p>	<p>3 初の文化の日に記念式典・優良公民館の表彰を行う</p> <p>8 宗教連盟結成大会 大学審査委員会委員、佐賀大学設置問題で来佐</p> <p>11 町村婦人幹部講習会</p> <p>22 通貨安定本部、佐賀市赤松小を子供銀行で表彰 佐大第2審査に合格</p> <p>23 県中央公民館付属中央劇団第1回公演「破戒」</p> <p>○ 同人誌「揺籃」（基山）創刊</p>
<p>7 供米九州のトップをきって完遂</p>	<p>1 県連合婦人会、物価値下げ運動おこす</p> <p>5 年賀郵便10年ぶりに復活</p> <p>6 物価引下げ婦人奮起大会</p>	

昭和23年（1948年）・昭和24年（1949年）

	国内・国際	県治
		政
12月	<p>8 人事院発足 10 民主党総裁に犬養毅就任</p> <p>18 G・H・Q、米政府指令の経済安定9原則発表 20 公共企業体等労働関係法公布 日本専売公社法公布 23 衆議院、内閣不信任案可決 政府、衆議院を解散 東条ら7戦犯の絞首刑執行 29 第24回衆議院議員選挙公示 油山事件判決</p> <p>○ この年、日本脳炎大流行（患者4,757人） ○ 流行歌・異国の丘流行</p>	<p>16 県農業調整委員決定</p> <p>23 定例県議会（12/23～12/25） 25 県議会、23年度追加予算中、教育委員会費を15年ぶりに減額修正</p>
1月	<p>1 家庭裁判所発足</p> <p>12 教育公務員特例法公布</p> <p>15 初の「成人の日」</p> <p>20 日本学会会議第1回総会</p> <p>23 第24回衆議院議員選挙 第1回裁判官国民審査</p>	<p>1 国警県本部通信課、国警本部に移管</p> <p>10 官庁職員執務時間、週48時間となり土曜半ドンを廃止 県議会、佐賀大農学科設置問題について2案決定</p> <p>20 県地方競馬振興審議会設置 22 県農業改良委員会設置 23 第24回衆議院選挙（新憲法下初の選挙）立候補16人、投票率82.6%、当選者、保利茂（民主）・中村又一（民主）・北川定務（自由）・永井英修（自由）・三池信（自由） 28 県、新労働行政対策決定</p>
2月	<p>1 ロイヤル米陸軍長官、ドッジ公使来日</p>	<p>1 佐賀軍政部司令官キャラハー少佐辞任 後任にロス中佐就任</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>14 県主催供米優勝旗授与式 16 県治水砂防協会設立</p> <p>23 県石炭鉱業会、九州石炭鉱業連盟 県支部に改組 28 立川炭鉱の食糧特配中止（スト中 止勧告に応じないため） 30 24年度産米割当82万3,200石に決 まる</p> <p>○ 北山ダム藤瀬発電所の建設指令</p>	<p>11 県交通安全協会発会式</p> <p>○ この年、農薬B・H・Cの使用始まる</p>	<p>8 佐高生徒、大学法案に反対し無期限 ストに突入</p> <p>12 県通貨安定推進委員会、子供銀行15 行を表彰</p>
<p>8 小城郡芦刈村に農地記念館建設</p> <p>12 唐津港振興会発足</p> <p>20 県農協連合会統一問題で第1回代 表者会議</p> <p>30 県連合青年団、青年農事研究発 表会</p> <p>○ 浜町に国立水産試験場分場設置 内定 ○ 県産業振興対策審議会、経済9原 則の啓蒙を始める</p>	<p>7 課税対策県農民大会</p> <p>15 佐賀市で初の盛大な成人式挙行</p> <p>29 玄海の孤島、馬渡島に電灯つく</p>	<p>4 大学審査委員会、佐賀大農学科問題 で現地視察 5 県郷土研究会、旭村日本タイヤ工場 内の堅穴住居趾発掘</p> <p>11 近代美術展開催</p> <p>14 佐賀市、市立成美高校の県営移管を 陳情 15 日本地質学会県部会発足 16 県短歌大会開催</p> <p>22 県教育委員会、男女共学の全面採用・ 9学区制の施行を決める</p> <p>29 県初の高校ラグビー大会行わる 30 佐賀軍政部教育部長パーツ、週5日 制について趣旨説明 31 新制大学進学適性検査（第1回）</p> <p>○ 第3学期から試験的に県下12校で週 5日制始まる、</p>
<p>2 本県の超過供出割当7,000石に決定 3 漁業協会県支部創立総会 県、信用保証協会設立の懇談会を 各地で開く</p>		

昭和24年（1949年）

	国内・国際	県
		政 治
2月	<p>9 文部省、教科用図書検定を始める 10 新制大学79校決定</p> <p>14 民主党、与党派・野党派に分裂 15 漁業協同組合法施行 16 第3次吉田茂内閣成立</p>	<p>5 佐賀家庭裁判所庁舎落成</p> <p>15 県部課長会議、主任制度を廃止し、係長制度新設を申し合わせ 県職員委員会設置</p> <p>18 県庁火災（0時40分出火）、消防団員6人重軽傷 沖森知事、県庁火災の責任をとり辞表提出</p> <p>25 県選出国会議員を中心に、在京県人、県庁舎復旧対策連絡委員会発足</p> <p>28 県議会全体協議会、知事の辞表撤回を求む</p>
3月	<p>7 ドッジ公使、内外記者団会見で経済安定9原則実行に関し声明（ドッジライン）</p> <p>12 政府、経済白書を発表</p>	<p>1 沖森知事、辞意撤回し、声明を発表</p> <p>7 臨時県議会（3/7）</p> <p>10 県庁舎復興対策本部設置 県庁舎復興対策委員会設置</p> <p>15 定例県議会（3/15～3/30） 第1回佐賀地裁檢察審査会</p> <p>16 軍政部、経済復興委員会設置を指示</p> <p>30 県議会「行政整理対策特別委員会」設置</p>
4月	<p>1 野菜、自由販売となる（市場でのセリ市再開）</p> <p>4 団体等規制令公布施行</p> <p>6 生産資材の統制廃止始まる</p> <p>8 第1回考査委員会開く</p>	<p>1 県立農業講習所設置 県立九州酪農講習所設置 県立協同組合学校設置 県地区農業改良普及事務所設置（県食糧増産技術員駐在所廃止） 伊万里労政事務所を武雄労政事務所伊万里出張所に縮小 北多久村、町制施行 県災害救助隊設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>16 電源開発調査隊、北山ダム建設予定地を視察</p> <p>21 佐賀郵便局電信課、佐賀電信局に昇格</p> <p>23 県庶民融資協会発足</p> <p>25 経済自立促進貯蓄運動始まる</p> <p>○ 商店経営に転換期(金詰まりや税金攻勢により、産業全体が不景気となり、又経済9原則により取扱商品が減少し資金の回転率低下)</p>	<p>7 県社会福祉事業協会設立</p> <p>15 団体・修学旅行の割引復活</p>	<p>9 県教委、新制高の週5日制実験校を指定、6校、新学期から実施</p> <p>15 郷土考古学展開催</p> <p>19 全国初の成人学級、佐賀一中で開催</p>
<p>1 日本専売公社鳥栖工場開設</p> <p>4 県、漁業協同組合 説明会を各地で開く</p> <p>8 販運と畜運の合併決定</p> <p>10 租税完納運動県本部発会式 職業安定展(玉屋)</p> <p>17 県輸出振興対策審議会第1回特別委員会</p> <p>24 片倉製糸鳥栖工場閉鎖、16年の歴史閉ず(専売局に買収)</p> <p>31 県営塩田(8か所)閉鎖</p>	<p>4 主婦のみの消費生活協同組合創立総会</p> <p>8 佐賀市連合婦人会、物価安定大廉売会を開く</p> <p>15 県厚生生活相談所店開き</p> <p>23 公衆電話佐賀駅前に復活</p> <p>○ 県内未復員者2月末日で1万2,130人と発表</p> <p>○ 3月の県内賃金の未払、47事業所・2,076万2,600円に達する</p>	<p>1 県社会福祉児童協会、月500円の学資貸与を決定</p> <p>6 県下子供銀行大会</p> <p>7 成人学校開催</p> <p>9 新制高校の学区制実施決まる</p> <p>13 中央公民館演劇部、「破戒」の巡回公演を行う</p> <p>16 佐賀市立成美高校、県への移管決定</p> <p>18 佐賀大学正式認可さる</p> <p>27 佐賀青年師範、創立25周年記念祭</p>
<p>1 県経済再建委員会開催</p> <p>5 県内の炭鉱労組、炭労に統一</p> <p>9 唐津港開港50周年記念「みなと祭」</p>	<p>3 サマータイム始まる</p>	<p>1 佐賀高等学校発足(第一・第二・成美の3校合併)</p> <p>伊万里高・唐津高発足</p> <p>佐賀高校他5新制高校に副校長制を設く</p> <p>6 新制高校、週5日制を実施決定</p>

昭和24年（1949年）

	国内・国際	県治
		政
4月	<p>13 政府地方公共団体の人員整理大綱を決定 14 政府、主要食糧の消費者価格引上げ実施</p> <p>23 G・H・Q、1ドル360円の単一為替レート設定を発表（25日実施）</p>	<p>17 県庁舎復興ダービー始まる 20 県印刷局設置</p> <p>28 県災害救助対策協議会設置</p> <p>30 定例県議会（4/30） 佐賀木工補導所を佐賀建築工公共職業補導所に吸収、武雄建築工公共職業補導所廃止</p>
5月	<p>2 国民金融公庫法公布施行</p> <p>4 日中貿易促進会結成 5 初の「子供の日」 8 初の「母の日」 10 シャープ税制使節団来日</p> <p>12 米政府、マッカーサーに中間賠償指定施設の取立て中止を指令と発表、極東委員会に中止措置を通告 司令部証券取引所再開を許可（16日再開）</p> <p>19 シャープ税制改革方針を明示</p> <p>24 年齢を満で数える法律公布（施行25年1月1日） 25 通商産業省発足（商工省・貿易庁解体）</p> <p>31 国立学校設置法公布</p>	<p>1 国の地方財政委員会で県庁の復旧起債5,000万円を認可</p> <p>10 県行政整理特別委員会初会合 臨時県庁舎移転 11 県統計協会復活</p> <p>14 県公衆浴場法運営協議会設置</p> <p>22 天皇陛下ご巡幸（県内3日間、23か所）（5/22～5/24）</p> <p>26 佐賀軍政部主催行政連絡協議会開催</p> <p>31 県警察本部屋上に鑑識実験室完成</p>
6月	<p>1 郵政省・自治庁・総理府・法務府・国税庁設置 国立新制大学発足</p> <p>6 土地改良法公布</p> <p>10 社会教育法公布 11 総司令部、国電スト中止を命令</p>	<p>1 機構改革 開拓事業課を耕地課に、開拓計画課を開拓課に改める 県貿易振興協議会設置 佐賀司法事務局、法務局と改称 3 県営印刷所竣工</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
10 県郡市町村に経済復興委員会設立 11 第1回農協各連合会整備統合委員会 20 県百合根生産組合結成大会 27 県水産業会、第1回資産処理委員会	15 県下初の民生児童委員大会開催 23 県内初の検察審査会審査行われる 29 引揚援護愛の運動県民大会開催 ○ 日住撲滅に石炭塵散布計画	13 県婦人教養大会 15 新制高校統合により19校となる 20 佐賀市立成美高開校式 24 本県初の模擬裁判劇「疑われた貞操」上演 25 佐賀大の概要決定
1 有田陶器市始まる 8 有明幹線道路完成 18 県下出炭確保協議会 19 県商工会議所連合会、経済復興推進本部を設ける 28 県立酪農講習所開所式	3 第1回児童福祉大会 15 祐徳稲荷神社火災(301坪、被害2億円) 26 済生会佐賀診療所完成	10 新制佐高開校式 13 旧制佐高最後の記念祭 15 ボーイスカウト県連盟結成式 18 県中学校PTA総会、県教育長専任を決議 23 佐賀美展開催 29 松浦教育研究会発足 31 佐賀大学発足
6 農協整備統合委員会 10 県水産業会解散総会		2 佐賀大学初代学長に九大名誉教授西久光・文理学部長に島地威雄・教育学部長に内山良男発令 7 西虹会第1回公募展 陛下巡幸写真展 13 県高校野球連盟結成式

昭和24年（1949年）

	国内・国際	県
		政 治
6 月	17 日銀政策委員会発足 18 独占禁止法改正公布 27 シベリヤからの引揚げ再開第1船高砂丸、舞鶴港に入港	15 阿部美樹志特別調達庁総裁、県庁舎設計のため実地調査 28 定例県議会（6/28～6/30）
7 月	1 国鉄、9万5,000人の首切りを発表 3 全日本労働組合連盟結成 6 下山事件発生 15 三鷹事件発生（死傷者17人）	1 佐賀軍政部、佐賀民事部と改称 県農村工業対策審議会設置 県家畜保健室設置（佐賀・唐津） 県東京事務所設置 県立虹の松原学園設置（進徳学校廃止） 神埼保健所鳥栖出張所設置 29 県職業安定審議会発足 30 臨時県議会（7/30～8/2）
8 月	11 引揚促進にポツダム政令制定 17 松川事件発生 26 シャープ使節団、税制改革勧告案発表 31 キティ台風関東地方を襲う、135人死亡	1 県開拓審議会設置 県東京事務所開所 3 県水防協議会設置 9 県標準店運動運営委員会設置 24 県第1次行政整理として48人に通告
9 月		1 福岡商工局佐賀出張所・鉄道省県道路管理事務所、知事の権限下に入る

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 県内農協連合会、統一を決定</p> <p>20 中小企業等協同組合法説明会</p> <p>28 九州酪農講習所開所式</p>	<p>15 県同胞援護会孤児写真展</p> <p>21 デラ台風来襲 死亡1人・負傷30人・家屋全壊10戸・半壊9戸</p>	<p>16 県放送教育振興会結成</p> <p>18 東与賀中に最新式教室竣工</p> <p>19 九州文学県支部結成</p>
<p>4 雑航の信用保証協会、信用協同組合に変更を協議</p> <p>5 県貯蓄推進協議会設立 昭和24年度供麦全国一のスピード完遂</p> <p>10 西唐津漁業無線局開局</p> <p>13 第1回県温泉審議会</p> <p>20 専売公社鳥栖工場操業開始</p>	<p>1 国鉄鳥栖管理部、整理人員を1,982人と発表</p> <p>4 佐賀地検、県庁舎火災の失火容疑不起訴と決定</p> <p>6 佐賀市赤松町南蕨端に、南蕨陸園(浮浪者収容所)開所</p> <p>7 国鉄鳥栖管理部、第1次整理者367人を発表 料飲店・旅館・喫茶店再開さる</p> <p>○ 唐津港に石炭の滞貨 ○ 佐嘉神社と露天街(通称カストリ横町)、土地の払下げで対立紛糾</p>	<p>4 佐賀大学の事務機構決定</p> <p>10 県柔道協会発会式</p> <p>16 佐賀大学初の入学式</p> <p>20 県教育委員会、教職員の校内政治活動禁止を指示</p> <p>23 県教委、モデル学校18校を指定</p>
<p>1 西松浦郡南波多村に県紙業試験場完成</p> <p>5 第1回県下漁業協同組合長会議</p> <p>9 県農業復興会議再出発</p> <p>11 親和銀行佐賀支店、国民金融公庫の代理業務開始 県、中小企業の合理化指導にモデル工場41を指定</p> <p>○ 経済自立促進貯蓄運動(8/1~8/31)</p>	<p>3 麓村の婦人刑務所(元片倉製糸工場跡)の入所始まる</p> <p>15 法務局、街頭人権相談所開く</p> <p>16 ジュディス台風来襲、川上・南山・北山に大被害、牛津川決壊、死亡89人・不明16人・負傷者281人・家屋全壊234戸・半壊610戸・流失128戸・浸水4万8,782戸</p> <p>25 川南工業浦ノ崎造船所、工場閉鎖のため820人に解雇予告</p>	<p>6 県社会道徳高揚運動第1回会議</p> <p>8 佐賀大西学長、農学部設置を陳情</p> <p>23 県洋裁学校協会設立</p> <p>30 県刀剣審査会発足</p> <p>○ 県教委、教員の内地留学3人を決定 ○ 県中央公民館、「今日の村あすの村」論文募集</p>
<p>1 身体障害者雇傭促進運動</p> <p>3 政府のジュディス台風被害調査団佐賀入り</p>		<p>1 佐高蓮池分校開設</p>

昭和24年（1949年）

	国内・国際	県治
		政
9 月	<p>5 第1回米価審議会開催</p> <p>15 石炭統制廃止（配炭公団廃止） シャープ税制改革勧告全文発表</p>	<p>7 県災害対策委員会設置</p> <p>10 武雄保健所設置</p> <p>12 定例県議会（9/12～9/13）</p> <p>21 県社会教育委員設置</p> <p>○ 相つぐ台風に県、治山治水5か年計画を樹立</p>
10 月	<p>1 中華人民共和国成立</p> <p>15 日韓通商協定成立</p> <p>25 第6臨時国会召集</p> <p>30 第4回秋季国体（東京）</p>	<p>1 県衣料品小売業者諮問委員会設置</p> <p>2 官庁の土曜午後の半ドン復活</p> <p>10 県農業改良普及委員、農民代表無投票当選</p> <p>11 建設省澁瀬川改修調査団来佐</p> <p>14 国警交通課、警邏交通課に改称</p>
11 月	<p>3 湯川秀樹、ノーベル賞受賞発表</p> <p>22 日英通商協定成る</p>	<p>1 県商工資材事務所設置 県陸運事務所設置</p> <p>2 県税査察員設置</p> <p>7 佐賀民事部経済、教育両課閉鎖</p> <p>8 県青少年問題協議会発会式</p> <p>10 県下市町村長協議会、自治体警察の財政措置要望</p> <p>12 県庁舎（工費7,980万円）で大林組が落札</p> <p>14 定例県議会（11/14～11/18） 戦後初めての請願書受理</p> <p>22 集団行進及び集団示威運動に関する条例施行</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>7 公共事業連絡委員会</p> <p>18 県下38の殖産会社、佐賀無尽(株)に参加決定</p> <p>24 玄海漁業協同組合設立</p> <p>○ 県漁業協同組合連合会設立決裂 ○ 伊万里湾重工業設立内定 ○ 県窯業試験場、有田焼の合理化のため、手書から転写の研究を行う</p>	<p>8 団体等規制令により、在日本朝鮮人連盟県本部解散命令</p> <p>14 東京行急行7年ぶりに開通</p> <p>17 ニュースカー「そよかぜ号」登場</p> <p>20 県立病院好生館、全国的にも珍しい病院の給食を始める</p> <p>28 佐賀市に、県営義肢修理所設置</p> <p>○ 労働組合、賃金引上げ等の攻撃的な動きから首切り反対、解雇反対等の消極的な運動に移行 ○ 妊娠中絶大流行</p>	<p>8 佐賀大学開講</p> <p>15 県教委、ポ勅令34号「学校施設確保に関する政令」により、学校内居住の教員に立ち退き命令 第1回ガールスカウト指導者講習会</p> <p>30 県、小中学校の遠足の規制を緩和 小学校6年 1泊2日以内 中学校3年 2泊3日以内</p>
<p>2 開墾地の転賃に県下初の開墾措置法適用により買い戻し</p> <p>5 有明海漁業協同組合設立総会</p> <p>6 県玄海離島振興調査</p> <p>10 馬匹組合の精算完了告示</p> <p>14 県水産試験場、松浦川河口ののり養殖に網ひびを実験 県水産業会解散</p> <p>15 佐賀信用組合発足</p> <p>16 県下第1回タイプ競技大会</p> <p>29 武雄信用組合創立総会</p>	<p>1 佐賀市、市制施行60周年記念式典挙行</p> <p>5 防犯科学展</p> <p>17 国警県本部にウソ発見機登場</p> <p>21 種痘百年記念祭</p> <p>30 小城郡内に未亡人の互助団体「みゆき会」生まれる</p>	<p>5 県教育画劇協会設立</p> <p>21 多久聖廟、孔子没後2,500年祭</p>
<p>1 書籍の定価販売復活</p> <p>7 有明干拓調査団来佐</p> <p>11 嘉瀬川水系期成同盟結成</p> <p>28 本年度供米割当を68万5,300石に減額補正</p>	<p>1 対面交通実施 鮮魚の自由販売始まる</p> <p>5 県職組、自治労脱退を通告</p> <p>8 唐津海上保安協会設立</p>	<p>1 教育委員会設立1周年</p> <p>8 県教委、高校入学試験を4年ぶりに復活</p> <p>12 佐賀大学開学記念式典挙行</p> <p>29 写真団体「佐賀光画会」発会</p>

昭和24年（1949年）・昭和25年（1950年）

	国内・国際	政	県治
		30 佐賀民事部閉鎖	
12月	<p>1 お年玉つき年賀はがき初発売 2 税制改正3法案成立</p> <p>15 漁業法公布 私立学校法公布</p> <p>20 総司令部、重要物資の統制大幅撤廃を指令</p> <p>25 全国紙、夕刊発行</p> <p>○ この年、洋裁学校激増</p>	<p>1 沖森知事「本年度供米は強権発動せず、農家の誠意と良識に訴えて完遂したい」と声明</p> <p>7 県建設業審議会設置</p> <p>11 災害復旧競馬はじまる 12 県庁新庁舎くわ入れ式</p> <p>16 県下自治体警察協議会設立</p> <p>19 機構改革 総務部秘書課及び外務課廃止 知事の下に秘書課・広報渉外課設置</p> <p>22 定例県議会（12/22～12/24）</p>	
1月	<p>1 マッカーサー、年頭の声明で日本の自衛権を強調</p> <p>7 千円札発行</p> <p>19 社会党左右両派に分裂</p>	<p>8 県庁前に供米塔建つ</p> <p>9 県種畜場唐津分場設置</p> <p>21 沖森知事、供米不振の市町村に供米促進の懇請電報うつ</p> <p>○ 県治水対策を決定</p>	
2月	<p>8 文部省、道徳教育振興方を発表</p> <p>10 G・H・Q、沖縄に恒久的基地建設を開始と声明</p> <p>28 最高裁長官に田中耕太郎決定</p>	<p>1 県嘉瀬川改修事務所・古湯土木出張所設置 県教職員身体検査審査委員会設置</p> <p>10 建設省嘉瀬川水系調査団、嘉瀬川根本改修計画案を知事に手渡す</p> <p>24 県会議事堂接収解除さる</p> <p>28 定例県議会（2/28～3/27） 農林省佐賀木炭事務所廃止</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>○ 鳥栖鉄道管理局の誘致運動盛ん</p> <p>15 料飲店再開以来、副食券の回収不良店に聴問会開く</p> <p>22 佐賀無尽株式会社創立</p>	<p>○ 助産婦に産児制限の講習会行われる</p> <p>9 武雄競輪場認可さる</p> <p>10 全佐賀農協従業員組合解散</p> <p>16 県水道協会発会式</p> <p>18 佐賀市営庶民住宅抽選会、建設予定100戸に2,000人押しかく</p>	<p>10 国連協会佐賀支部発会</p> <p>14 県社会教育委員任命</p> <p>15 C I E図書館、佐賀市役所内に開館</p> <p>24 高校演劇連盟第1回合同発表会</p> <p>○ 夕刊「佐賀日々新聞」発刊（翌年11月廃刊）</p>
<p>13 戦後はじめての卵品評会行われる</p> <p>21 北山ダム水没部落民、ダム絶対反対を決議し、ダム現場事務所の立ち退き要求</p> <p>25 県自転車振興会設立</p> <p>30 唐津中央市場認可さる</p> <p>○ 県農業会資産譲渡終わる</p>	<p>9 大鶴炭鉱不当労働行為中労委再申立</p> <p>10 武雄競輪場起工式</p> <p>17 佐労会議解散決定 佐賀・小城地方に豪雨、川上川氾濫、仮橋官人橋流出（1/17～1/18）</p> <p>○ 物価大幅下落投売り・大安売り流行</p> <p>○ 佐賀郡川上村の嘉瀬川堤防雨のたぎに決壊</p>	<p>1 同人誌「未知派」（佐賀）創刊</p> <p>10 独立展開催</p> <p>11 県教委、学校林の設置を勧奨</p>
<p>3 25年産米県の事前割当78万2,200石と決まる</p> <p>10 県養兔普及会発足</p> <p>15 九州のトップを切って供米完遂</p> <p>21 佐賀郵便局、佐賀統括郵便局に昇格</p> <p>24 地元北山ダム対策委員会、北山ダム補償調停委員会の設置に同意</p>	<p>4 県青年会館落成</p> <p>13 天建寺の渡して突風のため船てんぷく（死亡2人、不明4人）</p> <p>28 天建寺渡船転落事故水難学童村民葬</p> <p>○ 佐賀市水道、水源を井戸から河川に変更を決める</p>	<p>1 佐賀ユネスコ協力会発足</p> <p>15 NHK唐津中継局開所式</p> <p>27 県民体育大会歌入選者決定 東松浦郡鏡村村長、学校予定地の問題で辞表出す</p>

昭和25年（1950年）

	国内・国際	県治
		政
3月	<p>1 自由党発足（民主自由党・民主党連立派の合同、総裁吉田茂）</p> <p>31 食糧品配給公団等廃止 日本勸業銀行法等廃止法公布（農工銀行、北海道拓殖銀行等特殊銀行廃止）</p>	<p>1 県職員の人事考課実施さる</p> <p>20 第1回北山ダム補償調停委員会</p> <p>27 宅岐・対馬に県交易促進視察団出発</p> <p>29 県庁防衛団設置</p> <p>30 県農地買収売渡登記表彰式</p>
4月	<p>1 魚、綿製品自由販売</p> <p>3 社会党統一大会</p> <p>5 G・H・Q、経済行政の諸権限委譲に関するマーカーット書簡交付</p> <p>15 公職選挙法公布 資産再評価法公布施行</p> <p>19 第55回ボストンマラソンに日本初参加</p> <p>28 国民民主党結成</p>	<p>1 県経営伝習農場設置 県輸出農産物増殖指導所設置 佐賀事務職業補導所設置 県農村工業振興対策要綱制定 県農業試験場設置（園芸試・蚕業試・農業経営研究所を統合） 小城保健所設置 県商工資材事務所廃止</p> <p>11 県、中小企業振興の試みとして新製品の発明考案者に九州初の助成金交付を決定</p> <p>19 県産業振興対策審議会再発足</p> <p>20 県職業安定審議会、失業救済について答申 県教委、正副委員長辞表撤回</p> <p>28 県みそ及びしょう油需給調整協議会設置</p>
5月	<p>1 文化財保護委員会設置</p> <p>4 第2回参議院議員選挙公示</p> <p>10 教育委員会法の一部改正法公布（昭和27年までに未設置の町村はすべて設置を義務づけ）</p> <p>14 G・H・Q、6月末で対日ガリオア援助打ち切りを声明</p>	<p>1 県森林土木出張所設置（南山・小城） 機構改革、農林部に農林資材課を設置</p> <p>10 県職員の綱紀肅正に行政事務監察委員会を設ける</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>4 土地改良促進連盟発会式</p> <p>14 県観光映画「のび行く佐賀」撮影はじまる</p> <p>15 農協連合整備統合研究委員会発足 県観光協会再発足</p> <p>20 県農業博覧会</p> <p>22 第1回県奨励農機具指定</p> <p>23 唐津港から韓国に石炭輸出復活</p> <p>○ 雑草駆除剤2・4・Dの普及決める</p>	<p>1 県労働者大会</p> <p>8 佐賀炭労72時間ストに入る</p> <p>23 鳥栖税務署に町民税問題で押しかけ納税者大会</p> <p>○ 海の難所、波戸岬燈台に灯がつく</p>	<p>1 郷土古資料展</p> <p>19 第1回県立高校入学試験</p> <p>30 放送教育講習会</p> <p>31 優良公民館表彰式</p>
<p>9 武雄競輪場竣工式</p> <p>12 昭和25年度産芋類買上げ割当決まる(芋230万貫、馬鈴薯70万貫)</p> <p>13 天建寺橋架橋工事の許可下りる</p> <p>15 第1回武雄競輪始まる(初日売上高405万8,100円)</p> <p>18 門司税関から唐津、住の江両港の閉鎖について警告</p> <p>19 県農政懇談会発足</p> <p>25 第1回農協経営対策委員会</p> <p>○ 県営川上圃園開設</p>	<p>1 魚統制撤廃</p> <p>10 県庁前に戦後初の交通信号機設置さる</p> <p>21 占領軍ハンター博士、日本住血吸虫病調査</p> <p>22 海上保安協会唐津支部発会 全九州引揚促進大会開催</p> <p>26 県労組協議会結成大会</p>	<p>10 県私立学校審議会設置</p> <p>22 県民体育大会歌の発表会</p> <p>26 第1回県農地改革史編さん委員会</p> <p>○ 結核の先生急増、県、対策に頭を痛める</p>
<p>2 唐津港、鮮魚類輸送鉄道引込線完成</p> <p>4 北山ダム補償問題解決</p> <p>9 県内初の乳牛市開催</p> <p>12 唐津港・伊万里港、重要港湾に指定</p>	<p>2 県下初のお母さんナンバーワン選考会開催</p> <p>地労委、大鶴炭鉱解雇事件の組合側申立を棄却</p>	<p>8 大町町の長期欠席児童問題で県教委実情調査班を派遣</p> <p>13 ボーイスカウト連盟1周年大会</p>

昭和25年（1950年）

	国内・国際	政	県治
5 月	<p>26 国土総合開発法公布</p> <p>30 地方財政平衡交付金法公布施行</p>	<p>26 県立病院好生館附属看護学院設置</p> <p>29 県職員試験委員会設置</p>	
6 月	<p>6 マッカーサー、共産党中央委員会委員全員（24人）の追放指令</p> <p>15 G・H・Q、国内航空路開設を許可</p> <p>16 国警本部、集会、デモを全国的禁止</p> <p>20 労働省、失業者50万と発表</p> <p>25 朝鮮戦争始まる</p> <p>28 吉田内閣改造、労働大臣保利茂</p>	<p>1 本庁各課に係制設置</p> <p>4 参議院議員選挙、立候補4人、投票率78.7% 当選杉原荒太（自由）</p> <p>8 機構改革 農業改良課設置</p> <p>9 定例県議会（6/9～6/10）</p> <p>10 第1回県雇員採用試験</p> <p>12 県家畜保健衛生所設置（佐賀・三養基・東松浦） 県医療機関整備審議会設置 鳥栖保健所設置</p> <p>13 県産業振興対策審議会、知事諮問の中小企業振興・農村不況対策について審議</p> <p>29 佐賀労働基準局、超過勤務手当（教員）支給について知事に勧告</p> <p>30 朝鮮戦争に伴い県緊急防疫対策本部設置</p>	
7 月	<p>5 味噌、しょう油など調味料の自由販売を実施</p> <p>8 マッカーサー、警察予備隊の創設を指令</p> <p>10 日教組、「教師の倫理綱領」発表</p> <p>11 日本労働組合総評議会結成大会</p> <p>12 第8臨時国会召集</p> <p>16 大島三原山噴火</p> <p>28 新聞、通信、放送関係レッドパージ始まる</p>	<p>1 県教育委員に次次点の永倉三郎繰り上げ当選 地区農業改良委員会設置（地区農業委員会廃止） 福岡国税局協議団佐賀支部開団</p> <p>2 農地改革最後の農地買収行われる</p> <p>4 産業振興対策審議会、中小企業・農村不況対策について答申</p> <p>8 北山ダム補償問題地元承諾</p> <p>13 県失業対策本部設置</p> <p>17 朝鮮動乱対策として消防団非常訓練始まる</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 長崎～門司間に急行貨物列車登場</p> <p>22 県特産品見本市船、唐津を出航</p>	<p>16 相知町平山小学校全焼</p> <p>17 県立病院第2病棟落成</p> <p>○ 赤痢流行防止にアイスキャンディの検査行われる</p>	<p>26 第1回私立学校審議会</p> <p>28 郷土美術展</p> <p>○ 青少年赤十字団・日赤奉仕団結成</p>
<p>1 佐賀地方経済調査庁、局として再発足</p> <p>7 県農事電化協会設立総会</p> <p>8 唐津電気通信所庁舎落成 県河川協会発会</p> <p>13 住の江港から韓国へ杵島の石炭 3,300 t を輸出</p>	<p>14 輸入ストレプトマイシン7,000本割当 さる</p> <p>15 藤津郡久間村市丸鉱業久間炭鉱、地 労委の斡旋により和解成立</p>	<p>1 県教育委員会学校保健出張所設置</p> <p>17 県教育委員古賀マツヨ死去</p>
<p>1 唐津市東唐津駅前に唐津物産陳列 所開所</p> <p>3 住宅金融公庫佐賀支店店開き</p> <p>17 沖森知事、武雄温泉周辺の石炭採 掘中止を陳情</p> <p>29 県農協連再発足、事業連・信連・ 指導連の3本立</p>	<p>8 県連合みゆき会発足</p> <p>11 B・Sサイクル争議に県地労委調停 斡旋にのりだす</p>	<p>1 与賀神社楼門修理奉賛会結成</p> <p>15 県高等学校生徒補導会生まれる</p> <p>18 県教委、教員の結核保養所として東 松浦郡鏡村のホテルを買収する</p> <p>21 県幼稚園連盟結成</p>

昭和25年（1950年）

	国内・国際	県
		政 治
7 月	31 地方税法公布	
8 月	1 地方税改正法公布 10 警察予備隊令公布施行 11 三鷹事件東京地裁判決 30 マッカーサー、全労連解散を指令	15 海区漁業調整委員選挙（伊万里海区、唐津海区は無投票）投票率96% 海区漁業調整委員会事務局発足（唐津・伊万里・有明） 31 定例県議会（8/31～9/5）
9 月	1 公務員レッドパージ方針閣議決定 2 ジェーン台風、関西を襲う（死者336人・全半壊4万戸） 11 ポ政令「自作農の創設に関する政令」公布 13 キジア台風、九州・中国地方を襲う（9/13～9/14） 21 シャープ第2次税制改革審発表 30 民間放送許可申請、72社	1 県税事務所設置 9 第1回漁業調整委員会 山代町楠久字釘島を伊万里町に編入 18 国警県本部、佐賀郡高木瀬村協楽園に警察学校建設はじめる 24 自由党連合支部結成大会 25 海区漁業調整委員会事務所設置（佐賀・唐津・伊万里） ○ 県漁業調整委員会、漁業計画に着手
10 月	1 第6回国勢調査実施 14 総司令部の承認で訴願中の約1万人追放解除 17 文部省、国旗掲揚・君が代斉唱を通達	1 県人口94万5,082人 佐賀地裁唐津支部、甲号に昇格 9 教育費予算の組み替え、知事部局と話し合いつく 11 第2回教育委員選挙告示 18 定例県議会（10/18～10/19） 機構改革 経済部物資課・農林部農林資材課廃止

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>○ 本年1月から7月までの不渡手形 2億円に達す</p>		
<p>1 佐賀線にガソリンカー6年ぶりに 復活 国鉄鳥栖管理部廃止 ワラ工品の統制解除</p> <p>17 国鉄鳥栖管理局第2次誘致運動を はじめる</p> <p>18 本年度供米全国のトップをきって 完遂、割当量23万2,300石</p>	<p>12 密航者激増に備えて福岡海上保安部、 唐津海上警備救難所を強化</p> <p>16 三養基郡旭村BS自転車争議解決</p> <p>17 警察予備隊採用試験</p> <p>○ 東松浦郡入野村向島に電灯つく</p>	<p>9 肥前作陶会第1回作品展</p> <p>29 川上村久留間遺跡の調査始まる (2,000年前の弥生式住居)</p>
<p>4 東川副村、諸富橋架橋を陳情</p> <p>10 唐津線にガソリンカー復活</p> <p>18 県、農協金融救済のため県歳計余 裕金1,000万円預託</p> <p>20 県貯蓄推進連絡会発会、「佐賀県振 興割増金附定期預金」を始める 県商工振興会、商工中金の誘致を 決議</p> <p>○ 県内の魚市場、市場の乱立・魚価の 値下がり等により、休業倒産相 次ぐ</p> <p>○ 朝鮮動乱発生により石炭の貯炭減 少し始める</p>	<p>13 キジヤ台風来襲(死亡1人・不明1 人・全壊16戸・半壊17戸・流失3戸・ 浸水98戸・冠水2,500町歩) 引揚促進国民運動県本部結成</p> <p>20 衣料切符廃止</p> <p>25 食糧配給公団の民営切替えにより、 民営の米屋(362か所)一斉に開業</p> <p>26 警察予備隊幹部採用試験</p> <p>○ 朝鮮動乱により金属類が値上がりし、 電線・古鉄・鋼材ドロふえる</p>	<p>9 県庁周辺の楠木の身売り中止となる</p> <p>21 杵島郡大町町、青少年教育に自由学 校を設ける</p> <p>29 県視聴覚教育審議会設置</p>
<p>2 中小企業損失補償による融資始ま る</p> <p>7 門司税関から住の江港の閉鎖予告</p> <p>10 県振興定期預金取扱開始</p> <p>12 唐津港石炭荷役権問題解決</p> <p>19 農協資金端境期救済のため県歳計 現金一時預託を1,000万円追加</p>	<p>16 レッドパージ、石炭産業界にも波及</p>	

昭和25年（1950年）・昭和26年（1951年）

	国内・国際	県治
		政
10月	24 米政府、対日講和7原則言明	30 県防災促進協議会結成 議会事務局、総務・調査の2課制となる
11月	10 政府、旧軍人3,250人の追放解除発表 21 第9臨時国会召集 ドッジ、政府資金運用制度の改正につき政府に覚書 24 電力事業再編成令公布	10 教育委員選挙、投票率68.8% 当選松信定雄・中野いさ子・小松満 21 佐賀労働基準監督局、教職員の超勤手当の予算化を再勧告 22 県財政審議会、接客婦の玉代課税（2割）を決める 29 定例県議会（11/29）
12月	10 第10国会召集 13 地方公務員法公布 15 公益事業委員会設立 28 日本輸出銀行発足 ○ この年初めて平均寿命60歳を超える（男58歳、女61歳） ○ この年日本脳炎大流行（死者2,430人） ○ 特需景気起こる	9 田中虎登議長外3人の県会議員、重複立候補禁止のため町村長を辞職 15 県庁新庁舎落成、北山ダム展、アメリカ建設展等記念行事で賑わう 20 県建設工事標準請負契約約款制定 22 定例県議会（12/22～12/23） 28 県立身体障害者授産場設置
1月	10 米大統領トルーマン、対日講和特別代表にダレスを任命	1 県教育庁機構改革 学事課・指導課廃止、教職員課・学校教育課設置 教育委員会事務局出張所を教育事務所と改称 県教育委員会事務局を県教育庁と呼称

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
23 漁協育成強化対策協議会結成 24 指導連、各市町村に産米改良協議会設ける 25 牛津町の国道25号線路線問題、5年ぶりに新北線に決定	20 レントゲン車「エンゼル号」到着 ○ 昭和バスの労使紛争に、地労委、手を焼く	21 唐津市民グラウンド完成 23 県美術工芸展 九州民事部モリス女史、本県特殊教育を視察
2 県営大浦干拓（潮止工事）竣工 杵島郡福富村昭和掘工事再開 9 本県の漁業権補償費仮割当 1億7,927万1,000円に決定 11 本年度供米割当78万2,200石に決定 12 有田商品陳列館、14年ぶりに開館 21 内水面管理委員会初会合	1 粉券制度発足 8 大浦干拓堤防決壊 9 昭和バス争議調停なる 22 健康保険団体、国民健康保険危機突破県大会を開く 25 年賀電報復活	14 現代美術展開催 17 県実業教育振興会発会 県社会教育委員会、公民館の在り方について答申 24 県教委、社会教育課・中央公民館・県立図書館の3者関係の調整について、中央公民館を文化館に改称し文化博物館的性格を持たせる事に決定
10 ローラーカナリヤ県輸出協同組合 発会式 15 県中小企業融資損失補償条例に基づき貸し出し開始さる 21 県物産会社役員決まる 鳥取県から小城郡に役牛70頭お嫁入り 県下漁業協同組合大会、漁協の再建と信漁連の結成を決める	12 有明海の沖の島灯台完成 18 佐賀保健所、佐賀市水道拡張の意見書作る 22 県内大手炭鉱越年資金要求で無期限ストに入る ○ 地労委、レッド・パージで追放された労組役員の不当労働行為申立事件の調査を始める	3 東京弦楽四重奏団演奏会 9 第1回アマチュア拳闘選手権大会 10 佐賀美術展 14 2年越しの値賀村中学校敷地決定する ○ 九州民事部ルーチ課長、50項目の教育行政の民主化・能率化を要求
11 大町信用組合発足	10 小城町営診療所竣工	7 県公民館連絡協議会結成

昭和26年（1951年）

	国内・国際	政	県治
1 月	25 グレス特使、対日講和問題調査のため来日	20 県、市町村に勸業費の増額を勧告	
2 月	2 グレス特使、集団安全保障、米軍駐留の講和方針声明 7 三井など4炭鉱、労組賃金交渉決裂のため無期限ストに突入 10 社会民主党結党（委員長平野力三）	1 地方労働委員会事務局の総務・調査課を総務課に統合 10 定例県議会（2/10～3/3） 12 県職員給与条例公布 13 地方公務員法実施に際して沖森知事、全職員に“県民の奉仕者たれ”と訓示 14 県広報委員会設置 17 山代町に災害救助法適用	
3 月	4 第1回アジア大会 22 日米商工会議所第1回会議開催 28 農業委員会法設立 31 日本開発銀行法公布	1 呼子町分村問題解決 県庁文庫設置 6 県、火力発電所設置を陳情 7 県家庭生業資金貸付条例施行（生活の援護を要する状態にある未亡人等を対象） 19 県議会図書室設置 26 定例県議会（3/26～3/28） 31 県優生結婚相談所設置	
4 月		1 県文化館設置（中央公民館廃止）	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
20 県、県中央酪農協同組合の再建にのりだす 29 県物産株式会社佐賀地区懇談会 30 明治鉱業明治佐賀炭鉱着炭式 31 本年度供米、やっと完遂	20 日本青年団連絡協議会開催 26 労働教育諮問委員会再開	○ 九州民部青少年指導顧問佐賀県事務所店開き
3 ワラ工品の価格統制廃止 15 農業改良委員会県協議会結成 22 佐賀石炭事務所、「人形石山地滑りと炭鉱の関係について、関連性なし」と発表 ○ 保温折衷苗代の普及にのりだす	5 鳥栖市で大火、国鉄管理部等26戸全焼、損害1億円 14 杵島炭鉱賃上げ要求で無期限ストに入る 16 山代町人形石山地滑り（死亡3人・22戸埋没・100戸解体避難） 25 第1回公衆衛生集談会	18 松浦文化連盟主催「浮世絵展」 19 鍋島直庸、自楽園を小城町に寄付
1 米麦を除く雑穀類の統制撤廃 11 六五郎橋竣工式 13 大町商工会議所創立総会 14 佐賀公共職業安定所、新卒中・高校生の求人開拓に自転車デモを行う 24 県水産課、新漁場計画について公聴会開く 25 県物産株式会社東京支店開店 30 県営伊万里種畜場完成 ○ 嘉瀬川下流改修工事水田買上げ補償妥結	15 県下一斉種痘接種始まる 17 県職組解散、新組合結成 21 抑留同胞救援県民大会	15 佐賀師範最後の卒業式 30 郵便友の会県連合会結成 ○ ポストンマラソン大会日本代表に内川義高（東脊振村出身）決定
1 佐賀工芸授産場開設 県米穀販売協同組合連合会設立		1 佐賀市立一中・二中を、成章中・城南中と改称

昭和26年（1951年）

	国内・国際	県治
		政
4 月	<p>2 新500円札発行</p> <p>3 宗教法人法公布施行</p> <p>11 連合国司令官マッカーサー罷免、後任にリッジュエーを任命</p> <p>19 田中茂樹、ボストンマラソンで優勝</p> <p>24 桜木町で電車炎上(桜木町事件)、死亡106人</p> <p>26 道徳教育手引書要綱を発表</p>	<p>2 県総合開発審議会設置 県結核診査協議会設置</p> <p>3 知事、県議会議員選挙告示</p> <p>4 沖森源一知事退任</p> <p>13 県主要農作物奨励品種審議会設置</p> <p>17 自由党県支部、知事選の党推薦をめぐって分裂</p> <p>20 県教育委員に有浦三男、繰り上げ当選（鍋島直紹、知事選出馬の補充）</p> <p>23 市町村長・議員選挙 佐賀市長小野哲一・唐津市長清水荘次郎当選</p> <p>29 国土総合開発法に基づく県の開発地区決定 佐賀地区（多良山系・筑後川流域）、松浦地区（上場・唐津炭田・伊万里黒川）指定</p> <p>30 知事・県議会議員選挙 知事、立候補2人・投票率93.3%・当選鍋島直紹 県議会議員、立候補113人（定員44人）、自由党16・民主党7・社会党4・無所属17、（婦人議員2人）当選</p>
	<p>1 電力再編成により東京電力など9社発足</p> <p>4 日本青年団協議会創立総会</p> <p>5 「児童憲章」制定</p> <p>8 IOC総会、日本のオリンピック復帰を承認</p> <p>17 皇太后逝去</p>	<p>4 鍋島直紹知事初登庁 大浜芳雄、副知事を辞任</p> <p>9 国土総合開発審議会第1回幹事会</p> <p>11 県会議員無所属議員、新政クラブ結成</p> <p>19 北山ダム起工式</p> <p>21 県議会議員協和同志会発足（民主7・自由3・新政3・無所属3、計16）</p> <p>28 定例県議会（5/28～5/30） 議長田中虎登、副議長百武末義選出</p> <p>○ 本県総合開発10か年計画できる</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>3 徳川権七・志波六郎助彰徳碑除 幕式</p> <p>10 東京銀行佐賀支店閉鎖 唐津港の石炭荷役機械試運転</p> <p>12 北山ダム資材運搬用ケーブル開通</p> <p>21 干拓工事再開決まる（大詫間・東 与賀・福富・浜）</p>	<p>○ 青少年の非行事件多数発生</p>	<p>2 唐津高蔵木分校完成</p> <p>○ 新学期から柔道・書道復活 ○ 県教委、週5日授業の再検討をはじめ</p>
<p>1 九州電力株式会社発足</p> <p>19 北方町商工会発足</p> <p>26 伊万里海区の北松海区への佐賀県 入漁問題解決</p> <p>30 新漁業法に基づく漁場計画告示</p> <p>○ 県、工業振興のため企業誘致にの りだす ○ 通貨安定と特需景気でうるおい、 石炭・陶磁器・紡績好況を呈し潜 在失業者激減</p>	<p>9 知事に何を望むかで、初の街頭録音 行わる</p> <p>15 国警関係の選挙違反174件、送庁475 人にのぼる</p> <p>28 県立病院横に、佐賀伝染病棟完成</p> <p>○ ハシカ流行</p>	<p>5 783年前の碑石、杵島郡橋下村で発 見さる</p> <p>6 ラジオ体操復活</p> <p>16 NHK佐賀放送局に第2放送の認可</p>

昭和26年（1951年）

	国内・国際	県治
		政
6 月	<p>1 日本労働組合総同盟発足</p> <p>4 公営住宅法公布 5 相互銀行法公布</p> <p>8 住民登録法公布 9 新土地収用法公布</p> <p>12 警察法改正公布(人口5,000人以上の町村は自治体警察を置くことができる)</p> <p>20 第1次追放解除発表 21 日本、ILO及びユネスコに加盟</p>	<p>7 副知事に館林三喜男任命</p> <p>9 浜崎町、自警返上を決議</p> <p>11 出納長に松田一男再任 12 人事委員会発足(総務・職員の一課制)</p> <p>20 第1次追放解除 県関係8人</p> <p>29 県立病院好生館改築委員会設置 30 地方公職追放612人取消し</p>
7 月	<p>1 文部省学習指導要領一般編改訂(授業時間増加、毛筆習字復活、中学に日本史復活)</p> <p>4 吉田内閣第2次改造(保利労働大臣留任)</p> <p>6 アナタハン島で敗戦を知らずにいた日本兵19人と比嘉和子帰国 10 朝鮮休戦会談始まる 11 中央賃金審議会「最低賃金制審議の基本方針」発表</p> <p>21 第1回文化功労者決定</p>	<p>2 知事指定公職追放解除 機構改革 文書課・広報渉外課・庶務課・秘書室・農業協同組合課・特産課・児童課廃止、県総合開発審議室・総務課・文書広報課・秘書課・財政課・農政課・農産課・婦人児童課新設 東京事務所を6課に編成 県庁に初の女性課長を起用</p> <p>3 第1回移動県庁開催</p> <p>5 第1回県総合開発審議会</p> <p>12 県経済部に国鉄鳥栖管理局誘致対策本部を設ける</p> <p>16 定例県議会(7/16~7/26)</p> <p>20 市町村農業委員選挙 投票率89.3%</p> <p>26 相知町、自警廃止で公聴会</p> <p>30 県肥料検査所設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>10 新漁業法による漁業権免許申請始まる</p> <p>16 有明海区漁業調整連合委員会、有明海の底引網漁の禁止を決定</p> <p>18 早津江橋竣工</p> <p>19 有明海の専管漁区問題で、佐賀・福岡県間に紛争発生</p> <p>20 佐賀魚市場発足</p> <p>○ 佐賀の石炭・金・銀の山をめざして、大手筋を含めてどっと試掘権の申請なされる</p>	<p>5 武雄保健所白石分院落成</p> <p>12 電気料金値上げ反対県民大会開く</p> <p>15 県立病院付属看護学院落成</p> <p>18 県電力協議会、総会を開き電力値上げに対する反対を決議</p> <p>○ 県衛生部、赤痢対策で大量のクロロマイセチン不足を来たす</p> <p>○ 除草剤2・4・D、全県下に普及</p>	<p>1 NHK佐賀放送局第2放送開始</p> <p>7 県教委、社会体育普及のため体育指導者講習会を始める</p> <p>9 佐賀市久保泉町「帯隈山神籠石」国の史跡に指定さる</p>
<p>16 佐賀市商工会議所青年部会発会</p> <p>25 有田町観光協会発足</p>	<p>1 県下、かんばつに見舞われる(7/1～7/6) 住吉村・黒川村、厚生省の国民健康保険団体に指定さる</p> <p>13 東松浦・西松浦・藤津で豪雨禍相次ぐ、死亡1名・負傷3名・家屋全壊3戸・半壊1戸・流失2戸・浸水2,609戸</p> <p>19 武雄競輪場問題、町民大会に発展</p> <p>23 鳥栖保健所内に、日本住血吸虫病研究所設置を決める</p>	<p>22 ユネスコ文化講座始まる</p> <p>30 追放解除の高田保馬博士、経済講演会</p>

昭和26年（1951年）

	国内・国際	県治
		政
8 月	<p>6 第2次追放解除</p> <p>18 講和会議日本全権団を決定</p> <p>27 陸海軍職業軍人追放解除 28 フルブライト教育基金設置</p>	<p>1 有明海の漁区をめぐって福岡・佐賀両県知事、鳥栖駅長室で会談 県国民健康保険診療報酬審査委員会設置</p> <p>14 沖森源一前知事急逝 15 有明海域特定地域総合開発4県連合打合わせ会</p> <p>19 呼子町、住民投票により自警廃止を決定</p> <p>21 県農業委員選挙、投票率99.7%</p> <p>25 福祉事務所を地方事務所に併置</p> <p>28 第1回県農業委員会</p> <p>○ 県下各地で、自警廃止の動き活発化 ○ 県財政、シャープ勧告で収入大幅減となり危機に陥る</p>
9 月	<p>1 民間放送始まる</p> <p>4 サンフランシスコ対日講和会議開催 8 サンフランシスコ平和条約調印 日米安全保障条約調印 10 「羅生門」ベニス映画祭でグランプリ受賞 決定 15 初の「老人の日」</p> <p>26 米価審議会、パリティ方式採用を政府に 答申（都市と農村のバランスをとる）</p> <p>○ この年から、食糧供出事後割当制となる</p>	<p>1 県内水面漁業調整規則制定 県海面漁業調整規則制定 唐津港大島岸壁ドルフィン県管理となる</p> <p>19 第1回企業誘致振興対策委員会</p> <p>25 県漁業権証券資金化協議会設置 県、工場誘致に拍車をかけるため東京・大阪に、工場誘致部会 発足 29 鳥栖町、自警廃止を決定</p>
10 月	<p>4 出入国管理令公布</p> <p>10 第12臨時国会</p>	<p>1 国警1本の14地区署発足（佐賀・唐津・有田は自警を存続） 県福祉事務所設置 県人口、94万7,615人</p> <p>3 有明海漁区紛争調停交渉、水産庁の仲介で始まる</p> <p>10 定例県議会（10/10～10/15）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>3 県漁業組合長会議、漁業証券の資金化を要望</p> <p>8 本県初の真珠養殖、伊万里海区漁業調整委員会で許可</p> <p>17 県農業共済保険審査会設置</p> <p>19 芦刈村民500人、嘉瀬川を堰止めし、枯死寸前の水田に水送る</p>	<p>3 関西県人会発足</p> <p>4 海外抑留同胞救出県民大会</p> <p>15 米軍ジェット機2機、脊振村犬井谷で衝突・墜落</p> <p>16 佐賀新聞社主催の煙火大会始まる</p> <p>17 佐賀湖候所創立以来の猛暑・37.4度</p> <p>19 杵島郡竜王村深浦大崩堤防決壊</p> <p>20 唐津市立病院建設に、市医師会反対決議</p> <p>○ 日本脳炎流行</p>	<p>6 橋保存会第1回世話人会</p> <p>11 鹿島で2,000年前のカメ棺発見さる</p> <p>26 東松浦郡鏡村柏崎貝塚、発掘調査始まる</p> <p>27 県社会教育の充実をはかるため、県視聴覚教育振興会を結成</p>
<p>1 新魚業免許告示</p> <p>4 県下一斉二化メイ虫防除始まる</p> <p>10 杵島三坑～五坑間の電車開通</p> <p>15 経済連牛乳処理工場発足 大同コンクリート佐賀工場誘致決定</p> <p>18 県・県議会・炭鉱による県石炭懇談会発会</p> <p>25 県生産組合連合協議会結成大会</p> <p>○ 佐嘉・松原神社苑内のマーケット立ち退き交渉始まる</p>	<p>3 武雄競輪場問題和解</p> <p>15 初の「老人の日」各地で敬老の行事挙行さる</p> <p>23 小城町医師会、保険医総辞職を表明</p>	<p>1 同人誌「文学解放」（北方）創刊</p> <p>3 6・3制遂行対策委員会結成</p> <p>26 県完全給食促進協議会結成式</p> <p>27 肥前忠吉320年記念美術刀剣展覧会</p>
<p>1 国民金融公庫佐賀支所開設 商工中金佐賀出張所開設</p> <p>5 農業防衛県下農民大会</p>	<p>1 唐津市医師会、自由診療に入る</p>	

昭和26年（1951年）

	国内・国際	政	県治
10月	<p>14 ルース台風、本州各地に大被害、死者・不明1,200人</p> <p>24 講和条約の賛否をめぐり社会党分裂</p> <p>25 日本航空国内線営業開始</p> <p>26 衆議院本会議で、平和・安全両条約承認</p>	<p>24 県産業指導所設置 県水産製品指導所設置</p> <p>31 県市町村農業委員会代表者会議設置</p> <p>○ 県、供米一番乗りを中止し、等級品質競争に変更する</p>	
11月	<p>1 政府、賠償交渉基本方針決定</p> <p>24 ドッジ、政府の政策を批判、物資統制の必要を強調</p>	<p>1 県産業教育審議会設置</p> <p>20 県人事委員会、県職員・教職員の給与引上げを初勧告</p> <p>26 鍋島知事、所課長会議において、供米意欲高揚・県職員の県民奉仕を要望</p> <p>30 県企業振興対策審議会、知事に答申</p>	
12月	<p>4 政府、閣議で総合開発特定地域の調査地域に有明海を指定</p> <p>10 第13国会召集</p>	<p>8 県総合開発審議会、野口研究所を招く</p> <p>10 県下12地区公平委員会連絡協議会発会</p> <p>19 県改良普及員資格試験委員会設置 県文化財調査委員設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
17 神埼そうめん協同組合結成 19 住ノ江港開発促進連盟発会 20 佐賀相互銀行設立 23 第1回県中小企業振興対策審議会	11 業務用電力25%に制限さる 14 ルース台風、死者3・重軽傷15・住家全壊155戸・流失31戸・半壊238戸 浸水1,074戸 20 武雄町50周年記念祭 25 電産九州本部電源スト 30 県庁前の際、10年ぶりに干す 31 炭労大手、無期限スト入り	11 郷土民芸浮立大祭開催 近松会館建設発起人会 15 第1回県下教育研究大会 27 県立盲学校起工式（日本一のモデル盲学校） ○ 火野葦平作「いろ」、柿右衛門商標問題に発展
7 石炭展（佐賀玉屋） 8 県、炭鉱スト解決を労使に要請 10 国民金融公庫佐賀出張所開所式 13 炭労無期限スト解決 14 本県の供米割当、66万3,200石に決定 20 北方青果市場設立認可 21 九州畜産大会 28 全九州整地競技大会 30 県漁業証券資金化協議会発会	1 国立嬉野病院で、県内初の完全看護制実施 結核予防県支部大会 3 県社会福祉協議会、初めて孝子・節婦・篤行者等を表彰 7 佐嘉・松原神社神苑緑地化期成会発会 16 県母子相談員設置 23 電産佐賀支部、電源ストに入る 24 鬼塚中学校全焼 26 佐教組、断食授業・定時退庁に入る 30 福岡気象台脊振測候所、行政整理で閉鎖 ○ パチンコ大流行	3 県教委、第1回教育文化功労者表彰 10 県高校美術連盟主催第1回県高校美術合同展覧会 18 柔道昇段試験復活 20 第1回PTA大会 21 県教委、学童のトラホーム追放にのりだす 22 全町村設置記念公民館大会 23 第1回県展開催
4 県立公園黒髪山観光施設促進期成会発会 15 県モーターボート競走会創立総会	3 健康保険担当医、一斉保険医辞退 4 大島灯台竣工 電産スト、中労委の斡旋により解決	3 与賀神社の仁王像2体、80年ぶりに与賀神社楼内に戻る

昭和26年（1951年）・昭和27年（1952年）

	国内・国際	政	県治
12月	<p>20 大山郁夫、スターリン平和賞を受賞</p> <p>25 吉田内閣第3次改造</p> <p>○ この年 肺結核、初めて死因の第2位となる（1位は脳溢血） 赤痢流行、患者9万3,000人、死者1万5,000人 パチンコ流行、流行語BG、社用族</p>	<p>22 定例県議会（12/22～12/25）</p> <p>○ 水産庁有明海区漁場境界調停難行（第2回調停）、大川→佐賀→柳川を転々</p>	
1月	<p>1 ソ連スターリン首相、日本国民に新年のメッセージ</p> <p>18 季ライン設置</p> <p>31 吉田首相、衆議院予算委員会で防衛隊新設の旨を言明</p>	<p>10 県議会全体協議会、目達原に「保安隊九州補給廠」誘致を決定</p> <p>16 機構改革 農地課を農地管理課に改める</p> <p>17 杵岐・伊万里・唐津・筑前4海区漁業調整委員会協議会発会</p> <p>28 県総合開発審議会、日本経済研究所に工鉱業等経済調査依頼</p>	
2月	<p>8 改進黨結成</p> <p>13 安保条約に基づく日本合同委員会設置</p> <p>15 日韓正式会談開始</p> <p>22 総評、マーケットバスケット方式による賃金考慮案を発表</p> <p>28 日米行政協定調印</p>	<p>13 有明海漁区紛争調停始まる</p> <p>15 社会党右派県連結成大会</p> <p>20 県森林審議会設置</p> <p>21 佐賀・福岡両県の有明漁区問題、水産庁提示の農林大臣管轄漁場設置案で妥結</p> <p>29 県農業総合計画審議会設置 定例県議会（2/29～3/22）</p>	
3月	<p>4 北海道十勝沖地震、死者・不明33人</p>	<p>1 県計量検定所設置</p> <p>3 有明海総合開発4県連合協議会発足</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
20 筑後川下流石炭資源、人工地震で探鉱はじめる 24 県種鶏改良協会設立 ○ 佐賀米戸価高揚推進委員会設置 ○ 佐賀郡新北村で、ノリの試験養殖始まる	○ ビンゴ屋からパチンコ屋に転業する者多し	20 旧成美高敷地、佐大譲渡決定 24 玉島村谷口古墳調査始まる 県教委、学校火災の発生に手を焼き「学校と火災」の単行本を配布
17 全国特産館佐賀県展示場、銀座に開設 28 有明信用協同組合発足 30 杵島東部13刀町村総合開発期成同盟会結成	12 「みどり園」落成式 13 県戦没者遺族大会 15 佐賀市に初のテレビカー登場	15 元大関佐賀ノ花、年寄二所の関取名東松浦郡鏡村葉山尻支石墓発見 31 県視聴覚教育大会、全市町村に映写機の設置を決議 ○ 各地で「小さな学校研究会」、結成
6 県農協各連合会、県農業復興会議脱退の最後通告 9 本年度供米割当、14万石減額補正される 12 白石地区総合開発期成同盟発会 15 第1回初摺俵装競技会開催 20 県酪農組合連合会発会式 25 唐津港安全宣言	17 日本棋院県支部結成 20 県庁前交叉点に自動交通信号機つく	11 恒例の鹿島ぼた餅会、7年ぶりに復活 13 旧武徳殿、国営体育館に衣替 17 県郷土史研究会三養基支部結成
		5 龍谷短大仏教科設立認可

昭和27年（1952年）

	国内・国際	県治
		政
3月	<p>6 吉田首相、自衛のための兵力は違憲にあらずと答弁</p> <p>14 企業合理化促進法公布施行</p> <p>15 社会党、警察予備隊は違憲と最高裁に提訴</p> <p>24 重光葵氏ら1,011人の追放解除</p>	<p>8 県職員第1回中央官庁留学生6人を決定</p> <p>29 臨時県議会（3/29～3/31）</p>
4月	<p>1 琉球中央政府発足</p> <p>9 日航「木星号」三原山に衝突、37人死亡</p> <p>10 NHK「君の名は」放送開始</p> <p>11 ポツダム政令廃止の法律公布</p> <p>12 破防法反対第1波ゼネスト</p> <p>21 公職追放令廃止</p> <p>26 海上警備隊発足</p> <p>28 対日平和・日米安保の両条約発効 外国人登録法公布</p>	<p>1 県教育研究所設置 県林業試験場設置 県文化財専門委員設置 県植物病害虫防除所設置（県下8か所） 佐賀事務公共職業補導所を県佐賀公共職業補導所に改める 家畜保健所を8か所に拡充 江北村、町制を施行</p> <p>7 県、西松浦郡松浦村に供米不振の最後通告</p> <p>24 西松浦郡二里村、伊万里町との合併で住民投票</p>
5月	<p>1 第22回メーデーで、皇居前広場でデモ隊と警官隊衝突</p>	<p>9 鍋島知事、財政の節減を要望</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
13 全国長者番付発表、石炭業者スラ リ（2位山口慶八・武雄町） 14 西日本海区制施行 15 県酪農組合連合会結成式 16 有明海漁業監視船「有明丸」進水 28 佐嘉・松原神社苑内露店業者移転 地決定（夕日町） 29 唐津競艇場設置決定 ○ 大和紡績4割操業短縮開始	10 県立薬業指導所開所 27 小城町の保険医辞職事件、解決 ○ 旭村を中心に日本住血吸虫病大流行	19 新生活展覧会開催 22 県婦人連絡会発足 29 第1回県青年大会 31 産業工芸展 ○ 県音楽愛好協会発足
1 唐津港湾管理者、県に決定 2 県水産製品指導所付属研究所開所 28 県茶業組合連合会発会式	18 労闘第2波スト 28 豪雨、嬉野・鹿島地方を襲う、冠水 田250町歩（4/28～4/29） 各地で講和条約発効記念行事	1 神埼高専振分校設置 17 県文化館、文部省から地方博物館の 指定を受く 18 県教委、内地留学教員19人を決定 22 佐賀文化懇話会発足 23 県教委、小中学校長会議で教育道標 10項目を指示 28 東川副青年団60人、佐高通信部に集 団入学
1 藤津郡浜町に商工会できる 12 小城炭鉍石炭化学研究所溶成磷肥 炉火入式 川上峡観光協会発会 15 有田電報電話局完成	2 県戦没者合同慰霊祭開催 3 唐津市、市制施行20周年式典行わる 10 婦人週間県婦人大会 11 県軍人恩給法復活促進連盟結成大会 県下優良家庭表彰	3 与賀神社境内修築工事完成 6 アメリカ文化センター分館開館（C I E図書館改組） 12 大川内御用窯発掘始まる

昭和27年（1952年）

	国内・国際	県治
		政
5 月	<p>19 白井義男プロボクシング世界フライ級の選手権獲得</p> <p>29 食糧管理法を改正、6月1日以降、麦の統制を徹底</p>	<p>21 県有畜農家創設審議会設置</p>
6 月	<p>1 第1次日中民間貿易協定調印</p> <p>6 教育刷新審議会にかわり中央教育審議会設置</p> <p>9 インドと平和条約調印</p> <p>21 農業復興会議、中央農業会議と改称し再発足</p> <p>30 国有財産特別措置法公布</p>	<p>5 県中小企業設備近代化資金貸付規程制定</p> <p>21 県行政刷新委員会設置</p> <p>24 国警県本部、佐賀市警と初的大幅人事交流を行う定例県議会（6/24～7/5）</p>
7 月	<p>1 全国住民登録実施 羽田空港、米軍から返還さる</p> <p>8 羽田空港に初のジェット旅客機着陸</p> <p>9 全国婦人団体連絡協議会結成</p> <p>19 ヘルシンキオリンピック大会</p> <p>21 破壊活動防止法公布施行 公安調査庁設置</p> <p>31 戦後初めて天皇・皇后兩陛下、明治神宮に参拝</p>	<p>1 地方事務所開所10周年記念式典各地で開かれる</p> <p>2 佐賀県と福岡県との筑前漁区紛争問題解決</p> <p>7 県立公園審議会設置</p> <p>14 県観光事業審議会設置</p> <p>16 改進黨県支部結成</p> <p>18 県工場、事業場等の設置奨励に関する条例制定</p> <p>21 県身体障害者更生相談所設置 有明海の農林省直轄海域の漁場計画決定</p> <p>28 県航路運営委員会設置</p> <p>○ 県、地元、海上警備隊の伊万里湾誘致運動はじめる</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
16 米軍接収の家屋解除（佐賀市、仏壇→靴箱、床の間→バー） 24 戦後初の農協大会 26 県畜産団体連合協議会発会式 31 県営住ノ江渡船「住ノ江丸」・「六角丸」就航 ○ 唐津港市営上屋の払い下げ問題、訴訟合戦に入る（水産市場3市場乱立）	19 県労働学園開園 20 精薄児童施設「めぐみ園」開園 24 佐賀少年保護観察所完成 27 各保健所に優生保護相談所併設 ○ 県内各地慰霊祭や招魂碑建立盛ん	20 県教委、「小さな学校研究会」行う 21 龍谷短期大学開学式 28 大きな学校協議会誕生 ○ 佐賀測候所「県災異誌」刊行 ○ 県文化館機関誌「明」、「新郷土」に改称
2 県住宅協会発足 4 石井樋改修問題解決 6 農民会館基金贈呈式 13 県貿易振興会解散 25 内水面漁業監視員任命 29 県生活協同組合会館完成	13 海外抑留同胞救出運動佐賀支部結成大会 22 ダイナ台風の影響で梅雨前線活動活発、100～200ミリ、家屋浸水423戸・堤防決壊4か所（6/22～6/23）	7 生活文化振興研究発表会 9 県教委、教科書の採択に注意を促す
7 県身体障害者雇用促進協会発足 12 伊万里湾経済懇談会 18 県下で初めて農村振興対策協議会発足 28 初の農業委員会大会開催 31 佐賀市神野水源地送水始める ○ 農業ホリドール使用始まる	7 豪雨、家屋浸水575戸・冠水田6,250町歩（7/7～7/9） 17 杵島炭鉱5坑で火薬爆発、死亡4人・負傷13人 26 洗心寮再建 ○ 赤痢県下に蔓延	18 肥前神社、謨国神社で再発足

昭和27年（1952年）

	国内・国際	県
		政 治
8 月	<p>1 新行政機構発足 法務省・自治庁・経済審議庁・工業技術院 国家消防本部・保安庁設置 日本電信電話公社発足 地方公営企業法公布</p> <p>8 義務教育国庫負担法公布</p> <p>24 全国青年婦人会談第1回全国大会 26 第14国会召集</p> <p>28 国会抜打ち解散</p>	<p>1 県、小城町など20か町村を水防管理団体に指定 佐賀地方経済調査局、佐賀地方監察局に改組</p> <p>8 館林副知事辞任 9 定例県議会（8/9～8/12）</p> <p>12 副知事に横尾将夫を任命 13 海区漁業調整委員選挙</p> <p>28 右派社会党県連2つに分裂 29 県風紀取締条例制定</p>
9 月	<p>5 衆議院議員選挙公示</p> <p>11 通産省兵器製造業を重要産業に指定</p>	<p>3 改進黨県連分裂</p> <p>5 保安隊九州補給廠三田川村目達原飛行場に決定</p> <p>8 臨時県議会（9/8）</p> <p>10 県教育委員会委員選挙告示</p> <p>12 機構改革 知事室設置（秘書課・総務課・開発課）</p> <p>20 市教育委員会委員選挙告示</p> <p>24 県工場事業場等設備審議会設置 25 町村教育委員会委員選挙告示</p>
10 月	<p>14 全国PTA協議会結成</p> <p>16 戦後初めて天皇・皇后両陛下、靖国神社に参拝</p>	<p>1 衆議院議員選挙 候補者17人（自由党7・改進黨2・社会(右)1・社会(左)1・共産党1・協同党1・無所属4）、投票率85.16%、当選者保利茂（自由）・愛野時一郎（無所属）・井手以誠（社会左）三池信（自由）・館林三喜男（無所属） 県人口、95万5,965人</p> <p>5 教育委員選挙 候補者4人、投票率80.46%、当選者山口クニ・中島辰己・有浦三男</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
1 唐津電報電話局に県内唯一の国際電報電話局開局 4 国鉄佐賀営業所閉鎖 9 県内初の鉄筋アパート完成 12 大蔵省、佐嘉・松原両神苑無償払い下げを決定 18 県農農連盟結成	5 満州開拓引揚者大会開催 20 県抑留同胞救出県民大会	15 第1回県下選抜軟式野球大会開催 17 県郷土研究会、北山ダム水没地総合調査を行う
6 諸富橋架設について、福岡県と協定むすぶ 15 大町・武雄信用組合合併、杵島信用組合発足 23 県代行干拓久保田掘堤防決壊	6 県結婚改善推進連絡会結成 県野犬抑留所完成 8 杵島郡・藤津郡一帯に豪雨、家屋浸水922戸 10 戦没者遺族年金初交付 13 豪雨、浸水家屋700戸・冠水田1,300町歩	10 県教委、地方教育委員会設置推進本部を設け啓蒙宣伝にのりだす ○ 日満育英会、財団法人滑舌奨学金に改組
4 第1回県営競輪実施 6 県物産斡旋協会設立 8 第1回ワラ工品製作競技会開催 11 水産庁、「西部日本海海区特殊まき網漁業調整方針」を通達	7 電産、電源ストに入る 9 動物園設置期成会発会 11 小城町立病院落成 16 山代町石倉山地滑り	12 初の県青年団体体育レクリエーション大会開催

昭和27年（1952年）・昭和28年（1953年）

	国内・国際	政	県治
10 月	<p>23 食糧増産第1次5か年計画決定 24 第15特別国会召集</p> <p>30 第4次吉田内閣成立</p>	<p>31 臨時県議会（10/31）</p> <p>○ 県土木部、佐賀平野に県営上水道を企画</p>	
11 月	<p>10 皇太子立太子礼</p>	<p>1 市町村教育委員会発足 九州敏害復旧事業団開所</p> <p>14 県、副出納長設置</p> <p>27 県、食糧増産のため、「総合5か年増産計画」を発表</p>	
12 月	<p>9 経済審議庁、電源開発5か年計画を発表</p> <p>17 政府、炭労ストに緊急調整を発動</p> <p>○ この年 空飛ぶ円盤・人工降雨、話題となる スクーター大流行 文学全集の出版相次ぐ 国民の所得、ほぼ戦前並みとなる</p>	<p>12 佐賀地方公安調査局開局</p> <p>19 定例県議会（12/19～12/25）</p> <p>24 基山・多良岳、県立公園に指定</p> <p>31 愛野時一郎代議士死去</p>	
1 月	<p>5 李承晩韓国大統領来日</p>	<p>1 県部設置条例制定</p> <p>5 江藤夏雄（自由）、衆議院議員に繰上げ当選</p> <p>8 自由党県連役員会、2年ぶりに第1自由党を吸収</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
21 県技能者養成協会設立 27 唐津海員ホーム完成 29 県園芸連北九州事務所開所式 (門司市港町) ○ 産業奨励館内に商工相談部を設置 ○ 佐賀駅前にグリコの大広告塔たつ	17 杵島炭鉱など炭労大手9鉱14組合無 期限ストに入る 相知町で昭和バス車内の丸玉煙火爆 発、死亡3・重軽傷19人 県青少年問題協議会発足 ○ 国民健康保険の休止町村、23にの ぼる	20 全国盲教育研究大会 26 「ひのくに」30周年記念総会
1 県家畜人工授精師協会創立総会 14 本年度供米割当57万8,000石に決定 16 大同コンクリート三田川工場操業 開始 17 北松海区の入漁問題解決 19 西日本建設業保証株式会社発足 20 松浦信用組合設立 ○ 杵島郡大町駅前に杵島炭鉱選炭 ビル完成	8 佐賀ロータリークラブ結成 13 第1回県衛生教育大会開催 16 三養基郡基山町養老施設「寿楽園」 落成 30 健康保険法施行25周年記念式典	20 県教委、市町村教委に権限を移譲 27 東京芸術大学交響楽団公演 アメリカ文化センター佐賀分館、S R運動を提唱(学びかつ楽しむサー クル活動)
6 県営水道促進期成会同盟結成 12 県自作農協会設立 27 財団法人佐賀県商工会館設立総会	10 鹿島町制施行40周年記念式典 17 炭労スト、62日ぶり中止 18 電産スト、86日ぶり中止	7 故佐野伯50周年記念式典 25 県地方教育委員会連合会発会 ○ 鍋島知事の「随筆風淡集」出版
11 松浦信用組合設立総会 15 唐津市の中央橋開通式 17 米の特別集荷政府指定業者決定(単 位農協133・米販系10・民間業者15)	7 大雪、ミカン・山林に大被害 10 県中央児童相談所落成 17 伊万里保健所庁舎落成	

昭和28年（1953年）

	国内・国際	県治
		政
1 月	21 農民組合総同盟結成	23 産業開発青年隊決まる 30 定例県議会（1/30～2/3）
2 月	1 NHK東京テレビ放送局本放送開始	16 県議会3派、田中議長の辞職再勧告 21 7県議、改進黨に復党 22 県議会議長の不信任問題で両派立会演説会開催
3 月	14 国会解散 15 京都～博多間、特急「かもめ」運転開始 17 鳩山一郎を総裁として自由党（分党派）正式に発足 23 中共帰国第1船興安丸舞鶴入港	2 定例県議会（3/2～4/2） 3 県人事委、知事・教委に対して定期昇給昇格の定期実施を勧告 7 大町・江北・南多久の3町村、杵島炭敏の敏産税配分で県に白紙委任 9 県議会、「議長問題妥結に関する決議」可決（不信任決議取消し）
4 月	2 日米通商航海条約調印	1 南川副村及び多良村、町制を施行 県文化財保護条例制定 青少年指導員設置

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
	19 台湾引揚者決起大会	26 教育長免許取得講習会開催 県教委、週5日制・6日制の選択は 新学期より各学校の自由と決定
3 小城家畜保健所落成 7 佐賀農林統計協会発会 14 大浦干拓潮止工事竣工	 ○ 「有明のり」の採取に成功	13 盲学校落成 18 第1回県内地方教育委員大会 22 第1回県下高校演劇コンクール開催 ○ 県教委、県産業教育審議会「佐賀県 の産業」を刊行
3 農業総合計画審議会（地域区分） 9 国土総合開発法の改正により佐賀 市・佐賀郡・三養基郡・小城郡・ 神埼郡・藤津郡・杵島郡、有明総 合開発計画区域の一部として国指 定調査地域となる 16 久保田村商工会設立 19 佐賀観光案内所竣工 20 唐津港・伊万里港・呼子港・諸富 港・住ノ江港の港湾管理者及び区 域決定 25 国鉄唐津線西唐津高架完成 27 県蚕糸業振興会創立 30 県漁業信用基金協会設立創会（7 月15日設立） ○ 県立有田窯業試験場、製土法の比 較実験を行う（有田方式と塩田方 式）	2 電産佐賀支部、委員長ら4人逮捕（通 称佐賀電産事件） 11 三養基郡一帯豪雨、切通川護岸決壊 25 佐賀市佐賀電気通信部工作工場から 出火12棟全焼、消防団員7人重傷 27 中共からの帰還者第1陣35人帰る 31 県解放農地国家補償期成同盟結成 大会	1 ラジオ長崎放送開始 20 佐賀大学第1回卒業式

昭和28年（1953年）

	国内・国際	県治
		政
4 月	<p>8 最高裁判所、公務員のスト権否認は合憲と判決</p> <p>20 ボストンマラソンで山田敏蔵優勝</p> <p>22 全日本労働組合会議結成大会</p>	<p>4 臨時県議会（4/4～4/8） 議長安永沢太、副議長向虎次選任</p> <p>19 衆議院議員選挙 立候補13人（自由党6・改進黨2・右社会1・左社会1・共産党1・労農党1・無所属1）、投票率83.7%、当選保利茂（自由）・三池信（自由）・江藤夏雄（自由）・館林三喜男（改進黨）・井手以誠（左社会）</p> <p>24 参議院議員選挙 立候補3人（社会党1・改進黨1・自由党1）、投票率75.87%、当選松岡平一（自由）</p> <p>○ 藤津郡太良村県境風配高原の県境争い、40年ぶりに解決</p>
5 月	<p>13 学制発布80周年記念式典</p> <p>21 第5次吉田内閣成立</p> <p>29 イギリス登山隊、ヒラリー、エベレスト初登頂に成功</p>	<p>20 県総合開発計画立案委員会設置</p> <p>29 臨時県議会（5/29）</p>
6 月	<p>4 中央气象台、台風の女性名称やめる</p> <p>22 保利茂、農林大臣に就任</p> <p>25 西日本大水害（6/25～6/29）</p> <p>28 関門トンネル、浸水のため運転中止</p>	<p>11 藤津郡町村会、耕地関係工事を農協から町村に工事主体を変更する</p> <p>17 初の離島移動県庁</p> <p>25 西日本大水害（28水）発生（6/25～6/29）、県下の被害249億円（県民所得の6割）に達し県政に大打撃を与える</p> <p>26 県知事、豪雨被害で県民に談話発表 保安隊災害救援初出動</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>4 福岡県漁民の佐賀県海区入漁問題解決</p> <p>7 川上川の官人橋竣工</p> <p>○ 県内初の月賦販売店開店（佐賀専門店会・モデルショップサービスの2店）</p> <p>○ 県メイ虫早期発見対策として検知・燈設置を推進</p>	<p>28 大山村・曲川村共立病院落成</p> <p>○ 宮入員撲滅にサントブライツ散布始まる</p>	<p>1 伊万里商業高校・小城高校牛津分校・武雄高校大町分校・鹿島高校嬉野分校・三義基高校三田川分校・白石高校江北分校開校、そのほか定時制課程の新設（7）、廃止（3）、全日制の新設（6）</p> <p>佐賀大学に特設美術科設置</p> <p>5 松浦文化連盟5周年記念式典</p> <p>○ 嬉野国立病院付属高等看護学院開設</p>
<p>2 城原川と嘉瀬川に琵琶湖産の稚アユを17年ぶりに放流</p> <p>4 有田焼工業用陶磁器協同組合、重油釜を発注</p> <p>9 県営デパート閉鎖</p> <p>12 呼子町商工会設立</p> <p>15 県労働金庫創立総会</p> <p>16 唐津市の舞鶴橋開通</p> <p>22 藤津開発協会創立</p> <p>26 県産業安全協会発足</p> <p>28 白石ダム竣工式</p> <p>○ 有田窯業協会設立</p>	<p>14 佐賀市水ヶ江町宗龍寺内に納骨塔除幕（戦没者1,263柱）</p> <p>31 佐炭労解散し新たに佐賀炭鉱労組協議会を設ける</p>	<p>17 県バトミントン協会発会</p> <p>25 肥前陶磁研究会発会</p> <p>30 県文化館主催第1回史蹟探訪</p>
<p>1 県労働金庫営業開始</p> <p>10 ホリドール取扱の指導員指定</p> <p>17 玉屋デパートのエレベーター、10年ぶりに復活</p>	<p>1 炭鉱九州地方本部結成大会</p> <p>4 ジュディ台風による豪雨（6/4～6/7）、死亡2人・不明2人・家屋全壊2戸・半壊16戸・浸水1,218戸</p> <p>15 社会福祉4団体発展解消し社会福祉協議会結成</p> <p>20 炭鉱職員組合結成大会</p> <p>25 豪雨（6/25～6/28）、60年ぶりの大水害、死亡59人・不明3人・負傷者336人・家屋全壊315戸・半壊574戸・流失108戸・浸水7万5,948戸</p> <p>28 切木村瓜ヶ坂部落に大規模な山崩れ発生、死者21人・不明6人・重軽傷8人</p>	<p>1 県立高校の男女共学、3割に減少</p> <p>25 県文化財専門委員会、県文化財第1次指定として基肄城跡など指定</p>

昭和28年（1953年）

	国 内・国 際	政 治
		政
6 月	30 内閣に西日本災害総合対策本部設置	30 米軍佐世保基地、県庁内に水害調査連絡班派遣 知事災害復旧協力を告諭
7 月	2 政府、西日本水害救援運動実施要綱きめる 22 離島振興法公布 25 文部省国立原子核研究所設立決定	2 臨時県議会（7/2～7/9） 9 議会、水害対策特別委員会設置 13 県税臨時減免条例公布 県中小企業6月水害復旧資金特別融資損失補償条例公布 県水害対策営農緊急資金融資損失補償条例公布 鹿児島県から復旧技術応援隊来佐 15 県広報車くすかぜ号到着 16 第1回県議会水害対策特別委員会開催 22 鍋島知事、県民にメッセージ、災害復旧を呼びかく 25 県水害復旧協議会設置 ○ 官民一体の災害復旧事業行われる
8 月	1 恩給法公布（軍人恩給復活） 5 三井鉱山、5,738人の整理案を発表 学校教育法等改正公布（教科書検定権者文 部大臣となる） 7 スト規制法公布（電気・石炭業の争議制限） 28 民間テレビ放送開始 31 文部省、小中学校のローマ字学習について 通達	7 農林省、県の北山ダム建設工事負担金の26年以降の滞納に対し て国庫補助金から差し引くと警告

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
1 水害により、1日現在575工場操業を中止 5 国鉄唐津線復旧 7 国鉄鹿児島本線鳥栖～久留米間復旧 8 県の災害復旧のため金融機関が3億円の災害復旧特別融資を決定 11 国鉄佐賀線復旧 22 嘉瀬川堤防再締切に成功 ○ 各地から嘉瀬川堤防締切に労働奉仕相次ぐ ○ 東松浦郡内の炭鉱の休廃業相次ぐ(3,600人整理)	6 高倉鉱業岩屋炭鉱、800人の人員整理を内示 9 豪雨先の被害を大きくする、城原川決壊、家屋浸水961戸 16 豪雨(7/16～7/18) 嘉瀬川堤防決壊、家屋全壊5戸・流失2戸・浸水519戸 21 二里村立病院落成 25 相知町でホリドール中毒10数人 27 災害後の赤痢、ついに500人突破 28 水禍の嘉瀬川の高潮来襲 切木村29人の水害合同葬 ○ 水害により野菜不足深刻、栄養失調続出、救援野菜募集運動実施 ○ 嘉瀬・鍋島村民、27日間水上生活する	 15 中央文化財保護委員会、唐津市の筑紫等を調査 18 県市町村教育長第1回総会県下の教科書について統一を申し合わせる 19 唐津合唱団第1回発表演奏会 29 国際陸上競技大会、走幅跳に田島政次優勝(西独ケルン) ○ 炭界不況と水害により学童の欠席激増 ○ 小中校、水害のため休校・出張授業・缶詰授業行われる
1 佐賀郡水害復旧協議会発足 9 国鉄松浦線41日ぶりに開通 10 経済連直営ふ化場落成 18 県衛生部、ホリドール取扱いについて示達 ○ 有明海の「あみ」、ホリドールによって死滅 ○ 各地で災害復旧協議会結成	5 唐津競艇場開場式 6 杵島炭鉱700余人の整理を発表 15 水害復旧県民総決起花火大会 29 杵島炭鉱650人の希望退職者募集開始 ○ 水害後で日本住血吸虫病原性22人発生 ○ 農薬ホリドール禍多発 ○ 岩屋炭鉱労組、2つに分裂	 10 佐賀高、全国高校バスケット選手権大会で優勝

昭和28年（1953年）

	国内・国際	政	県治
9 月	<p>1 町村合併促進法公布</p> <p>11 海上保安隊佐世保地方総監部設置決定 中小企業金融公庫開業</p> <p>29 日米行政協定改正調印</p>	<p>1 九州欽害復旧事業団佐賀支部発足</p> <p>14 鍋島知事、参議院水害特別委員会の開会冒頭、罹災者に恩恵を と要望</p> <p>23 県、6・7月の水害被害を249億226万円と発表</p> <p>24 定例県議会（9/24～10/3）</p>	
	<p>16 地方制度調査会、地方制度の改革に関し 答申</p> <p>23 日本、ガット総会の準加盟国となる</p> <p>24 保全経済会支払停止を発表、休業</p> <p>29 第17臨時国会召集</p>	<p>1 県関西経済事務所設置 県人口、96万2,855人 唐津警備救難署、海上保安部に昇格</p> <p>7 県身体障害者更生資金貸付条例制定 県町村合併促進審議会設置 水産製品検査所廃止</p> <p>12 県立春日園設置 県青少年問題協議会設置 県日韓漁業対策本部を設ける</p> <p>16 県婦人問題対策審議会設置 県地すべり対策審議会設置</p> <p>22 県議会発足70周年記念式</p> <p>○ 各地で町村合併促進説明会、合併懇談会行われる</p>	
11 月		<p>1 県漁港事務所設置</p> <p>7 衆議院地方行政委員会、岩屋炭鉱の紛争問題について事情聴取 のため労使の代表を喚問</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>4 県下開拓者総決起大会開催</p> <p>6 第2回有田陶器見本市開く</p> <p>12 県産米改良協会発会</p> <p>18 28年度新規干拓に廻里江と有浦採択</p> <p>○ 建設省、城原川を多目的ダム総合開発河川に指定</p> <p>○ 県農業試験場内に農国会館できる</p> <p>○ 有明海のノリ養殖に20漁協のりだす</p>	<p>1 杵島向陽園落成</p> <p>5 杵島炭鉱北方鉱業所人員整理指名解雇撤回</p> <p>14 水害復旧県民運動県協議会常任委員会第1回会合開く</p> <p>21 多良町・大浦村共立病院開院</p> <p>22 第1回県下傷夷軍人大会開催</p> <p>23 不法監禁・傷害罪で岩屋炭鉱争議に警察権発動、11人検挙</p> <p>24 杵島炭鉱病院完成 地労委、岩屋炭鉱争議の斡旋にのりだす</p> <p>25 県労働会館建設委員会</p> <p>28 岩屋炭鉱を支援して県労働者総決起大会を開く</p>	<p>21 佐賀市教委、県内初の教育研究所を設ける</p> <p>○ 同人誌「白磁」（伊万里）創刊</p>
<p>9 佐賀米声価高揚促進委員会、佐賀米の品質向上について知事に答申</p> <p>14 県水産振興5か年計画をまとめる</p> <p>16 唐津港・伊万里港運営委員会設置</p> <p>20 日中貿易促進会議県支部結成</p> <p>22 県産業開発青年隊第1次団員32人採用</p> <p>○ 肥前協会、県出身学生就職斡旋委員会設ける（東京）</p> <p>○ 県経済連、農林漁業組合連合会整備促進法に基づいて再建整備10か年計画を樹立</p>	<p>14 岩屋炭鉱争、県地方労働委員会斡旋で解雇者の全員採用により妥結</p> <p>19 県、日本住血吸虫病撲滅のため5か年計画策定を決定</p> <p>24 保全経済会休業声明、県下各界に波紋（県下約1,500人被害）</p> <p>31 抑留同胞完全救出・県戦犯全面釈放貫徹県民大会</p>	<p>4 第1回佐賀県本因坊囲碁大会</p> <p>25 江北町東照寺の身代り観世音開眼大法要（高さ3丈7尺、九州一）</p> <p>31 第1回教育関係功労者表彰</p>
<p>2 急傾斜地帯農業振興臨時措置法に基づく地域指定</p> <p>6 本県の供米割当決まる（義務供出45万石・超過12万石）</p> <p>7 県産業開発青年隊入所式</p> <p>8 佐賀市電話、自動式となる</p> <p>15 藤津信用組合創立総会</p>		<p>3 佐賀市の「佐嘉城跡の楠」、県天然記念物に指定さる</p> <p>13 文化財専門審議会、川久保の田楽を無形文化財に指定</p> <p>17 第1回県商業美術展</p>

昭和28年（1953年）・昭和29年（1954年）

	国内・国際	県治
		政
11 月	<p>29 鳩山一郎ら23人、自由党に復党決定 30 第18臨時国会召集</p>	<p>20 日中貿易促進県議連盟発会</p>
12 月	<p>10 第19国会召集</p> <p>24 奄美群島返還日米協定調印 31 NHKの紅白歌合戦始まる</p> <p>○ この年 スーパーマーケット出現 米凶作 蛍光灯普及 大学受験の予備校激増</p>	<p>2 漁港管理者の指定</p> <p>10 県物産沖繩見本市</p> <p>15 定例県議会（12/15～12/21）</p>
1 月	<p>2 皇居前二重橋上で参賀の群衆混乱、16人死・重軽傷63人</p> <p>15 憲法擁護国民連合発足</p>	<p>11 機構改革 世話課を援護課に改正</p> <p>30 臨時県議会（1/30～2/1）</p> <p>○ 各地で町村合併促進協議会結成される</p>
2 月		<p>2 県水文気象連絡協議会発会</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>28 関係9市町村で、上場地帯総合開発協議会を結成</p>	<p>18 佐賀ロータリークラブ、盛大なチャーターナイト</p> <p>20 多久5町村組合立隔離病舎落成</p> <p>30 鳥栖市基里町に宮入員の発見者「宮入先生学勲之碑」除幕</p> <p>○ 県、今年度の農薬中毒被害状況を発表、中毒者356人・死亡18人</p>	<p>20 佐賀大学長に西久光再選</p>
<p>3 県酒造組合、酒造研究所落成</p> <p>5 韓国からの民間貿易第1船唐津港入港</p>	<p>15 渡辺新興支払中絶に伴い県下各地で契約者大会開催、一部は武雄の本店に押しかく</p> <p>18 唐津市立病院開院</p>	<p>1 地教委発足1周年記念大会</p> <p>9 県教委、29年度から週6日制にすることに決定</p> <p>11 唐津焼武雄系古窯跡発掘調査始まる</p> <p>15 県教委29年度の入学試験から、職業・家庭を入試科目とすることに決定</p> <p>22 龍谷短大の国文科増設認可</p> <p>○ 県農地改革史完成</p>
<p>9 畑地農業改良促進法に基づく畑地地区指定</p> <p>10 県農村建設青年隊入隊式</p> <p>14 県竹材輸出組合設立</p> <p>16 国民金融公庫佐賀支所落成</p>	<p>14 第2回県労働会館建設委員会、佐賀商工会議所の買収を決定</p> <p>20 山代町浦ノ崎の伊万里湾重工（旧浦ノ崎造船所）従業員100人即時解雇</p> <p>21 母子愛育村発会</p> <p>26 保全経済会佐賀支店、唐津・武雄両支張所搜索さる</p>	<p>12 映画「日本陶磁の美」、有田町で撮影開始</p> <p>20 県、6月災害で被害を受けた重要文化財の修復を始める</p> <p>21 佐教組、教職員給料3本立反対運動にのりだす</p>
<p>1 大井手土地改良区、佐賀市水道取水の覚書の撤回を表明</p>		<p>6 天山高農塾解散</p>

昭和29年（1954年）

	国内・国際	県治
		政
2月	<p>22 教育2法（教育の政治的中立の確保に関する法律、教育公務員特例法）国会提出（6月3日公布）</p>	<p>25 地方職員嬉野保養所「しらぬひ荘」竣工 26 県道路5か年計画決定 今村益雄・米満誠之助・藤井万四郎の3県議、新政クラブから社会党に入党</p>
3月	<p>1 第5福竜丸（乗組員23人）、ビキニ環礁における米水爆実験のため被爆 8 日米相互防衛援助協定（MSA）調印 15 日教組、教育2法案反対一斉休暇闘争</p>	<p>2 定例県議会（3/2～3/31） 8 県町村合併促進委員会設置 佐賀市・兵庫村・巨勢村・西与賀村・嘉瀬村・高木瀬村に合併勧告 9 県、集約酪農地建設5か年計画決定 15 保安隊九州地区補給廠発足 17 県町村合併審議会、武内村の分村を武雄市合併後に分村させることをきめる 31 佐賀市、西与賀村・嘉瀬村・巨勢村・兵庫村・高木瀬村を編入自由・改進黨・新政クラブの県議33人で県政同志会結成 県議会、「県行政機構簡素化並びに人員整理に関する決議案（地方事務所廃止・公立学校職員の欠員不補充）」を可決</p>
4月	<p>21 大蔵法務大臣、造船疑獄に指揮権を発動 22 全日本労働組合会議結成</p>	<p>1 鳥栖市（鳥栖町・葦里村・蕨村・旭村・田代町の合併）発足 伊万里市（伊万里町・黒川村・波多津村・南波多村・大川村・松浦村・二里村・東山代村・山代町の合併）発足 武雄市（武雄町・櫛村・朝日村・若木村・武内村・東川登村・西川登村の合併）発足 鹿島市（鹿島町・能古見村・鹿島村・浜町・古枝村の合併）発足 山内村（住吉村・中通村合併）発足 有田町（有田町・東有田町合併）発足 土木出張所、土木事務所名称変更 5 県、職員の新規採用停止を決める 17 水明会（婦人県議2人）、県政同志会入り 27 県関西経済事務所展示所設置 28 県金融政策審議会設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
20 農村青少年産業振興実績研究発表大会 24 馬渡島に無線電話開通 31 県信用漁業協同組合連合会発足		
7 上場地帯特産販売協議会創立 10 有浦干拓漁業補償解決 18 県労働金庫、労働金庫法による特殊法人に組織変更 28 オランダ工科大ピーター・ヤンセン教授、有明干拓視察 31 水害克服70万石供米を祝し農民感謝祭開催	8 炭労の賃金争議、6か月ぶりに解決 31 政府発行3月宝くじ、400万円佐賀から出る	20 基山町小倉の「基肄城跡」特別史跡に指定さる 西松浦郡波多津村中学校舎やっとなり建設なる（新制中発足以来救地の位置でもめる） 21 葉がくれ音頭発表会
7 第1回県産業開発青年隊卒業式 15 神埼そうめん協同組合保税工場指定 17 玄海漁連、製氷会工場建設始める	1 国民健康保険委員会設置 10 佐高組と佐教組高校部統一なる 28 県米穀販売協同組合連合会炭鉱不況のため、米代の売掛金回収不能となる	1 小城高多久分校設置 3 唐津市立図書館完成 21 県教育委員会、新市に対し新たに中央公民館設置を勧告

昭和29年（1954年）

	国内・国際	県治
		政
4月		
5月	<p>7 仏印ディエンビエンフー陥落</p> <p>15 地方財政平衡交付金法改正公布（地方交付税法に改め、交付税率を定める）</p>	<p>1 多久市（多久村・東多久村・南多久村・西多久村・北多久町合併）発足</p> <p>2 初代鹿島市長に松浦茂無投票当選</p> <p>14 県民税条例制定</p> <p>15 初代武雄市長に中野敏雄当選</p> <p>16 初代伊万里市長に橋口四郎当選</p> <p>18 初代鳥栖市長に海口守三当選</p> <p>29 臨時県議会（5/29～6/7）</p>
6月	<p>3 学校給食法公布施行</p>	<p>5 県議会、教員削減による学力の低下論をめぐり紛糾</p> <p>7 県議会大混乱、人員整理案流れる</p> <p>11 県、夏季ボーナス支給の1か月延期を決める</p> <p>13 初代多久市長に吉木善久当選</p> <p>18 自警廃止で佐賀・唐津・有田の3市町打ち合わせる</p> <p>21 鈴木自治省次長、町村合併の実情調査で来佐し、赤字解消のため人員整理はやむなしと発表</p> <p>26 定例県議会（6/26～7/3）</p> <p>28 脊振山県立公園指定 佐賀市自治体警察署解散式</p> <p>29 唐津市自治体警察署解散式</p> <p>30 有田町自治体警察署解散式</p>
7月	<p>1 自衛隊法・防衛庁設置法・防衛秘密保護法・新警察法施行 陸・海・空の自衛隊発足</p>	<p>1 県警察本部発足 警務・公安の2部、秘書・警務・教養・会計・防犯・捜査・鑑識・警備・交通の9課</p> <p>7 県保健所運営協議会設置 県性病診療所設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内炭鉱不況に入り、首切り・送電停止・操業停止・融資打ち切りで 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 炭鉱の児童に欠食、休学で
<ul style="list-style-type: none"> 10 県農業試験場、林業試験場の落成を祝して県農林祭開催 13 嬉野町福橋～大野原特別国道、日米行政協定により竣工 16 唐津線開通50周年記念式典 22 県指尋連、農協中央会に発展解消 26 県農試三顧早冷試験地完工式 ○ 県下炭鉱の休廃鉱相次ぐ（70鉱中16鉱） ○ 有明干拓の入植希望者、入植予定213戸（県内）に対して950の応募者 	<ul style="list-style-type: none"> 17 新屋敷鉱休鉱、全員解雇 ○ 鳥栖市基里町、ネズミ総合駆除モデル地区に指定される 	<ul style="list-style-type: none"> 1 有田美術館開館 2 県一周自転車耐久レース大会開かる ○ 佐賀大放射能測定始める
<ul style="list-style-type: none"> 5 県信用保証協会認可さる 9 唐津魚市場でマグロの放射能検査 17 農協中央会新発足 22 神埼郡信用組合設立総会 ○ 佐賀駅～中ノ館線拡張工事再開 	<ul style="list-style-type: none"> 3 県連合青年団、沖繩復帰署名始める 12 国立佐賀療養所創立15周年記念式典 25 豪雨（6/25～6/26） 家屋浸水120戸、堤防決壊13か所 26 神埼郡内10町村立組合伝染病隔離病院完成 	<ul style="list-style-type: none"> 5 県PTA連合会、教員整理に反対決議 12 文芸同人誌第1回編集委員会で67点の候補名のうちから誌名を「城」と決定 22 県制作「郷土建設」映画完成
<ul style="list-style-type: none"> 1 県信用保証協会設立 唐津市に手形交換所開設 9 県農業改良協会発足 県開発課、総合開発の一資料として「40年後の佐賀」を推計 	<ul style="list-style-type: none"> 7 佐賀興業銀行15周年記念式典 9 豪雨、家屋半壊3戸・浸水35戸・道路決壊11か所・堤防決壊4か所 	

昭和29年（1954年）

	国内・国際	県治
		政
7 月	10 国立原子核研究所設置	<p>10 県、冗費節約のため庁用自動車の集中管理始める</p> <p>12 元県知事戸沢盛男死去</p> <p>13 県下7市、市長協議会をつくる</p> <p>16 市町村農業委員選挙</p> <p>21 県、ついに給料半額支給</p> <p>24 県財政再建5か年計画策定</p> <p>26 県農業会議地区代表決定</p>
8 月	<p>8 原水爆禁止署名運動全国協議会結成</p> <p>12 ガット正式加入</p> <p>19 中国政府、元軍人の戦犯4417人釈放を発表</p>	<p>2 鍋島知事、参議院地方行政委員会で県財政のいきづまりを公述</p> <p>3 参議院文部委員会、県知事から財政窮乏の事情聴取</p> <p>12 県下海区漁業調整委員会選挙 県農業会議発足（県農業委員会解散）</p> <p>23 玄海国定公園決定（昭和31年6月1日発足）</p> <p>24 世界銀行調査団、有明干拓を視察</p> <p>30 県財政再建計画（人員整理、機構の簡素化）を発表 特別清掃地域指定</p>
9 月		<p>7 県教委、対立予算案を撤回 定例県議会（9/7～9/21）</p> <p>17 県、佐賀市と5村、唐津市と4村の市村合併勧告</p> <p>18 乱闘県議会、一連の人員削減関連議案を可決</p> <p>21 県議会に異例の警官隊出動</p> <p>22 革新系議員団、横尾副知事に対し、知事・教育長の辞任要求</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>10 山口県の水害被災地に救援苗4万東送る</p> <p>17 県農業試験場、芦刈村で台湾ナギの殺草実験を行う</p> <p>18 多久商工会連合会結成される</p> <p>25 唐津港から香港に戦後初の石炭輸出</p> <p>26 県水産振興実践協議会総会</p>	<p>17 豪雨（7/17～7/19）、城原川決壊、死亡2人・不明1人・家屋浸水2,870戸</p> <p>22 岩屋炭鉱労組、中小鉱に救いの手を！欠食栄養失調児童に糧を！と県庁前に座り込む</p> <p>25 県アマチュア無線協会発会</p>	<p>10 東京の松濤学舎落成</p> <p>14 県児童文化協会制作徳川権七伝「太陽の昇る山」撮影開始 県教委、学童のクリーク等の水泳を禁止する</p> <p>23 教育委員会県（県地教委）連絡協議会発足</p> <p>24 第1回佐賀工芸作家展開催</p>
<p>6 オランダ国立デルフト工科大学P・D・ヤンセン教授から「わが国干拓計画に関する調査報告書」届く</p> <p>9 県、伊万里市の西日本漁協に廃止命令を出す</p> <p>16 南杵島漁協解散</p> <p>20 県、九大の協力のもとに「佐賀県の地質と地下資源」を刊行</p>	<p>9 中川副漁民、ホリドールで魚類全滅したとして国家補償を要求し県庁に座り込む</p> <p>19 県婦人問題研究会生まれる</p> <p>27 高教組第1回定期大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度から日本住血吸虫病予防のためのコンクリート工事を開始 ○ 県内に黄変米騒動起きる ○ 県下各地でホリドール中毒ひん発 	<p>21 アメリカン・フィールド・サービス奨励金による第1回米留留学生として唐津高生渡米</p> <p>27 県地教委連絡協議会、教育費削減問題で県教委の方針を了承</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 伊万里農林高畜産科、北海道酪農実習を行う
<p>1 県農協中央会（任意）、農協出資10億円達成運動を展開する</p> <p>5 伊万里市観光協会創立</p> <p>22 佐賀郡い草生産組合設立総会</p> <p>25 玄海の取締船「松浦丸」進水</p>	<p>17 佐教組、県の節減予算に反対し県議会前に座り込む</p> <p>20 佐教組・県労各単産、県議事堂前で「警官出動抗議大会」を開き抗議</p> <p>25 台風15号来襲、死亡1人・不明1人・家屋全壊6戸・半壊3戸・浸水6,008戸</p>	<p>15 東与賀村中学に実業高等学院設立</p> <p>18 九州一の武雄市公会堂完工</p> <p>19 ひのくに短歌会開催</p>

昭和29年（1954年）

	国内・国際	県治
		政
9月	26 青函連絡船洞爺丸函館港外で沈没、死亡1,175人	28 県人事委員会、給与勧告を見合わせる
10月	25 全国農業会議所創立総会	<p>1 佐賀市、北川副村・本庄村・金立村・鍋島村・久保泉村を編入 県人口、96万9,511人</p> <p>7 県、部課長会議で171人の職員の削減を指示</p> <p>8 自治庁、乱闘県議会に関して安永議長を召致して真相を調査</p> <p>20 臨時県議会（10/20） 県、武雄市武内町梅野地区一部の山内町への分村を勧告</p> <p>23 衆議院地方行政委員会、乱闘県議会に関連して安永県会議長・向県議会副議長・宮崎県会議員・山口県警公安部長の4人を指名召喚</p> <p>31 県、町村合併促進のため、促進班を編成し合併促進を呼びかける</p>
11月	<p>5 日本・ビルマ平和条約調印</p> <p>24 日本民主党結成、総裁鳩山一郎</p> <p>30 第20臨時国会召集</p>	<p>1 唐津市、鏡村・久里村・鬼塚村・湊村を編入 県の希望退職者210人に達する</p> <p>14 県警察本部、初の警察官採用試験</p> <p>16 県教育委員長に有浦三男・副委員長に山口クニ選任</p> <p>19 参議院文部委員会、炭鉱地帯の欠食児童対策について坂井教育長を喚問</p> <p>23 神埼町蓮池町議会、佐賀市合併を議決（7対6）</p> <p>25 定例県議会（11/25～12/4）</p> <p>30 機構改革 県地方事務所廃止、県独事務所に再編 県税事務所(5)、福祉事務所(5)、山林事務所(6)・農業事務所(8)・農地事務所新設(6) 道路整備事務所設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 国道34号線改良工事で神埼町柳田神社境内の用地買取難航 	<ul style="list-style-type: none"> 25 県招待靖国神社遺児参拝団出発 ○ 9月末の炭鉱未払賃金1億円 	
<ul style="list-style-type: none"> 5 呼子町水族館落成 6 県種鶏場嬉野育雛場設置 9 有明海のホリドールによる水産被害調査関係 4 県水産課長会議 14 有明干拓第1次入植者決定420戸(入植県内213戸・県外15戸・増反325戸) 16 天建寺橋完工 20 本年度供米割当、義務供出55万9,000石・超過要請量19万1,000石、計75万石に決定 農村建設青年隊隊舎落成 	<ul style="list-style-type: none"> 7 嬉野町の不動山線で国鉄バス谷底へ転落、死亡13人・重軽傷75人 28 県、バス路線の危険箇所249と発表 	<ul style="list-style-type: none"> 3 戦後初の県剣道大会 5 佐賀新聞創刊70周年記念式典 15 鍋島藩窯展(有田陶磁美術館) 県教委、不況炭鉱地帯の学童状況をまとめる 17 弥栄郷土図書館落成(白石町)
<ul style="list-style-type: none"> 1 県農協中央会認可 国営有明干拓311町歩に228戸入植開始 5 県営天建寺渡船場廃止 11 埼玉県から有明干拓入植第1陣到着 15 大牟田～竹崎間に定期船就航 19 葛津漁協、牟形漁協を吸収合併 25 唐津港の船舶給水、唐津市から県に移管 26 県医薬品工業協会発会 ○ 伊万里湾重工業、従業員の全員解雇を申し入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 8 佐賀市繁華街(呉服町)で大火、12戸14世帯 16 神埼郡蓮池町蒲田津で大火、15戸全焼 23 杵島炭鉱730人の人員整理案を組合に提示 	<ul style="list-style-type: none"> 3 武雄市公会堂落成式 22 盲学校30周年記念文化祭 24 7市町教委、炭鉱地区就学対策協議会と結成 26 県産業教育70周年記念式典

昭和29年（1954年）

	国内・国際	県治
		政
12 月	<p>1 吉田内閣総辞職</p> <p>10 第21国会召集 鳩山内閣成立</p> <p>20 中央教育審議会、平かな教育の再検討を文部省に答申</p> <p>○ この年 電気洗たく機普及 流行歌「お富さん」流行 新書版の出版盛ん ヘップバーンスタイル流行</p>	<p>19 民主党県支部結成式</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 県、炭鉱失業者救済のため1月から 鉱害復旧工事を繰上げ実施に決定</p> <p>3 大阪～唐津、定期航路開設</p> <p>8 県金融業協会設立</p> <p>15 佐賀商工会館完工</p> <p>17 県漁民大会</p> <p>○ 県水産試験場浜分場、種のりの人 口採苗に着手</p>	<p>3 県、狂犬病侵入防止緊急対策をた てる</p> <p>6 県連合青年団、炭鉱地帯の児童救援 歳末義援金を募る</p> <p>○ 各地で炭鉱地帯への救援活動行わ れる</p>	<p>20 同人誌「城」(佐賀)創刊</p> <p>○ 唐津城内二の丸濠埋立について、史 跡保存運動おこる</p>

昭和30年（1955年）

	国内・国際	県治	
		政	
1 月	<p>15 日本中小企業労働組合連合会発足</p> <p>24 衆議院解散</p> <p>27 文化財保護委員会重要無形文化財の第1次指定</p> <p>28 厚生省覚せい剤問題対策本部設置</p>	<p>1 唐津市、北波多村大字大杉字白石の区域を編入 多久市、小城町大字地の上字右原の一部と下右原の一部を編入 小城町、多久市東多久町大字別府字矢現袋の一部を編入</p> <p>8 県町村会館落成</p> <p>14 県町村合併推進審議会、特別委員会を設け蓮池町の分村合併について調査斡旋することを決定</p> <p>17 地方自治庁、県の財政再建計画完全実施を勧告</p> <p>31 臨時県議会（1/31）</p>	
2 月	<p>14 日本生産性本部創立総会</p> <p>15 黄綬褒章の第1回授与者決定</p>	<p>1 人事委員会事務局課制廃止</p> <p>8 鳩山首相来佐</p> <p>11 太良町発足（多良町・大浦村合併）</p> <p>21 臨時県議会（2/21）</p> <p>27 衆議院議員選挙、立候補12人（民主4・自由4・左社会2・右社会1・労農1）、投票率82.4%、当選者保利茂（自由）・八木昇（社）・井手以誠（社）・真崎勝次（民主）・大坪保雄（自由）</p> <p>28 定例県議会（2/28～3/29）</p>	
3 月		<p>1 諸富町発足（新北・東川副阿村合併） 鹿島市、七浦村（伊福地区を除く）を編入 太良町、七浦村伊福地区を編入 山内村、武雄市武内町字白川及び宇井上を編入 県警・事務刷新審議会設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 唐津手形交換所、特殊不渡届制度実施</p> <p>10 県種鶏場嬉野育雛場操業開始（九州で2番目）</p> <p>11 有明海養殖場災害復旧用特殊ブルドーザー到着</p> <p>12 クラブ佐賀発足</p> <p>18 南川副町地先国造干拓潮止工事</p> <p>20 白石町漁協解散</p> <p>27 港湾計画会議、唐津・伊万里両港の港湾整備計画を承認</p> <p>○ 県水産試験場有明海分場、アミ・エピのへい死は農薬によるものと研究結果をまとめる</p>	<p>9 県下で初の少年自衛隊員採用試験</p> <p>15 佐賀市連合青年団結団式</p>	<p>1 富士町市川「市川の杉1株」県天然記念物に指定</p> <p>18 県立高等学校入学者選抜委員会、昭和30年度の入学試験から英語も入試採点することに決定</p> <p>24 文部省、県の学校給食の普及を勧告</p> <p>31 NHK佐賀放送局、県商工会館に移転</p>
<p>10 第1回農村建設青年隊修了式</p> <p>18 北山ダム移転補償金課税問題解決</p> <p>26 県商工貯蓄組合設立総会</p>	<p>○ 財政難で唐津市の県出先機関、電話停止を受ける</p>	<p>4 佐賀商業高校、県下で初めて春の選抜高校野球への出場決定</p> <p>26 佐賀市内に初めてローラースケート場登場</p>

昭和30年（1955年）

	国内・国際	県治
		政
3 月	<p>18 第22特別国会召集</p> <p>19 第2次鳩山内閣成立 杉原荒太防衛庁長官就任</p> <p>24 日本赤十字社で佐野常民胸像除幕式</p> <p>29 中国通商使節団来日</p>	<p>15 有浦三男県教委委員長、辞職、後任松信定雄</p> <p>24 県総合開発計画書できる</p> <p>28 鍋島直紹知事辞職 住の江橋管理事務所設置</p> <p>29 知事選挙・県教育委員補欠選挙告示</p> <p>31 新神埼町発足（神埼町・西郷村・仁比山村合併）</p>
4 月	<p>6 最高裁判所、帝銀事件の上告棄却を判決、平沢被告の死刑確定</p> <p>15 日中民間漁業協定調印</p>	<p>1 県唐津港管理事務所設置（唐津港務所廃止） 川副町（中川副村・大詫間村・南川副町合併）発足 千代田村（城田村・境野村・千歳村・蓮池町の1部の合併）発足 西有田村（大山村・曲川村合併）発足 有明村（錦江村・龍王村合併）発足 嬉野町（嬉野町・吉田村合併）発足 三根村（南茂安村・三川村合併）発足 佐賀市、蓮池町の1部（大字古賀・用作・小鹿・小森田・柴屋の区域を除く）を編入 教育事務所6か所に統合</p> <p>3 県議会議員選挙告示</p> <p>15 県災害対策本部設置 武雄市・北波多村・橋下村・多久市・牛津町・芦刈村に災害救助法適用</p> <p>16 北方町に災害救助法適用 大和村（春日村・川上村・松梅村の合併）発足</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>2 県の供米補正決定（確保目標67万石、義務供出53万6千石）</p> <p>6 神埼信用組合創立総会</p> <p>12 佐賀興銀、佐賀中銀合併に仮調印（資本金2億5,000万円）</p> <p>22 県経済連、再建整備促進法の指定をうける</p> <p>25 住の江橋開通式</p> <p>31 大川～鹿島線住の江県営渡船場廃止</p>	<p>15 県会議員福田ヨシ（佐嘉城周辺の楠木保存の功労者・婦人運動家）死去</p> <p>17 嬉野町不動山に身代わり地藏尊たつ</p> <p>26 県立病院落成式</p> <p>31 敷木町の生活保護者 459世帯に達する</p>	<p>20 唐津焼中里太郎右衛門、無形文化財に指定さる</p> <p>24 「虹の松原」、特別名勝に指定さる</p> <p>28 県教委、教科書の回収を指示（貧困児童に配布）</p> <p>○ 県教委、高校授業料の減免を行う（伊万里・東松浦地区が圧倒的）</p> <p>○ 江崎利一、蓮池藩主邸を佐賀高分校に寄付</p>
<p>1 唐津シーサイドホテル、一般ホテルとして営業再開 小城信用組合設立総会 肥前漁協設立（七漁協合併）</p> <p>12 農協中央会、不振農協再建に派遣参事制を実施する</p>	<p>3 県軍人会結成</p> <p>11 塩田川に佐賀市営観光バス転落、死亡2人、負傷38人</p> <p>14 豪雨（4/14～4/17）、佐賀・長崎中心、220%に達す。死亡3人、家屋流失1戸、全壊1戸、半壊8戸、浸水7,960戸</p> <p>15 県警察本部、相次ぐバス事故に警告を発する</p>	<p>1 佐賀市神野町に高等無線電信講習所できる 佐賀龍谷学園幼稚園教員養成所認可される 鹿島実業高等学校設置</p> <p>15 佐賀大文理学部農学科、農学部昇格決定</p>

昭和30年（1955年）

	国内・国際	県治
		政
4 月	23 統一地方選挙	<p>23 知事・県議会議員選挙 知事選挙、立候補2人、投票率84.18%、鍋島直紹当選 県議会議員選挙、立候補83人（定員44）、投票率86.25%</p> <p>30 県議会保守各派、公政会を結成（県政同志会発展解消） 市町村長議員選挙 佐賀市長に小野哲一当選 唐津市長に金子道雄当選</p>
5 月	<p>7 政府米の供出割当制を廃止し、予約買付制の実施を決定</p> <p>11 宇高連絡船紫雲丸、第3宇高丸と衝突沈没死亡169人</p>	<p>6 臨時県議会（5/6～5/7） 議長山下徳夫・副議長馬場富久選任</p> <p>20 伊万里湾、県立公園に指定 21 県財政最悪となり給料遂に欠配（半分支給） 26 県財政白書「赤字財政の実態」発表 30 臨時県議会（5/30～6/4）</p>
6 月	<p>7 第1回日本母親大会</p> <p>13 日中漁業協定発効</p>	<p>6 県警察本部に監察官室設置</p> <p>15 県、期末勤勉手当0.75月分の支給を延期する</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>25 岩屋炭鉱 8 か月ぶり操業再開</p> <p>28 浜町漁協、浜町有明漁協を吸収合併</p>	<p>17 山代町で地滑り（向山炭鉱ボタ山） 29戸・140人避難</p>	<p>17 県庁演劇サークル第1回公演「頼母しき求縁」</p> <p>20 下村湖人（次郎物語の作者）死去</p> <p>26 佐賀高等理容美容学校開校式</p>
<p>13 諸富漁協、東川副漁協を吸収合併</p> <p>25 筑後川の千歳橋完工 県農業経済研究会創立</p>	<p>1 赤字に悩む多久市、職員の通勤手当を廃止</p> <p>8 杵島炭鉱労連、杵島炭鉱労働組合に改組（杵島・北方・大鶴・五坑）</p> <p>18 県、日本住血吸虫病絶滅のため鳥栖保健所内に研究室設置</p> <p>20 税金紛争で佐賀県税事務所長倒れる</p> <p>○ ツバメの実態調査、昨年 の 2 割 5 分減</p>	<p>4 祐徳博物館、博物館として登録</p> <p>11 県地方課、久保田村の教育公債を調査</p> <p>12 県下 7 市長協議会、教育委員会制度廃止を決める</p> <p>17 県教委、相次ぐ修学旅行団等の事故から修学旅行の一時中止を通知</p> <p>○ 同人誌「鳥栖文学」創刊</p> <p>○ 県教委、炭鉱地区学校児童調査団を組織し実態調査を行う</p>
<p>1 県財政難から失業対策事業就労に輪番制を実施</p> <p>6 県農林部、農薬中毒防止に、1 化期－パラチオン・2 化期－BHC と指示する</p> <p>10 県米穀売渡推進協議会結成</p> <p>14 六角川改修・補強期成同盟会結成</p> <p>16 小川・馬渡島、離島振興法の適用をうける</p>	<p>7 売春禁止法制定促進委員会県支部結成</p>	<p>3 九州地区学校図書館大会</p> <p>7 市協和館敷地、佐賀郵便局に売却される</p> <p>18 伊万里市波多津小学校、大平小学校との統合問題にからみ同盟休校</p>

昭和30年（1955年）

	国内・国際	政	県治
6 月	29 東大生産技術研究所で2段式ロケットの飛行に成功	21 県、幹部職員の給料半額支給する 22 臨時県議会（6/22）	
7 月	1 東京大学原子核研究所発足 9 生産者米価、石当たり1万160円と決定 20 経済企画庁発足 29 自動車損害賠償保証法公布	7 多久市・牛津町に災害救助法適用 13 有明海区漁業調整委員会委員補欠選挙 14 臨時県議会（7/14） 20 新白石町発足（白石町・六角村・須古村の合併） 25 県議会総務委員会、全出先機関の実情調査を始める	
8 月	6 第1回原水爆禁止世界大会 7 ソニー、トランジスタラジオを発売 10 石炭鉱業合理化臨時措置法公布 22 米軍原子砲「オネストジョン」到着を発表	6 西有田村曲川の一部の有田町への分村を勧告 県財政再建計画第1歩の機構改革 知事室（庶務班、企画班の2班制）・東京事務所を縮小、参事・主査制を設ける 10 町村合併公表 ○ 県農業試験場有明干拓試験場完成	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>21 有明 4 県農業被害対策委員会、政府に損害賠償を求める</p>	<p>23 県の赤字財政突破の決意を結集するため「生活と郷土を守る県民大会」開催</p> <p>○ 北方町の炭鉱地帯の子供、ザリガニ取りをする</p>	<p>○ 佐賀市高伝寺で鍬部燈籠発見される(隠れ切支丹の遺物)</p>
<p>4 石炭製塩事業計画第 1 回打ち合わせ会(唐津市)</p> <p>9 九州酪農講習所に数10年ぶりに和牛の炭疽病発生</p> <p>10 佐賀銀行設立総会(佐賀興業銀行と佐賀中央銀行の合併)</p> <p>21 有明海 4 県農業被害対策協議会、ノリ養殖などへの転換を決める</p> <p>25 県経済連、予約米の第 1 回集計を発表(申込み 5 万 3,000 石)</p> <p>○ 県、対琉球貿易振興に駐在員を置く(那覇市)</p>	<p>6 豪雨(7/6~7/9) 死亡 3 人、負傷 1 人、家屋全壊 2 戸 半壊 1 戸、浸水 5,932 戸</p> <p>○ 県衛生部、伝染病対策に 4 F 運動を始める、フッド(食物)・フライ(縄)・フィンガー(指)・フェーシス(糞)</p> <p>○ 炭鉱地帯の人身売買事件摘発される</p>	<p>1 佐賀大学に農学部設置</p> <p>11 県教委、新高校課程編成方針を決定</p> <p>13 県地教委連絡協議会、学校教科書の全県下統一をきめる</p>
<p>3 佐賀米銘柄対策委員会初会合</p> <p>24 県物産琉球貿易振興協会結成 祐徳産業観光大博覧会県市合同協議会、博覧会開催を決定</p>	<p>22 佐賀少年刑務所内に天山自動車学校できる</p> <p>28 脊振山の日本一のレーダー、テストを開始</p> <p>○ 森永ヒ素ミルク事件、県内に波及</p> <p>○ 各地で干ばつの被害出る</p>	<p>6 人形劇研究会「ひしの実」第 1 回公演</p> <p>18 肥前陶磁研究会、南川良系古唐津系古窯跡発掘調査はじめる 衆議院行政監察特別委員会、本県の教科書の実情調査</p> <p>22 鎮西町名護屋「名護屋城跡並びに陣跡」特別史跡に指定さる 日本考古学協会、唐津市桜馬場遺跡発掘調査始める</p>

昭和30年（1955年）

	国内・国際	政	県治
9 月	<p>10 日本、ガット正式に加盟</p> <p>30 新生活運動協会正式に発足</p>	<p>5 自由・民主両党県支部幹事長会談、保守合同についての準備を始める</p> <p>9 両社会党県支部書記長会談、統一について意見一致</p> <p>13 知事、再建整備案に県教委に協力要望</p> <p>15 人事委員会、定期昇給を行うよう県に勧告</p> <p>17 県第2次市町村合併試案なる（7市27町村）</p> <p>20 県教委、地教委へ教員600人の削減案を内示</p> <p>23 県財政確立協議会発足 臨時県議会（9/23）</p> <p>28 県選管、金子道雄唐津市長の当選無効を裁定</p> <p>29 県教委、定数条例の代わりに節減要綱を提示する</p> <p>30 新有明村発足</p> <p>○ 県下各市町村で職員の整理盛ん</p> <p>○ 基山町会田部落、国勢調査でまたもめる（県の直轄調査となる）</p>	
10 月	<p>1 第8回国勢調査、8,927万5,539人</p> <p>18 西海橋落成式</p>	<p>1 国勢調査県人口、97万3,749人</p> <p>4 有明村上牛間田地区の分村勧告 県、西有田村に分村部落の住民投票を勧告</p> <p>8 定例県議会（10/8～11/2） 県財政再建案発表（7部1室33課を5部1室26課に）</p> <p>12 松信県教委委員長、教職員定数条例案の提出を言明</p> <p>13 県教育委員4人辞表提出</p> <p>18 県教育委員会、教職員の408人の削減案を知事に送付、知事、教育委員会案をのむ 県議会に県職員定数条例の一部を改正する条例案 県部設置条例の一部を改正する条例案 県学校職員および県市町村立学校職員の定数に関する条例案 職員に対する退職手当の臨時特例に関する条例案 知事・副知事・出納長の給与の支給に関する暫定措置条例案提案（11月2日可決）</p> <p>20 西有田村南川良、上下川良青木部落、有田町合併住民投票</p> <p>25 県民税条例全面改正公布 世帯更生資金貸付事業の補助に関する条例制定</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>27 運輸省、諸富橋バス乗り入れについて公聴会開く</p> <p>28 諸富橋・大川橋開通式</p> <p>30 大川橋管理事務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関西から異常濁水と冬場の需要から石炭の商談殺到 ○ 簡易水道協会発足 ○ 木炭製造に金網木炭製造法使用始まる 	<p>5 三根村から日本住血吸虫病患者発見さる</p> <p>26 県立ろう学校に集団赤痢発生</p> <p>29 台風22号襲来（9/29～9/30）死亡1人、軽傷3人、家屋全壊9戸、半壊10戸、浸水47戸</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南米移民第1陣出発、コチア産業組合 	<p>20 県PTA連絡協議会、教育費削減反対を決議</p> <p>22 衆議院行政監察特別委員会、武雄・杵島地区の教科書採択について証人喚問</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐賀市学校校舎建設費に悩み、学校施設組合をつくり教育費の募集を検討する
<p>7 県海外協会設立準備委員会</p> <p>14 神埼久保山県道開通式</p>	<p>16 教職員首切り反対総決起大会開催</p> <p>20 大和紡績佐賀工場無期限ストに突入</p>	<p>25 県文化財保護条例制定</p>

昭和30年（1955年）

	国内・国際	県
		政 治
10 月		30 社会党県連統一大会
11 月	<p>14 日米原子力協定調印</p> <p>15 保守合同なり、自由民主党発足</p> <p>21 鳩山内閣総辞職</p> <p>22 第3次鳩山内閣成立 第24国会召集</p>	<p>1 遊興飲食税の公給領収証での徴収始まる 有明村牛間田地区を久間村に編入</p> <p>2 県教育委員会委員選挙告示</p> <p>7 県職組、自主再建整備について要望書提出</p> <p>12 県教育委員会委員補欠選挙、角田桃太郎・米満誠之助・塚本洗月・平野重徳（無投票当選）</p> <p>15 県人事委員会、期末勤勉手当増額と定期昇給の早期実現について県に対し勧告</p> <p>30 県職員の希望退職者120人に達する</p>
12 月	<p>5 文部省指導要領一般編を決定（コース制を採用）</p> <p>8 南極学術探検調査隊第1陣出発</p>	<p>10 横尾副知事退任 機構改革（人員削減に伴うもの）5部26課1室 民生部と衛生部を合併し厚生部設置 農地部廃止 出納室設置 農林事務所設置（8）（農業事務所・山林事務所・農地事務所統合） 県蚕業指導所設置（佐賀・唐津・鹿島の3か所） 性病診療所閉鎖（佐賀・唐津） 県窯業指導所廃止 鳥栖労政事務所を佐賀労政事務所鳥栖出張所に縮小 蚕業取締所廃止 農業試験場畑作分場廃止 水産試験場高木瀬養池廃止</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>28 県中小企業協同組合中央会設立総会</p> <p>○ 県水産課、ノリ種の自給をはかるため東与賀村地先で採苗試験を行う</p>		<p>31 地教委、教職員整理反対を再確認</p> <p>○ 県下の教育界、教育費の削減問題でゆれる</p>
<p>1 県中小企業連盟、中小企業協同組合中央会に改組</p> <p>14 石炭鉱業整備事業団九州支部発足</p> <p>17 第1回県技能者養成大会</p> <p>29 第1回県水産技術改良研究発表大会</p>	<p>9 県婦人会館落成</p> <p>16 九州電力労働組合佐賀支部結成大会</p> <p>18 嬉野町大野原演習場使用協定調印</p> <p>21 天山山頂にロボット雨量計設置</p> <p>25 県衛生部、子供の奇病大流行のため一斉検診を指示</p>	<p>12 伊万里市香櫛神社隣に県内唯一のお菓子の神様中島神社建立</p> <p>26 佐賀市赤松小、本県初の学校開放講座開く</p> <p>29 佐賀総合グラウンド建設基金のため東京大相撲開催</p> <p>○ 佐賀市、学校建設財源難に悩み、教育公債の代わりに建築費の業者一時立替を決定（市費の分割払い）</p>
<p>9 県畜産会発足 開拓10周年記念式典</p>	<p>9 国連創立10周年、世界人権宣言7周年、国連協会県本部6周年記念県大会</p> <p>10 県立病院60周年記念式典</p>	<p>1 佐賀市金立町西隈古墳発掘調査</p> <p>8 肥前陶磁研究会、西有田村南川良古窯発掘調査</p>

昭和30年（1955年）・昭和31年（1956年）

	国内・国際	県治
		政
12月	<p>19 原子力基本法、原子力委員会設置法公布 地方財政再建特別措置法公布施行</p> <p>29 地方財政再建促進特別措置法公布</p> <p>○ この年 輸出船ブーム 神武景気 東芝電気釜発表 マンボスタイル流行</p>	<p>16 定例県議会（12/16～12/23）</p> <p>17 県、12月分給料を繰上げ支給（期末勤勉手当支給延期）</p> <p>26 定例県議会（12/26）</p>
1月	<p>1 新潟県弥彦神社初詣の混乱で圧死124人、重軽傷94人 原子力委員会発足</p>	<p>1 有田町、西有田村の1部を編入（曲川の1部） 九州宝くじ事務協議会発足</p> <p>6 県人事委員会、人事相談所を設置</p> <p>11 自由党・民主党、県支部解散大会 自由民主党県支部結成大会</p> <p>12 社会党県支部結党10周年祭開催</p> <p>17 両院地方行政委員、本県の財政状況調査</p> <p>○ 県、地方財政再建特別措置法適用申請の準備を急ぐ</p>
2月	<p>7 文部省、幼稚園教育要領を示す</p> <p>9 衆議院、原水爆実験禁止決議案可決</p> <p>19 「週刊新潮」創刊（週刊誌ブームのはしり）</p>	<p>15 県の定期昇給昇格問題、半年ぶりに解決</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>12 鳥栖一門町間、鉄道用マイクロ回線開通</p> <p>○ この年 17年目の大豊作144万余石</p>	<p>15 県管本部に超短波無線電話開設</p> <p>24 伊万里市玉野水産所第12玉栄丸葬儀（9月14日済州島沖で船員12人行方不明）</p> <p>○ 県立病院に胃センター開設 ○ 売春を目的とする前借金契約無効事件、1年で21人に達する</p>	<p>26 佐高北校舎工事着工（佐賀市上多布施町中折）</p> <p>○ 「新郷土」予算の都合から休刊 ○ 860年前の経筒、原形のままで大町町で発見される</p>
<p>6 祐徳博覧会事務局設置</p> <p>11 有明海地域総合開発協議会、有明海大規模縮切研究会開く</p> <p>○ 玄海漁連、再建整備促進法の適用申請</p>	<p>8 豪雪（1/8～1/9） 祐徳バス・国鉄バス・昭和バス路線9本運転中止 古湯・三瀬地区積雪30cmを越える</p> <p>19 呼子ミンク捕鯨船「さよ丸」出港（戦後初めての東支那海ミンク捕鯨船）</p> <p>30 県下7市職組連絡協議会発足</p>	<p>6 県立高校、通学区の変更</p> <p>12 県教育委員会、教員採用に筆記試験実施を決定</p> <p>22 佐高教組主催第1回教育研究集会 23 県教育委員会、西隈古墳、小川内杉、鶴殿石仏群、12代柿右衛門製陶法、深掘文書、桜馬場遺跡出土品を県文化財に指定決定</p>
<p>10 県農協青年部連絡協議会結成大会開催</p> <p>13 県営上水道（牛津・久保田・芦刈地区）の通水式</p> <p>18 東与賀干拓促進期成同盟発会</p> <p>21 唐津観光協会発足</p>	<p>14 天山自治学園で初の自動車免許試験</p> <p>17 県婦連主催の婦人参政権獲得10周年記念大会開催</p> <p>18 国立佐賀病院創立10周年記念行事</p>	<p>4 県立学校及び市町村立学校職員の配当基準に関する規則公布</p> <p>10 社会教育研究会結成</p> <p>17 武雄市武雄神社の歩射祭20年ぶり開催</p> <p>27 県教委、教育事務所の統合と高校の副校長制廃止を決定</p>

昭和31年（1956年）

	国内・国際	県治
		政
2月		28 県警本部に機動隊設置 29 定例県議会（2/29～3/31） 県議会公政会、自由民主党に名称変更
3月	14 改正道路整備特別措置法公布 19 日本住宅公団初の入居者募集開始 30 学校給食法改正（中学校へ適用を拡大）	1 九州各県共同の自治宝くじの発売開始 10 県、30年4月1日以降中止の定期昇給を発令 22 有明村横手部落住民投票行われる（白石町合併派3分の2） 24 財政再建法適用の賛否をめぐり県政史上初の「県財政再建に関する公聴会」を開催 28 吉木善久多久市長、赤字財政を理由に辞職 31 有田陶芸工公共職業補導所廃止 父母のない児童等の身元保証に関する条例制定
4月	5 自民党臨時大会、初代総裁に鳩山一郎選任 16 日本道路公団発足 30 国会、小選挙区法案をめぐり大混乱（衆議院解散）	1 新白石町（橋下村の1部吸収）発足 新北方町（橋下村の1部吸収）発足 県社会教育会館設置 教育事務所5ヵ所に統合 嬉野町大字吉田の1部を五町田村に編入 7 県、諸種の会合の弁当廃止、その他徹底した経費節減方針を指示 25 定例県議会（4/25～5/15） 27 陸上自衛隊鳥栖燃料支処開庁
5月	3 第1回世界柔道選手権大会 9 日本登山隊、ヒマラヤのマナスルに初登頂	8 多久市長に石志友二当選

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>10 県米穀販売業者登録公平協議会発足</p> <p>25 産業災害殉職者合同慰霊祭</p> <p>27 県下の生産者団体、グリコ乳業後援会を結成</p>	<p>19 杵島炭鉱無期限ストに突入、会社側ロックアウトで対抗</p> <p>30 県医師会、健康保険法改正に反対し保険医を総辞退</p>	<p>1 東脊振村小川内「小川内の杉」3株、県天然記念物に指定</p> <p>7 佐賀市で初めてテレビ受像に成功</p> <p>14 県文化財保護委員会、大和村でつぶて石古墳の発掘調査始まる</p> <p>15 武雄市橘町潮見神社裏山古墳から1500年前の馬具類発見</p> <p>21 県教育振興協会主催、第1回恵まれない子のバラエティショウ開催</p> <p>○同人誌「水客」創刊</p>
<p>1 唐津市の6つの農業共済組合合併 県営水道通水式 県農協共済連合会発足</p> <p>13 佐賀観光協会、佐賀県商工会館前に観光案内所建設</p> <p>19 生産性本部九州地方本部発会（福岡）</p> <p>20 佐賀経済同友会発足</p> <p>○ 松食虫で県下各地に大被害</p>	<p>13 衛生展示会開催</p> <p>27 ビルマ関係戦没者追悼法要（戦後初めてのビルマ方面遺骨収集）</p>	<p>1 唐津高校、東高校と西高校の2校に分離独立 嬉野商業高校開校</p> <p>10 岸嶽山麓で古唐津系古窯発掘調査</p> <p>11 神埼郡仁比山神社の大御田祭始まる</p>
	<p>11 佐大教組・高教組・佐教組、県の財政再建計画に反対し県議事堂前に座り込み</p>	<p>1 嬉野商高開校式</p>

昭和31年（1956年）

	国内・国際	政	県治
5 月	<p>22 中小企業振興資金助成法公布</p> <p>24 売春防止法公布</p>	<p>15 県の財政再建計画案、県議会で可決、同時に県民の協力を要望する知事の談話発表</p> <p>17 鍋島知事、財政再建について職員に訓示</p> <p>21 県財政難のため職員の給料半額支給</p> <p>25 県財政再建に伴う県税の臨時増収に関する条例施行</p> <p>30 臨時県議会（5/30～5/31）</p>	
6 月	<p>11 工業用水法公布</p> <p>12 参議院議員選挙告示</p> <p>30 地方教育行政の組織及び運営に関する法律公布 新市町村建設促進法施行</p>	<p>7 自治庁、県財政再建案を正式承認</p> <p>10 自民党県支部、参議院選挙の公認問題にからみ7県議を除名</p> <p>22 県財政再建計画書を公表</p> <p>27 自民党杉原派、「自由民主党佐賀県第1支部」結成を決定</p>	
7 月	<p>17 経済企画庁、経済白書（日本経済の成長と近代化）を発表、技術革新による発展を強調</p>	<p>1 新白石町発足（白石町・北有明村合併）</p> <p>3 県教育委員会委員長に小松満選任 小城郡県会議員補欠選挙告示</p> <p>8 参議院議員選挙 立候補4人（自民党1、日本社会党1、共産党1、無所属1） 投票率75.36%、当選杉原荒太</p> <p>9 県人事委員会、定期昇給の完全実施を勧告</p> <p>11 県の再建債借入終わる（公募債4億2,000万円）</p> <p>16 杵島郡有明村横手・大井両地区、住民投票で白石町編入決まる</p> <p>18 小城郡県会議員補欠選挙投票率86%</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 唐津線にディーゼルカー登場</p> <p>18 沖縄経済視察団出発 平戸～呼子～博多に定期船就航</p> <p>22 県木竹工業連合会発足</p> <p>25 佐賀市で初めての海外商品見本展示会</p>	<p>14 県教委・地教委連、県PTA連等で「教育を守る県民大会」を開き財政再建計画案の修正を県に強く要望</p> <p>21 県立病院好生館に高血圧センターを開設</p>	
<p>15 リレー計算尺株式会社、県下初の会社更生法適用決定 佐賀市に正札の店登場（正札販売運動）</p> <p>18 天山幹線道路完工</p> <p>29 鹿島市商工会結成</p> <p>○ 県木造船界活況を呈す（沖縄向け輸出）</p>	<p>1 玄海国定公園発足</p> <p>4 杵島炭鉱ストに突入</p>	<p>6 中央文化財保護委員会、名護屋城跡の増築、旅館の撤去を指令</p>
<p>1 有田町立有田陶磁器技術員養成所開設 県、住ノ江橋・諸富橋を日本道路公団に移管</p> <p>16 県企業振興・誘致対策協議会開催</p>	<p>1 北山ダム工事用のトンネルでダイナマイト爆発事故</p> <p>22 玄海国定公園指定発足を記念しての松浦新八景決まる</p>	<p>4 県立ろう学校に理容科新設を認可</p> <p>11 県図書館協会発足</p>

昭和31年（1956年）

	国内・国際	県
		政 治
7 月		25 臨時県議会（7/25） 26 県農山漁村振興対策審議会設置
8 月		1 自衛隊佐賀地方連絡部発足 10 海区漁業調整委員会委員選挙、投票率有明海区80.3%、松浦海区69.61%、立候補有明海区9人、松浦海区9人 17 諸富町・川副町・福富村・太良町に災害救助法適用 20 馬場建設相、有明干拓地台風被害を視察 24 臨時県議会（8/24） 27 藤津郡塩田町・五町田村・鹿島市に災害救助法適用
9 月		1 新塩田町発足（塩田町・五町田村・久間村合併） 農林省干拓災害復旧工事指導本部設置 9 杵島郡福富村・白石町に災害救助法適用 有明村大字横手を白石町に編入 10 伊万里市・入野村に災害救助法適用 定例県議会（9/10～9/29） 25 県議会常任委員会、7から4に縮小 30 牛津町（牛津町・砥川村合併）江北町（北江町・砥川村の1部編入）玄海町（有浦村・値賀村合併）浜崎玉島町（浜崎町・玉島村合併）富士村（北山村・南山村・小関村合併、半年毎役場移動方式）鎮西町（名護屋村・打上村合併）川副町（川副町に西川副村を編入）それぞれ誕生 7市43町村となる 富士村は佐賀郡に入る
10 月		1 任命制による教育委員会発足 教育委員、小松満（委員長）・北原勝三（委員長代理）・副島博・北原定・古賀マサノ 県新市町村建設促進審議会設置 県人口、97万2,323人

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
26 武雄市踊瀬ダム通水式		24 県社会教育課「佐賀県下の文化財」刊行
8 佐賀博協賛会発足 14 本庄江改修事業認可 22 神埼郡有振ダム建設期成会結成	16 台風9号(8/16～8/18) 死亡2人、負傷11人、家屋全壊77戸、半壊98戸、流失1戸、浸水1,391戸、有明海沿岸干拓堤防決壊(大正・昭和・南川副・西川副・大福・昭和棚等) 27 豪雨 塩田川沙見川決壊、不明1人、負傷7人、家屋流失6戸、全壊8戸、半壊17戸、浸水4,073戸 31 真崎基三郎元陸軍大将死去	22 九州中国地区放送教育特別研修会
8 専売公社鳥栖新工場落成式 19 県中小企業労働相談所設置 県住の江橋管理事務所廃止 21 玄海国定公園内の特別区域指定 24 グリコ協同乳業株式会社工場落成式 29 佐賀商工会議所60周年記念式典開催	5 杵島郡福富村大福・昭和棚140戸、大潮のため軒下まで浸水 9 台風12号(9/9～9/10) 行方不明1人、重軽傷11人、家屋全壊245戸、半壊210戸、浸水817戸 15 県海外移住協会、農民の移住推進のため南米パラグアイに佐賀村建設企画 21 向山炭鉱で約500人の赤痢発生	11 第1回農漁村巡回家庭講座開始
1 鳥栖～福岡間自動即時通話開通	3 西松浦郡有田町有田タイル株式会社で2階の床ぬげ落ち、従業員59人重軽傷	2 佐賀市赤松町本願寺開館開所式

昭和31年（1956年）

	国内・国際	県治
		政
10 月	<p>7 鳩山・河野、日ソ交渉全権団としてソ連へ出発</p> <p>8 北京で初の日本商品見本市開催</p>	<p>1 県職員の吏員の級廃止</p> <p>10 自治庁、県機構6部制を承認 県公的医療機関運営審議会設置</p> <p>15 県立精神衛生相談所を佐賀保健所に付設</p> <p>24 佐賀博覧会場地鎮祭</p>
11 月	<p>8 第1次南極観測調査船「宗谷」出発</p> <p>12 第25臨時国会召集</p> <p>19 東海道線全線電化</p> <p>31 英仏軍、スエズ運河地帯進撃</p>	<p>1 県中小企業融資委員会設置</p> <p>4 山内村、県内初の新市町村建設事務局設置</p> <p>5 県、職員の呼称変更（主事・雇・給仕等の廃止）</p> <p>13 県新市町村建設促進審議会委員決定</p>
12 月	<p>13 ソ連の日本人戦犯全員釈放</p> <p>14 石橋湛山、自民党総裁に当選</p>	<p>8 自民党除名の7県議復党</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>16 佐賀電話協会発足</p> <p>19 県水産試験場浜分場、初めてのノリ人工採苗の時付を行う 松浦海区漁業調整委員会、大海区制を採用</p> <p>31 呼子漁協から呼子浦方漁協分離独立</p> <p>○ ボタ山の災害防止のため本格的植林として小城鎮にニセアカシヤを植樹</p>	<p>27 全国人権擁護委員総会開催</p>	<p>○ 県内市町村で任命制による教育長の選任行われる</p>
<p>7 昭和崩壊災害復旧工事第1期工事完工式</p> <p>25 大福棚、堤防決壊以来100日ぶり潮止工事</p> <p>28 伊万里市上水道竣工通水式</p>	<p>11 県遺族連盟創立10周年記念式典</p> <p>26 陸上自衛隊第4航空隊、神埼郡三田川村九州補給処に移転</p> <p>30 県職組、昇格昇給の実施を要求して定時退庁を行う</p>	<p>8 県高校定時制・通信教育振興会発会</p> <p>10 佐高創立80周年式典</p> <p>20 佐賀市協和館、佐嘉城跡天主園に移転決定</p> <p>30 佐賀市久保泉町龍田寺普賢延命菩薩像、唐津市桜馬場出土品、国の重要文化財に指定</p> <p>○ 劇団「ざ・ぴーおる」第1回公演「つゆ空」(武雄)</p>
<p>1 唐津ロータリークラブ結成総会</p> <p>10 県水産試験場大浦人工採苗所設置</p> <p>14 信連の県金庫指定問題解決(農業改良資金、信連扱に決定)</p> <p>15 鹿島市観光協会発足</p>	<p>10 初の婦人保護対策連絡協議会開催</p>	<p>5 県内各地で「教育を守る大会」開催</p> <p>15 県立高校定時制の統廃合の方針決定</p>

昭和31年（1956年）・昭和32年（1957年）

	国内・国際	政	県治
12月	<p>18 国連総会、日本の加盟を承認</p> <p>20 鳩山内閣総辞職</p> <p>23 石橋内閣成立</p> <p>○この1年 高原景気 流行語、太陽族・ノイローゼ・1億総白痴化</p>	<p>17 定例県議会（12/17～12/22）</p>	<p>○ 塩田町分町問題もめる</p>
1月	<p>16 労農党解党大会（社会党へ合流）</p> <p>19 西独へ炭鉱労働者59人派遣</p> <p>29 南極予備観測隊、オングル島の主要基地を「昭和基地」と命名</p>	<p>7 塩田町大草野地区代表、合併に反対し県庁におしかける</p> <p>10 県教委、教職員希望退職者の募集を始める</p>	<p>31 県、父母のない児童等の身元保証に関する条例を初めて適用</p>
2月	<p>14 初の日ソ漁業委員会開会</p>	<p>5 新市町村建設促進審議会の答申に基づき、県は市町村合併促進法第28条により、上峰村・中原村・北茂安村の3村合併及び東寄振村・三田川村の2村合併について勧告</p> <p>8 県町村合併調整委員任命</p> <p>11 唐津市で移動水産県庁開催</p> <p>14～16 佐教組、人員整理に反対し3・3・4割の休暇闘争を実施（略称3・3・4闘争）</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
	<p>27 県、国連加盟を記念し県庁前にツツジ・カエデ等150本を植樹</p> <p>30 ヲ連から最後の引揚、本県関係者9人郷土入り</p>	<p>○ 各地で定時制高校廃止反対運動行われる</p>
<p>10 唐津港からサイゴンへ石炭の初出荷</p> <p>17 日中貿易促進協議会発足</p> <p>23 県紙業振興会発足</p> <p>26 東松浦郡敵木町東和炭鉱、県下初の石炭合理化臨時措置法により買上げ</p> <p>28 県農山漁村振興顧問団現地踏査始まる(九大山田龍雄助教授ら8人)</p> <p>29 有田町香蘭社等7社を対象とした県下中小企業の設備近代化資金として609万円の政府融資が決定</p> <p>○ 唐津港、外国の石炭船でひしめく</p>	<p>19 西独への炭鉱労務者派遣第1陣に本県から4人参加</p> <p>○ 流感により県下の臨時休校157校に達す</p>	<p>5 東亜考古学会、唐津市東宇木でドルメン発掘調査</p> <p>14 放浪画家山下清、有田で廃物制作</p> <p>○ 県、初めてのフルブライト交換教師としてアリス・マー・ジョンソン女史、佐大に着任</p>
<p>8 川副町地先南川副干拓潮止工事</p> <p>11 農林省、九州農業試験場干拓部に万能造波装置完成</p> <p>20 農政懇談会結成</p>	<p>1 教職員定員削減反対教職員家族総会</p> <p>6 教職員整理反対高教組大会</p> <p>10 佐教組臨時大会、3・3・4割休暇闘争を決定</p> <p>11 杵島郡山内町で県下初の紀元節行事挙行さる</p> <p>14 佐教組、人員整理に反対し3・3・4割の休暇闘争を実施 (2/14~2/16)</p> <p>16 佐教組、要求貫徹総決起大会開催</p> <p>18 23の中・小学校長、佐教組を脱退</p>	<p>7 県小中学校長協会臨時総会、教職員の現員確保を決議</p> <p>11 県教委、休暇闘争阻止を地教委・校長協会に要請</p> <p>17 佐賀新聞社主催日本世相百年史写真展</p> <p>21 財団法人佐賀県関西寮発起人会</p>

昭和32年（1957年）

	国内・国際	県治
		政
2月	<p>23 石橋内閣総辞職</p> <p>25 岸信介内閣成立</p> <p>26 日英通商協定締結</p>	<p>28 定例県議会（2/28～3/25）</p>
3月	<p>9 政府、ソ連へ原水爆実験中止を申し入れ</p> <p>20 文部省、9月から学校剣道復活を決定</p> <p>31 特定多目的ダム法公布</p>	<p>2 佐教組・高教組の昇給昇格問題解決（3・3・6・9の権利放棄）</p> <p>16 県新市町村建設促進審議会、合併最終案を決定</p> <p>25 県議会、財政再建計画変更を可決</p> <p>30 県、最後の町村合併勧告を行う（斎振村－三瀬村、七山村－浜崎玉島町、唐津市一切木村、呼子町－鎮西町） 切木村分村問題で合併調整委員任命</p>
4月	<p>5 第1回地方自治研究全国集会</p> <p>12 第5北川丸、瀬戸内海で沈没、死亡96人</p> <p>16 国土開発縦貫自動車道建設法公布</p>	<p>1 県立協同組合学校を協同組合講習所に改組 機構改革、農林部農地管理課を農地開拓課に、耕地開拓課を耕地課に改める 県教委、3・3・4割休暇闘争を争議行為として幹部11人を停職処分</p> <p>10 佐教組、行政処分に対し人事委員会へ提訴</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>26 佐賀電話交換開始50周年記念式典</p> <p>28 東松浦郡北波多村住友鋳業唐津炭鋳閉山 政府、相知町の通産省アルコール工場の民間払下げを決める</p>	<p>27 小城地区学校長、佐教組を脱退(5人)</p>	
<p>7 玄海漁区問題交渉決裂</p> <p>14 久保田～牛津間の国道34号線バイパス完成</p> <p>15 佐賀産業観光博覧会開幕</p> <p>20 松浦海区入漁調整協議会結成</p> <p>26 食品協会佐賀支部設立総会</p> <p>29 県農業信用基金協会設立決定 立川炭鋳技能養成所第1回卒業式</p> <p>30 北山ダム完工式(貯水量2,325万㎡)</p> <p>○ 国道34号線鳥酒市内の付替工事始まる</p>	<p>1 三瀬村三瀬で11戸全焼</p> <p>2 世界動物博覧会開催</p> <p>10 日本郷友連盟県支部第1回総会</p> <p>19 小城生活協同組合設立</p> <p>○ 伊万里市人形石山・相知町佐里竹の平地割れ</p>	<p>18 P T A 県連主催、教育を守る県民総決起大会 高教組教員整理反対抗議集会</p> <p>30 有田町赤絵町上絵付(色鍋島)、今泉今右衛門、無形文化財に指定 佐賀城鯨の門、重要文化財に指定</p> <p>○ 多久聖廟の四哲像、唐津焼で復元</p> <p>○ 県小中学校長会、佐教組脱退を決める</p>
<p>20 住友鋳業唐津炭鋳閉山式</p> <p>23 協和醸造、通産省相知アルコール工場を落札</p>	<p>20 総評、佐教組幹部の処分に対抗抗議大会開く</p> <p>23 佐教組、処分撤回と凸凹人事異動の是正を要求して、県教委前に無期限座り込みを始める</p> <p>24 佐教組幹部10人、地方公務員法違反で逮捕さる</p>	<p>1 唐津市小笠原記念館開館</p> <p>9 有明東小干拓分校開校式(有明干拓)</p> <p>11 県文化館、常設博物館移行第1回企画展として「郷土の野鳥展」開催</p> <p>22 県教委、期限付教員 146人の採用を発令</p>

昭和32年（1957年）

	国内・国際	政	県治
4 月		25 衆議院文教委員会で佐教組幹部逮捕について追及	
5 月	3 岸首相「3悪」（汚職・貧乏・暴力）追放の方針を言明	10 衆議院本会議で社会党浅沼稲次郎、佐教組事件について緊急質問を行う 11 県新市町村建設促進審議会、塩田町分町問題について、塩田・嬉野・鹿島の住民投票によるよう勧告 27 人事委員会、佐教組事件初の公開審理開催 29 臨時県議会（5/29～5/31）	
6 月	14 国防会議第1次防衛力整備3か年計画発表 15 水道法公布 19 岸首相、米大統領アイゼンハワーと安保条約について会談	1 佐教組、佐教組幹部11人の行政処分無効確認の行政訴訟おこす 2 九州総合開発推進協議会発会式 4 佐教組、人事委員会に対し待遇改善の審査を請求 15 離島振興対策審議会、加唐島を離島指定地区に指定	
7 月		1 6月末の県内推計人口、終戦後初めて減少する(97万2,572人) 5 県災害対策本部設置	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
		27 県教委、休暇闘争参加者の賃金カットを決定 ○ 「佐大文学」創刊 ○ 二重配当、欠員、校長の学級担任がでるなど不適正な教員人事異動のため教科編成ができない学校もでる
2 県、水洗炭業者に対して全国初の無許可占有物除去の代執行を行う 3 佐賀市牛島町に佐賀木材市場できる 4 伊万里湾漁協発足（山代・伊万里・黒川漁協合併） 10 伊万里～博多にディーゼルカー運行 21 県農協中央会、不振農協の一斉経営診断の実施を決める ○ 杵島炭鉱経営悪化	10 伊万里市の人形石山動き始める 25 日教組主催不当弾圧反対抗議集会	4 佐賀市久保泉町川久保開行丸古墳発掘調査 7 佐賀市城東中開校式（兵庫・巨勢両中、循誘校区の統合中） 18 NHK唐津中継局に予備免許
13 白川ダム建設促進期成会発会 15 玄海漁区問題7年ぶりに解決 19 杵島炭鉱新再建計画案を発表 22 唐津市上水道の玉島川からの取水交渉解決（炭鉱廃水のため松浦川汚濁） ○ 九州電力、鮎瀬・南山両発電所建設に着工	2 伊万里市で県内初の名誉市民誕生 5 売春対策国民協議会県支部発会式 22 県共同募金会10周年記念式 県立病院に未熟児保育器設置 27 台風5号、家屋浸水77戸、道路損壊19か所、冠水田800町歩	1 佐賀農芸高南山分校、富士分校と改称 30 御船山ロック・クライミング場開山式
1 唐津魚市場設立（唐津魚市場と唐津中央魚市場の対等合併） 3 有田タイル全国初のタイル専用トンネル窯完成 北山ダム発電放水開始	1 梅雨前線の活動で豪雨（7/1～7/6）、死亡3人、重傷1人、家屋全壊1戸、半壊3戸、浸水2,332戸	2 東脊振村松隈九瀬谷「千石山さざんか自生南限地帯」天然記念物に指定

昭和32年（1957年）

	国内・国際	政	県治
7 月	8 閣議で国民体育大会方針を決定（毎年開催 県持ち回り） 10 岸内閣改造 25 諫早大水害	6 人形石山に災害救助法発動 16 農業委員選挙 投票率81.24% 18 自治省、教職員増員問題で復活増員120人、学級増による増員 50人、計170人の増員を承認(代替に3億3,000万円の支出抑制) 19 佐賀市農業委員会設置（4つの農業委員会統合） 26 杵島郡北方町・白石町に災害救助法適用 30 根本建設大臣、人形石山視察	
8 月	6 日米安全保障委員会発足 23 朝日新聞、石川達三「人間の壁」連載開始 27 茨城県東海村の原子炉に「原子の火」はじめてともる	7 臨時県議会（8/7～8/10） 12 県新市町村建設促進連絡協議会設置 15 県知地営農指導所設置	
9 月		1 県婦人相談所設置 県蚕業指導所設置 県農業試験場蚕業分場廃止 2 県地すべり対策審議会設置 9 県新市町村建設促進連絡協議会発足	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>17 厳木町浦川内部落に県内初めての みかん共同薬剤散布施設完成</p> <p>22 新農山漁村建設総合対策の地域指 定</p> <p>30 県下一の小関発電所竣工式 杵島炭鉱、抗外夫200人の抗内配転 と50時間残業協定の廃止を通告</p> <p>○ 県、地籍調査に着手 ○ 県林務課、地滑り予知器の普及を 行う</p>	<p>6 佐教組幹部4人起訴さる 伊万里市人形石山地すべりで13戸埋 没、死傷2人、行方不明6人</p> <p>12 婦人問題審議会、婦人相談所・一時 収容所の早期設置を要望（売春婦の 更生対策）</p> <p>25 集中豪雨（7/25～7/27）死亡2人 重軽傷5人、家屋全壊6戸、半壊5 戸、浸水5,670戸</p> <p>27 県自治団体職員組合連合会結成大会</p>	<p>21 佐賀サイクリング協会発会</p> <p>23 本県関西寮竣工式</p>
<p>5 県食品協会設立総会</p> <p>18 伊万里市名物の朝市、駅前通りか ら職業安定所横に移転</p> <p>20 脊振ダム建設三養基地区期成会第 1回総会</p> <p>21 白川ダム建設期成会第1回総会</p> <p>29 伊万里市、全国市町村初の地すべ り危険家屋移転資金利子補給及び 損失補償条例案を議会に提案</p>	<p>2 杵島炭鉱企業整備に反対し、組合、無 期限ストに突入</p> <p>4 日教組主催弾圧反対公正裁判要求国 民大集会</p> <p>8 長崎本線2週間ぶり復旧</p> <p>12 日本住血吸虫撲滅促進協議会発足</p> <p>15 鎮西町松島に電灯つく</p>	<p>1 県文教連盟結成大会</p> <p>3 県立図書館協議会設置 佐賀商高22年ぶりに甲子園出場決ま る</p> <p>6 佐賀市循環小に県内初の公認プール 完成</p> <p>29 県へき地教育振興会結成</p>
<p>14 県農業信用基金協会設立</p>	<p>4 九州炭労臨時大会、杵島労組の支援 と2億円カンパを決める（大町町）</p> <p>14 県総評主催杵島闘争支援総決起大会</p>	<p>12 県勤労学徒犠牲者の会結成</p>

昭和32年（1957年）

	国内・国際	政	県治
9 月	20 国産ロケット1号機カッパー4C型打上げ成功		24 県地すべり対策審議会、危険地区に人形石山・花房など38地区を第1次指定
	28 外務省初の「外交青書」を発表 30 炭労大手13社、杵島争議に対し同情スト(24時間)		28 県、杵島炭鉱争議のあつ旋にのりだす
10 月	4 ソ連人工衛星スプートニク1号打上げに成功		1 県教育委員会、刑事事件で起訴された佐教組の4幹部を休職処分 県売春対策推進委員設置 県人口、96万4,962人 7 県立病院好生館看護学院設置 、県地すべり対策審議会、危険地区24地区を第2次指定
	27 南極観測船「宗谷」出発		28 県売春防止対策本部設置 ○ 塩田町大草野部落、分町問題で塩田町と絶縁
11 月	1 日本原子力発電会社発足 第27臨時国会召集 20 日教組勤評反対集会を全国で開催		1 県農業改良普及事務所24か所を19か所に統合 県地方労働委員会、杵島炭鉱に職権あつ旋案提示 5 県、臨時職員の準職員身分切替措置試験実施を決める 8 定例県議会（11/8～11/28）

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>18 輸出木造船第1号沖繩に輸出</p>	<p>16 三菱古賀山鉾業所、県下初の保健文化賞受賞</p> <p>25 唐津市立病院の日赤移管決定</p> <p>27 県立病院に“人工腎臓、購入される</p>	<p>15 県下高校定時制・通信制教育10周年記念式典</p> <p>18 映画「張込み」の佐賀ロケーション開始</p> <p>24 県内初めての中学校給食、相知中で始まる</p>
<p>1 佐賀酒の灘進出の共同出資会社「東鶴」正式許可 東京～長崎間に特急さちかぜ運行する</p> <p>25 伊万里市橋公園に藤山雷太・森永太郎銅像除幕</p> <p>30 有明ノリの品質改善に県営検査を始める</p> <p>○ 県内山間部で大正7年以來の冷害発生</p>	<p>2 佐教組休職処分無効確認訴訟提訴</p> <p>10 婦人相談員設置 有明干拓に農林省直営診療所できる</p>	<p>8 県公立学校施設整備期成会決起大会 唐津市鏡地区宇木瀬戸口遺跡発掘調査</p> <p>31 佐賀市協和館、佐嘉城天主閣跡に移転完了</p>
<p>1 開拓堂農振興組合として12組合認定</p>	<p>1 済生会唐津病院、加唐島に診療所設ける</p> <p>3 第1回県赤ちゃんコンクール開催</p> <p>6 杵島炭鉱労組スト解除</p> <p>20 佐教組・高教組、勤務評定に反対し一斉集会</p>	<p>1 NHK唐津放送局開局</p> <p>9 佐賀チャールズ会発会</p> <p>12 多久市多久町山崎のみかん山で900年前の経筒発見</p> <p>14 新制中学10周年記念式典</p>

昭和32年（1957年）・昭和33年（1958年）

	国内・国際	県治
		政
11月	25 中小企業団体組織法公布	21 天山・脊振系地域の集約酪農振興計画公表
12月	<p>6 日ソ通商条約、東京で調印</p> <p>11 日銀百円硬貨を発行</p> <p>20 都道府県教育長協議会、勤評試案を正式決定 第28国会召集</p> <p>22 日教組勤評闘争を強化「非常事態宣言」を発す</p> <p>○ この年 なべ底不況 パートタイム 流行語「よろめき」 流行歌「船方さんよ」 天然色映画・大型映画製作盛ん</p>	<p>1 県国民健康保険普及促進審議会設置</p> <p>4 県、塩田町分町問題についてあつ旋打ち切りを通告</p> <p>11 県議会、財政審議委員会設置を決める</p> <p>12 定例県議会（12/12～12/16）</p> <p>23 臨時県議会（12/23）</p> <p>31 切木村の一部を玄海町に編入</p>
1月	<p>19 早稲田大学遠征隊キリマンジャロ登頂に成功</p> <p>20 インドネシアとの平和条約賠償協定調印</p> <p>26 紀阿航路南海丸沈没、167人死亡</p>	<p>1 東松浦郡切木村を分村し各々、唐津市、入野村に編入 肥前村、町制を施行</p> <p>4 鍋島知事、日本国連協会使節団長として米國へ出発</p> <p>20 坂井県教育長、小中学校長会の席上、勤評実施を表明</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>30 有田焼貿易協会結成</p>		<p>○ 教育界、今度は勤評闘争でもめる</p>
<p>1 九州電力飯木第2発電所完成</p> <p>3 県理容環境衛生組合創立総会 唐津～佐賀～福岡自動即時通話開 通</p> <p>12 米作り県1決まる（唐津市麻生正 美、4石3斗1升6合）</p> <p>13 有明村地先廻里江干拓起工式（日 本初のオランダ工法採用）</p>	<p>13 杵島炭鉱北方西坑を売山（石炭鉱業 整備事業団と契約）</p>	<p>13 県小中学校長会、現在の勤評につい て問題があると反対表明</p> <p>16 今中次磨、佐大学長に就任</p>
<p>○ 県、魚市場の統合にのりだす</p>		
<p>9 多久市多久炭鉱閉山</p> <p>16 佐賀市繁華街の白山・元町商店街 のアーケード起工式</p> <p>21 第3次開拓営農振興組合として18 組合指定</p> <p>23 三菱古賀山鉱業所の無人採炭機レ ッペホーベル運転始める 県経営者協会創立10周年記念式典</p> <p>31 県賃金協定連絡協議会発足</p> <p>○ 中小炭鉱の閉山相次ぐ</p>	<p>18 県公安委員会、パチンコの現金替で 31店に5日間の営業停止処分</p> <p>24 佐教組、県教委に首切り反対など、 申し入れ</p>	<p>23 唐津市城内西の唐津神社「唐津山 笠」、県重要民俗資料に指定さる</p>

昭和33年（1958年）

	国内・国際	県治
		政
2月	<p>8 在日米軍陸上部隊引揚げ完了</p> <p>25 貯炭量戦後最高となる（32年末で873万トン）</p> <p>27 科学技術庁初の科学技術白書を発表</p>	<p>5 県、3年ぶりの定期昇給を実施する</p> <p>7 県警、売春取締対策本部設置</p> <p>28 定例県議会（2/28～3/29）</p>
3月	<p>9 海底「関門国道トンネル」開通式</p>	<p>1 県集約酪農指導所設置</p> <p>3 県、三田川村に東春振村との合併を勧告</p> <p>17 県婦人更生資金貸付条例施行</p> <p>27 県、3年ぶりに初級職採用試験実施</p>
4月		<p>1 県工業試験場設置（工業技術相談室と県木竹工業試験場を合併） 西日本宝くじ事務協議会設置 東京連絡所を東京事務所に改称 県窯業試験場塩田分場廃止</p> <p>13 鹿島市長に松浦茂再選</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 国道34号線城原川神埼橋完工</p> <p>8 杵島炭鉱経営権譲渡に関し住友石炭鉱業と正式に調印</p> <p>10 松浦線にディーゼルカー運転開始</p> <p>○ 県窯業試験場、湿式サイクロンによる泉山陶土の脱鉄実験を行う</p>	<p>8 唐津日赤病院開院</p> <p>11 木下九州大学教授、嬉野温泉の泉源調査結果を発表</p> <p>16 厚生年金保険法施行15周年記念式典</p> <p>28 県下赤線地帯の226業者一斉に廃業届を県管本部に出す</p> <p>○ 特飲店の転廃業行われる</p>	<p>5 郷土作家の近代洋画展</p> <p>12 神埼町統合中学位置問題、39日ぶりに解決</p> <p>19 県小中校長会、勤評研究委員会を設立</p> <p>22 NHK熊本テレビ開局</p>
<p>20 有明干拓廻里江工区漁業補償協定成立</p> <p>○ 凍霜害発生、麦に大被害</p>	<p>1 未帰還問題解決県大会</p> <p>5 県立虹の松原学園創立40周年記念式典</p> <p>8 教育危機突破県大会</p> <p>22 沖縄返還国民運動県連絡協議会結成大会</p> <p>27 県婦人寮落成</p>	<p>26 佐賀市嘉瀬中学廃校式（昭栄中に統合）</p> <p>29 県出身の新人第1回音楽会開催</p> <p>○ 佐大講師フランク・J・パーツ帰国（元占領軍政府教育担当係官）</p>
<p>4 佐賀市白山元町のアーケード完成</p>		<p>1 佐賀実業高校開校</p> <p>8 県教委、道徳教育実施要領を定める</p> <p>12 全日本民芸陶器展開催</p> <p>14 塩田町大草野地区小中生徒300人同盟休校</p>

昭和33年（1958年）

	国内・国際	政	県治
4月	<p>25 衆議院解散 義務教育諸学校施設費国庫負担法公布</p>	<p>15 塩田町分町派、県庁内に座り込む 伊万里市長に橋口四郎無投票当選</p> <p>22 鳥栖市長に海口守三再選 23 塩田分町反対決起大会 24 県庁屋上で塩田町分町反対総決起大会</p> <p>27 武雄市長に中野敏雄再選</p> <p>30 塩田町分町問題、知事、現地調停 臨時県議会（4/30）</p>	
5月	<p>1 全国公立小学校の定員を1学級50人と定める 2 長崎の切手展で中国国旗汚辱事件発生（日中関係悪化）</p> <p>10 中国既契約商談等一切取消しを通告（日中貿易等全面停止）</p>	<p>12 県教育委員会、勤務評定試案を提示（10月10日から実施）</p> <p>18 県人事委員会、2年ぶりに昇任試験を実施</p> <p>22 衆議院議員選挙 候補者9人（自由民主党6、社会党2、共産党1）、投票率83.8% 当選者、保利茂（自民）・井手以誠（社会）・三池信（自民） 八木昇（社会）・大坪保雄（自民）</p>	
6月	<p>10 第29特別国会召集</p> <p>24 阿蘇山爆発、死亡12人、負傷28人</p>	<p>1 県有田ダム建設事務所設置 大和村、富士村大字八反原の区域を編入</p> <p>30 県神埼農林事務所廃庁式</p>	
7月	<p>4 生産者米価1万323円と決定</p>	<p>1 佐賀中部農林事務所設置（佐賀・神埼・小城の3農林事務所統合）</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>21 佐賀税務署落成式</p> <p>25 門司港～東唐津直行ディーゼルカー運行始める</p> <p>30 県土地改良事業団体連合会発足(県土地改良協会改組)</p>		<p>19 唐津市立体育館開館式</p> <p>22 古伊万里研究会発会式</p> <p>29 大成、志道小学校開校式(唐津小学校から分離)</p>
<p>6 神埼町大町橋完成</p> <p>7 県鮎害対策連絡協議会設立総会</p> <p>8 片島本部漁協、片島漁協を吸収合併</p> <p>15 佐賀郡久保田村の県営水道落成式</p> <p>○ 大洋漁業、唐津冷蔵株式会社を買収</p>	<p>8 県交通事故防止対策委員会創立総会</p>	<p>1 伊万里市二里中・東山代中統合</p> <p>17 高教組全員、佐教組1割を動員して勤評撤回を要求</p> <p>18 龍谷学園創立80周年記念式典</p> <p>22 県教委、勤評実施を決定</p> <p>23 県立学校職員及び市町村立県費負担教職員の勤務評定に関する規則公布</p>
<p>9 県酪農業協同組合連合会創立総会</p> <p>10 唐津市虹の松原で本県初の松毛虫防除の航空防除始まる(BHC散布)</p> <p>13 県地方労働委員会、多久炭鉱の紛争あっ旋にのりだす</p> <p>20 北山ダム完成後初の放水</p> <p>28 県労働金庫本店新築落成</p> <p>○ メートル法説明会開催(34年1月1日実施)</p>	<p>21 佐教組結成10周年記念大会</p>	
<p>1 職業訓練法の施行で技能者養成、県に1本化する</p> <p>3 小城町片倉工業小城製糸所閉鎖</p>	<p>2 総評系8団体で「勤評反対教育を守る県民共闘会議」を発足</p>	

昭和33年（1958年）

	国内・国際	県
		政 治
7 月	25 日本貿易振興会発足 経済白書「景気循環の復活」発表	14 県初めての「干害対策本部」を設置 県農山漁村振興連絡協議会発足 29 臨時県議会（7/29～8/2） 30 北山ダム、県立自然公園に指定
8 月	12 全日空旅客機伊豆半島利島沖で墜落、死亡 32人 28 文部省、道徳教育を義務化するよう施行規 則を改正（新学期より実施）	1 本庄江耕地事業所設置 8 県漁業調整委員選挙、投票率71.2% 11 県職業訓練所設置（赤松・多布施・唐津の3か所、公共指導所 を改組） 13 県、5地区11町村の最後の合併促進を始める 20 地区農業改良普及事務所を農業改良普及所と改称 29 県農山漁村建設青年実践活動促進費補助金交付規則制定 ○ 県内の農業団体、政治団体の結成を検討する
9 月	15 日教組勤評反対統一行動 全学連一斉スト 26 台風22号伊豆半島・関東を襲う、死亡900 余人 29 第30臨時国会召集	1 知事、分町問題に関して、塩田町選挙管理委員会に対し、住民 投票を請求 3 塩田町・太良町・江北町・富士村・多久市・伊万里市地すべり 防止区域に指定さる 25 定例県議会（9/25～10/9） 28 脊振村役場落成式
10 月	8 警職法改正案国会提出	1 県人口、96万437人

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 上場地帯の一部、稲作をあきらめ甘藷に切り替える ○ 県内酪農にジャージ種乳牛初導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○ この月、かん害により各地で井戸掘盛ん（白石平野だけで50本） 	<p>28 佐高、29年ぶりに甲子園出場決定</p>
<p>6 経済連と園芸連の事業競合、県の調停で解決</p> <p>8 県畑地営農指導所開所式（県輸出農産物増産指導所と唐津種畜分場合併） 第1回炭鉱不況対策協議会開催</p> <p>30 県農協4連発足10周年記念式典</p>	<p>13 豪雨（8/13～8/15） 家屋全壊1戸、半壊1戸、浸水270戸</p>	<p>1 NBCラジオ佐賀開局</p> <p>○ 佐賀県議会史完成 ○ 玉島蜜柑発達史出版 ○ 各地の勤評説明会、混乱続く</p>
<p>3 嘉瀬川土地改良区連合会創立総会</p> <p>18 農業改良普及事業10周年記念式典</p> <p>○ 県、財政事情好転により公共事業の工事前渡金を復活</p>	<p>8 「町を静かにする運動」県推進協力会誕生</p> <p>10 武雄市・杵島郡の教頭ら29人、佐教組の勤務評定反対の闘争に反対し佐教組を脱退し、県教職員協議会結成を決定</p> <p>28 全日本労働組合佐賀地方会議結成</p>	<p>4 県教委、勤評問題実施の基本方針を決定</p> <p>21 唐津市藤崎通りの丘で1400年前の土器発掘</p>
<p>1 筑肥線建設25周年式典</p> <p>13 県・福岡通産局、吉田焼の産地診断を行う</p>	<p>1 町を静かにする運動始まる</p>	<p>4 バリトン歌手栗林義信（佐賀市出身）ビオッティ国際声楽コンクールで金メダル獲得</p> <p>12 NHK音楽コンクール九州大会で伊万里小が1位入選</p>

昭和33年（1958年）・昭和34年（1959年）

	国内・国際	県治
		政
10 月		27 県農政連絡成準備世話人会、関係県会議員に所属党離党を勧請
11 月	22 皇太子殿下と正田美智子嬢の婚約発表	<ul style="list-style-type: none"> 1 県母子福祉資金償還協力員設置 11 自治庁、塩田町の分町問題について実態調査を始める（自治庁村田振興課長補佐） 14 県立病院好生館改築委員会設置 19 県中小企業調停審議会設置 25 自治庁、塩田町大草野地区の分町を議決するよう勧告 29 自治庁、塩田町分町問題で現状維持を勧告
12 月	<ul style="list-style-type: none"> 1 1万円札発行 16 劇作家三好十郎死去 23 新国民健康保険法成立 東京タワー完工 25 公共用水域水質保全法公布 工場排水等規制法公布 ○ この年 広告費1000億円を突破 8ミリ映写機人気 ミッチーブーム フラフープ大流行 	<ul style="list-style-type: none"> 12 定例県議会（12/12～12/20） 13 県引揚者更生資金債務保証条例施行 27 県立自然公園条例施行
1 月	<ul style="list-style-type: none"> 1 計量単位メートル法に統一実施 10 NHK教育テレビ局開局 19 三井鉱山、再建案を組合に提示 24 自民党大会、岸信介を総裁に再選 	<ul style="list-style-type: none"> 1 大和村、町制を施行 県庁、公文書のたて書きを横書きに改める 県職員勤務評定規程制定 30 県農民政治連盟結成

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>19 唐津海上保安部、愛媛県八幡浜市の密漁船7隻検挙</p>	<p>18 杵島地区労結成大会（武雄・杵島両地区労合併）</p> <p>22 警職法改悪反対県民会議結成</p> <p>○ 県弁護士会、法律扶助協会県支部結成</p>	<p>17 多久聖廟250年祭開催</p> <p>○ 校長の勤評提出ほとんど全部行われる（未提出、34校）</p> <p>○ 唐津焼「タタキつば」（中里忠夫作）日展工芸部門で特選</p>
	<p>5 県医師特別国民健康保険組合認可</p> <p>27 皇太子妃内定、多久市で旗行列</p> <p>30 県教職員協議会結成大会</p>	<p>8 県教委勤務評定提出締切る、提出率95.6%</p> <p>○ 「脊振村誌」出版</p>
<p>11 ブラジル呼びよせ移民壮行会（馬渡島から6家族53人）</p> <p>19 佐賀・福岡両県、玄海のいわし巾着ゴチ網漁業協定調印</p>	<p>2 ミス農村選彰祭開催</p> <p>25 刑余者保護施設清風寮完工（鳥栖市麓町）</p> <p>○ 映画観客数、下り坂に入る</p>	
<p>16 全国初の日中農業技術交流協会結成</p> <p>30 佐賀駅改築促進期成会発会</p>	<p>16 52年ぶりの大雪でバス全線ストップ、山間部で50～60cm、佐賀市で21cm、39校休校、（ミカン等に被害）（1/16～1/17）</p>	<p>15 第1回肥前文化史資料展</p>

昭和34年（1959年）

	国内・国際	県治
		政
1月		31 中小企業政治連盟県支部連合会結成 塩田町調整委員会初会合
2月	3 風俗営業等取締法公布（深夜喫茶取締り） 7 文部省、新学習指導要領への移行措置通達 15 第一物産と三井物産合併新「三井物産」発足	1 松田出納長辞任 16 定例県議会（2/16～3/9） ○ 自民党県市町村 議会議員、県農政連の出現で去就に迷う
3月	5 石炭協会、過剰炭対策として貯炭の買取り会社新昭和石炭株式会社を設立 7 元首相鳩山一郎死去 28 安保改定阻止国民会議結成 30 九州地方開発促進法公布	11 基山町会田部落の鳥栖市編入、6年ぶり解決 27 臨時県議会（3/27） 29 知事選挙告示
4月	1 国民年金法施行 10 皇太子ご結婚式 20 東海道新幹線起工式	1 県財政再建に伴う県税の臨時増収に関する条例廃止 県関西経済事務所、名古屋市に駐在所設置 厚生部保険課内に国民年金連絡班設置 県性病診療所廃止 8 県議会議員選挙告示 15 鍋島直紹、知事辞任 22 佐賀市長に宮田虎雄、無投票当選 23 知事・県議会議員選挙 知事選投票率85.21%、当選池田直 県議会議員選投票率86.6%、当選自民23・社会10・農政連7・無所属5 28 池田直知事初登庁

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 国鉄、東唐津駅に筑肥線管理所設置</p>	<p>6 県教職員協議会、職員団体として登録さる</p> <p>17 「町や村を明るく静かに美しくする運動」県推進協議会発足</p> <p>19 鳥栖駅で貨車脱線、14両が将棋倒しになる</p>	<p>24 佐賀新聞2万5,000号祝典</p> <p>25 県立図書館、鎮西町馬渡島に巡回文庫を設ける</p>
<p>6 片倉工業小城製糸工場跡に住友系機械工場進出決定</p> <p>25 佐賀郵便局新庁舎落成</p> <p>○ ジャージー乳牛63頭、七山村に導入さる</p> <p>○ 県農協中央会、水稲多収5石運動を始める</p>		<p>7 佐賀市営球場完成落成式</p> <p>14 大町町教委、勤評実施に踏み切る</p> <p>20 仁比山神社、四阿屋神社の御田舞、県無形文化財に指定</p> <p>28 「有明海漁撈習俗」重要民俗資料に指定さる</p>
<p>1 県下初の最低賃金協定、有田窯業で実施</p> <p>4 週末観光快速列車さよひめ号運行開始(博多～東唐津ノンストップ)</p> <p>6 県炭鉱不況対策協議会、火力発電所誘致など決議</p>	<p>1 佐賀市制70周年記念式典挙行で実施</p> <p>10 県内各地で皇太子ご結婚慶祝行事行われる</p>	<p>1 第1回茶道文化展開催</p> <p>11 県医師会付属唐津看護学院開校</p>

昭和34年（1959年）

	国内・国際	県治
		政
4月		<p>30 市町村長選挙</p> <p>○ 唐津市長に金子道雄当選</p>
5月	<p>5 東京国際見本市開催</p> <p>7 参議院議員選挙告示</p> <p>13 南ベトナムの賠償協定調印</p>	<p>1 機構改革、国民年金課設置 鳥栖市、基山町大字長野字会田の1郡を編入</p> <p>9 臨時県議会（5/9）</p> <p>15 臨時県議会（5/15～5/16） 議長山下徳夫、副議長岩尾新一選任</p> <p>28 臨時県議会（5/28）</p>
6月	<p>20 元首相芦田均死去</p> <p>22 第32臨時国会</p>	<p>2 参議院議員選挙 立候補2人、投票率69.42%、鍋島直紹当選</p> <p>3 脊振村議会、村民税の撤廃を決議</p> <p>23 脊振村議会、村民税課税免除を決定</p> <p>30 臨時県議会（6/30）</p>
7月		<p>1 副知事宮副新一、出納長坂井隆治任命</p> <p>10 佐賀公共職業安定所多久出張所設置</p> <p>14 県、災害対策本部設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 唐津港の貯炭18万4,000 tに達する 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 新入学生急増によりすし詰め学級増加 ○ 鎮西町馬渡島のカトリック教徒経営「海の星学園」廃校
<p>12 大浦埠頭株式会社設立総会</p>	<p>15 佐賀西ロータリー・クラブ創立総会</p> <p>21 県警察本部、犯人のモンタージュ写真作成に初めて成功</p>	<p>1 県立学校職員及び市町村立学校県費負担教職員の配当基準に関する規則公布</p> <p>12 県体育指導委員連絡協議会結成</p> <p>18 佐賀市久保泉町竜田寺・国宝普賢延命菩薩像収蔵庫完成</p> <p>30 佐大開学10周年記念式典</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 肥前陶磁研究会古伊万里調査委員会「古伊万里」出版 ○ 鹿島市統合中学（浜・七浦・古枝）建設で、七浦地区中学校統合反対期成同盟会結成
<p>19 通産省、鳥栖・伊万里を工場道地調査対象地区に指定</p> <p>30 県農業試験場、中共式水稻密植栽培田植を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多久市北多久町に県炭鉱共同救護所事務所完成 	<p>10 平和と民主主義を守る県民共闘会議結成</p> <p>16 肢体不自由児施設（現整肢学園）佐賀市金立町に建設決定</p>	<p>5 社会教育法施行10周年記念社会教育研究大会</p> <p>23 小学校改訂教育課程研究会出席阻止される（唐津市大成小）</p>
<p>2 県火力発電所立地調査委員会設立総会</p>	<p>6 唐津市第一中学全焼</p> <p>13 豪雨（7/13～7/16） 死亡5人・重軽傷4人・家屋全壊12戸・半壊43戸・浸水2,182戸</p>	

昭和34年（1959年）

	国内・国際	政	県治
7月		29 定例県議会（7/29～8/13）	
8月	<p>18 水俣病補償問題で漁民、新日本窒素肥料水俣工場に乱入</p> <p>20 民間自衛船、李ライン海域に初出勤</p> <p>28 文部省、道徳教育を義務化</p>	<p>10 佐賀公共職業安定所多久出張所開所</p> <p>17 塩田町分町問題調整委員会分町問題について答申</p>	
9月	<p>1 八幡製鉄戸加工場1,500ト 炉稼働</p> <p>10 炭鉱失業者を救う「黒い羽根運動」始まる</p> <p>19 御殿場に国立青年の家設置</p> <p>26 伊勢湾台風（台風15号）東海地方に大被害 死者・不明5,200人</p>	<p>1 県酪農審議会設置 国民年金福祉年金裁定申請書受付開始</p> <p>15 機構改革 秘書・企画・干拓・開墾の各課新設 耕地課を土地改良課に、商工課を商工観光課に改める（5部30課1室） 県、辞令書を毛筆たて書からタイプ横書に変更</p> <p>17 福富村に災害救助法適用</p>	
10月		<p>1 県人口、95万5,989人 岸川耕地事業所設置</p> <p>7 臨時県議会（10/7～10/8）</p> <p>14 産炭地8道県、石炭不況対策全国道県知事連絡協議会結成</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
20 長崎～東京間特急さくら運行開始	16 杵島炭鉱企業再建案を提示	29 中学校技術家庭講習会唐津会場、組合の阻止行動に警官隊実力行使
15 国鉄管理局県誘致期成同盟会設置 28 唐津港石炭荷役機械スタッカーローダー施設竣工 ○ 三菱古賀山鉱業所、ドラムコンベヤーを導入 ○ 唐津港の貯炭、開港以来の20万トンを記録する ○ 廻里江干拓にオランダ式試験堤防完成	○ 日活映画「にあんちゃん」撮影始まる	
11 伊万里地区工場適地調査第1回現地調査 23 日韓漁業対策県本部発足	8 県総評・佐教組・高教組勤評阻止統一行動県下で行われる 17 台風14号 死亡2人・行方不明1人・軽傷1人 家屋全壊10戸・半壊10戸・浸水1,236戸 21 新東宝映画石川達三原作「人間の驍」撮影佐賀市で始まる 北朝鮮帰還希望者の帰還申請受付、県下市町村で始まる	1 佐賀商業高等学校杵島分校設置「佐賀詩集」(佐賀詩人協会)発行 24 武雄市東川登町の「宇土手荒踊り、23年ぶり復活
9 漁業不振対策協議会発会(県水産業不振対策)	1 黒い羽根運動県内で始まる	7 県はじめての青年国内研修旅行団出発 11 蒲原有明詩碑除幕(有田町)

昭和34年（1959年）・昭和35年（1960年）

	国内・国際	県治
		政
10月	<p>26 第33臨時国会召集</p> <p>31 文部省初の「教育白書」発表</p> <p>○ 建設省、伊勢湾台風を機に海岸堤防の設計方針を変更</p>	<p>○ 県、産業振興計画樹立の準備始める</p>
11月	<p>1 国民年金法施行</p> <p>2 水俣湾漁民、新日本窒素水俣工場に乱入</p> <p>5 国鉄のコンテナ輸送始まる(東京～大阪間)</p> <p>27 閣議、九州地方開発促進計画を承認</p>	<p>13 県産業振興対策委員会設置</p> <p>26 定例県議会（11/26～12/10）</p>
12月	<p>11 三井三池1,277人の指名解雇を通告</p> <p>18 炭鉱離職者臨時措置法公布</p> <p>29 第34国会召集</p> <p>○ この年 岩戸景気で耐久消費財普及 かみなり族 パステルナークの小説「ドクトルジバゴ」 読まれる</p>	<p>19 県産業振興対策委員会初会合</p> <p>23 県事務処理改善委員会設置 県職員提案制度採用 人事委員会、佐教組休暇闘争事件の口頭審理始める</p>
1月	<p>19 ホワイトハウスで日米安全保障条約調印</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>○ 佐賀市住宅協会設立</p>	<p>21 石炭離職者救済対策運営委員会、「炭 鉱離職者助け合い県民運動」始める 22 杵島炭鉱会社側合理化案を撤回、正 式に調印</p>	<p>27 第14回国体で詫間光夫、クレー射撃 スキートの部で優勝</p> <p>○ 日展美術工芸部門に有田から7人大 量入選</p>
<p>1 大浦港埠頭会社店開き</p> <p>3 北山ダム管理権、農林省から嘉瀬 川土地改良区連合会に移管</p> <p>13 太良町大浦港完工式</p> <p>28 佐賀市唐人町アーケード完工</p> <p>30 岩尾磁器工業建築用タイル製造開 始</p>	<p>4 北朝鮮婦国申請第1号でる</p>	<p>○ 炭鉱地帯の欠食児童増加する</p> <p>○ 鹿島市七浦地区の中学統合反対派、 七浦中学を残す会、結成</p>
<p>11 日興食品ミカンかん詰工場操業開 始（大和町） 県沿岸漁業不振対策協議会、ノリ 養殖転換を決める</p> <p>12 県園芸連、東京にあつ旋所を設置</p> <p>21 伊万里市東山代町県営東山代干拓 潮止工事</p>	<p>1 三日月村で農家の月給制始まる</p> <p>9 北朝鮮婦国第1陣、15人出発</p>	<p>5 佐賀民芸協会発会式</p> <p>13 県庁演劇サークル結成5周年記念 「漁港」公演</p> <p>15 鳥栖市田代町大田古墳模写始まる</p> <p>○ 滝口康彦作小説「綾尾内記覚書」オ ール新人杯受賞</p>
<p>8 県営渡し船第2川副丸進水式</p> <p>10 第1回青少年林業研究発表大会</p> <p>23 国営成申干拓潮止め工事完成祝 賀式（東与賀村地先）</p>		<p>12 県学校体育研究会発足</p>

昭和35年（1960年）

	国内・国際	政	県治
1月	24 民主社会党結党、委員長西尾末広 25 三池鉱業所管内全山ロックアウトを実施	26 池田知事就任初の県政懇談会	
2月	23 皇太子妃殿下、男子ご出産	17 県の農協振興計画まとまる 29 定例県議会（2/29～3/25）	
3月	2 日ソ貿易長期協定調印 21 国会周辺デモ規制法案成立 25 社会党臨時大会、委員長浅沼稻次郎 28 三井三池炭鉱で第1・第2組合員衝突、負傷者100余人	3 第1回国民年金支払い始まる（福祉年金） 5 県行政考査委員会第1回会合 8 塩田町分町紛争に警官隊が実力行使（9人負傷） 16 県酪農審議会発足 17 第1次災害激じん地に芦刈・福富・玄海・唐津・太良指定さる 31 臨時県議会（3/31）	
4月	29 沖縄祖国復帰協議会結成	1 県名古屋経済事務所設置 9 都道府県会館竣工記念式典 10 簡検定事務を熊本県に委託 12 九州開発審議会を有明部会開催	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
	24 佐賀競馬場で火災	
1 唐津線本牟田部駅県下初の無人駅として開駅 18 本庄江架橋促進期成会発会 23 福島橋架設促進期成会発会 25 県林業改良普及事業10周年記念式 ○ 上場産業開発促進協議会発足	16 炭鉱離職者援護会唐津支所発足	22 塩田町大草野地区分町派児童38日ぶりに登校
7 建設省、六角川工事事務所開庁式 17 門鉄、佐賀駅の地質調査を始める	2 杵島炭鉱労組、生協を設立 6 県母子連盟10周年記念大会 13 自衛隊父兄会の県連合会結成大会 25 県立病院北病棟完成 31 李ライン侵犯の韓国抑留船員の県関係17人釈放さる	12 県文化財専門委員会、浮立5つを無形文化財に指定
1 唐津地域、沿岸漁業振興対策事業実施地域に指定される 15 県医師信用組合創立総会 21 県北九州経済事務所開所式（小倉駅ステーションビル） 22 県道福岡～佐賀線改良開通式 ○ 呼子町、全国的にも珍しい農協水道の買収を企画	1 県警、三池争議に2個中隊派遣 佐賀整肢学園開園 26 安保批准阻止県民総決起大会（県庁前） ○ 佐賀警察署前の交通量調査（1日）自動車約6,180台、自転車約1万2,250台	1 文化館、博物館として登録 6 鹿島市七浦地区、統合中学に反対し新学期から登校を拒否（寺小屋授業を開始） 20 国立佐賀療養所内に中原小学校療養所分校開校 25 佐賀商高杵島分校授業開始

昭和35年（1960年）

	国内・国際	政	県治
5月	<p>10 農林漁業基本問題調査会「農業の基本問題と基本対策」を答申</p> <p>19 自民党、国会で改定安保条約を単独採決</p> <p>21 グラム島で元日本兵皆川文蔵発見</p> <p>24 太平洋一帯に「チリ津波」来襲、119人死亡</p>	<p>8 多久市長に東郷嘉八当選</p> <p>16 県東京事務所、都道府県会館への移転</p> <p>28 臨時県議会（5/28～5/31） 副議長に原田安男選任</p>	
6月	<p>10 羽田空港でハガチー事件発生</p> <p>15 6・15安保阻止統一行動、樺美智子死亡</p> <p>17 社会党河上丈太郎・暴漢に刺され負傷</p> <p>20 熊本県小国町で蜂の巣城強制測量始まる</p> <p>25 道路交通法公布</p>	<p>11 憲法調査会公聴会開催</p> <p>28 九州総合開発有明小委員会開催</p> <p>31 米軍、脊振山レーダーサイドを自衛隊に移管</p>	
7月	<p>1 自治庁、自治省へ昇格 国鉄の3等を廃止し、1等・2等・特別座席制度とし、指定席料金を新設（国有鉄道運賃法改正）</p> <p>14 岸首相暴漢に刺される 生産者米価、1万405円と決定 自民党大会、池田勇人を総裁に選出</p> <p>18 第35臨時国会召集</p> <p>19 池田内閣成立 我が国初の婦人大臣誕生</p> <p>25 三池争議休戦成立</p>	<p>1 唐津社会保険出張所設置</p> <p>22 臨時県議会（7/22～7/23）</p> <p>30 民主社会党県連合会結成</p> <p>○ 県、第2次道路整備5か年計画策定</p>	
8月	<p>1 東京山谷のドヤ街で3,000人がマンモス交番を襲う</p>	<p>9 有明・松浦両海区漁業調整委員会委員選挙</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>2 県信用保証協会唐津連絡所開所</p> <p>10 白石町農家2戸農業法人申請する (県内第1号)</p> <p>26 佐賀レンコン40周年記念式典</p>		<p>5 佐高、九州高校野球大会で優勝</p> <p>8 県文化会議結成 武雄市文化会議結成</p> <p>16 県指定天然記念物に下合瀬のかつら 指定</p>
<p>1 第1回鳥栖地区工場適地調査</p> <p>16 嘉瀬川分水せき完成、送水開始</p> <p>17 佐賀総合職業訓練所敷地、佐賀市 兵庫町伊賀屋に正式決定</p> <p>30 県、商工普及員を配置し商工組合 の再編成を急ぐ</p>	<p>19 赤貝密漁ジャンジャンマイに初の手 入れ</p> <p>22 6・22安保阻止・国会解散・岸退陣 要求県内統一行動(参加者6,000人) 第1回県国民年金協議会開く</p>	<p>1 県教委、科学技術教育研究室を4工業 高校に設置</p> <p>10 国立唐津海員学校20周年記念式典</p> <p>19 佐賀労音第1回例会開催(辻久子ピ アノリサイタル)</p> <p>20 佐賀市金立町千布で2千年前の住居 群発見</p> <p>○ ラジオ熊本佐賀支局開局 ○ 県読書推進運動協議会発足</p>
<p>16 白石町商工会発足(須古・六角・ 白石・北明統合)</p>	<p>25 第1回県BBS(大兄姉)大会</p> <p>○ 小児マヒ大流行、今年に入って39人</p>	<p>9 県青年美術家協会第1回作品展開催</p> <p>11 教育課程講習会問題解決</p> <p>31 全国高校野球西九州代表に鹿島高決 定</p>
<p>1 国鉄西部支社鳥栖出張所開所式</p>	<p>11 県、人工降雨を始める(8/11~8/25)</p>	<p>11 多久市で1万年前の人類遺跡発見</p>

昭和35年（1960年）

	国内・国際	県治
		政
8月	18 農林省新農林漁業政策を発表（農業基本法等）	16 県岸川土地改良事務所設置 25 定例県議会（8/25～9/6）
9月	1 石炭鉱業合理化事業団発足 5 自民党高度成長所得倍増政策発表 10 カラーテレビ放送、4局で開始	1 山内村、町制施行 7 県立自然公園審議会設置
10月	1 国勢調査実施 4 全国農政連絡会 12 浅沼社会党委員長刺殺さる 17 第36臨時国会召集 24 衆議院解散 28 中労委、三池争議あつ旋案提示（労使受諾） 30 衆議院選挙告示	1 国勢調査県人口、94万2,872人 県精神薄弱者更生相談所設置 多久職業訓練所設置 9 市村清、県に1億5,000万円を寄付申し込み 県炭鉱離職者対策協議会を設置 28 県、塩田町の国勢調査を職権で行うことに決定
11月	1 経済審議会国民所得倍増計画答申（年成長率7.9%、GNP26兆円）	1 県小規模水道条例施行

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
25 佐賀機械金属工業会設立総会 26 県、白石平野の地下ダム現地調査を始める 31 国道208号線の全線舗装完成	26 精神衛生協会設立 ○ 県内の水稻干害深刻化	20 鹿島高校、甲子園大会で準決勝に進出 27 伊万里市山代町辻ノ堂の遺跡から1万年前の石器発見 ○ 佐賀作家クラブ誕生
2 県商工会連合会発会 16 県農業協同組合振興対策委員会設置 28 有明海防犯協会結成 県農業団体連合会役職員連盟結成式 30 漁業協同組合整備促進法に基づいて浜崎漁協を整備組合に指定	2 18日ぶりの慈雨、県内の枯死寸前の農作物を救う 15 佐教組・高教組、勤評反対の統一行動実施 18 県西北部集中豪雨（9/18～9/19）死亡1人、家屋全壊1戸、半壊2戸浸水447戸 26 第1回県老人大会	20 中島哀浪歌楽展
1 博多検疫所唐津出張所開所式 10 熊本～佐賀間2級国道208号線、佐賀～諸富橋間の舗装工事竣工式 21 県、第1次漁協整備計画を定める		1 佐賀大菊人形展開催 7 唐津市佐志枝去木の馬部溜遺跡で縄文晩期（3000年前）の住居跡発見 17 県芸術祭 19 佐賀大学工学部設置期成会発足 県・地教委、生徒急増対策について検討 23 小城鍋島家古文書、佐賀大学に寄贈される ○ 県内有線放送普及（13市町村・11農協） ○ 鹿島市能古見本城で県下最古の庚申塚発見
4 県有明海水産試験船「かもめ」進水		5 小城の花、小結に昇進

昭和35年（1960年）・昭和36年（1961年）

	国内・国際	県治
		政
11月	<p>12 3党最初のテレビラジオ討論会</p> <p>16 国際司法裁判所判事に田中耕太郎当選</p>	<p>8 県総合開発第1回審議会開催</p> <p>9 池田首相来佐</p> <p>20 衆議院選挙 候補者10人（自民5・社会2・民社1・共産1・農政連1） 投票率82.48%、当選者古賀了（農政連）・保利茂（自民） 三池誠（自民）・井手以誠（社会）・館林三喜男（自民）</p> <p>25 定例県議会（11/25～11/28）</p>
12月	<p>5 第37特別国会召集</p> <p>8 第2次池田内閣成立</p> <p>20 新道路交通法実施</p> <p>26 第28国会召集</p> <p>○ この年 3種の神器普及 インスタント食品普及</p>	<p>12 県、市村清の寄付金で集会所兼用の体育館を設置することに決定</p> <p>13 定例県議会（12/13～12/27）</p>
1月	<p>10 選挙制度審議会設置</p> <p>17 日ソ民間文化協定調印</p> <p>27 自民党大会、党近代化方針決定</p>	<p>19 松浦川、直轄河川編入決定</p> <p>20 機構改革 管財課新設 業務予防課・医務衛生課を薬務衛生課・医務予防課に改める</p> <p>23 県、上峰・中原・北茂安の3村に合併勧告</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 園芸連農産加工場操業開始</p> <p>25 国道34号線鳥飼バイパス工事完工式</p>	<p>9 炭鉱離職者対策協議会発足</p>	<p>16 第1回青年学級研究協議会開催</p> <p>23 第1回県芸術祭音楽芸能祭開催</p> <p>27 第1回県芸術祭演劇祭開催</p>
<p>1 県名古屋経済事務所開所</p> <p>10 第1回県畜産共進会開催</p> <p>12 第1回県農協振興対策委員会開催</p> <p>17 味の素佐賀工場建設決定（グルタミン酸ソーダ設備新設）</p>	<p>29 日赤病院問題、県地労委のあっ旋で解決</p> <p>○ 河上・岸・浅沼事件を契機に刃物を持たない運動始まる</p>	<p>1 県教委、高校教育審議会設置を決定</p> <p>10 県造形教育振興会主催第1回児童・生徒県展</p> <p>11 県産業教育振興会発足10周年記念式典</p>
<p>15 玄海のミンク捕鯨解禁、本県の出漁船なし(300年の伝統に終止符)</p> <p>19 松尾静磨、日本航空社長に就任</p> <p>25 武雄～嬉野間の国道34号線完全舗装</p> <p>28 上場地方農村建設青年研修所落成</p> <p>○ 佐賀機械金属工業会、郊外移転計画を進める（高木瀬工場団地）</p> <p>○ 佐賀銀行外国為替取扱業務始める</p>	<p>1 小児マヒワクチン強制接種始まる</p> <p>29 医療単価引上げ要求県医師会総決起大会、一斉1日休診</p>	<p>16 唐津市佐志惣原でたて穴式古墳発掘</p> <p>21 県教育委員会、生徒の急増による高校の再編成案を発表</p>

昭和36年（1961年）

	国内・国際	県治
		政
2 月	<p>1 右翼少年、中央公論社長邸を襲う、社長夫人刺される</p> <p>5 社会党構造改革論を軸とする新運動方針決定</p>	<p>6 県産業振興計画を策定</p> <p>28 全日農県連合会結成大会 両陛下奉迎準備委員会第1回会合</p>
3 月	<p>8 社会党大会、新委員長に河上丈太郎選出</p> <p>30 果樹農業振興特別措置法公布</p> <p>31 政府、5年制高等専門学校設置を決定</p>	<p>1 定例県議会（3/1～3/28）</p> <p>31 県警察職員国民健康保険組合解散 県地方改善対策協議会設置</p>
4 月	<p>19 炭労大手13社、合理化反対無期限ストに突入</p>	<p>1 県産業振興資金貸付要綱施行 三根村・三田川村大字箱川字南里カリの区域を編入 唐津社会保険出張所設置</p> <p>13 塩田町分町派、天皇行幸啓に際し浴道に200本のむしろ旗を掲げる</p> <p>19 天皇、皇后両陛下ご巡幸（4/19～4/22）</p>
5 月		<p>11 佐賀県、緊急失業対策地区に指定さる 小城警察署庁舎落成式</p> <p>12 鉄道建設審議会、唐津～呼子～伊万里線を調査予定線に決定</p> <p>16 機構改革 婦人児童課新設</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>3 第1回農協振興対策委員会（農協近代化への方策を協議）</p> <p>17 佐賀商工会議所、工場団地造成促進委員会を結成</p> <p>28 佐賀市内12農協、合併推進協議会結成</p>	<p>17 日本住血吸虫関係5県ブロック会議（嬉野町）</p> <p>19 県内の開業医一斉休診 県医師会、歯科医師会医療危機突破総決起大会</p>	<p>1 NHK佐賀放送局鍋島放送所完工</p>
<p>15 杵島炭鉱合理化案を提示</p> <p>16 県、杵島炭鉱労使に円満な解決を要望</p> <p>24 県炭鉱離職者職業訓練所第1回卒業式</p> <p>31 佐賀市営ト畜場落成式</p>	<p>10 日本赤十字唐津病院全面スト突入</p> <p>30 杵島炭鉱合理化団交始まる</p>	<p>24 有田町「有田焼の大物成形のロクロ技法」県重要無形文化財に指定</p> <p>25 第1回郡市対抗県内1周駅伝</p> <p>31 嬉野高、佐賀商高杵島分校、唐津西高厳木分校廃止</p>
<p>1 県、中小企業労務管理施設改善資金貸付を開始 伊万里地域、沿岸漁業振興対策事業実施地域に指定される</p> <p>6 九州山口経済連合会発足</p> <p>13 呼子線鉄道敷設促進期成会発会式</p> <p>○ 県農業試験場、水稻の直播栽培試験を始める</p> <p>○ 県農林部、除草剤PCPの使用要領を定める</p>	<p>1 佐嘉・松原両神社合併 拠出年金第1号受給 養護老人ホーム「松風園」開所 三田川村、国民健康保険実施（全市町村実施となる）</p> <p>19 杵島炭鉱1番方より金山無期限スト</p>	<p>1 厳木高等学校・嬉野商業高等学校・杵島商業高等学校開校 竜谷高女子部設置 佐賀大に農業土木科新設 県育英資金貸付け開始</p> <p>○ 戦後の出産ブームで県内中学校校舎不足を来たし、特別教室等で授業を行う</p>
<p>1 国営多良岳開発事業起工（太良町糸岐）</p> <p>15 農業危害防止運動始まる（厚生省、モデル県に指定） 玄海漁連、水産ファックスによる水産物市況産地受信事業を開始</p> <p>20 有明干拓福富工区潮止め</p> <p>25 住友石炭、杵島炭鉱北方鉱の閉山を決定</p>	<p>20 炭鉱合理化反対佐賀地区大集会開催</p>	<p>15 佐賀工業高で夜間高校生のミルク給食はじまる</p>

昭和36年（1961年）

	国内・国際	県治
		政
5月		<p>27 臨時県議会（5/27～5/30） 副議長に横尾正二選任</p> <p>○ 県立自然公園審議会発足（県立公園審議会の発展解消）</p>
6月	<p>2 防衛2法改正案成立</p> <p>12 農業基本法公布</p> <p>16 選挙制度審議会第1回総会</p>	<p>9 知事、神集島・加部島・小川島の離島を訪問、地元民と話し合う</p> <p>12 県風致地区規則施行</p> <p>16 有田ダム建設事務所廃止</p> <p>24 九州電力瓦林副社長、県内に火力発電所建設を発表</p> <p>○ 県小児マヒ対策本部設置</p>
7月	<p>20 小児マヒ流行のためソ連製生ワクチンの使用開始</p>	<p>28 定例県議会（7/28～8/10）</p> <p>○ 県内の河川・クレーク・濠・有明海で魚貝類大量に死ぬ</p> <p>○ 県、産炭地振興計画を発表</p>
8月	<p>1 大阪市釜ヶ崎に騒動発生</p> <p>17 炭労臨時大会（東京）（19日杵島争議収拾を決定）</p>	<p>8 杵島炭鉱争議で石松住友石炭社長と原炭労委員長会談、収拾で一致（住友資本残留・7,350円の質下げ）</p> <p>16 県財政調整積立金条例施行</p> <p>22 自治省、県に再建期間の2年短縮を指示</p> <p>○ 県財政事情好転のため、37年度から超過課税廃止を決める</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
26 県物産(株)解散株主総会	28 伊万里市人形石山地すべり復興式典	
2 国道34号線バイパス建設促進期成会発足 6 有田ダム落成式 9 県水産試験船「かがみ」就航 16 国営幹線水路大井手幹線、芦刈幹線通水始める 30 長崎本線・佐世保線電化複線化促進期成会発足	1 小児マヒ生ワクチン投与開始 7 杵島炭鉱総決起大会を開き、1万人氣勢をあぐ 12 唐津市神集島の漁船「喜久恵丸」、韓国警備船にだ捕される(乗組員巡視船に移乗) 23 大町・北方・江北3町合同の杵島問題3か町合同危機突破大会 ○ 県立病院企業診断実施される	8 国立高専設置期成会
14 佐賀市高木瀬町に工場団地誕生 18 有明海沿岸4県漁連会長会PCPの全面禁止を決議 25 杵島炭鉱売山中止	12 タバコ耕作振興会発足 15 戦没者未亡人の靖国神社参拝開始 20 小児マヒ予防生ワクチン佐賀駅到着 24 県立病院に待望の鉄の肺到着	14 佐賀交響楽団第1回演奏会
1 佐賀市神野区画整理事務局設置 5 水産庁、有明海魚貝類PCP被害調査団来佐 8 東松浦郡厳木町日満鉱業新屋敷鉱閉山 10 県漁協婦人部連合会発足 有明漁協、廻里江漁協を吸収合併 11 鎮西橋建設促進期成会発会 ○ 有明干拓の堤防補強工事ほとんど完成 ○ 久保田村内の嘉瀬川ショートカット家屋移転問題、10年ぶりに解決	1 県下一斉に生ワクチンの投与始まる 7 多久市長東郷嘉八死去 ○ 日本脳炎大流行 ○ 上場地方の干害による収獲皆無田174haに達する	19 武雄市旧武雄藩主邸から日本最古の洋式大砲3門発掘 31 県体育館協議会発会 ○ 武雄高東校舎南側山林から洋式大砲鑄造所跡発見

昭和36年（1961年）

	国内・国際	政	県治
9 月	<p>9 炭労臨時大会（石炭政策転換闘争を決定）</p> <p>16 第2室戸台風、死者不明202人</p> <p>25 第39臨時国会召集</p>	<p>1 県消防学校設置</p> <p>8 県自動車運転免許試験場完成</p> <p>16 県、鹿島農林事務所に多良岳開発課を設置</p> <p>17 多久市長選挙、藤井儀作当選</p>	
10 月	<p>25 文部省、中学生一斉学力テスト実施</p>	<p>1 県人口、93万225人</p> <p>9 県みかん種苗対策事業実施要綱</p> <p>17 県企業誘致推進本部設置 機構改革 企画調整部門の強化・専門技術員室の新設・農業試験場の強化</p> <p>23 定例県議会（10/23～11/6）</p> <p>31 県議会、産炭地域振興対策特別委員会設置 炭労、県に離職者対策・産炭地振興・石炭産業の安定等を訴う</p>	
11 月	<p>2 第1回日米貿易経済合同委員会（箱根）</p> <p>10 農業近代化資金助成法公布</p> <p>13 低開発地域工業開発促進法公布 産炭地域振興臨時措置法公布</p> <p>15 災害対策基本法公布</p> <p>29 児童扶養手当法公布</p>	<p>9 県薬事審議会設置</p> <p>14 産炭地調査のため衆議院特別委員会来佐</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>8 佐賀市金立町で県下初の農薬空中散布行わる</p> <p>18 武雄公共職業安定所、大町町に臨時の炭鉱離職者の職業あっ旋出張所を設ける</p>	<p>1 杵島炭鉱11項目について組合側妥協正式調印</p> <p>15 第2室戸台風（台風18号）の影響で農作物に塩害が発生</p> <p>17 東松浦郡相知町岩屋炭鉱取炭業所でガス爆発、死亡9人、重軽傷2人</p> <p>25 県議会乱闘事件、7年ぶりに結審</p> <p>29 杵島炭鉱北方鉱配転始まる</p>	<p>26 県内小学校・高等学校学力テストを実施</p>
<p>1 佐賀線に初の準急「ちくご」走る 長崎～京都間に特急「かもめ」運行</p> <p>3 多良岳地区開発推進協議会発足 杵島炭鉱から北方坑分離（第2会社に移行）</p> <p>17 県、産業振興貯蓄運動始める</p> <p>21 唐津青年会議所発足</p> <p>○ 第2室戸台風による水稲潮風害20億円に達する</p> <p>○ 県農業労働力調整協議会発会</p>	<p>13 衛生処理場建設反対巨勢町民大会</p>	<p>26 県下中学校学力テスト実施</p>
<p>15 西日本マキ網漁業生産調整組合発足</p> <p>23 岸川ダム着工（九州で2番目の防災ダム）</p> <p>27 浜崎玉島町に西日本一のミカン集荷場完成</p> <p>30 竜王漁協、漁協整備促進法の組合に指定</p> <p>○ 江北町で水田300ha、鉱害のため陥没冠水する</p> <p>○ 川副町内の3電話局の統合決定（犬井道・早津江・西舟津）</p>	<p>15 佐教組・高教組合併賛否投票始まる（合併棚上げ決定）</p>	<p>6 今中次磨佐大学長に再選</p> <p>13 鳥栖高定時制生徒に県内初の給食始める</p> <p>17 県教委、高等学校長会に事務局試案として高校再編成（男女別学・学区制廃止・農業高校の定時制廃止等）の検討を依頼</p>

昭和36年（1961年）・昭和37年（1962年）

	国 内・国 際	県 治	
		政	
12 月	<p>9 第40国会召集</p> <p>12 旧軍人、右翼のクーデター計画発覚（3無事件）</p> <p>○ この年 レジャーブーム始まる シームレスストッキング流行 流行歌「上を向いて歩こう」</p>	<p>1 県立都市公園「城内公園」設置</p> <p>7 県放射能対策本部発足</p> <p>11 定例県議会（12/11～12/23）</p> <p>14 機構改革 農林部に園芸課設置 商工観光課を工鉱課・商務観光課に分離、工鉱課に産炭地振興係設置 薬務衛生課を公衆衛生課と薬務課に分離 県集約酪農指導所廃止</p> <p>21 県議会産炭地域振興特別委員会、石炭危機打開に参考人から意見聴取</p> <p>24 関西・名古屋・北九州の各経済事務所を、大阪・名古屋・小倉事務所と改称</p>	
1 月	<p>25 第1回日米教育文化会議東京で開催</p>	<p>12 県、政府各省庁関係者に産振計画説明会開催（東京）</p>	
2 月	<p>1 東京都の常住人口1,000万人を突破（世界初の1,000万人都市）</p> <p>20 米人間衛星フレンドシップ7号打上げに成功</p> <p>23 日ソ貿易議定書調印</p>	<p>6 県産炭地振興5か年計画を発表</p> <p>10 堀田町谷所地区分町派協定書に同意、分町問題6年ぶりに解決</p> <p>12 唐津火力発電所の設置決定</p> <p>13 参議院商工委員会、県内の産炭地視察</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>4 第1回酪農民大会</p> <p>7 九州能率協会県支部設立 有明漁連のり共同集荷所落成</p> <p>10 白石町御大典揃・中禰完成</p> <p>○ 県内産早生みかんの生産高全国第2位に躍進</p>	<p>10 肢体不自由児父母の会県連合会結成</p> <p>12 県警、3無事件で県内3か所を捜索 佐賀地方裁判所、乱闘県議会事件について判決</p> <p>25 諸富町臨時議会、佐賀市衛生処理場建設反対を決議</p>	<p>3 第1回県学校図書館研究大会開催</p> <p>21 NHK佐賀放送局開局20周年記念式典</p>
<p>11 全国初ののり共同施肥、佐賀郡地先で行われる</p> <p>22 九州縦貫高速道路実地踏査始まる</p> <p>24 県、土地取用法による初の取用を告示</p> <p>26 伊万里市山代町新向山炭鉱労組、相次ぐ合理化と経営者の交代に業をにやし退職金の精算を要求</p>	<p>19 県下各地大雪で交通事故多発</p> <p>20 県栄養改善普及車「かさきぎ号」と命名</p> <p>○ 児童扶養手当支給開始</p>	
<p>5 農業信用基金協会創立</p> <p>6 県農協振興対策委員会、農協の体質改善について答申</p> <p>13 佐賀市機械金属協組、工場集団化申請を行う</p> <p>16 県炭鉱離職者海外移住第1号ブラジル出発</p> <p>24 炭鉱離職者西独派遣第1号県内から7人出発</p> <p>○ 広報映画「佐賀みかん」完成</p>	<p>○ インフルエンザ猛威を振るう</p> <p>○ 県内市町村で交通安全宣言行われる</p>	<p>14 伊万里市文化連盟結成 NHKテレビ熊本局、TNC福岡局開局</p> <p>○ 名護屋城天主閣復元設計図完成</p>

昭和37年（1962年）

	国内・国際	政	県治
3月	<p>9 閣議、物価安定総合対策了解（財政金融引締め13項目）</p> <p>12 日韓会談開始</p>	<p>1 定例県議会（3/1～3/26）</p> <p>26 県、事務の合理化迅速化を計るためテレックスを設置</p> <p>○ 県議会内の会派、県政クラブ結成（3議員）</p>	
4月	<p>5 政策転換闘争で無期限スト中の炭労スト中止</p> <p>26 全日本労働総同盟組合会議結成（略称同盟会議）</p>	<p>1 県、北山ダムに国民宿舎設置 県立九千部学園設置 県果樹試験場設置（果樹分場廃止） 多布施職業訓練所廃止 県警本部に外勤課新設 県交通対策協議会設置（県交通事故防止対策協議会の組織拡大） 県スポーツ振興審議会設置 工場団地造成事業特別会計設定</p> <p>12 鳥栖市長に海口守三無投票3選</p> <p>15 鹿島市長に松浦茂3選</p> <p>20 伊万里市長に山口正次当選</p> <p>22 武雄市長に副島博当選</p>	
5月	<p>1 自治省公明選挙運動を全国に展開</p> <p>3 常盤線三河島駅構内で2重衝突、160人死亡325人重軽傷</p> <p>10 新産都市建設促進法公布</p> <p>11 石炭鉱業調査団設置</p> <p>23 国立ガンセンター開設</p>	<p>1 三根村、町制を施行</p> <p>4 機構改革、企画室設置 佐賀市衛生処理場設置反対の諸富町・北川副町・巨勢町・大川市道海島4地区の反対同盟員ら県庁に座りこむ</p> <p>11 池田知事、北・南米視察に出発</p> <p>25 臨時県議会（5/25～5/26）</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 国鉄佐賀駅に運輸区設置</p> <p>12 北山ダムの県営国民宿舎の愛称、 “湖畔荘”に決定</p> <p>26 県立城内公園の管理、県に移管</p> <p>28 唐津～呼子～伊万里線、調査線に 決定（鉄道審議会）</p> <p>29 国道34号・35号線全線舗装完工式 （武雄市）</p>	<p>7 鹿島地区交通安全協会、本県初の交 通違反モニターを採用</p> <p>27 杵島炭鉱で落盤事故、20人生き埋め 5人死亡、7人重傷</p> <p>○ 県国保連合会診療費支払の1本化実 施</p>	
<p>1 県労働金庫、住宅貸付を始める 第1次農業構造改善事業・沿岸漁 業構造改善事業開始</p> <p>5 多久職業訓練所大町分所入所式 （第1期生）</p> <p>18 県農協振興対策委員会、農協の近 代化について知事に答申</p> <p>27 国道34号線全面舗装改良工事完工 開通式（嬉野町）</p> <p>28 雇用促進事業団佐賀総合職業訓練 所開所</p>	<p>10 警察職員宿泊施設「楠荘」落成</p>	<p>1 唐津農業高校・唐津工業高校・唐津 商業高校開校</p> <p>21 佐賀中央工業高校開校</p>
<p>1 県道佐賀～福岡線、2級国道昇格</p> <p>2 県果樹試験場果樹園経営研修施設 落成</p> <p>9 在京県人による県企業誘致懇談会 開催</p> <p>15 高木瀬工場団地、中小企業庁指定 の国庫補助団地に指定さる</p> <p>21 エカフェから白石平野地下水利用 状況視察団来佐</p> <p>22 県農業構造改善対策協議会発足</p> <p>24 県PCP使用対策委員会第1回会 合</p>	<p>4 九千部学園落成式</p> <p>20 佐賀地方同盟会議発足（佐賀全労発 展解消）</p> <p>26 県自衛隊協力会発会</p>	<p>16 富士村北山下合瀬の「下合瀬の大か つら」、天然記念物に指定</p> <p>25 大藤勇次、剣道十段位贈られる</p> <p>26 佐高北校舎落成式</p>

昭和37年（1962年）

	国内・国際	県治
		政
5月		
6月	<ul style="list-style-type: none"> 1 自動車の保管場所の確保に関する法律公布 2 ばい煙排出規制法公布 7 参議院議員選挙公示 17 北アルプス焼岳噴火 	<ul style="list-style-type: none"> 20 東京事務所に企業対策主任を配置 27 有沢団長以下9人の石炭鉱業調査団来佐
7月	<ul style="list-style-type: none"> 10 佐世保重工で世界最大のタンカー日章丸（13万トン）進水 11 参議院で15議席となった創価学会、公明会を結成、院内交渉団体となる 米國テルスター1号打上げ成功 13 生産者米価決定、1万2,177円 18 池田改造内閣成立 	<ul style="list-style-type: none"> 1 参議院議員選挙 4人立候補、投票率72.44%、杉原荒太当選（自民） 7 県災害対策本部設置 8 武雄市・鹿島市・北方町・嬉野町・塩田町・太良町に災害救助法発動 10 自衛隊第4管区総監部、三田川補給処に前進指揮所設ける 12 荒木文相を団長とする政府の九州水害調査団来佐 28 定例県議会（7/28～8/10）
8月	<ul style="list-style-type: none"> 4 第41臨時国会召集 	<ul style="list-style-type: none"> 3 県コロナ防疫対策本部設置 8 海区漁業調整委員会委員選挙 松浦海区無投票・有明海区投票率91.79% 11 県農業構造改善事業審議会設置

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 武雄市おつほ山で神籠石発見（県下2番目） ○ みかん新植ブームで開墾中に、遺跡発見続出
<p>12 県下一斉道路交通量調査</p> <p>26 九州経済連合会菅脳部、県下の工場適地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 太良町大浦野崎漁港に自動検潮所設置 		<p>26 唐津海洋少年団結成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県立佐賀第3高校（現佐賀東校）敷地、南佐賀に落ちつく
<p>16 県、除草剤PCPの使用を禁止、被害の現地調査を始める</p> <p>18 代行干拓大福工事竣工</p> <p>27 電源開発調整審議会、九州電力唐津火力発電所の建設認める</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多久鉱業に中小鉱全国初の会社更生法適用 ○ 有明海の魚貝類死滅ふえる 	<p>1 「社会を明るくする」県民総ぐるみ運動始まる 豪雨（7/1～7/4） 家屋全壊1戸、半壊5戸、浸水798戸</p> <p>7 県西南部に集中豪雨（7/7～7/8） 太良町大浦で山津波、死亡56人、不明6人、重軽傷287人、家屋全壊78戸、半壊162戸、流失24戸、浸水1,177戸</p> <p>13 第1回県青少年代表者会議</p> <p>20 鹿児島本線旭駅で国電、旅客列車に追突、重傷5人、軽傷61人</p>	<p>31 離島へき地学生寮落成式</p>
<p>1 博多～唐津～佐世保間に準急「九十九島号」運行開始 山口鉱小城鉱業所閉山（従業員1,396人）</p>		<p>8 県教委、鹿児島市能古見流木区の岩陰住居跡発掘調査</p>

昭和37年（1962年）

	国内・国際	政	県治
8月	<p>12 堀江謙一青年小型ヨットで太平洋を横断、サンフランシスコに入港</p> <p>20 戦後初の国産旅客機YS11名古屋で試験飛行に成功</p>	<p>20 県養殖試験場設置（有明分場の独立）川副分室・大浦分場設置</p> <p>22 機構改革 防災課・国民健康保険課設置</p> <p>25 県警本部機構改革 公安部を廃止、警務・刑事・警備の3部制</p>	
9月	<p>6 激じん災害法公布施行</p> <p>12 国産第1号研究用原子炉に点火</p> <p>15 行政不服審査法公布</p> <p>26 長崎県福江市で大火、391戸全焼 若戸大橋開通式</p>	<p>4 天災融資法特別災害地域に本県指定される</p> <p>11 衆議院石炭対策特別委員会来佐</p> <p>15 唐津市・鳥栖市・三養基郡（基山・中原・北茂安・上峰）・神埼町・三田川村低開発工業地域に指定さる</p> <p>19 県警、九州各県と共同広域捜査協定結ぶ</p> <p>24 衆議院地方行政委員会来佐</p>	
10月	<p>5 閣議、全国総合開発計画を決定</p> <p>6 初の1日内閣実施</p> <p>13 石炭鉱業調査団石炭対策を答申（スクラップ・アンド・ビルド）。</p>	<p>1 定例県議会（10/1～10/12） 有明村、町制施行 久保田村、芦刈村大字下古賀字大曲の区域を編入 県人口、92万1,147人</p> <p>9 県議会別館完成</p> <p>15 県農業協同組合併助成条例施行 県災害対策本部条例施行 県防災会議設置</p> <p>18 衆議院石炭対策特別委員会で池田知事参考人となる</p> <p>30 県農業構造改善事業審議会、初会合</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>28 有浦干拓潮止め</p>	<p>13 嬉野町大野原演習場問題17年ぶり解決</p> <p>27 佐賀地方裁判所、佐教組事件の3・3・4 休暇闘争に無罪判決（刑事事件）</p>	<p>○ 県、遺跡台帳の作製に着手</p> <p>○ 松浦史談会「末盧国」創刊号発行</p>
<p>6 国鉄、呼子線の経済調査始める</p> <p>11 県と農協4連の農協合併推進協議会発足</p> <p>○ 農協合併の機運高まる</p>	<p>25 県立病院好生館にガンセンター開設</p> <p>27 県ユースホステル協会設立総会</p> <p>28 農協4連合同労組結成大会</p>	<p>○ 佐賀フィルハーモニー結成</p>
<p>8 第3回全国小麦作改善競争大会で浜崎玉島町五反田のグループ日本一となる</p> <p>15 三日月村農業センター完成</p> <p>19 県工業試験場落成 県経済連農業機械センター店開き</p> <p>30 脊振山登山道路完工</p> <p>○ 経済連と園芸連との間にみかん販売問題で紛糾</p>	<p>18 県総評・炭労・社会党の石炭政策転換共闘会議、政策転換闘争を再開</p> <p>29 伊万里市二里町で大火、10戸17棟全焼</p>	<p>30 全国一斉高校学力テスト</p> <p>○ 鎮西町石室で名護屋城への一里塚発見</p>

昭和37年（1962年）・昭和38年（1963年）

	国内・国際	県治
		政
11月	<p>9 高崎達之助・廖承志「日中長期総合貿易に関する覚書」に調印（L・T貿易と略称）</p> <p>14 日英通商航海条約調印</p> <p>29 政府、石炭対策大綱決定</p>	<p>6 移動県庁、災害対策が中心となる（鹿島市）</p> <p>19 産炭地域政府調査団九州入り</p>
12月	<p>8 第42臨時国会召集</p> <p>24 第43国会召集</p> <p>○ この年 スモッグ禍問題となる 住宅難深刻化 大学の女子学生37%に達す 産米1,300万9,000トン</p>	<p>1 市町村職員共済組合新発足</p> <p>15 定例県議会（12/15～12/24）</p> <p>25 最高裁判所、基山町議会のリコールを成立と判決</p> <p>27 有明海地域総合開発計画まとまる</p> <p>30 多良岳総合開発計画（国営事業）閣議で決定</p>
1月		<p>5 県唐津総合庁舎落成</p>
2月	<p>1 日ソ貿易協定調印</p>	<p>2 佐賀市、住居表示整備審議会</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 伊万里市麻生産業久原鉱閉山</p> <p>7 有浦干拓潮止完成式（玄海町）</p> <p>16 九州地方建設局佐賀国道事務所庁舎落成式</p> <p>23 岸川ダム完工式</p> <p>29 県石炭危機突破大会</p> <p>○ 佐賀みかん東京に初出荷</p> <p>○ 炭鉱離職者雇用奨励金制度県内で初適用</p>	<p>18 肥前協会、東京県人会に改称</p>	<p>16 第1回社会教育研究大会</p> <p>27 県教委、佐賀高校を38年4月1日から佐賀西・佐賀北の2校に分離することに決定（自由志願・男女共学）</p>
<p>5 県園芸振興協議会発足</p> <p>15 農協発足15周年記念パレード県内各地で行われる</p> <p>20 福岡～佐賀～佐世保間に特急バス運行開始</p> <p>○ 福富レンコン東京市場に初出荷</p>	<p>3 唐津市に44人の密航韓国人上陸</p> <p>8 石炭政策転換要求で炭労無期限スト入り</p> <p>15 韓国から7か月ぶりに長久丸船員5人帰る</p> <p>○ この年、県内の稲豊作、史上最高24万トン</p>	<p>7 佐野常民60年忌</p> <p>20 佐賀文化団体連絡協議会発足</p> <p>○ 県教委「有明海の漁業習俗」出版</p>
<p>7 名護屋漁協、整備組合に指定</p> <p>○ 玄海の漁民、シケと降雪のため生活に困る</p>	<p>8 豪雪（佐賀地方気象台開設以来の豪雪）</p> <p>26 富士村で北山小学校の中村先生遭難殉職</p> <p>○ 中小鉱で炭鉱災害続発</p>	<p>21 県立高校の通学区域の改正</p> <p>22 大雪のため臨時休校 高校4校・中学7校・小学24校</p> <p>25 県立図書館落成式</p>
	<p>1 東脊振村小川内部落（豪雪で孤立）に食糧救援</p>	

昭和38年（1963年）

	国内・国際	県治
		政
2 月	10 北九州市発足	<p>5 県緊急雪害措置を定める</p> <p>10 「小倉事務所」を「北九州事務所」に改める</p> <p>11 県、雪害漁民救済のため、信漁連に3,000万円預託</p> <p>18 県初の防災会議開催</p> <p>25 定例県議会（2/25～3/16）</p>
3 月	31 中小企業近代化促進法公布	<p>4 唐津気象台誘致協議会発会</p> <p>11 県体育館設置</p> <p>18 県工業振興臨時措置条例制定 （県工場専業場等の設置奨励に関する条例廃止）</p> <p>23 知事選挙告示</p>
4 月	1 NHK学園高校設置	<p>1 県立いずみ荘設置 県立日の隈寮設置 嬉野町、塩田町大草野乙番地を編入 塩田町敷浪・三坂・長谷・五台の一部の嬉野町編入式（塩田町分町問題に終止符） 県看護婦等修学資金貸与条例 佐賀公共職業安定所多久出張所、本所に昇格 佐賀鉾山保安監督署設置</p> <p>2 県議会議員選挙告示</p> <p>9 県、観光開発基本計画を決定</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>4 県酪農会議発足</p> <p>9 県経営者協会創立15周年記念式典 第1回玄海連合海区漁業調整委員会</p> <p>18 佐賀銀行県金庫、支店に昇格</p> <p>22 炭鉱離職者集団赴任第1陣佐賀駅 出発(35人)</p> <p>28 国道34号線嘉瀬橋完成</p>		<p>16 佐賀西高等学校・佐賀北高等学校・ 佐賀東高等学校・半津高等学校・多 久工業高等学校開校</p> <p>18 県立図書館自動車文庫ともしび号、 初巡回</p>
<p>9 明治鉱業、立山鉱閉山式</p> <p>16 嘉瀬川ショートカット通水祝賀式</p> <p>19 15万ト米出荷達成祝賀会</p> <p>23 県労働者共済生活協同組合創立 総会</p> <p>27 伊万里市久原炭鉱閉山式</p> <p>31 北波多村幸袋鉱業唐津炭閉山 (従業員452人) 唐津東港石炭埠頭完成</p> <p>○ ミカン新種ブーム(県外資本の進 出目立つ)</p> <p>○ 県内に農業法人第1号誕生 (肥前町万賀里川農場)</p>	<p>23 福岡高等裁判所、県議会乱闘事件に 関し7人に有罪の判決</p> <p>○ 炭鉱閉山・集団就職等により県の人 口減少目立つ</p>	<p>7 第12代酒井田柿右衛門死去</p> <p>11 県体育館落成式</p> <p>20 佐賀市協楽園小籠校式</p> <p>30 塩田町姫野町小学校組合発足</p>
<p>1 国道指定(263号・264号)</p> <p>3 新除草剤(MCPCA)使用説明会</p>	<p>2 上峰村で山火事、100人焼く</p> <p>3 多久市養老施設「恵光園」開園</p> <p>5 精薄児養護施設めぐみ園付属養護学 校開校式</p>	<p>9 佐賀で初の日展開催</p> <p>14 佐賀北高通信制初めて入学式を行う</p>

昭和38年（1963年）

	国内・国際	県治
		政
4 月		<p>17 県議会議員選挙 投票率86.23%、当選、自民25・農政連5・社会11・無所属3</p> <p>21 池田直、知事に無投票当選</p> <p>25 佐賀市長に宮田虎雄無投票当選</p> <p>30 市町村長・市町村議会議員選挙 投票率90.14% 唐津市長に金子道雄当選</p>
5 月		<p>7 臨時県議会（5/7～5/9） 議長小原嘉登次・副議長勝谷弘弼選任</p> <p>9 県下7市選挙管理委員会総会、記号式投票の推進を決議</p> <p>22 県防災計画決定</p> <p>28 武雄警察署庁舎落成</p>
6 月	20 観光基本法公布施行	<p>7 県地域防災計画を策定</p> <p>15 定例県議会（6/15～6/29）</p> <p>30 宮副新一副知事退任 坂井隆治出納長退任 県災害対策本部設置 富士村・三瀬村に災害救助法適用</p>
7 月	11 老人福祉法公布 12 生存者叙勲復活を決定	<p>1 出納長に徳高廣次任命</p> <p>4 衆議院災害対策特別委員会、県内被災地視察</p> <p>10 県産炭地振興計画案決定</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
24 県炭鉱関係商工業者協議会結成		19 永原学園佐賀短期大学開学 ○ 県遺跡台帳完成
21 国営有明干拓福富工区潮止工事 ○ 水稲の集団統一栽培急増	1 県立公園北山ダムに白鳥登場	19 県絵を描く運動の会第1回集会 29 創立50周年記念第46回佐賀美術協会展 ○ 鳥栖市に市民オーケストラ誕生
6 愛知県合板工業協同組合伊万里湾視察 23 唐津市営国民宿舎落成（唐津市虹の松原）	1 県初めての交通事故処理車、鳥栖署と神埼署に配置 9 第1回県子どもまつり県内各地で開かれる 10 佐賀善意銀行発足 18 県立日の限療（救護施設）落成式 29 集中豪雨（6/29～6/30） 富士村で山津波、死亡15人・負傷21人・家屋全壊34戸・半壊106戸・浸水1,790戸	1 県文学賞創設 15 第1回県下高校総合体育大会開催 21 鍋島家古文書4,000冊県立図書館に寄託
1 大川洋鏡諸富工場落成（大川市の家具業者の諸富町進出第1号） 13 筑肥線に準急"からつ"初運行（門	3 県中央児童相談所新庁舎落成 6 県教職員連盟結成大会	1 NHK鏡山中継所テレビ放送開始九州で初のUHFテレビ局、唐津で放送開始 6 佐賀演奏家協会第1回発表会（県立図書館） 10 文部省文化財保護委員会、武雄市のおつぼ山神籠石の発掘調査始まる 13 県内文芸誌「城」同人会解散

昭和38年（1963年）

	国内・国際	政	県治
7 月	16 生産者米価1万3,200円と決定(7月13日米価審議会算定方式のみを答申)	15 市町村農業委員会委員選挙、投票率75.6% 16 県土地改良調査事務所設置 (河内土地改良調査事務所、嘉瀬川土地改良調査事務所、梅ノ木谷土地改良調査事務所) 岸川防災ダム管理事務所設置 18 機構改革 企画室の充実(行政調査事務) 商務観光課を中小企業課と観光通商課に分離 農業構造改善室設置 土木部に工事検査監設置 農林部に専門技術員室設置	
8 月	14 政府核実験停止条約に調印 15 第1回全国戦没者追悼式	1 県農業改良普及所を整備統合(浜崎玉島・大町・有田廃止、富士・脊振統合) 5 県、災害市町村との県政懇談会開く 8 臨時県議会(8/8～8/12) 16 市町村振興資金貸付規則公布 22 産炭地振興審議会九州地域部会、本県の同地域振興計画を決める 31 県総合開発審議会、後期産振5か年計画を答申	
9 月	9 物価問題懇談会初会合	9 九州高速道路建設期成会発会 16 知事、馬渡島・向島を視察 22 県コレラ対策本部設置 25 県多良岳開発事業所設置	
10 月	11 東京国際スポーツ大会開催	1 県人口、89万4,077人 5 定例県議会(10/5～10/12) 13 副知事に山田滋任命	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
司港～東唐津間の週末列車) 18 代行千拓東与賀工事、久保田工事竣工 24 福富村大福がらみ完工式 31 唐津港臨港道路完成	31 唐津市衛生処理場完工式	20 佐嘉城「シャチの門」の復元落成式
1 佐賀市呉服町のアーケード完成 6 北山ダム虹の橋渡り初め 13 佐賀～北九州間の電話、自動即時通話となる ○ 伊万里市、ラグダ産業誘致に成功	3 国民年金相談所開設 10 佐賀専門店会争議56日ぶりに妥結 15 県戦没者追悼式 17 県立老人ホーム「いずみ荘」落成式 ○ 佐賀市衛生処理場、処理水の地下浸透方式の採用に踏み切る	10 佐賀フィルハーモニーオーケストラ第1回定期演奏会 17 県立図書館大学開放講座開く
5 炭鉱離職者雇用促進第1回自動車運転委託訓練卒業式 16 雇用促進事業団伊万里総合職業訓練所開所 23 日本工業立地センター、佐賀東部を調査 24 唐津火力発電所建設に伴う漁業補償問題解決	25 玄海沿岸でコレラ予防接種始まる 27 神埼保健所新庁舎落成式 ○ 日本脳炎大流行	4 県7市市長会、来年度以降の高校建設負担金拒否を決める ○ 県文化財保護委員会、カチガラスの生態調査を実施
2 大阪工業会、県内視察		

昭和38年（1963年）・昭和39年（1964年）

	国内・国際	政	県治
10月	<p>15 第44臨時国会召集</p> <p>23 衆議院解散</p> <p>31 衆議院議員総選挙公示</p>	<p>16 知事、宮中で天皇陛下に県政を御説明</p> <p>21 薬局等の配置の基準を定める条例公布 武雄市・山内町・有田町・西有田村・三根町・神埼町・千代田村・諸富町、低開発地域に指定さる（第2次指定）</p> <p>2B 北部九州水資源協議会発会</p> <p>○ 県政モニター制度発足</p>	
11月	<p>1 新千円札発行</p> <p>9 東海道線鶴見駅で脱線二重衝突、163人死亡 三井三池三川鉱でガス爆発、死亡458人・重 軽傷555人</p> <p>22 米ケネディ大統領暗殺さる</p> <p>23 通信衛星利用の日米間のテレビ中継に成功</p>	<p>1 県養鶏試験場設置 県畜産試験場設置</p> <p>5 県鳥獣審議会初会合</p> <p>21 衆議院議員選挙 投票率80.07%、立候補9人（自民4・社会2・民社1・共産1・ 無所属1）、当選井手以誠（社会）・大坪保雄（自民）・三池 信（自民）・八木昇（社会）・館林三喜男（自民）</p>	
12月	<p>4 第45特別国会開会</p> <p>9 第3次池田内閣成立</p> <p>20 第46通常国会召集</p> <p>○ この年 兼業農家、全農家の4割を超える 火力発電量、水力発電量をオーバー、火主 水従となる プロパンガス使用家庭、都市ガス使用家庭 を上回る</p>	<p>4 失業者就労事業運営管理規程公布</p> <p>7 県企画室、佐賀空港候補地調査</p> <p>10 初の県政モニター県政懇談会開催</p> <p>14 定例県議会（12/14～12/25）</p>	
1月		<p>4 九州工業試験所誘致促進進期成会発足</p> <p>10 県厚生行政5か年計画発表</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
24 東与賀干拓完工式 26 多久市北多久町県種鶏場閉鎖（江北町に移転）	15 県環境衛生大会 20 第1回県身体障害者体育大会 23 多久市に精薄者収容施設「しみず園」開園 25 呼子町観光遊覧船組合、七つ釜を探検	14 県、明治行政資料を県立図書館に移管 31 佐賀大学長に田中定決定
1 第2次漁業センサス実施 2 佐賀共同仕入れ機構協同組合創立総会 7 県中小企業団体中央会設立15周年記念式典 15 江北町佐留志地区杵島炭鉱佐留志地区石炭採掘反対総決起大会 23 鳥栖～東京間即時通話となる（全国主要都市との即時通話県内初めて）	15 多久市、消防本部設置	9 第1回県文学賞授賞式 12 佐賀新聞社新社屋落成
1 国鉄新博多駅店開き 12 中央の財界代表者からなる産炭地企業進出視察団来佐 17 大阪の財界人からなる産炭地企業進出視察団来佐 ○ 10a当たりの水稲収量450kgを初めて突破	27 生活保護施設「南瀬陸園」廃止 ○ 県内の炭鉱の休廃山相つぎ、労働者2,000人減少	10 NHK八幡岳テレビ中継局UHF放送開始
15 佐賀・鳥栖・神埼～九州主要都市間に即時通話開通		10 県社会教育委員会、青年の家建設を知事に陳情

昭和39年（1964年）

	国内・国際	県治
		政
1 月	<p>20 日本共同証券発足</p> <p>25 文部省特殊教育振興方策を公表（聾聵学校の設置を各県に要請）</p> <p>27 経済関係懇談会公共料金値上げの1年間ストップ等を決定</p>	
2 月	<p>5 九州開発審議会、長期総合開発計画を首相に答申</p> <p>18 文部省国立大学学生寮経費の負担区分について通達（水道費・光熱費の学生負担を明示）</p> <p>23 国鉄電子式座席予約装置の運転開始</p> <p>27 大分空港で富士航空機墜落炎上、20人死亡、22人重軽傷</p>	<p>4 県、市町村振興計画作成要綱をまとめる</p> <p>28 知事、財政再建債の繰上げ償還を表明</p> <p>29 定例県議会（2/29～3/26）</p>
3 月		<p>1 上場開発基本計画実施始まる</p> <p>3 久保田村と芦刈村との境界決定</p> <p>25 県議会内に明政クラブ結成（所属議員5人） 県議会、44年団体誘致採択 県議会、国立九州工業技術試験所の県内誘致を決議</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>16 唐津港に戦後初めて韓国の鮮魚水揚げ</p> <p>○ 九州松下電器島栖進出本決まり</p>	<p>31 人形石山動きだし、10戸に避難警告</p>	<p>25 郷土作家近代洋画展</p>
<p>6 杵島共同仕入機構組合創立総会</p> <p>9 有明干拓入植10周年記念式典</p> <p>11 鎮西町馬渡、加唐両島～唐津間即時通話開通（玄海の離島全部即時通話となる）</p> <p>13 佐賀営林署新庁舎落成</p> <p>17 県、国立防災科学技術センターと山崩れ総合研究会開く</p> <p>20 唐津市内の7農協合併仮調印（県内大型合併第1号）</p> <p>○ 川副町南川副漁協に日本一のノリ人工採苗場完成</p>	<p>8 教職員削減反対春闘要求貫徹総決起大会</p> <p>18 老人大学、県下5か所で始まる</p> <p>29 佐賀専門店会組合員17人を指名解雇</p>	<p>1 塩田工業高等学校設置 同人誌「文学佐賀」（佐賀）創刊</p> <p>3 東京オリンピック聖火リレーの県内コース決定</p> <p>20 佐高蓮池分校最後の卒業式</p>
<p>1 佐賀～東京間に自動即時通話開通</p> <p>13 伊万里港にフィリピンからラワン材貿易第1船入港</p> <p>15 伊万里市森林組合発足</p>	<p>2 県で初めての小児マヒの国産生ワクチン投与始まる</p> <p>3 天山地区共同衛生処理場組合発足</p> <p>12 佐賀市婦人連絡会、悪書追放の会を開き、雑誌等1,000冊焼く</p>	<p>8 定時制高校生を描く81映画「若い麦」完成</p> <p>16 県体育協会、44年国体の誘致を県議会に陳情</p> <p>25 文化財保護委員会、有田町の奥川忠右衛門を重要無形文化財技術記録保存選択に指定</p>

昭和39年（1964年）

	国内・国際	県
		政 治
3 月	31 政府、4月1日からカラーテレビ・灯油等 8品目の自由化決定、自由化率93%	31 県財政再建計画完了
4 月	1 日本IMF8条国へ移行 海外旅行自由化 8 ミロのヴィーナス展（東京） 28 第1回生存者叙勲201人を発表 日本、経済協力開発機構(OECD)に加盟	1 機構改革 農林部の専門技術員室を農業専門技術員室と林業専門技術員室 に分離 県立みどり園設置 県教科用図書選定審議会設置 監査委員に代表監査委員制度採用 14 九州工業技術試験所、鳥栖設置決定 27 日本工業立地センター「東部地区経済開発調査」まとまる 28 第1回生存者叙勲県関係者に田中耕太郎・本村善太郎・田中鉄 三郎の3人 ○ 「米づくり県民運動推進本部」設ける
5 月	10 熊本県「蜂の巣城」で下釜ダム建設反対九 州総決起大会 20 初の中国黨参団出発	20 東部工業用水道水利権問題解決 21 臨時県議会（5/21～5/23） 県総合防災訓練（嘉瀬川）

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
27 県貿易協会設立 31 県養鶏試験場落成 代行干拓東山代工事竣工	29 三田川町で、20棟全焼16世帯焼け出される	31 県内初の小城町給食センター完成
1 国鉄唐津線中多久駅開駅 補助干拓沼川工事着工 10 別府～長崎・佐世保を結ぶディーゼル準急「西九州号」運行開始 14 県山林会館落成 19 佐賀茶商工組合設立 24 長崎本線電化複線化促進期成会発足 26 唐津シーサイドヘルスセンター完成 27 県貯蓄推進委員会、「県民貯蓄の日」定める 29 県下で初のガス窯設置 30 北方炭鉱閉山(高取資本の発祥地、55年の歴史閉す)	1 県失業対策事業に長期紹介方法(現場直行)を採用	1 塩田工業高校開校 伊万里女子高校開校 10 佐賀工業高に電子実験室完成 15 帯隈山神龍石緊急調査 19 佐賀北高通信制に肥前町から23人集団入学
12 県農山漁村近代化センター落成 13 呼子町臨海道路開通 14 佐賀駅移転のボーリング調査開始 19 県建設会館落成 20 県農林業機械化協会設立 24 株式会社サンのり設立 27 雇用促進事業団佐賀・伊万里職業訓練所完成	18 佐賀地裁、佐賀専門店会に団交再開の緊急命令 24 戸上電機、月1回の週5日制を採用 25 佐賀市高木瀬小学校で集団赤痢大流行(400人を越える大量の患者発生) 27 愛と平和の像除幕(佐賀市城内公園) 佐賀市宗龍寺に無名戦士の碑除幕 31 日赤佐賀学生献血連盟発足	7 佐賀大学、大学拡充計画の基本方針発表(理工学部・経文学部の設置構想) 13 県社会教育委員会、成人教育振興について答申 23 塩田町「唐泉山の権の天然林」を県天然記念物に、肥前鳥岩5基を県重要文化財に指定 24 国立阿蘇青年の家開所 30 お母さんバレーボール県大会(県体育館)

昭和39年（1964年）

	国内・国際	県治
		政
6 月	<p>1 新三菱重工・三菱日本重工・三菱造船の3社合併、三菱重工発足 ビール・酒類全面的に自由価格制実施</p> <p>16 新潟地震、死者不明38人・全半壊8,600戸</p>	<p>3 東部工業用水道建設事業に関し福岡・佐賀両県調印</p> <p>11 県、市町村行政診断実施要領を定め、市町村の行政診断を始める</p> <p>20 県、都市計画課設置</p> <p>22 県産業振興後期5か年計画に、住民の要望を反映すべく、多久で県政懇談会開催</p> <p>○ 県、農業就業動向発表（4年間に1万6,000人離農）</p>
7 月	<p>1 母子福祉法公布</p> <p>3 工業整備特別地域整備促進法公布</p> <p>9 生産者米価、1万5,001円と決定（5日米価審議会生産費及び所得補償方式が妥当と答申）</p> <p>18 第3次池田内閣改造成立</p>	<p>1 機構改革、企画室知事直属となる</p> <p>7 警察制度改革10周年記念式典</p> <p>10 企画室に青少年対策部門を新設</p> <p>18 定例県議会（7/18～7/31）</p> <p>○ 県、筑後川水系利水計画を検討</p> <p>○ 県立病院好生館再建5か年計画を作成</p>
8 月		<p>1 県理科教育センター設置 県特別職報酬等審議会設置 東山代耕地事業所廃止</p> <p>6 海区漁業調整委員会委員選挙、有明海区無投票、松浦海区投票率76.56%</p> <p>11 県、新佐賀段階米づくり推進本部設置</p> <p>15 県、紙業試験場を工業試験場に吸収 県農業試験場干拓営農分場設置</p> <p>29 県唐津港の振興計画案まとまる</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
1 県河内ダム建設事務所設置 5 佐賀経済同友会誘致企業と既存企業との共存について提言 16 北山ダム周遊道路完成 17 県労働力対策協議会発足 25 鉄道審議会、呼子線の工事線昇格を答申	5 県公安委員会、飲酒運転による死亡事故について、すべて免許取消しと決定 30 第1回戦没者叙勲伝達式 佐賀専門店会争議4か月ぶりに解決	23 県、オリンピック国民運動県推進協議会共催「オリンピックのつどい」(県体育館) 26 全国初の選定図書センター店開き(佐賀市神野町)
1 諸富町南北農協合併 5 初の県内就職者補導激励大会開催 18 名古屋市中川鉄工協同組合の大町町進出決定 20 伊万里合板落成式	 ○ 老人クラブ誕生	7 県民俗資料緊急調査協議会開催 15 佐賀市に勤労青年学校開設 17 県史編さん第1回準備委員会 20 佐賀大学教授陣を動員して小城農業大学開講
18 県開拓営農指導対策協議会、開拓営農振興の12市町村を指定 20 第1回県技能競技大会開催 26 県農畜産物流通改善対策協議会設置	1 風俗営業の深夜営業制限される 17 県救急医療協議会、佐賀市内の17病院を救急医に指定 ○ 干害、全県下にひろがり、県下7市町時間給水	28 鹿島市東部統合中学落成式

昭和39年（1964年）

	国内・国際	政	県治
9月	<p>1 閣議、中高年齢者層の雇用促進を決定</p> <p>9 オリンピック聖火リレー始まる</p> <p>17 羽田～浜松町間モノレール開通</p> <p>23 横須賀・佐世保で原潜寄港反対集会</p>	<p>1 県上場地域開発対策委員会設置</p> <p>10 県政モニター懇談会 九州横断自動車道建設期成会発足</p> <p>14 衆議院石炭特別委員会来佐</p> <p>21 定例県議会（9/21～10/5）</p> <p>30 第2次政府石炭鉱業調査団来佐（団長有沢広巳）</p>	
10月	<p>1 東海道新幹線営業開始</p> <p>3 九州横断道路開通</p> <p>10 第18回オリンピック東京大会開会</p>	<p>1 県人口、88万536人</p> <p>8 県林業構造改善事業促進対策審議会設置 県屋外広告物条例公布</p>	
11月	<p>8 国際身障者スポーツ東京大会開会（愛称パラリンピック）</p> <p>9 佐藤内閣成立</p> <p>11 全日本労働総同盟結成大会</p> <p>12 原子力潜水艦、シードラゴン号佐世保港入港</p> <p>17 公明党結成大会 経済審議会、中期経済計画の答申案決定（39年～43年）（所得倍増計画のひずみ是正、高度安定成長を目標とする）</p>	<p>16 県屋外広告物審議会設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>11 県キャラ楠保存会発足</p> <p>21 第5回県石炭対策推進協議会</p> <p>28 県漁業共済組合設立</p> <p>○ 多良岳開拓道路完成（鹿島市）</p>	<p>1 交通教育指導車「緑十字号」を警察本部に配置</p> <p>5 唐津胃研究所開所</p> <p>11 動く交通教室、県内で初めて開かれる</p>	<p>6 第1回7市対抗陸上競技大会</p> <p>15 オリンピック聖火、県内を通過（9/15～9/16）</p> <p>25 帯限山神籠石緊急調査報告会</p>
<p>8 全販連佐賀種鶏場完成</p> <p>13 タイのバンコクで西日本物産見本市に出品</p> <p>19 大日鉱業立川炭鉱2鉱着炭式</p> <p>20 新佐賀段階米づくり推進運動本部第1回現地検討会</p> <p>○ 県水産試験場でカニの繁殖実験に成功</p>	<p>7 県献血推進協議会発足</p> <p>8 第1回県統計大会</p> <p>20 佐賀市城内公園に噴水登場</p>	<p>1 NHK、カラー放送開始（九州・山口地方）</p> <p>2 佐賀商高移転総合落成式</p> <p>18 佐賀野鳥の会設立総会</p> <p>19 県総合競技場建設促進協議会発会</p>
<p>4 県信用保証協会創立10周年記念式典</p> <p>5 サンのり株式会社落成（佐賀市西与賀町）</p> <p>11 高木瀬工場団地落成式</p> <p>13 開拓道路能古見線（代行事業）完成（鹿島市）</p> <p>19 農林省九州農政局白石地下ダムの注水試験を実施</p> <p>25 国家公務員共済組合佐賀宿泊所「有明荘」落成</p>	<p>5 鳥栖市衛生処理場完成</p>	<p>3 第1回県中学校剣道大会開催</p> <p>5 県理科教育センター落成式</p> <p>8 パラリンピックに県勢7人参加（金2・銀1・銅4獲得）</p> <p>9 佐賀新聞社創立80周年記念式典</p>

昭和39年（1964年）

	国内・国際	政	県治
11月			
12月	<p>16 石炭鉱業審議会、炭価引上げ利子補給などの石炭産業再建策を答申（第2次答申）</p> <p>21 第48国会召集</p> <p>○ この年 流行歌「東京五輪音頭」、ノースリーブ</p>	<p>1 県屋外広告物条例施行 公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例施行</p> <p>9 県未収債権審査委員会設置</p> <p>12 県、出先機関の統合計画発表（県税事務所・福祉事務所・家畜保健衛生所の3機関） 定例県議会（12/12～12/24）</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>30 県道佐賀駅～中館線用地買収、11年ぶりに解決</p> <p>○ 八幡岳観光道路完成</p>	<p>26 本県女性ドライバー第1号、26年間無事故で全国初の大臣表彰をうける</p> <p>27 ナイチンゲール賞受賞の武藤ヒロ死去</p>	<p>29 県教師会結成大会</p>
<p>1 昭和バス、九州で初めてワンマンカー運行始める 県漁業取締船「ありあけ」就航</p> <p>12 県労働者住宅生活協同組合創立総会</p> <p>22 県開拓会館落成</p> <p>○ 県内誘致企業に暗影（サンウェブ工業・ペリカンメリヤス操業中止）</p>	<p>12 県医師会一斉休診</p> <p>20 県医師会一斉休診</p>	<p>5 県庁演劇サークル10周年記念公演「父と子」上演</p> <p>7 県教育映画祭（県立図書館）</p> <p>12 「佐賀県生物誌・植物編」出版</p>

昭和40年（1965年）

	国内・国際	政	県治
1 月	<p>10 ILOドライバー調査団来日</p> <p>22 閣議、中期経済計画決定（成長率8.1%、物価上昇2.5%）</p>	<p>21 国立防災科学技術センター「有明海北部沿岸内水排除」について現地調査</p> <p>31 県東部開発促進期成会発足</p>	
2 月	<p>20 アンブル入り風邪薬による中毒死多発のためアンブル入り風邪薬販売自発的に中止</p>	<p>1 青少年の声を聞く会「こんにちは知事さん」開く 県庁中別館落成式</p> <p>9 県、唐津港運営委員会に、唐津港振興5か年計画諮問</p>	
3 月	<p>6 山陽特殊鋼株式会社、会社更生法の適用申請（負債総額500億円、戦後最大の倒産）</p> <p>13 交通安全国民会議初会合</p>	<p>1 定例県議会（3/1～3/26）</p> <p>7 民社党県支部再建大会（4年ぶり）</p> <p>11 県、特別職報酬改定について特別職報酬審議会に諮問 海口守三島樞市長辞任</p> <p>20 機構改革 交通指導課・運転免許課新設</p> <p>31 佐賀市・大和町・鹿島市・塩田町、低開発工業開発地区の指定をうける</p>	
4 月		<p>1 千代田村・西有田村・三田川村・北茂安村、町制施行 県立血液センター設置 県漁民研修所設置 県有料道路建設事務所設置 県道路整備調査事務所設置 佐賀社会保険事務所設置 自動車運転免許試験場設置 県医療扶助審議会設置 第1回町村職員採用統一試験実施</p> <p>5 県内で初めての住居表示制度唐津市で実施</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
14 六角川、牛津川改修促進決起大会	11 大雪のため県内交通機関マヒ (1/11～1/12) 22 県春闘共闘委結成大会	29 日韓親善文化使節韓国児童劇団公演
3 日本商工会議所産炭地視察団来佐 14 佐賀市と全国県庁所在都市間の電話即時通話となる 26 唐津シーサイドヘルスセンターにボーリング場開場(県内初めて)	18 米軍ジェット機基山町宮浦に墜落 太良町大浦地区で全国初の潜水病調査 26 県子供クラブ連絡協議会発会式	5 唐津市、暴力団関係者の興業に体育館を貸さないことを決定 18 佐賀高等学校最後の卒業式
1 白石町有線放送電話起工式 3 県上場開発対策委員会、上場地域開発計画書を答申 15 松浦漁協等に解散命令 20 県水産試験場移転新築落成 27 県下初の農業後継者激励大会 28 県営有明総合実験農場開場式 29 新佐賀段階米づくり運動推進大会	5 唐津市老人福祉センター完成 7 佐賀地方同盟発足	22 NHK佐賀放送局FM放送開始 ○ 佐賀植物友の会できる
1 多久市農協(納所農協を除く6農協合併)・太良農協(太良・大浦・東部酪農の3農協合併)発足 4 有明海モガイ漁13年ぶりに解禁	1 県母子福祉センター設置 7 県レントゲン車完成「なぎさ号」と命名	1 佐賀大学農学部農芸化学科新設

昭和40年（1965年）

	国内・国際	県治
		政
4 月	<p>15 衆議院ILO特別委員会で87号条約承認、これに伴う関係国内4法案強行採決</p> <p>30 4月の消費者物価指数11年半ぶりの大幅上昇</p>	<p>17 鳥栖市長選挙、安原謙市当選</p> <p>22 県農政協議会発足（農政連の改組）</p> <p>○ 県、役場消防の設置を奨励する</p>
5 月	<p>11 山村振興法公布</p> <p>28 九州横断自動車道建設法公布（長崎～大分）</p>	<p>12 国立九州工業技術試験所開所 県鳥に「かささぎ」決定</p> <p>13 県議会明政クラブの3人、自民党入党</p> <p>17 臨時県議会（5/17～5/18） 副議長坂井靖弘選任</p> <p>25 県政懇談会</p> <p>27 県筑後川水資源開発協議会設置</p>
6 月	<p>1 福岡県山野炭鉱でガス爆発、236人死亡</p> <p>9 ベトナム戦争反対国民行動の日、安保以来最大規模の集会デモとなる</p> <p>10 参議院議員選挙公示</p> <p>22 日韓協定調印式</p>	<p>15 県、44年国体誘致申請書提出</p> <p>16 機構改革 青少年交通対策室設置 行政調査課設置 県税事務所・福祉事務所・家畜保健衛生所を佐賀・唐津・武雄の3か所に統合 佐賀県物産観光東京センター設置 嘉瀬川土地改良事務所設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
11 伊万里港に唐津税関支署監視署設置 14 県韓国経済視察団出発 15 天山横断林道完成 16 佐賀銀行東京支店開店 23 県営白石北部用水改良事業25年ぶり完成 30 県水産試験場漁民研修所落成 ○ 人形石山防災工事農林省直轄工事(5か年計画)開始	17 県血液センター採血車「しろはと号」到着 25 県身体障害者連合会から盲部会脱退し、盲人福祉協会を設立	20 佐賀市金立町大門金立山麓で1,400年前の古墳発見 28 日本退職女教師連合会県支部結成
12 国営多良岳パイロット事業にミカン苗新植始まる 20 国鉄呼子線起工式 31 県農畜産物流通改善対策協議会、価格安定を建議	1 県血液センター開所式 17 県青少年問題研究大会 25 県採血車「しろはと号」初の採血	9 佐賀フィルハーモニーと杉町バレエ合同公演 26 佐賀大学筑紫寮、水道料問題で紛争
1 佐賀商工会議所内に中小企業技術研修所開設 6 佐賀・唐津～伊万里間電話自動即時通話となる 15 うまい佐賀みかんづくり推進本部結成 23 県共同仕入れ機構協同組合連合会発足	5 県ママポリス登場 18 豪雨、武雄地方で160mm冠水	4 佐賀市「大隈重信旧宅」・武雄市「おつほ山神籠石」史跡に指定 13 色鍋島今右衛門300年祭

昭和40年（1965年）

	国内・国際	県治
		政
6月		
7月	<p>9 生産者米価、150kg1万6,375円決定</p> <p>27 閣議、不況対策で国債発行の方針決定</p>	<p>4 参議院議員選挙 立候補者3人（自民1、社会1、共産1）、投票率73.56%、鍋島直紹（自民）当選</p> <p>10 東与賀耕地事務所廃止</p> <p>11 唐津市県議会議員補欠選挙、立候補者4人、投票率71.14%</p> <p>14 県議会産炭地域振興対策特別委員会、杵島炭鉱役員を参考人に呼ぶ</p> <p>26 知事、県農業試験場の移転を発表（跡地に総合競技場建設を計画） 定例県議会（7/26～8/6）</p>
8月	<p>13 前首相池田勇人死去</p>	<p>1 山田滋、副知事辞任</p> <p>4 徳富廣次、副知事任命 板谷経道、出納長任命</p> <p>13 九州地方行政連絡会議発足</p> <p>22 山内町に県下初の役場消防団発足</p> <p>26 県地域沿岸漁業構造改善審議会設置</p>
9月		<p>5 多久市長選挙、藤井儀作当選</p> <p>7 筑後川総合開発反対福岡・佐賀両県漁民大会（大牟田市）</p> <p>8 県青少年問題協議会、毎月第1日曜日を「家庭の日」と決定</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
24 唐津港海水汚濁対策協議会初会合 25 肥前町に県内初の観光釣船協議会発足	26 第1回国土を美しくする運動県推進委員会 27 第1回県歩け歩け運動（佐嘉神社～川上峡）	
8 うまい佐賀みかん作り推進大会 9 県中小企業労働対策協議会発足 16 北山ダム湖畔荘別館落成 19 県鉱業市町村協議会、関西に企業誘致班派遣 22 県物産観光センター、東京銀座に開店	1 佐賀市信愛社争議82日ぶりに解決 3 伊万里市人形石山崩き出す、9戸に避難命令 18 豪雨（7/18～7/19）	8 佐賀大学拡充整備期成会発会 23 星巖寺楼門、県文化財に指定 27 旭高、旭学園、佐賀女子高と名称変更短大・多久分校新設を決める
1 佐賀市農協発足（市内10農協合併、県下最大のマンモス農協） 6 八幡岳開発促進期成会発会 10 白石町有線放送電話施設開通式 佐賀市中央大通開通式 18 石炭鉱業審議会杵島炭鉱再建計画審議（債務73億円、融資元本返済猶予、利子棚上げ、開発資金の融資を決定） ○ 旧地主の農地報償金支払手続き始まる	2 佐賀市衛生処理場落成（佐賀市巨勢町） 7 県衛生合同庁舎落成（佐賀保健所・県衛生研究所） 29 県初の母親大会開催 30 県市町村青少年問題協議会設置	1 全国高校野球大会西九州大会、佐商3年ぶり甲子園出場決定 8 全国高校剣道大会で佐賀北高校優勝 18 県公立学校施設整備期成会発会 21 県教職員チーム、全国教職員剣道大会で優勝
1 佐賀市内の青空駐車禁止となる 3 鹿島市ミカン選果場完成	1 精薄児施設「くろかみ学園」落成	

昭和40年（1965年）

	国内・国際	県治
		政
9 月		<p>9 北部九州水資源開発協議会が筑後川からの白石平野への導水を承認</p> <p>29 定例県議会（9/29～10/12）</p>
10 月	<p>1 第10回国勢調査</p>	<p>1 国勢調査、県人口87万1,885人</p> <p>29 観光政策審議会、九州観光ルート（S字型）答申</p> <p>31 アメリカ州知事団一行13人来佐</p>
11 月	<p>10 日本原子力発電会社、初の営業用原子力発電に成功</p>	<p>3 元県知事真崎長年死去</p> <p>10 全国都道府県議会議長会（嬉野町）</p> <p>25 伊万里港運営委員会（石炭中心からの転換をはかる）</p> <p>○ 県営ほ場整備事業に東与賀村、浜崎玉島町を指定</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>11 北方町にゴルフ場設置さる（旧北方炭鉱跡）</p> <p>18 杵島炭鉱再建案に労使双方調印</p> <p>26 国鉄長崎本線複線化工事佐賀～鍋島間完成、正式運転開始</p> <p>○筑後川水資源開発漁業影響調査始まる</p> <p>○三菱古賀山鉱業所月1人60ト出炭の日本記録樹立</p>	<p>10 県医療機関整備審議会、西有田町共立病院のケイ肺病棟設置を承認</p> <p>29 県総評第16回定期大会（地区労の統合を決める）</p> <p>30 初の県交通安全県民会議開催</p> <p>○ニクピタン問題、県内全般に広がる</p>	
<p>1 伊万里市内10農協合併 塩田、大草野農協合併 国鉄西唐津駅から鮮魚専用列車運行始まる 唐津港公共臨港鉄道開通</p> <p>2 九州経済同友会、民間の九州開発構想をまとめる</p> <p>5 県初のミカン園の航空防除始まる</p> <p>11 佐賀駅高架移転促進期成会発会</p> <p>16 復活第1回県発明考案奨励展開催</p> <p>○脊振山間部水稲に冷害発生（被害6億7,000万円）</p>	<p>1 佐賀駅にみどりの窓口設置</p> <p>3 第1回家庭の日</p>	<p>2 第18回県民体育大会（初の郡部開催、小城市）</p> <p>31 佐賀オペラ初公演「真間の手古奈」上演</p>
<p>5 武雄市国鉄嬉野新線期成会発会</p> <p>10 日本商工会議所産炭地視察団来佐</p> <p>14 県内企業就職者激励大会</p> <p>24 18銀行佐賀支店開店（佐賀市白山町）</p> <p>29 川副町大詫間代行干拓瀬止工事</p> <p>○県、通産省の委託を受けて玄海町値賀崎の原子力発電所選地調査を始める</p>	<p>1 県、佐賀市内18の病院を救急病院に指定</p> <p>11 全電通県支部、スト処分のマンモス訴訟を佐賀地裁に提訴</p>	<p>1 唐津鏡山山麓で日仏合同の唐津遺跡発掘調査</p> <p>13 鳥栖商高設置期成会発会</p> <p>○「佐賀県の歴史と文化」刊行</p>

昭和40年（1965年）・昭和41年（1966年）

	国内・国際	県治
		政
12月	<p>14 水資源開発審議会、「筑後川水系水資源開発基本計画」答申</p> <p>18 日韓条約批准書交換</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学の学生数100万人突破 ○ 戦後最大の証券不況 ○ 消費者物価上昇7.4%（過去10年間の最高） 	<p>3 県民生委員審査会設置</p> <p>11 定例県議会（12/11～12/24）</p> <p>20 県住宅供給公社発足</p>
1月	<p>19 国債引受契約書調印</p> <p>21 日ソ航空協定調印</p> <p>29 赤字国債発行</p>	<p>17 在日韓国人の永住申請始まる</p> <p>25 県、ニューカッスル病防疫対策本部設置</p>
2月	<p>4 全日空機東京湾に墜落、33人死亡</p>	<p>25 伊万里市等9市町村近接の長崎県と消防協定締結</p> <p>○ 県、公共事業早期着工のため公共事業等施行推進本部設ける</p>
3月	<p>4 カナダ航空機、濃霧で羽田空港防潮堤に激突炎上、死者64人</p>	<p>1 定例県議会（3/1～3/28）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 佐賀玉屋新装開店 県屋外広告物条例完全実施となる</p> <p>7 北方町鉦寄復旧工事完成</p> <p>8 県開拓20周年記念式典</p> <p>18 有明漁連ノリ保管庫完成</p> <p>24 本県、米作り日本一となる。10a 512kg</p> <p>○ 東京銀座香蘭社ビルに「東京佐賀 クラブ」発足</p>	<p>9 県警、交通事故急増のため非常事態 宣言</p> <p>25 県体力作り協議会発足</p>	<p>3 県産業教育80周年記念式典</p>
<p>6 日韓漁業協定規制水域への本県漁 船に出漁許可証交付</p> <p>20 県営嘉瀬川土地改良事業起工</p> <p>21 伊万里港エネルギーセンター建設 促進期成会発足</p> <p>24 米作日本一東与賀村から出る</p> <p>○ 県商工会連合会、中小企業高度化 推進委員会設ける</p>	<p>7 体力づくり歩け歩け運動始まる</p> <p>13 副島博武雄市長死去</p> <p>15 済生会唐津病院、成人病教室を設け る</p> <p>18 諸富町、佐賀市の衛生処理水佐賀江 放流に反対し知事に斡旋を申し入れ</p> <p>26 佐賀市衛生処理場処理水佐賀江放流 をめぐる県・佐賀市・諸富町3者会談</p>	<p>12 現代日本版画展</p> <p>16 中島哀浪歌碑除幕式</p> <p>24 県陶芸協会発会</p>
<p>6 昭和40年度朝日農業賞、福富村に 決定</p> <p>9 県農林部、来年度の米づくり推進 策として近代化集団倍增を決める</p> <p>27 筑後川開発影響調査団、水産物へ の影響の中間報告取りまとめる</p> <p>28 長崎本線電化複線化協議会、電化 利用債の引受けを正式表明</p> <p>○ 巖木町広瀬のミカン園共同防除施 設完成（西日本一）</p>		<p>12 県漕艇協会発足</p> <p>17 小城高校多久分校開校式</p> <p>24 第1回県スポーツ賞受賞者決定（5 団体、4選手）</p>
<p>4 第1回有田川汚水対策協議会</p>		

昭和41年（1966年）

	国内・国際	政	県治
3 月	<p>5 BOAC機、富士山付近で空中分解墜落、死者 124人</p> <p>20 全国カラーテレビマイクロ回線完成</p> <p>31 法務省、住民登録集計による総人口1億を突破</p>	<p>5 公営選挙連盟県支部発会</p> <p>6 武雄市長選挙、本山昌太郎当選</p> <p>12 社会党県本部結党20周年式典</p> <p>29 政府、ノリ被害に天災融資法適用を決定</p> <p>30 県農政協議会第1回総会</p>	
4 月	<p>1 交通安全施設等整備事業緊急措置法公布</p>	<p>1 県警察本部交通部新設、機動捜査隊発足 佐賀市の新住居表示スタート</p> <p>5 諸富警察署庁舎完成</p> <p>17 伊万里市長山口正次当選、鹿島市長矢野正治当選</p> <p>19 機構改革 中小企業診断指導室設置</p> <p>25 水資源開発公園筑後川工事事務所開所</p>	
5 月		<p>10 県、総合開発審議会に県勢新長期計画を諮問</p> <p>20 臨時県議会（5/20～5/21）</p>	
6 月	<p>1 公職選挙法改正公布（永久選挙人名簿作成）</p>	<p>1 佐賀地裁・家裁新庁舎落成</p> <p>2 県政懇談会</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>5 日韓共同規制水域出漁船協議会結成</p> <p>19 県陸運事務所庁舎落成</p> <p>25 筑肥線に準急「からつ」初運行(博多～有田～佐世保)</p>	<p>6 佐賀市衛生処理水佐賀江放流反対町民総決起大会(諸富町)</p> <p>9 県地方労働委員会創立20周年記念式典</p> <p>17 佐賀市巨勢町に交通安全母の会結成</p> <p>25 労働問題懇話会開催</p> <p>○ 県、佐賀市衛生処理場処理水の放流禁止を勧告(処理水が基準以上)</p>	<p>7 農村漁村体カづくり運動大会</p> <p>20 第1回県庭球大会</p> <p>22 第1回県スポーツ授賞式</p>
<p>1 武雄市農協発足(7農協合併) 上場農業協同組合発足(呼子・打上・値賀・有浦・入野・入野西部・切木の7農協合併)</p> <p>3 県農林漁業祭開催</p> <p>11 李ラインだ捕漁船の特別給付金支給受付開始(県関係14隻) 漁民研修生第1回入所式</p> <p>22 県花き園芸組合設立総会</p>	<p>1 多久警察署内に交通事故相談所開設 県家庭相談員設置</p> <p>5 佐嘉神社前に県内初の歩道橋完成</p> <p>13 佐賀市民会館落成式</p> <p>○ 県青少年交通対策室、民間交通指導員250人委嘱</p>	<p>1 小城高多久分校廃止 教員保養所廃止 佐賀大学に経済学部・理工学部設置 カラーテレビ放送の本格的放送始まる</p> <p>12 旭学園佐賀女子高多久分校開校</p> <p>18 太良町高校誘致促進協議会設立</p> <p>20 県出身佐々木精一郎、ボストンマラソンで第2位に入賞</p>
<p>9 県東部工業用水道通水試験始まる</p> <p>13 玄海国定公園区域拡張促進期成会発会</p> <p>17 初の県工業開発懇談会開催</p>	<p>1 県警察本部各署に交通事故相談所開設</p> <p>2 佐賀市昭栄中、県内初の交通安全宣言</p> <p>18 沖繩慰霊塔の名称、「はがくれの塔」に決定</p> <p>27 鹿島市民会館落成</p>	<p>13 県体育館に立体音響装置完成</p> <p>19 多久聖廟の設計書発見される</p>
<p>3 海岸保全区域に東与賀・久保田・福富の海岸指定</p> <p>4 敷木町に西日本一のミカン園共同防除施設完成</p>		

昭和41年（1966年）

	国内・国際	政	県治
6 月	<p>14 ILO87号条約発効</p> <p>25 国民の祝日に関する法律の改正法公布（敬老の日・体育の日が加わる）</p>	<p>17 県児童福祉審議会設置</p> <p>○ 県、土木工事入札について、土木工事指名審査委員会設置</p>	
7 月	<p>1 第2次佐藤内閣発足</p>	<p>1 県、給与等の支給事務の集中管理始まる 県西部ブロック市町村消防相互応援協定調印</p> <p>5 定例県議会（7/5～7/16）</p> <p>21 建設省、九州縦貫高速道路最終計画発表</p> <p>31 県競馬事務局廃止</p>	
8 月	<p>1 佐藤改造内閣成立</p> <p>26 閣議、石炭産業の長期安定策決定</p>	<p>1 県競馬組合設置</p> <p>20 佐賀・福岡両県国道3号線バイパス建設促進期成会発会</p> <p>29 定例県議会（8/29～9/10）</p> <p>31 管理職員等の範囲を定める規則施行</p>	
9 月		<p>1 県中部19市町消防相互応援協定調印</p> <p>2 県議会、ILO関係特別委員会を設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>8 B S 液化ガス唐津工場に中近東から第1船入港</p> <p>13 第1回た捕漁船特別給付金支払</p> <p>18 県公害対策連絡会議発足</p>	<p>25 県社会福祉会館落成</p> <p>○ 各地に献血協力組織できる</p>	<p>9 小中学校長会・高等学校長会、県高校入試制度改善研究部会発足</p>
<p>2 筑後川水系農業開発構想策定委員会発会</p> <p>5 県議会、総理大臣顕彰(水稲改良)の山川寛・岡田正憲への感謝決議</p>	<p>6 脊振山に私人飛行家アンドレ・ジャビー遭難記念碑除幕</p> <p>12 佐賀市中央ライオンズクラブ結成</p> <p>15 県自治会館落成</p> <p>18 古湯・熊の川温泉、国民保養地に決定</p>	<p>1 第1回県陶芸協会展</p> <p>19 鹿島実高塚田分校廃校</p> <p>26 杵島山古墳群発掘調査</p>
<p>11 県農協系統組織整備委員会第1回会合</p> <p>18 県航空防除推進協議会発足</p> <p>20 諸富橋無料開放</p> <p>23 佐賀北部バイパス用地買収工事始まる</p> <p>31 県農協共済創立10周年記念式典</p>	<p>2 県血液センター街頭献血を始める</p> <p>31 県、日本脳炎の汚染地区に指定さる</p>	<p>9 杵島山古墳群杵島山古墳発掘調査</p> <p>25 同人誌「玄海派」創刊</p>
<p>15 県園芸連20周年記念式典</p> <p>16 佐賀土地改良区成立(市の江・大井手・西芦刈・東芦刈合併)</p>	<p>8 佐教組ILO関係二条例制定に抗議し、1.5割の休暇闘争を実施</p>	

昭和41年（1966年）

	国内・国際	県治
		政
9 月	24 天草五橋開通 台風26号関東中部地方に大被害、死者不明 314人	
10 月		1 富士村・東与賀村、町制施行 県人口、86万8,704人 25 元衆議院議員真崎勝次死去 27 県青少年育成県民会議結成
11 月	30 第53臨時国会召集	1 浜崎玉島町、町名を浜玉町に変更

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
17 農村出稼家庭の声を聞く会 20 福岡ー長崎間直通の特急バス開通 21 杵島6か町村による杵島水資源開発推進総決起大会 29 佐賀商工会議所70周年記念式典		20 虹の松原保護対策協議会発足
1 国鉄有田駅、コンテナ基地に指定される 5 第1回県月給農家大会 6 西唐津ー東京間鮮魚特急列車第1陣出発 9 佐賀電話局、市外電話センター開局 11 第1回九州地区水稲集団栽培研究会 13 県産炭地域振興実施計画案まとめる 14 佐賀江大橋完工 20 県観光キャッチフレーズ「伝説と陶芸のくに 佐賀」に決定 28 唐津城落成式	14 共同募金20周年記念県社会福祉大会 19 沖縄の「はがくれの塔」除幕式 21 佐教組半日休暇闘争 24 肥前町で出かせぎ者の労働組合結成	2 県写真協会結成 17 有田焼創業350年記念式典 20 NHK有田テレビ中継局開局 25 第21回国民体育大会で毛利俊海、高校男子槍投に優勝 29 歌人中島哀浪死去
1 県農業後継者対策協議会発足 2 コンバイン、県で初の実用化 14 県南部地区観光推進協議会発会 16 浜千拓締切 29 県中部観光振興協議会発足	7 杵東地区衛生処理場問題4か月ぶり解決	1 日仏合同唐津市鏡地区遺跡発掘調査再開 4 県立図書館主催婦人と読書研究協議会開催 19 大隈記念館引渡式 30 佐賀東高落成式 ○ 県営テニスコート完成

昭和41年（1966年）・昭和42年（1967年）

	国内・国際	県治
		政
12月	<p>3 佐藤改造内閣成立</p> <p>27 第54通常国会召集 衆議院解散</p> <p>この年 ○ 交通事故による死亡者1万3,904人で交通戦争の言葉生まれる ○ ひのえうまで出生率25%減</p>	<p>12 定例県議会（12/12～12/24）</p> <p>14 県総合開発審議会10年間の総合開発計画を答申</p>
1月	<p>8 衆議院議員選挙公示</p>	<p>5 県庭球場設置</p> <p>15 県東部工業用水道設置</p> <p>21 県教委、10月21日休職闘争参加者3,198人を行政処分</p> <p>25 佐教組、県人事委員会にマンモス提訴</p> <p>29 衆議院議員選挙、投票率83.8%、当選保利茂(自民)、三池信(自民)、八木昇(社会)、井手以誠(社会)、大坪保雄(自民)</p>
2月	<p>11 初の建国記念日</p> <p>15 第55特別国会召集</p> <p>19 佐藤第2次内閣発足</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>9 県から初めてみかん専用列車発車</p> <p>15 第1回佐賀地区雇用協議会</p> <p>16 千代田町六五郎橋完成</p> <p>19 松浦川かんがい用水改善対策協議会発足</p> <p>26 長崎本線電化複線化促進期成会利用債の配分を決定</p>	<p>1 県医師会健康教育センター店開き</p> <p>6 県、対ガン協会発足</p> <p>12 厳木町営老人ホーム「寿光園」落成 佐賀市神野町できゅう舎など2棟全焼、火に狂った馬57頭 街に逃走(15頭死亡)</p> <p>28 県の胃検診車「ひまわり号」配置</p>	<p>1 幼稚園教育90周年記念式典</p> <p>4 佐賀演奏家協会、佐賀合唱団合同演奏発表会</p> <p>21 県総合運動場起工式(佐賀市高木瀬 県農業試験場跡)</p>
<p>4 伊万里市手形交換所開所</p> <p>9 米づくり県一に東与賀町の山田義勝2年連続入賞</p> <p>11 白石町地下ダム地下水注水試験始まる</p> <p>16 有料道路「名護屋大橋」と命名</p>	<p>16 22年ぶりの寒波襲う(脊振山に積雪1m)</p> <p>20 県胃ガン検診車「ひまわり号」検診開始</p> <p>22 佐教組10.21スト参加者大量処分抗議集会</p> <p>23 第1回交通安全県民総決起大会</p>	<p>27 大学設置審議会、伊万里工大の認可見送り</p> <p>○ 同人誌「神埼文学」創刊</p>
<p>7 伊万里湾開発のためのボーリング調査始まる</p> <p>10 第1回県農業後継者実績発表大会</p> <p>19 元衆議院議員永井英修死去</p>	<p>11 第1回「建国記念の日」県内で賛否様々の行事開催</p>	<p>17 伊万里地区学校給食センター完成</p>

昭和42年（1967年）

	国内・国際	県治
		政
2月		25 定例県議会（2/25～3/14）
3月	7 物価安定推進会議初会合	1 伊万里湾開発調査室設置 8 鳥栖市永吉町の国道3号線と34号線分岐点に県警交通機動警ら隊分駐所設置 20 赤松職業訓練所、中央職業訓練所と改称 21 知事選挙告示 31 県議会議員選挙告示
4月		1 福富村・芦刈村・久保田村町制施行 15 県東部工業用水道管理事務所設置 ・ 知事選挙、立候補者2人、投票率76.94%、池田直3選 ・ 県議会議員選挙、投票率79.39% 当選、自民32人、社会8人、民社1人、無所属2人 28 市町村長・市町村議会議員選挙、佐賀市長宮田虎雄、唐津市長瀬戸尚当選
5月		1 県有料道路建設事務所廃止

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>24 大和町温泉開発祝賀会</p> <p>28 新佐賀段階米作り運動推進技術者大会</p>		<p>26 成富兵庫記念碑除幕 第16回祐徳マラソン大会、佐々木精一郎国内最高タイムで優勝</p>
<p>1、白石バイパス完成</p> <p>6 県西北部地域観光振興協議会発足</p> <p>14 唐津火力発電所火入れ</p> <p>15 中小企業技術者研修第1期生修了式</p> <p>18 名護屋大橋有料道路供用開始</p> <p>○ 新佐賀段階米づくり運動推進本部米作近代化500集団の中から高度集団化集団として10集団指定</p> <p>○ 有明ノリの生産、全国3位の4億4,000枚に達す</p> <p>○ 日本陶器の伊万里進出問題化</p>	<p>3 伊万里市衛生処理場完成</p> <p>8 万国博キャラバン佐賀入り</p> <p>20 大和町に特別養護老人ホーム「ロザリオの園」落成</p> <p>25 西有田共立病院ケイ肺病センター落成</p> <p>○ 北方町、田中耕太郎に名誉町民の称号贈る</p>	<p>1 NHKテレビ多久中継所完成</p> <p>3 佐賀大初代経済学部長に平野隆教授選任</p> <p>5 NHK松浦FM局開局</p> <p>10 NHK武雄テレビ中継局完成</p> <p>26 田沢義輔顕彰碑除幕式（鹿島市旭ヶ丘）</p> <p>30 小城町社会教育会館落成（旧春日山道場） 佐賀県史（下巻）発刊</p>
<p>7 巡視船「からつ」就航 唐津地裁、簡易裁新庁舎落成</p> <p>20 県、基山町基山でヘリコプターによる植林を実施</p> <p>23 県食肉環境衛生同業組合発足</p>	<p>19 県血液センター落成</p> <p>24 県警マイクロ回線開通・主要道府県と即時開通</p>	<p>1 県立養護学校開校</p> <p>22 酒井田柿右衛門の製陶技法、県文化財に指定 佐賀民俗学会設立総会</p> <p>○ 高校体育に22年ぶりなぎなた・弓道・レスリング復活</p>
<p>1 県薬業指導所改築落成</p>	<p>2 県内に悪書追放の白いポスト登場</p>	<p>1 NHKテレビ呼子中継局完成</p>

昭和42年（1967年）

	国内・国際	県治
		政
5 月		<p>6 臨時県議会（5/6～5/8） 議長小原嘉澄次、副議長富田寿之選任</p> <p>18 県、第27回国体（昭和47年）に正式立候補 20 池田知事、アメリカアイオワ州の日米知事会議に出席</p> <p>24 最高裁判所、県議会乱闘事件に上告を棄却、有罪確定 27 日中友好協会正統県本部結成</p>
6 月	<p>5 第3次中東戦争勃発 6 閣議、資本取引き自由化基本方針を決定 9 佐藤首相、国会周辺デモ許可を認める東京地裁の決定に異議申し立て</p>	<p>6 県防災図上演習</p> <p>16 福岡・佐賀両県境の市町村消防相互応援協定に調印 19 県、干害対策本部設置 26 定例県議会（6/26～7/10）</p>
7 月	<p>2 自動車工業会、自動車保有台数が1,000万台に達したとの推定を発表</p> <p>16 政府、生産者米価150kg 1万9,521円と決定</p> <p>27 第56臨時国会召集 28 NHK、ラジオ受信料廃止決定</p>	<p>1 県交通事故相談所設置</p> <p>9 伊万里市・有田町・西有田町・北方町・相知町・敷木町・多久市・武雄市・山内町に災害救助法適用 県災害対策本部設置</p> <p>11 政府災害調査団来佐 12 伊万里市に県水害復旧対策本部設置</p> <p>15 県、公共用地先行取得事業特別会計設置</p> <p>21 伊万里市等、9市町激じん災害地に指定決定</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>13 県、みかん園の航空防除試験を実施</p> <p>16 唐津西港に県漁民会館完成</p> <p>17 有田川水質保全対策協議会設置</p> <p>23 日本陶器の伊万里市進出3か月ぶり解決</p> <p>31 有明漁連、佐賀干拓反対を決議</p> <p>○ 八幡岳災害無線中継所完成</p>	<p>○ 久留米大学岡部浩洋教授、宮入貝の天敵線虫を発見</p>	<p>20 県教委、テニス教室開設</p> <p>24 佐賀龍谷学園創立90周年記念式典</p> <p>31 県在外県人子弟県費留学生第1号来佐</p>
<p>1 伊万里港開港</p> <p>8 県水産上屋、唐津魚市場社屋落成式</p> <p>12 八幡岳観光道路開通 枝吉樋門開閉協議会、開閉権の県への移管を了承</p>	<p>14 武雄市上水道時間給水を始める</p> <p>○ 県内各地に干害の被害でる</p> <p>○ 佐賀市内の交通、車両増加でマヒ状態に陥る</p>	<p>2 佐賀美術協会展50回記念回顧展</p> <p>24 虹ノ松原保存対策協議会第1回総会</p> <p>30 佐大入寮問題をめぐる学生処分抗議して学生無期限ストに全学突入</p>
<p>1 県、伊万里湾開発構想地元懇談会開催</p> <p>7 新佐賀段階米づくり運動推進本部総理顕彰決定</p> <p>12 玄海町値賀崎で九電による原子力発電所地質検査始まる</p> <p>18 杵島炭鉱再建策まとまる</p>	<p>8 伊万里市・有田町一帯に集中豪雨、死亡34人・重軽傷510人・家屋全壊流失169戸・家屋半壊365戸・家屋浸水2万6,352戸（7/8～7/9）</p> <p>11 唐津市養母田高尾山で地すべり、5世帯避難</p> <p>13 伊万里市人形石山動きだす、13戸に避難命令</p> <p>19 10.21スト初公判（佐賀地裁）</p>	<p>20 県水泳場設置</p>

昭和42年（1967年）

	国内・国際	県
		政 治
7 月		29 臨時県議会（7/27～8/2）
8 月	3 公害対策基本法公布 27 ユニバーシアード東京大会開催	1 県青年の家設置 4 農林省、県に天災融資法の適用を決定 12 西村建設大臣、県内7.9被災地視察 18 県警、巡査長制度発足 23 知事、米づくり3年連続日本一達成のための農村行脚 （8/23～8/24） 31 佐賀労政事務所鳥栖出張所廃止
9 月	5 石炭鉱業再建整備臨時措置法公布 28 新清水トンネル開通	1 機構改革 河港課を河川課・港湾課に、医務予防課を医務課・予防課にそれぞれ分課し、公衆衛生課を環境衛生課に改む、中小企業診断指導室を中小企業総合指導室に改める 農業構造改善室を農業構造改善課に改める 九州自動車高速道路建設のため鳥栖土木事務所に高速自動車道路建設推進室設置 中小企業課に消費者行政係を設置 6 池田県知事、亀井福岡県知事と初会談 8 県干害対策本部を県下6農林事務所に設置 19 政府干害調査団来佐 26 干害で県激じん災害地に指定 27 県水対策委員会設置 29 定例県議会（9/29～10/11）

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>25 九州農業開発基本計画推進協議会発足</p> <p>○ 7.9災害被害の伊万里市大川内の窯元移転を検討</p> <p>○ 杵島炭鉱の再建問題化</p>		<p>31 佐賀大学紛争に警官隊出動</p> <p>○ 県教委のカササギ生息調査まとまる(県内に約1万羽)</p>
<p>3 有明海の魚貝類汚染調査始まる</p> <p>9 戸上電機社長、戸上信文死去</p> <p>10 石炭鉱業審議会、杵島鉱業所再建整備案を承認</p> <p>12 総理大臣顕彰記念、災害克服米づくり運動決起大会</p> <p>17 杵島炭鉱労組、再建案を承認</p> <p>30 伊万里湾石油基地建設絶対反対県玄海地区漁民大会</p> <p>○ 県内各農協準低温農業倉庫の建設にのりだす</p>	<p>2 武雄市時間給水に入る 第18回佐賀新聞主催花火大会(交通マヒのため佐賀市から諸富町に移転)</p> <p>11 高木瀬町協楽園住民、戦後20年ぶりに兵舎生活に別れをつけ鉄筋アパートに転居</p>	<p>10 県青年の家落成(大和町部渡城)</p> <p>26 西有田町山本の岩陰縄文遺跡発掘調査</p>
<p>6 伊万里港に木材輸入船100隻目入港</p> <p>7 武雄バイパス完成開通式</p> <p>13 園芸連段ボール工場落成</p> <p>16 県経済部、中小企業近代化推進総合連絡協議会設ける</p> <p>25 有明海ノリ自衛監視船6隻就航</p>	<p>1 県立病院に脳神経外科・神経科新設 離島に県、保健婦を駐在させる</p> <p>16 武雄市上水道完全断水、自衛隊給水応援出動(各家庭に1日1回バケツ1杯の給水)</p>	<p>1 佐賀大農学部で園芸学科設置決定</p> <p>6 大隈記念館展示始まる</p> <p>7 県、干害被災生徒222人に授業料の減免を決定</p> <p>18 県ヨット協会発足</p>

昭和42年（1967年）

	国内・国際	県
		政 治
9 月		
10 月	<p>20 元首相吉田茂死去（31日戦後初の国葬）</p>	<p>1 県人口、86万6,073人</p> <p>5 衆議院石炭対策特別委員会調査団、三菱古賀山炭鉱調査</p> <p>9 元県知事田中省吾死去</p> <p>16 佐賀政経懇話会発足</p> <p>20 閣議、本県等の西日本干ばつ災害を激じん災に指定し天災融資法発動を決定</p> <p>29 倉石農林大臣、干害視察のため来佐</p>
11 月	<p>15 ワシントンで日米共同声明（小笠原は1年以内に返還、沖縄は明示せず）</p> <p>17 地方自治法施行20周年記念式典</p> <p>25 佐藤改進黨内閣成立（保利建設大臣、鍋島科学技術庁長官就任）</p>	<p>21 7・9災害の総合的実態研究調査団現地調査</p> <p>25 県人事委、教職員に対する超勤手当支給を判定</p> <p>29 地方自治法施行20周年記念式典（30日記念講演）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 佐賀西部魚市場設立（武雄、高橋、大町の3魚市場合併） ○ 住ノ江港の機帆船、石炭合理化のあおりで姿を消す 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 唐津市ゴミ収集スピード化のためダストコンテナ導入 ○ 無医村の加唐・馬渡両島に医師着任 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県教委、教職員の宿日直代行員制度の実施を決定
<ul style="list-style-type: none"> 1 県中小企業機械貸与公社発足 2 三菱鉱業、三菱古賀山鉦を43年1月をメドに閉山と組合側へ通告 6 中小企業金融公庫佐賀出張所開設 12 福島大橋開通 16 伊万里川改修計画説明会（川幅を2倍に拡張） 18 九電唐津火力発電所開所 ○ 山内町に隣接の有田町製陶業者進出続出 	<ul style="list-style-type: none"> 12 引揚者特別交付金受給申請受付開始 15 北波多村役場火災 27 馬渡島に海底ケーブル開通、電灯ともる 	<ul style="list-style-type: none"> 3 佐賀大、警官隊導入のもとで前期試験行われる 23 佐賀大学、学生大会でスト解除決議、長期紛争に終止符 25 玄海町、県内初めて教職員宿日直廃止の代行措置を決める 大隈記念館落成 30 郵政省、UHFテレビで佐賀放送（仮称）に予備免許 31 画家山口亮一死去
<ul style="list-style-type: none"> 10 山村振興対策審議会、七山村を振興山村に指定 11 伊万里－佐賀間に直通バス開通 16 伊万里湾内の漁協、石油基地の基礎調査に同意 21 西九州縦貫道路新設促進期成会発会 	<ul style="list-style-type: none"> 20 県医師確保対策協議会設置 21 有明海沿岸警備艇「はやかぜ」就航 29 睡眠薬による野犬狩県内で初めて実施 	<ul style="list-style-type: none"> 3 県室内温水プール一般に公開 4 旭学園開学70周年記念式典 6 佐賀大学学長選挙、田中定再選 中学校教育20周年記念式典 28 塩田工高総合落成式

昭和42年（1967年）・昭和43年（1968年）

	国内・国際	県治
		政
12 月	<p>4 第57臨時国会召集</p> <p>この年 ○ ベトナム特需 ○ ミニスカート流行</p>	<p>9 定例県議会（12/9～12/22）</p> <p>22 天災融資法に基づく特別被害地域の指定</p> <p>25 衆議院災害特別委員会調査団来佐（ノリ被害調査）</p>
1 月	<p>19 米軍原子力空母エンタープライズ佐世保寄港</p> <p>23 日本海で米海軍情報収集艦アエプロ号、北朝鮮に捕獲される</p>	<p>14 保利建設、鍋島科学技術庁両大臣就任祝賀会</p> <p>28 元衆議院議員江藤夏雄死去</p> <p>○ 県啓、佐世保警備に出動</p>
2 月		<p>28 唐津港運営審議会、第3次唐津港整備5か年計画を答申</p> <p>29 県、道路公団と九州縦貫高速自動車道建設用地取得事務委託契約結ぶ</p> <p>定例県議会（2/29～3/26）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 伊万里港、出入国管理港に指定</p> <p>6 七浦代行干拓潮止め</p> <p>10 鳥栖市庁舎落成式</p> <p>11 国鉄呼子線工事実施計画認可</p> <p>16 県、三菱古賀山鉾炭鉾閉山対策協議会設置</p> <p>26 九州電力、値賀崎に原子力発電所設置構想を発表</p> <p>○ 本年産米10a当たり540kg(全国第4位) 県全体で29万4,300t</p> <p>○ 唐津湾・伊万里湾ノリに白ぐされ赤ぐされ病発生(全滅に近い被害でる)</p>	<p>11 精薄者援護施設「富士学園」落成式</p> <p>18 福岡高等裁判所、佐教組事件で佐賀地裁判決を支持、全員無罪判決</p> <p>24 民生委員制度50周年記念県社会福祉大会</p>	<p>15 ろう学校総合落成式</p> <p>○ 県内の私立高校、ベビーブームの影響が去り、定員を割る学校増える</p>
<p>10 佐賀東部、福岡南部広域開発会議発会</p> <p>22 三菱古賀山鉾閉山</p> <p>23 県経営者協会20周年記念式</p> <p>30 九州電力、原子力発電所建設用地として玄海町値賀崎の用地買収を正式申し入れる</p>	<p>18 佐世保原子力空母入港に反対する3派系全学連、佐賀大学に150人おしかく</p> <p>23 交通安全県民総ぐるみ大会</p> <p>26 県婦人検診車「なでしこ号」と命名</p>	<p>13 佐賀大学に園芸科と養護教員養成課程設置決定</p> <p>16 佐賀女子高武雄校舎開校</p> <p>30 大学設置審議会、佐賀家政大の追加認可を答申</p>
<p>2 ノリの白ぐされ病被害対策県関係市町村長会議</p> <p>12 西藤津森林組合発足</p> <p>20 県ノリ白ぐされ病の特別被害地域に決定</p>	<p>1 ダンプの背番号制スタート</p> <p>14 豪雪、交通網マヒ、停電、山間地各所で孤立部落500戸出る、ミカン・ハウス野菜・山林等に大被害、被害約60億円、学校229校休校(2/14~2/15)</p> <p>25 佐賀土木事務所古湯出張所全焼</p>	<p>10 定時・通信制教育20周年記念式典</p> <p>14 佐賀大、寮問題一時休戦となる</p> <p>15 初代佐賀大学理工学部長に高田京一当選</p>

昭和43年（1968年）

	国内・国際	県治
		政
3月	27 富山県のイタイタイ病カドミュウムの流出源は三井神岡鉱と厚生省結論	<p>1 伊万里港運営委員会、同港第3次港湾整備5か年計画を答申</p> <p>9 県、水系別水資源開発基本計画まとめる</p> <p>27 山村振興対策審議会、七山村の振興対策を答申 明治百年記念植樹祭</p> <p>28 県、2月豪雪の特別被害地域に指定される（天災融資法、激じん災害法2法適用）</p> <p>31 自治体消防制度20周年記念県消防大会</p>
4月	<p>1 米ジョンソン大統領、ベトナムの北爆停止を公表</p> <p>5 小笠原返還協定に調印</p>	<p>1 水防管理団体の指定 県内職公共職業補導所設置 県内職相談員設置 県立高等看護学院設置</p> <p>3 唐津市議会、県内初めて公害対策特別委員会設置</p> <p>23 県内産炭地域振興実施促進基本調査まとめる</p> <p>30 天災融資法に基づく特別被害地域の指定（白くされ病のノリ被害漁家対策）</p>
5月	13 米と北ベトナムの正式会談開催	9 県政85周年記念式典

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 伊万里川河川改修対策協議会発会</p> <p>8 国鉄呼子線起工式</p> <p>18 ノリ被害に対する天災融資法融資額 8 億9,000万円に決定 国営有明干拓廻里江工区漁業補償問題解決</p> <p>29 新佐賀段階米作り運動推進大会</p> <p>○ 佐賀市営畜殺場廃止</p>	<p>2 新日本協議会県連合支部結成</p> <p>10 唐津市の救急業務開始</p> <p>22 大町の国道34号線に県内初の地下道完成</p> <p>28 県運転免許総合試験場落成</p>	<p>5 佐賀テレビ 創立総会 県教委、脊振山冷泉寺跡出土の経筒4本購入</p> <p>23 警官隊警備の中で佐大入試</p> <p>26 NHK佐賀放送会館完成</p>
<p>1 農協創立20周年記念大会 有料道路住ノ江橋無料開放 鳥栖基山農協発足</p> <p>5 富士町宮古湯温泉会館落成</p> <p>6 佐賀地裁伊万里支部、伊万里簡易裁判所合同庁舎完成</p> <p>17 門司税関伊万里監視署、出張所に昇格</p> <p>18 佐賀労働基準局新庁舎落成</p> <p>24 有田焼工業協同組合新工場落成</p> <p>27 中小企業団体中央会創立20周年記念式典</p>	<p>1 県下に25年ぶりの地震（震度4、日向灘地震）</p> <p>5 佐賀市医師会付属高等看護学院開校</p> <p>7 佐賀齒科衛生士学院開校</p> <p>13 県立高等看護学院落成式</p>	<p>1 20年ぶりに女の学校長2人誕生 県立高校の宿日直廃止</p> <p>7 佐賀で日展はじまる</p> <p>8 仁比山神社の御田舞、12年ぶり開催</p> <p>23 府招浮立、県文化財に指定 佐賀家政大第1回入学式</p> <p>28 県総合運動場水泳場落成</p> <p>○ 小城郷土史研究グループ「小城の歴史」創刊</p>
<p>1 第1回県商工まつり</p> <p>7 伊万里市東山代町国見炭鉱の閉山決定</p>	<p>1 戦後初の分裂メーカー</p> <p>9 富士町古湯に日照権訴訟起さる</p>	<p>4 佐賀児童合唱団第1回公演</p> <p>10 県総合運動場水泳場一般に公開</p> <p>11 県立図書館第1回古文書研究会開催</p>

昭和43年（1968年）

	国内・国際	県治
		政
5 月	<p>16 十勝沖地震発生</p> <p>25 政府、小笠原返還協定の承認を決定</p>	<p>21 臨時県議会（5/21～5/22） 県、伊万里地区炭鉱閉山対策協議会設置</p>
6 月	<p>2 九大構内に米軍機墜落</p> <p>10 九州縦貫高速自動車道起工式</p> <p>13 参議院議員選挙公示</p> <p>17 東大安田講堂内の学生排除に警官隊を導入</p> <p>26 小笠原諸島復帰実現</p> <p>27 経済企画庁国土総合開発構想発表</p>	<p>14 唐津市・伊万里市・東松浦郡消防相互応援協定調印</p> <p>17 2月豪雪による天災融資法の特別被害地域として13市町村を指定</p> <p>18 機構改革 県民室設置（青少年交通対策室廃止） 統計調査課設置（行政調査課と統計課を統合） 土木部に用地監を設置 農林部土地改良課を土地改良第1課に、干拓開墾課を土地改良第2課に改める 農林部の各耕地事務所、土地改良事務所、ダム建設事務所を農林事務所統合</p> <p>22 県、日脳対策本部設置</p> <p>○ 米軍板付基地移転問題化</p>
7 月	<p>1 交通反則金制度と郵便番号制始まる</p>	<p>7 参議院議員選挙、立候補6人（自民1・社会1・民社1・共産1・無所属2） 投票率78.4%、杉原荒太（自民）当選</p> <p>15 自然公園審議会、玄海国定公園の延長を答申</p> <p>17 国営有明干拓滞留問題第1回協議会</p> <p>29 定例県議会（7/29～8/10）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
15 九州電力玄海調査所開所 16 全国ノリ養殖技術研究協議会開催 17 県農協合併推進協議会開催 20 杵島郡有明干拓福富工区潮止め工 事完了 27 果樹試験場果樹会館落成 30 伊万里市山代町久恒鉱業楠久炭鉱 閉山 ○ 県職安課、県内出かせぎ者実態を 発表（昨年2,390人に達す）	23 県労働者福祉協議会結成	25 「新郷土」創刊20周年記念式 28 佐賀放送株主総会、サガテレビと改 称
2 呼子国民宿舎完成 8 有明干拓福富工区潮止完工式 12 シェル石油タンカー入港テスト(住 ノ江港) 24 上場開発事業促進期成会発会 27 波戸岬国民宿舎完成	14 鹿島保健所新庁舎落成 15 県厚生部、農夫症一斉調査実施	25 松浦文化連盟機関紙「文化春秋」発 刊
1 鹿島市農協発足（市内5農協合併） 三養基農協発足 3 県産業安全大会 5 唐津駅高架改築期成会発会 17 韓国貿易使節団来県 ○ 県水産課、有明海ノリ漁場の区画 整理を計画 ○ 白石地区野菜出荷協議会発足（レ コン・タマネギの共同出荷）	1 交通反則金通告、初日に46人に反則金 2 豪雨 床上浸水32戸、床下浸水1,092戸 15 県立病院、臨床研修病院に指定	1 佐賀県史（中巻）発刊 10 佐賀市久保泉町帯隈山神籠石発掘調 査 17 全国高校軟式野球県予選に県立ろう 学校初優勝

昭和43年（1968年）

	国内・国際	県治
		政
8 月	<p>1 第56臨時国会召集</p> <p>8 札幌医大で日本初の心臓移植に成功</p> <p>14 自治省「広域市町村圏構想」発表</p> <p>○ 米の生産過剰、政治問題になり始める</p>	<p>3 県豚コレラ防疫対策本部設置</p> <p>6 海区漁業調整委員会委員選挙、投票率有明海区96.2%、松浦海区無投票</p> <p>17 県産炭地域振興推進協議会開催</p> <p>30 知事、米軍板付基地の切木地区移転反対を表明</p>
9 月	<p>17 食糧庁長官、自主流通米制度を実施することを衆議院で表明 科学技術庁種ヶ島宇宙センター、気象観測用ロケット打上げに成功</p> <p>26 政府、水俣病と新潟県阿賀川水銀中毒は公害病と発表</p>	<p>10 県虹の松原ユースホステル設置</p> <p>20 増田防衛庁長官、板付基地の切木移転計画を否定</p> <p>21 松浦海区漁業調整委員会補欠選挙（無投票）</p> <p>22 第1回県政現地めぐり開催</p> <p>30 定例県議会（9/30～10/12）</p>
10 月		<p>1 県人口、85万6,769人</p> <p>9 県鉱業市町村協議会、産炭地振興に拠点開発方式を提案</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>6 国鉄長崎本線久保田～牛津駅間複線化工事完成</p> <p>7 伊万里駅開業70周年記念式</p> <p>12 杵島水資源開発促進期成会設立総会</p> <p>22 県ノリ養殖安定推進協議会（養殖の過密対策、採苗等規制問題）</p> <p>26 鉄道建設公団、長崎新幹線構想発表</p> <p>29 佐賀駅高架移転計画案まとまる</p>	<p>4 有田ライオンズクラブ結成式</p> <p>○ 県、犬取締条例の制定指導を始める</p>	<p>2 甲子園県代表に佐工高、春夏連続出場決定</p> <p>4 唐津市陸上競技場完成</p> <p>23 小学校学習指導要領講習会県内3会場が始まる</p> <p>28 九州縦貫自動車道建設予定地内の遺跡調査</p>
<p>3 国鉄長崎本線複線化工事（伊賀屋～佐賀間）完成</p> <p>4 国鉄諮問委員会、佐賀線・岸岳線の廃止を石田総裁に答申 県、上場地域の水資源開発構想まとめる</p> <p>5 唐津～阪神間に定期貨物船就航</p> <p>9 鉄道建設公団唐津鉄道建設所開所 国鉄佐賀線存続期成会発表</p> <p>14 六角川汚水被害漁民総決起大会</p> <p>22 長崎本線三田川～神埼間の複線開通</p>	<p>1 県、民間社会福祉施設職員に特殊勤務手当の県費補助を実施</p> <p>8 米軍基地唐津上場移転反対大集会</p> <p>19 佐賀郡大和町江熊駐在所で爆薬爆発</p> <p>27 小川島・松島・加唐島への本土からの送電祝賀会</p>	<p>1 佐賀県史（上巻）発刊 「かささぎ短歌会」発表</p> <p>6 第23回国民体育大会夏季大会（福井県）で古川友幸、青年100m背泳で優勝 伊万里市東山代町白蛇山洞くつ遺跡発掘調査（1万年前の遺跡）</p> <p>12 清和高新校舎完成</p> <p>16 県下11地教委、佐教組の宿日直拒否闘争で378人を訓告処分 （9/16～9/19）</p> <p>21 第1回県ユースラリー</p> <p>28 明治記念展開催（県体育館）</p>
<p>1 唐津市農協、北波多村農協合併 第1回県離島青年会議</p> <p>11 松浦東部農協発足（七山・玉島・浜崎の3農協合併）</p>	<p>1 中原村県内初めて国保老人10割給付を実施 県市町村交通災害共済制度発足</p>	<p>1 NHK唐津西テレビ中継放送局開局</p> <p>6 佐賀スイミングクラブ発足</p>

昭和43年（1968年）

	国内・国際	県治
		政
10 月	<p>16 九州地方で米ぬか油中毒患者ひろがる、厚生省販売中止</p> <p>17 川端康成、ノーベル文学賞決定</p> <p>21 反戦統一行動デー、反日共系全学連新宿駅を占拠、騒乱罪適用逮捕者734人</p> <p>23 明治百年記念式典</p> <p>25 最高裁判所、八海事件に無罪判決</p>	<p>23 県明治百年記念式典</p> <p>27 県「あすを開く青少年大会」開催</p>
11 月	<p>9 九大油症研究班、米ぬか油中毒事件の原因はカネクロールと発表</p> <p>10 沖縄第1回主席公選、屋良朝苗当選</p> <p>18 文部大臣、大学問題の解決策を中央教育審議会に諮問</p> <p>30 佐藤改造内閣発足（保利茂、官房長官に就任）</p>	<p>6 知事、国道3号線交通緩和に基山バイパス建設計画発表</p> <p>22 国の山村振興対策審議会、富士町を振興山村指定区域に答申</p> <p>28 県警第3機動隊発足</p>
12 月	<p>10 東京都府中市で現金輸送車襲われ3億円奪われる 第60臨時国会召集</p>	<p>9 定例県議会（12/9～12/23）</p> <p>11 県旗制定</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 県韓国経済視察団出発</p> <p>24 鳥栖市上水道落成式</p> <p>25 福富町土地改良事業15年ぶりに完成 玄海国定公園区域編入記念祝賀会 (伊万里市)</p> <p>26 国営有明干拓 35年ぶり完工</p> <p>28 県原子力発電所設置促進対策協議会発足</p>	<p>15 米ぬか油中毒事件、県内で25人の被害届けでる</p> <p>21 県米ぬか油中毒事件で無料相談所開設</p> <p>○ 米ぬか中毒、県下で患者100人超す</p>	<p>19 明治百年記念講演とリサイクル開催</p> <p>○ 県下農業団体、学校給食に米の使用運動始める</p> <p>○ 名護屋城鳥瞰図発見さる</p>
<p>1 久保田町農協発足 (久保田町・久保田町第1 両農協合併)</p> <p>7 日本商工会議所企業進出視察団、県内産炭地視察</p> <p>11 七瀬干拓再締切</p> <p>13 太良町油津海岸保全事業完成</p> <p>20 多久市青果連、低温ミカン貯蔵庫完成</p> <p>28 富士町～前原町間県道拡張工事完成</p> <p>○ 米の生産過剰で県内の食糧倉庫満杯で新米の入庫に支障を来す</p>	<p>26 国民健康保険法施行30周年記念式典</p> <p>27 鹿島市・塩田町・嬉野町共同衛生処理場完成</p>	<p>6 大隈重信宅の復元落成記念式</p> <p>○ 栗原荒野「葉隠のころ」再刊</p>
<p>13 農林省・経済企画庁水資源合同調査団、白石平野の地盤沈下視察</p> <p>16 県出身、株式会社リコー社長・市村清死去 呼子・高串阿漁港第3種漁港に変更 石炭鉱業審議会答申に抗議、無期限坑底座りこみ始まる(県下4炭山)</p>	<p>10 青振村、県下初の福祉資金貸付制度創設</p> <p>11 県内の主な観光地の火災予防施設調査</p> <p>12 佐賀ローターアクトクラブ結成</p>	<p>1 浜玉中に寄宿舎完成</p> <p>7 旭学園施設総合落成式</p>

昭和43年（1968年）・昭和44年（1969年）

	国内・国際	政	県治
12月	<p>21 アメリカ3人乗り衛星船アポロ8号打上げ（24日人類初の月周回飛行に成功）</p> <p>25 石炭鉱業審議会、石炭産業抜本再建策答申</p> <p>27 第61通常国会召集</p> <p>29 東京大学、大学紛争のため入試中止決定</p>	<p>21 石炭対策、産炭地振興危機突破県大会</p>	
1月	<p>16 ソ連の宇宙船ソユーズ4・5号初の宇宙ドッキングに成功</p> <p>18 東京大学に機動隊導入（19日安田講堂封鎖解除さる）</p>	<p>1 三日月村、町制を施行</p> <p>7 県、佐賀博事務局を設置</p> <p>19 県選出国会議員と町村議会議員との行政懇談会開催</p> <p>20 機構改革 知事室新設（秘書、広報事務） 観光通商課を観光課に改める 工鉱課を工鉱通商課に改める 県岩屋川内ダム建設事務所設置</p> <p>24 県過疎対策問題打合せ会（21市町村）</p> <p>30 県警察本部、初の総合交通診断を実施</p> <p>31 徳富副知事退任</p>	
2月	<p>1 東名高速道路開通（岡崎～静岡間）</p> <p>3 米国大使館構内に覆面の学生10人乱入</p> <p>14 京都大学教養学部自治会と反日共系学生が乱闘、双方で250人の負傷者を出す</p>		<p>25 県議会議事堂・議場の改造完成</p> <p>28 定例県議会（2/28～3/26）</p>
3月	<p>6 八幡・富士両製鉄合併契約書に調印、新会社「新日本製鉄」</p>		

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>18 県営農推進大会、基盤整備充実を決議</p> <p>27 九州電力唐津重油専焼火力発電所建設の漁業補償交渉解決</p>	<p>21 北山ダム感謝のつどい開催（湖底に沈む108戸の人々を招き感謝する）</p>	<p>27 県広域人事研究会発足</p> <p>○ 佐賀錦保存会発足（佐賀・鹿島）</p>
<p>1 佐賀商工会議所会頭福岡敦次郎死去</p> <p>20 唐津港運営委員会、石炭荷役機械ガントリークレーン廃止決定</p> <p>29 第1回日本万国博覧会佐賀県推進協議会開催</p> <p>○ 九州縦貫高速自動車道県内クイ打ち始まる</p>	<p>16 唐津湾に重油汚染発生</p> <p>23 玄海漁民油被害対策漁民大会</p> <p>24 日赤県支部社屋落成</p>	<p>21 県教委、県立博物館建設整備委員会設ける</p>
<p>1 本県から韓国の米作り指導へ6人出発</p> <p>10 県漁協金融推進大会</p> <p>14 県酪農業協同組合連合会創立50周年大会</p> <p>18 杵島水資源開発促進期成会、ダム建設総決起大会</p> <p>26 明治鋳業、県内2鋳（西杵・佐賀）の第2会社を提案</p> <p>○ 杵島炭鋳、明治鋳業の閉山具体化する</p>	<p>6 県婦人問題対策審議会、婦人の健康と保健対策について答申</p> <p>18 唐津競艇場で入場者暴徒化、放火破壊強奪を行い警官隊出動</p>	<p>1 県市町村教育長連合会、45年度から小中学校教職員の宿日直の全廃を決議</p> <p>18 神埼町尾崎通称天竜山で帯隈山神籠石の緊急発掘調査</p> <p>23 第18回祐徳マラソン大会、佐々木精一郎、日本最高記録で3連勝</p>
<p>9 小川島・加唐島、電話即時通話開通</p>		

昭和44年（1969年）

	国内・国際	県治
		政
3 月		31 県農業試験場三瀬分場設置、同干拓分場廃止
4 月	<p>2 最高裁判所、都教組事件（勤務評定反対闘争の地方公務員法違反に問われた事件）に無罪の判決</p> <p>4 新技術開発財団（市村財団）初の授賞式</p> <p>22 国土総合開発審議会、新全国総合開発計画の最終案決定</p> <p>25 新石炭対策関係3法案成立</p>	<p>1 県農業研修学園設置 自動車取得税新設 佐賀市制80周年記念式典</p> <p>6 鳥栖市長選挙安原謙市再選</p> <p>18 新都市計画法説明会</p> <p>24 大町町、杵島炭鉱閉山対策本部設置</p> <p>30 佐賀市と周辺8町村との消防応援協定調印</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 県石炭緊急対策協議会設置</p> <p>16 向島漁港完成 杵島炭鉱閉山反対総決起大会</p> <p>20 佐賀博覧会開催</p> <p>30 県窯業試験場落成</p> <p>31 千代田町内の3農協合併 上場農協、名護屋農協合併 川副町3農協（西川副を除く）合併 鹿島市古枝農協、鹿島市農協と合併</p> <p>○ 昭和43年産県内ノリ販売額（60億8,849万5,000円）日本一となる</p>	<p>12 NHK放送ドラマ「信子とおばあちゃん」ロケーション始まる 自治労県本部2,8闘争を始める</p> <p>17 唐津湾で重油もれ騒ぎ発生</p> <p>29 佐賀市ハシゴ付消防車購入 RHマイナス友の会発足</p>	<p>15 NHK佐賀テレビ局放送開始 神埼町日の隈山テレビ送信所開局</p> <p>19 県教委「君が代」斉唱について通達</p> <p>23 佐大入学試験（入試学外で実施）</p> <p>25 県教委、10.8統一行動参加者2,476人 訓告処分</p> <p>27 大和町古墳公園開園</p> <p>○ 県教委、「佐賀県の人物と遺跡」出版</p>
<p>1 石炭鉱害復旧事業団佐賀出張所江北分室発足</p> <p>4 諸富橋、歩道橋完成</p> <p>8 牛津江水門完成</p> <p>11 県家畜防疫推進協議会発会</p> <p>19 杵島炭鉱閉山</p> <p>20 明治佐賀・明治西杵両炭鉱労組臨時大会で新会社への移行同意を決議（23日明治鉱業解散）</p> <p>22 県緊急石炭対策現地相談所設置 大町町に臨時職業相談所開設</p> <p>23 佐賀県下で初の個人タクシー、13人に認可さる</p> <p>25 川副南・三反田・北山・古湯の4局即時通話開通（県内電話100%即時化）</p> <p>30 第2次農業構造改善事業説明会</p> <p>○ 韓国に本県産米輸出（唐津港）</p>	<p>1 鹿島市・多久市救急業務開始 米登録制度改正</p> <p>26 巖木・相知・北波多3町村共同衛生処理場落成</p>	<p>1 「サガテレビ」開局</p> <p>7 定時制第2次募集試験9年ぶり復活 佐大全学共闘、旧文理学部教室占拠</p>

昭和44年（1969年）

	国内・国際	政	県治
5 月	<p>23 大学立法に反対し全国統一行動行われる</p> <p>26 東名高速道路全線開通</p>	<p>1 県消費生活相談室設置</p> <p>12 臨時県議会（5/12～5/13） 副議長に大島英一選任</p>	
6 月	<p>5 運輸省、トヨタ・日産両社に対し欠陥のある自動車の車種を公表し、総点検・修理せよと指示</p> <p>10 政府、生産者、消費者両米価の据置きと稲作特別対策費225億円の交付を決定</p> <p>12 我が国初の原子力船「むつ」進水</p> <p>14 新都市計画法施行</p> <p>16 運輸省、日本自動車工業会加盟12社の欠陥車を公表</p>	<p>1 県総合運動場設置</p> <p>13 北部九州水資源開発協議会、筑後川水系開発全体計画決定</p>	
7 月	<p>1 地価公示法施行 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律公布</p>		

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>9 杵島炭鉱鉱害対策協議会発会</p> <p>10 農村青年の像除幕（県立農業研修学園内）</p> <p>13 九州縦貫高速自動車道鳥栖インターチェンジ説明会（完全クローバ方式）</p> <p>25 新明治鉱業創立総会</p>	<p>2 保健衛生生活環境整備懇話会発足</p> <p>10 唐津市保健センター落成（唐津保健所、唐津市東松浦郡医師会合同庁舎）</p> <p>14 特別養護老人ホーム「真心の園」落成式 県立九千部学園通勤寮完成</p> <p>18 杵島炭鉱労組解散式</p>	<p>24 「柿右衛門焼」の商標の使用についての紛争解決</p> <p>29 県内の農業団体、佐大に米づくり研究資金1千万円贈呈</p> <p>31 佐大開学20周年記念式典</p> <p>○ 松浦党創始期の居館跡「山の寺」発見</p>
<p>4 県企業誘致対策連絡協議会、工業開発促進連絡協議会と改称</p> <p>12 東京で「駅高架移転事業促進期成会」（4県1市で）発会</p> <p>13 唐津市七ッ釜観光道路開通</p> <p>15 上場地域土地改良事業推進協議会発足</p> <p>30 杵島農協発足（江北・大町・北方3町の6農協合併）</p>	<p>3 県立病院の2・8闘争妥結</p> <p>21 自衛隊協力会県連合会発会</p> <p>23 佐賀大学で大学法案に反対し安保廃棄等のスローガンを掲げ全学スト</p> <p>28 社会福祉施設「いとしの子の家」落成</p> <p>29 豪雨（～7/1）床上浸水15戸・床下浸水59戸</p> <p>○ 県、看護婦不足対策として潜在看護婦発掘にのりだす</p>	<p>10 社会教育法施行20周年記念式典</p> <p>12 県サイエンスカー運行式</p> <p>13 西松浦郡有田町猿川古窯跡発掘調査</p>
<p>1 白石地区農協発足（白石・有明・福富3町、9農協合併）</p>	<p>1 工業技術院による佐賀市地盤沈下の原因調査始まる（地下水の過剰汲み上げが原因と発表）</p>	

昭和44年（1969年）

	国内・国際	県治
		政
7 月	<p>1 農業振興地域の整備に関する法律公布</p> <p>20 アメリカアポロ11号月面着陸（人類初めて月面に到着）</p>	<p>7 県警発足15周年記念式典</p> <p>25 定例県議会（7/25～8/5）</p> <p>26 県土石等災害防止対策連絡会議初会合（土石採取を防災方面から規制指導）</p>
8 月	<p>17 大学の運営に関する臨時措置法施行</p>	<p>3 板谷憲道出納長退任</p> <p>4 県、副知事・竹下亮一、出納長・森一郎を任命</p> <p>24 坂田道太文部大臣来佐</p> <p>26 県広域市町村圏推進連絡会議開催</p> <p>31 多久市長に藤井俊作3選</p>
9 月	<p>29 農政審議会、総合農政について答申（米の生産抑制に重点をおく）</p>	<p>1 県騒音規制地域の騒音取締りを開始 唐松広域市町村圏協議会発足</p> <p>13 自治省、唐津市・東松浦郡に広域市町村圏の設置を指定</p> <p>22 坪川建設大臣来佐（県下の道路事情視察）</p>
10 月	<p>1 交通点数制スタート</p> <p>5 アポロ11号の「月の石」東京に到着</p>	<p>1 県人口、85万2,441人</p> <p>2 定例県議会（10/2～10/15）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>7 県中央職業訓練所大町分所入所式</p> <p>17 プリダストンタイヤ鳥栖工場新設で県との間に調印式</p>	<p>23 三神ゴミ処理場建設に反対して地元民座り込む</p> <p>○ 唐津市でミカン山長雨のため崩壊相次ぐ</p>	<p>14 佐賀市赤松小にティーチングマシン設置</p> <p>16 東与賀町にスイミングクラブ誕生</p> <p>23 下村湖人生家保存調査</p>
<p>1 向島の電気導入事業完成</p> <p>12 唐津湾のノリ重油汚染補償交渉7か月ぶり妥結</p> <p>21 天山自然公園協議会結成</p> <p>29 伊万里市波多津町の早場米、県自主流通米第1号として初出荷</p>	<p>22 県警察発足15周年記念「暮らしを守る警察展」開催</p> <p>25 佐賀・長崎2県合同消防訓練</p> <p>26 県下でニシキ蛇騒動発生</p>	<p>1 第1回勤労者美術展開催</p> <p>4 佐賀相撲連盟発会</p> <p>24 第11回全国教職員剣道大会開催、県教職員、団体が優勝</p> <p>25 下村湖人生家保存会発会</p> <p>29 白石町米飯給食推進大会</p>
<p>2 建設省、嘉瀬川を1級河川に指定</p> <p>3 嘉瀬川改修工事促進期成会第2北山ダム建設促進を決める</p> <p>16 農協3組織（生産組合等）合同大会、米飯給食等決議</p> <p>24 鳥栖～肥前山口間の複線完成、1番列車走る 佐賀無線中継局開局披露 佐賀機械金属会創立10周年記念式典</p> <p>26 県観光映画「佐賀」完成</p> <p>○ 県東部工業団地（三田川、東脊振、上峰）の用地買収に着手</p>	<p>2 県、県医師会スモン病患者調査実施を決定</p> <p>4 県、交通遺児実態調査まとめる</p> <p>17 韓国でコレラ発生に伴い移入を防止するため唐津市でコレラ予防ワクチンの接種始まる</p> <p>○ 各地に干害の被害ひろがる</p>	<p>1 佐賀大学農学部研究科に大学院（修士課程）の設置決まる</p> <p>13 第1回陶芸技術伝承者養成講習会開催（有田町）</p> <p>16 第1回教職員海外研修に3人決定</p> <p>17 鹿島市文化連盟結成</p>
<p>1 農事参観デー開幕</p> <p>2 建設省、地方生活圏域に唐津市・伊万里市を指定</p> <p>3 小城郡農協ミカン選果場落成</p>	<p>4 「安保を守る県民会議」結成大会</p>	<p>2 第1回九州沖縄芸術祭文化史展</p>

昭和44年（1969年）

	国内・国際	県治
		政
10月	<p>8 プロ野球の八百長事件明らかとなる</p> <p>14 九州大学に機動隊を導入封鎖解除さる</p> <p>21 国際反戦デー、学生ゲリラに首都騒然</p> <p>29 厚生省、11月10日から「チクロ」を含む食品、医薬品の製造加工の禁止と市販商品の回収決定</p>	<p>20 県公営対策審議会設置</p> <p>25 鳥栖市議会解散</p> <p>29 川副町で佐賀空港の初の説明会開催</p> <p>30 県専修職業訓練校設置</p>
11月	<p>21 日米首脳会談、沖縄72年返還決定</p>	<p>1 神埼町・三田川町・千代田町・東脊振村、4町村合同消防本部発足</p> <p>4 県予算編成に総合予算主義採用</p> <p>10 皇太子殿下県内をご視察（4/10～4/13）</p> <p>25 県、鹿島地区総合庁舎落成</p>
12月	<p>1 第62臨時国会召集</p> <p>2 衆議院解散</p> <p>10 BHC工業会、BHC・DDTの生産中止を発表</p>	<p>1 唐津海上保安部と唐津市消防本部、船舶火災の応援協定結ぶ</p> <p>2 定例県議会（12/2～12/6）</p> <p>6 安原鳥栖市長辞表提出</p> <p>8 県体育協会理事会、51年国体立候補を決める</p> <p>9 佐賀地区広域行政協議会設立会議</p> <p>22 県新長期総合開発計画案を審議会に諮問</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>8 全国かんきつ研究大会開催</p> <p>21 県技能検定協会設立</p> <p>23 日本工業立地センター伊万里湾開発構想を調査報告</p> <p>30 佐賀ビジネスセンター落成</p>	<p>7 県、交通点数制ではじめて3人に免許停止処分</p> <p>10 佐賀市医師会産科看護学院開校 県、佐賀市共催消費生活展「これからの生活展」開催（佐賀市）</p> <p>15 県警、老人交通大学、開く</p>	<p>10 NHK西有田テレビ放送局開局</p> <p>19 江北町祖子分面浮立40年ぶり復活</p>
<p>21 山村振興対策審議会、旧松梅村を振興山村に指定</p> <p>29 国道路審議会で佐賀～浜玉線の国道323号への昇格決定</p> <p>○ 食品からテクロ、酒からサルチル酸追放される</p>	<p>5 身障者福祉法制定20周年県社会福祉大会</p> <p>9 教育正常化県民会議結成</p> <p>13 11.13統一スト10単産、1万人参加</p> <p>15 安保改定、民主主義を守る佐賀地方県民会議結成</p>	<p>7 佐賀大学学長に田中定、3選文化財保護委員会、黒田陣屋跡（呼子町）を特別史跡に指定</p> <p>15 県文化会議10周年記念式典</p> <p>16 県体育館で6周年記念と市村清追悼音楽会開催</p> <p>22 有田工高総合落成式</p>
<p>1 県農村工業農協連発足</p> <p>12 九州横断自動車道建設計画説明会</p> <p>22 唐津港運営委員会、唐津港港湾計画を承認</p>	<p>10 佐賀地方検察庁新庁舎落成</p>	<p>14 佐賀混成合唱団創立20周年記念演奏会</p>

昭和44年（1969年）・昭和45年（1970年）

	国内・国際	政	県治
12月	15 衆議院議員選挙のテレビ政見放送開始 公害に係る健康被害の救済に関する特別措置法公布	27 衆議院議員選挙、立候補者9人（自民4、社会2、共産1、民社1、無所属1）、投票率75.79%、当選者、保利茂（自民）三池信（自民）大坪保雄（自民）山下徳夫（自民）八木昇（社会） 県養殖試験場大浦分場廃止	
1月	14 第3次佐藤内閣成立 第63特別国会召集 28 メーカー事件第1審判決、騒乱罪成立 農林省牛乳汚染防止でBHC・DDT等の使用禁止を各都道府県に指示	1 嬉野町消防署発足 7 農林省米減反の各県別配分を発表（全国150万t・35万4,000ha、本県3万1,000t・6,090ha） 12 県、市町村行政懇談会（米の生産調整に集中） 19 森林公園、都市計画公園に組み入れ 25 鳥栖市長選挙、原忠実当選	
2月	5 中央米生産調整推進協議会100万tの減産（23万6,000ha平均7.4%の減反）決める 10 新幹線岡山一博多間起工式	5 農林省、県の減反目標2万700t・4,060ha（7.5%減）を提示 14 県体育協会、「51年国体誘致委員会」設ける 16 鹿島市救急業務開始 20 武雄市長選挙、本山昌太郎再選	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
23 伊万里湾河口湖建設模型実験始まる 25 県米生産調整推進協議会設立準備会 ○ 農協中央会に農協組織整備委員会発足 ○ 県内自主流通米当初予想の6000tを下回る2043tと不振	27 県医師会、一斉休診に入る	27 NHK、大川・松浦両テレビ中継局完成
13 米の生産調整地区別説明会始まる 19 佐賀東部4青果市場合併調印(佐賀青果・上佐賀青果・神埼青果・多久青果の4社) 26 諸富町米生産調整推進協議会、県内のトップを切って発会 ○ 唐津バイパスのルート決定 ○ 佐賀市地盤沈下で深井戸の使用制限を呼びかける	16 大雪のため県内各所で交通規制 ○ 集団カゼ流行 ○ 県社会福祉協議会、事故家庭の実態調査まとめる	8 鳥栖市山浦古墳群発掘調査
2 佐賀青年工業会発足 7 県初の米生産調整推進協議会開催 9 佐賀土地改良区、佐賀市上水道1日5万t取水を認める 10 県、農業振興地域に6市町を指定簡易保険、郵便年金事業団武雄保養所落成(武雄市永島) 13 新都市計画法地元説明会始まる(諸富町) 17 県米生産調整説明会	16 県東部伝染病隔離病舎完成 21 佐賀市内公衆電話3分打ち切り制実施 25 川副・東与賀・諸富3町、佐賀市に上水道の共同利用を申し入れ	

昭和45年（1970年）

	国内・国際	県治
		政
2月		28 定例県議会（2/28～3/27）
3月	14 万国博覧会開会式 31 日本航空「よど号」赤軍派に乗っとられる（北朝鮮に着陸）	4 県警機動隊庁舎落成 5 県緊急農業対策連絡協議会設置 16 知事、県議会で医大設置の検討を表明 23 玄海ノリ被害（1月末の暴風雨による流失）に天災融資法適用決定 26 県開発公社発足 27 県農業構造改善審議会、第2次構造改善事業の基本方針答申県議会、51年団体誘致決議
4月		1 県立博物館準備事務室設置 県文化館廃止、社会教育課に文化室設置 県心身障害者扶養共済制度発足 10 伊万里市長竹内通教、鹿島市長矢野正治それぞれ無投票当選 16 鳥栖警察署新庁舎落成 21 県立自然公園審議会、天山・八幡岳県立公園指定答申 佐賀空港建設促進期成会結成 24 九州新幹線建設促進期成会結成
5月		1 機構改革、企画部設置（企画第1課・企画第2課・統計調査課）、知事室廃止、秘書課、用地取得対策室設置 農林部の「農政食糧課・農業構造改善課・農業改良課・農地開拓課」を「農林経済課・農政企画課・営農指導課・農産課」に改組 「岩屋川内ダム建設事務所」を「岩屋川内ダム・竜門ダム建設事務所」に改称 過疎地域対策緊急措置法に基づく地域に多久市等12市町村を指定 9 臨時県議会（5/9～5/11）

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
27 県工業開発懇談会		26 基山バイパス建設工事で萩野古墳遺跡調査 山下惣一の「海鳴り」農民文学賞に決定
2 上場土地改良事業推進協議会設立 11 県農協組織整備委答申 26 九州電力、玄海原子力発電所炉型決定（加圧水型） ○ 県下各市町村で米減反割当行われる	10 県高等看護学院第1回卒業式 21 第1回県ユース・フェスティバル	7 佐賀商高、交通対策として時差通学を採用 27 文化財保護審議会、与賀神社の鳥居などを重要文化財に指定
1 鉱害復旧事業団江北事務所開所 木炭検査の廃止 4 県佐賀土木、嘉瀬川改修事務所合同庁舎完成 6 九州電力・唐津火力発電所第3期工事計画を発表 15 県物産観光東京センター開所 17 県、自転車道の建設計画発表 22 鳥栖市九千部山系「峠越連絡林道」開通式	1 身体障害者福祉法施行20周年記念県身体障害者福祉大会開催 元県会議長大渡熊次 死去 15 県下初の交通公園佐賀市で開園	9 佐賀大学に農学研究科の大学院の設置決定 11 嘉瀬川緑地運動場開き 14 伊万里市中央公民館落成 18 県立養護学校総合落成式 24 文化庁・文化財愛護モデル地区に鎮西町指定 25 NHK嬉野テレビ中継局開局

昭和45年（1970年）

	国内・国際	政	県治
5 月	<p>11 日本山岳会登山隊の松浦・植村両隊員、日本で初めてエベレストの登頂に成功</p> <p>27 水俣病補償処理委員会、斡旋案合意</p>	<p>18 佐賀・長崎両県協議会9年ぶりに開催</p> <p>27 池田県知事、全国知事会副会長に選出</p>	
6 月	<p>9 閣議45年度生産者米価の据置きを決定</p> <p>22 政府、日米安保条約の自動延長を声明</p> <p>23 全国的な反安保統一行動</p>	<p>10 県、公害対策審議会に公害防止条例を諮問</p> <p>24 自然公園審議会、玄海海中公園指定等を答申</p> <p>30 県公害対策審議会、県公害防止条例制定について答申</p>	
7 月	<p>14 閣議、「日本」の呼称を「ニッポン」に統一</p> <p>18 東京杉並の高校で女生徒40数人が倒れた原因は光化学スモッグと発表（27日、東京都光化学スモッグ警報発令体制スタート）</p>	<p>1 県立博物館設置 県立博物館協議会設置 玄海海中公園指定 万国博覧会佐賀県の日始まる</p> <p>14 建設省、県下36市町村を地方生活圏整備計画の調査対象地区に指定</p> <p>17 定例県議会（7/17～7/28）</p> <p>18 自治省、佐賀地区を広域市町村圏に指定</p> <p>27 県議会、公害対策特別委員会設置</p> <p>30 県人事委、警察官の採用試験を他府県と共同実施</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
12 園造干拓潮止め工事 13 県立中央専修職業訓練校改築完成 18 県内初の大型市場、佐賀青果市場開設 19 県営北茂安干拓完工式 23 県営かんがい排水事業竣工 26 久保田橋開通	18 佐賀市で初の消費者モニターを委嘱	23 嬉野町の湖上体育館落成 31 県PTA会館落成式
1 米の生産調整目標を上回る119%に達す 2 野菜特産地指定説明会 11 鳥栖市農業防災ダム河内ダム完工式 12 代行干拓福富工区潮止め 14 浜干拓営農管理組合設立 19 県万国博覧会推進協議会開催 22 県農協会館落成式 29 佐賀広告協会設立総会 ○ 唐津石炭協会解散	4 神集島で離島火災訓練 23 県下4地区で反安保集會	28 第1回県合唱祭
1 B Sタイヤ鳥栖工場操業開始 呼子～壱岐間にフェリー開通 8 筑後川下流土地改良事業推進協議会、初の推進大会 15 農協中央会主催農業大学スタート 16 昭和45年産米の産地品種別銘柄に佐賀米「レイホウ」指定さる 23 九竜と県、唐津市との間に公署防止協定調印 29 有明海ノリ、カドミウム汚染対策 4 県会議	4 長雨被害による天災融資法適用に関する調査団来佐 日本建設連合健保県支部発足 17 県、有明ノリからカドミウム検出発表 18 鳥栖市勤労青少年ホーム開館	1 県立博物館、博物館登録 3 西久光（佐大初代学長）死去 12 九州現代工芸美術展 25 唐津で県下初のヨットレース開催

昭和45年（1970年）

	国内・国際	政	県治
8月	<p>1 自動車の一酸化炭素ガス規制始まる</p> <p>2 銀座・新宿・池袋・浅草で「歩行者天国」実施</p> <p>9 静岡県田子ノ浦でヘドロ公害追放の住民抗議集会（13日静岡地検田子ノ浦ヘドロで公害捜査）</p> <p>○ カラーテレビの二重価格問題化</p>	<p>1 県公害防止条例制定 県消費生活苦情相談員設置 佐賀地区広域市町村圏協議会発足</p> <p>14 県災害対策本部設置</p> <p>15 塩田町に災害救助法適用</p> <p>26 「一日土木県政」鹿島市で開催</p> <p>28 運輸省第2次空港整備計画に佐賀空港（第3種）入る</p> <p>29 県行政事務機械化審議会設置</p>	
9月	<p>5 梅新瀨大学教授スモン病の原因はキノホルムが関係していると発表（7日厚生省キノホルムの使用・販売中止を通告）</p> <p>13 日本万国博覧会閉幕</p> <p>○ 農林省新規干拓の米作禁止通達（45年度以降）</p>	<p>1 県機構改革 厚生部に公害課設置 県、公害に備え衛生研究所に公害検査課設置 県公害対策本部設置</p> <p>2 県公害対策審議会に専門部会（大気・水質・騒音・地盤沈下）を設置</p> <p>8 県過疎地域振興の方策を決定</p> <p>11 県総合開発審議会、新長期総合開発計画まとめる</p> <p>14 国民体育大会誘致委員会設立総会</p> <p>19 定例県議会（9/19-10/2）</p> <p>○ 台風9・10号被害激甚災害に指定決定</p> <p>○ 県、有明海カドミウムの汚染調査実施</p>	
10月	<p>2 日本最長の山陽新幹線の六甲トンネル開通</p>	<p>1 国勢調査実施 県人口、83万8,442人 天山県立自然公園、八幡岳県立自然公園それぞれ指定</p> <p>5 有明海沿岸4県、有明海の汚水合同調査決定</p> <p>7 県交通安全対策会議設置 県開発審査会設置</p> <p>8 県都市計画審議会、佐賀駅高架移転計画とこれに伴う付帯工事を答申</p> <p>15 県過疎地域振興協議会発足</p> <p>18 県庁西別館できる（旧県農協会館）</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 米生産調整確認始まる 伊万里港・植物防疫港に指定</p> <p>3 佐賀陸運事務所、初のCOテスト</p> <p>6 県中部家畜保健衛生所庁舎完成 白石地区農協福富支所分離推進委員会</p> <p>11 県生鮮食糧品流通情報センター設立総会</p> <p>24 県農協の新長期計画案まとまる</p> <p>28 肥前陶磁器鉛毒対策委員会発会</p>	<p>8 県、全域を日本脳炎警戒地区に指定</p> <p>14 台風9号来襲、死亡1人、負傷者27人</p>	<p>1 残留磁気測定による古窯調査（有田天狗谷古窯）</p> <p>26 鳥栖音楽団体連盟結成</p> <p>29 唐津市立図書館落成</p>
<p>1 佐賀南部広域営農団地農道整備事業推進協議会発足</p> <p>4 多良岳大幹線林道起工式</p> <p>5 県うまい米づくり運動総決起大会</p> <p>10 国道263号線全線舗装完了</p> <p>30 門司植物防疫所、伊万里出張所開所</p> <p>○ 佐賀・鳥栖両地区で新都市計画法にもとづく線引説明会公聴会実施される</p>	<p>2 県職員安全運転を守る会設立</p> <p>13 母子連盟結成20周年記念大会</p> <p>18 県、有明海産赤貝貝柱からカドミウム検出発表</p> <p>○ 県第2期住宅建設5か年計画まとめる</p>	<p>11 県展運営委員会（委嘱作家を全廃、招待作家を新設）</p> <p>13 第17回日本伝統工芸展に県から13人が入選</p> <p>30 大観麟大関昇進</p>
<p>1 国鉄松浦線（3駅）、筑肥線（7駅）無人化される 佐賀電報局、電話局統合</p> <p>5 国道263号線開通</p> <p>13 県生産組合連合協議会結成20周年記念大会 佐賀商工会議所内にスーパーなど大型店舗進出調整機関「小売り商業調整懇話会」発足</p>	<p>1 県厚生部、県下チクロ食品の一斉追放を始める</p> <p>4 県第1回本因坊戦</p> <p>7 旅館業施設の衛生措置基準条例改正（モーター対策）</p> <p>10 伊万里市で県下初の歩行者天国</p>	<p>4 県総合運動場落成祝賀県体</p> <p>14 県立博物館落成式</p> <p>15 桃山江戸美術名作展開催</p> <p>17 弥栄義塾創立40周年式典</p>

昭和45年（1970年）・昭和46年（1971年）

	国内・国際	政	県治
10月			
11月	<p>15 戦後初の沖縄、国政参加選挙</p> <p>25 三島由紀夫、陸上自衛隊東部方面総監部でクーデターを呼びかけ、切腹</p> <p>29 初の公害統一メーデー 国会、国会開設80周年記念式典挙</p>	<p>1 県公害審査会設置 県公害苦情相談員任命</p> <p>7 県交通巡視員設置</p> <p>13 九州地方建設局、有明海総合開発についての調査報告書発表(同総合開発計画事実上棚上げとなる)</p> <p>17 県総合開発審議会、新長期総合開発計画案を答申</p> <p>19 山村振興対策審議会、脊振村を振興山村に指定答申</p> <p>21 杵島・藤津地区広域市町村圏協議会結成</p> <p>30 急傾斜地崩壊危険区域として6市町村の危険地区を指定</p>	
12月	<p>12 農林省、1977年に米の生産を30%減とするなどの農業生産の地域分担指標を発表</p>	<p>1 県消費生活センター設置</p> <p>10 定例県議会（12/10～12/23）</p> <p>14 佐賀都市高速鉄道事業、建設大臣に認可される</p> <p>23 玄海海中公園マスタープラン完成</p> <p>24 川副町空港対策協議会発足 過疎地域内における県税の免除に関する臨時措置に関する臨時措置条例公布</p>	
1月	<p>2 和歌山県新和歌浦で旅館全焼、14人焼死</p>	<p>1 県立佐賀コロニー設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
16 林業普及指導事業20周年記念大会 20 佐賀ミカン初の専用列車走る 30 伊万里市立川炭鉱閉山調印式 ○ 各漁協、ノリ冷凍庫を建設 ○ 田植機械の著しい普及（昨年73台、今年629台）	18 唐津湾姫島沖でタンカー一座礁重油流出 ○ 県スモンの会発足	30 伊万里高新築総合落成式 31 唐津市文化会館落成式
4 佐賀駅高架移転計画認可 5 佐賀西部九州横断自動車道建設促進期成会結成 16 原子力委員会原子炉安全審査会、九州電力玄海原子力発電所安全審査パス 佐賀空港予定地のボーリング調査始まる 20 県、立川炭鉱の閉山に伴い緊急石炭対策現地相談所設置 21 九州横断高速自動車道佐賀地区建設促進期成会発会 24 県農民研修センター落成式	5 第1回県職員美術展 14 県、有明海のカドミウム汚染を発表 20 佐教組事件処分無効確認訴訟13年ぶり結審 24 佐野記念館建設促進委員会設立 28 県婦人連絡協議会、カラーテレビの買い控え運動提唱	8 第20回西日本各県対抗剣道大会、佐賀県優勝
2 農業委員会法施行20周年記念農政推進県決起大会開催 10 政府、九州電力玄海原子力発電所認可 11 初の県茶業振興会 16 佐賀ミカン、欧州へ初出荷 28 佐賀米、韓国へ2,000t出荷	7 佐賀市片田江交差点にCOの自動測定機を設置 16 鳥栖市役所広場に蒸気機関車268号登場	10 県立博物館の常設展始まる 26 S氏賞第1回賞に玄海派同人中村一三「冴えない休日」選ばれる ○ 色鍋島の技術を守る技術保存会発会
1 九州電力、玄海原子力発電所建設所設置		

昭和46年（1971年）

	国内・国際	県治
		政
1 月		<p>13 運輸省飛行場部長、佐賀空港建設予定地を視察</p> <p>18 県公害対策審議会、規制基準を答申 佐賀国体誘致のため各県行脚始まる</p> <p>25 県、佐賀空港の建設について地元代表者に協力を求める</p>
2 月	<p>3 農林省、来年度の米減反割当発表（本県4万2,900t、8,400ha、昨年2倍）</p> <p>5 辺地医科大学開設準備委員会初会合</p> <p>23 成田国際空港土地収用について初の強制代執行</p>	<p>5 川副町内の4漁協、空港建設反対を表明</p> <p>20 定例県議会（2/20～3/10）</p> <p>22 元衆議院議員中村又一死去</p> <p>23 県辺地医科大学誘致促進期成会発足</p> <p>24 米生産調整市町村長会議</p>
3 月	<p>15 バングラディッシュ独立宣言</p>	<p>9 県警機構改革、捜査1課内に特殊事件捜査班設ける</p> <p>17 知事選挙告示</p> <p>29 県物価対策連絡会議</p> <p>30 県議会議員選挙告示</p> <p>31 伊万里市・西松浦地域広域市町村圏協議会設立総会</p>
4 月		<p>1 中原村・町制施行 有田地区消防組合発足</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
29 九州電力唐津火力発電所2号機火入れ 30 県内4か所の農村人材銀行開所	12 県消費生活センター第1回「くらしの1日教室」開催 21 日航、若人のつどい開催	15 幕末維新の「佐賀先哲資料展」 ○ 「佐賀県議会史統編」刊
1 唐津で農村人材銀行開所 住ノ江港、貿易港指定取り消し 6 鳥栖ガス、ガス供給始める 8 鳥栖インターチェンジ起工式 18 杵島農業改良普及所で農業大学発 会式 ○ 県商業近代化地域計画推進協議会 発足	3 県食品検査車運行式 10 県警の女性交通巡視員街頭にでる 12 馬渡島、加唐島に保健婦駐在員室設 置 ○ 県キノホルム調査実施	5 第1回県日本画家展 10 佐賀労音第1回公演、民芸「星の牧 場」上演 20 県芸術文化振興連絡協議会初会合 28 県下初の私立幼稚園PTA大会 ○ 県、「風土記の丘」企画
12 嘉瀬川、閘議で1級河川に決定さ する(4月1日から) 25 「北山」国民保養地に指定さる 30 福岡通産局佐賀石炭事務所閉鎖 ○ 林業労働力流動化対策協議会初会 合 ○ 九州海運局伊万里分室廃止	3 武雄署管内で1人暮らし老人のパト ール始まる 18 特別養護老人ホーム「好日の園」落 成 23 佐教組事件(刑事罰)の無罪確定 (最高裁) 30 鹿島市西牟田で7棟全半焼20世帯被 災、1人重体、5人軽傷	16 短歌誌「麦の芽」創刊 17 今日出海文化庁長官文化講演会 26 文化財保護審議会「色鍋島」「柿右 衛門」の両技術保存会を人間国宝に 指定 武雄市の「荒踊」無形文化財に指定 29 唐津市鏡神社蔵「絹本着色楊柳観音 像」国の重要文化財指定 ○ 明治初期の住居表示発見(唐津) ○ 馬川小(七山村)・河内小(鳥栖市) 廃校
1 嘉瀬川、1級水系に指定 2 大川橋歩道橋開通		1 佐大教育学部に附属幼稚園開設 鳥栖商高新設

昭和46年（1971年）

	国内・国際	県治
		政
4 月	<p>7 米卓球団訪中決定（ピンポン外交）</p> <p>16 天皇・皇后両陛下初めて広島の実験慰霊碑御参拝</p>	<p>1 浜崎海岸、海岸保全区域に指定 県立衛生専門学院設置 有田警察署新庁舎落成</p> <p>3 知事選に初めてテレビによる政見放送開始</p> <p>11 知事選挙、立候補者2人、投票率82.87%、池田直4選 県議会議員選挙、立候補者66人、投票率82.86%、当選、自民27、 社会7、無所属9</p> <p>15 鳥栖地区広域市町村協議会発足</p> <p>20 杵藤地区広域市町村協議会発足</p> <p>25 市町村長、市町村会議員選挙、佐賀市長宮田虎雄、唐津市長瀬戸尚当選</p> <p>30 筑西町、江北町過疎振興地域に指定さる</p> <p>○ 武雄保健所白石分室閉鎖</p>
5 月	<p>1 米価3年ぶり上げられる。150kg 2万1,305円</p> <p>14 自治医科大学、栃木県設置決定</p> <p>28 スモン患者、国と製薬会社相手に訴訟おこす</p>	<p>4 臨時県議会（5/4～5/7） 議長小原嘉登次、副議長森永恒範選任</p> <p>6 佐賀空港建設反対期成会、空港建設反対漁民総決起大会</p> <p>7 知事の職務代理者に副知事竹下亮一指定</p> <p>10 池田知事、生産性本部商業地域視察団長として欧州出発</p> <p>13 県、公害審議会に公害防止条例の改正を諮問</p> <p>18 伊万里・西松浦広域市町村協議会、長崎県の北松・伊万里湾広域市町村圏との結合に同意（全国初めての県境を越えた広域市町村圏誕生）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>5 県陸運事務所コンピューターによる自動車登録始める</p> <p>10 県信連電算機始動式</p> <p>16 中小企業庁、佐賀市を商業近代化地域に指定</p> <p>28 県水産会館落成</p> <p>○ 牛津江排水樋門完成</p>	<p>5 佐賀市内の交通信号機、コンピューターによって自動制御される</p> <p>6 佐賀市に箱型歩道橋完成</p> <p>20 郵便百年記念行事、各地で開催</p> <p>30 西日本新聞チャーター機中原町古田原の脊振山系沢に墜落、4人全員死亡</p> <p>○ 佐賀市、蚊退治に、熱帯魚グッピー、タップミノール導入</p>	<p>鹿島市祐徳博物館新築落成</p> <p>6 唐津市鬼塚小元山田分校の児童タクシー通学始める</p> <p>16 高志狂言・川原狂言、県文化財に指定</p>
<p>18 鳥栖市藤木地下道開通式</p> <p>21 新佐賀段階米づくり運動推進本部、複合経営の確立を基本方針に決定多良岳国定公園指定促進期成会結成</p> <p>○ タイル業界経営不振</p> <p>○ 津地鎮祭違憲訴訟で名古屋高裁違憲としたため県下の公共団体工事の神事控えられる</p>	<p>1 県内救急車のサイレン、電子式サイレンに変更</p> <p>4 特別養護老人ホーム「寿楽園」落成</p> <p>11 衆議院産業公害対策特別委員会で、県内の母乳BHC汚染0.8PPM検出明らかにされる</p> <p>12 第12回日本住血吸虫病全国大会</p> <p>24 九州公害分析センター、鳥栖市に設置決定</p> <p>26 集中豪雨（5/26～5/27）六角川上流を中心に被害</p> <p>27 県労働者福祉事業大集会、労働者信用保証協会設立を決める</p> <p>31 県医師会、開業医全員の保険医一斉辞退届</p>	<p>10 伊万里農高新校舎落成</p> <p>27 日本・ソ連対抗バレーボール試合佐賀大会</p>

昭和46年（1971年）

	国内・国際	政	県治
6 月	<p>4 参議院議員選挙公示</p> <p>11 中央教育審議会「第3の教育改革」を答申</p> <p>17 沖繩返還協定調印式</p> <p>29 政府、グレープフルーツの自由化決定</p> <p>30 富山タイタイ病裁判判決、患者勝訴</p>	<p>11 新佐賀競馬場起工式（鳥栖市村田町）</p> <p>12 佐賀検察審査協会設立</p> <p>17 伊万里・北松地域広域市町村圏協議会設立総会</p> <p>18 県、参議院議員選挙公報の1部削除を決める</p> <p>27 参議院議員選挙 立候補3人（自民党1、日本社会党1、共産党1） 投票率65.83% 鍋島直紹（自民）当選</p>	
	<p>1 環境庁発足</p> <p>3 東亜国内航空YS11「ばんだい号」函館で墜落、乗客ら68人死亡</p> <p>5 佐藤改造内閣発足（保利茂、自民党幹事長に就任）</p> <p>26 大阪セメントの白桦市進出反対の漁業権確認訴訟で風成地区漁民勝訴</p> <p>28 保険医総辞退問題解決</p> <p>30 岩手県で全日空機と自衛隊機衝突、162人死亡</p>	<p>1 県職員の吏員昇任試験制度廃止</p> <p>3 伊万里・北松、杵藤、鳥栖の3地区、広域市町村圏に指定</p> <p>7 佐賀空港建設絶対反対期成会、航空公害の調査報告で建設反対を再確認</p> <p>17 県伊万里総合庁舎落成式</p> <p>19 県武雄総合庁舎落成式 県予防接種救済制度発足</p> <p>28 定例県議会（7/28～8/11）</p>	
8 月			

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>7 本庄江沿岸排水土地改良事業完成 住友銀行佐賀支店の閉鎖発表</p> <p>11 呼子町にグラスボート就航 玄海原電資料室開設</p> <p>14 九州電力唐津火力発電所3号機公 害防止協定調印</p> <p>16 佐賀北部野菜出荷連絡協議会発足</p> <p>21 県農協中央会農外就労対策研究会 発足</p> <p>24 住友銀行佐賀支店存続決定</p>	<p>6 県赤十字アマ無線奉仕団結成式</p> <p>13 佐賀市に「佐賀交通通児を励ます会」 発足</p> <p>17 地労委、深川製磁の無期限スト（5 /14から）の斡旋にのりだす</p> <p>26 佐賀市中央大通り玉屋前交差点に歩 行者優先のスクランブル方式信号誕 生 深川製磁の賃上げ無期限スト45日ぶ り解決</p> <p>28 県歯科医師会保険医辞退届</p>	<p>1 市村幸恵より茶室「清恵庵」を県へ 寄贈</p> <p>11 NHKテレビ鳥栖中継局開局</p> <p>23 寺浦庵寺塔跡、県史跡に指定</p>
<p>2 九州電力唐津火力発電所2号機運 転開始</p> <p>19 佐賀市内の地下水揚水調査始まる</p> <p>23 運輸審議会、国鉄岸線線の廃止決 定</p> <p>27 国鉄門鉄局、第3次合理化案、県 内で6駅無人化と発表</p> <p>28 自然保養林に黒髪山指定</p>	<p>1 県内の医師703人保険医辞退</p> <p>16 鹿島市で「医師と市民の対話集会」</p> <p>22 第39回日教組定期大会 佐賀市内で「野菜の日」を設け消費 者へサービス実施</p> <p>26 県医師会、診療費の「被保険者代表 受領方式」を決めて8月1日実施</p> <p>○ 県内の医療機関窓口混乱</p>	<p>10 日本伝統工芸秀作展</p> <p>23 佐賀独立展支部結成第1回展</p>
<p>2 名村造船所誘致促進協議会発足</p>	<p>2 佐賀市のゴミ収集、袋詰ステーショ ン方式に切り替えられる</p> <p>4 台風19号佐賀市を直撃(8/4～8/6)</p>	<p>4 有田焼創業期の築炉法判明</p>

昭和46年（1971年）

	国内・国際	政	県治
8 月	<p>15 アメリカ、金の交換停止、輸入課徴金制度を発表</p> <p>28 日本、変動相場制に移行</p>	<p>6 自治省、伊万里市大川町を「コミュニティ構想」モデル地区に指定</p> <p>10 鳥栖地区広域市町村圏協議会発足</p> <p>13 町の境界変更（三根町一北茂安町）</p> <p>25 杵藤地区広域市町村圏協議会発足</p> <p>30 県政広報紙「県政だより」刊行</p> <p>○ 県、国立医大誘致にのりだす</p>	
9 月	<p>27 天皇・皇后両陛下 欧州親善訪問に出発</p> <p>28 東大宇宙観測所、初の科学衛星打ち上げ成功</p> <p>29 新潟水俣病訴訟判決、患者勝訴</p>	<p>1 機構改革 参事室設置、厚生部に環境保全対策室（公害、環境整備、環境生活の3課）新設・伊万里湾開発室（同調査室昇格）転換作物販売対策室、職業訓練課、建設技術センター（道路整備調査事務所の拡充）、中小企業総合指導センター（中小企業総合指導室の強化）、工鉱通商課を工鉱課に変更</p> <p>用地取得対策室廃止</p> <p>土木部に工事検査室設置</p> <p>30 定例県議会（9/30～10/13）</p>	
10 月	<p>4 通産省、初の資源白書発表</p> <p>8 公労委、国鉄のマル生運動に救済命令</p>	<p>1 小城地区消防事務組合発足</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>17 県農業構造改善審議会、19市町村を農業振興地域に指定答申 県野菜価格安定基金協会設立総会</p> <p>19 国鉄岸嶽線廃止</p> <p>22 伊万里湾青年経済懇話会設立</p> <p>23 多布施川改良事業促進期成会発会</p> <p>26 県、稲作転換特別相談員に民間人32人委嘱</p>	<p>10 佐賀地裁、佐教組事件行政処分取消し無効確認訴訟判決、佐教組勝訴</p> <p>17 離島子どもクラブ夏期研修会</p> <p>23 国際地質学会、白石平野の地盤沈下調査</p> <p>29 台風23号来襲</p>	<p>8 全国高校総合体育大会女子400m自由形に野田真樹子（佐北）優勝</p>
<p>2 稲作転換促進特別対策事業打合せ会</p> <p>4 勤銀佐賀支店開設50周年記念式典</p> <p>10 県中小企業課、ドル防衛対策の「貿易懇談会」開く</p> <p>12 三瀬村井手野の観光薬園店開き</p> <p>14 県産米改良総決起大会</p> <p>16 嬉野茶生産者総決起大会</p> <p>29 県、転換作物の作付状況まとめる（転作率68.6%）</p> <p>○ 県内金融機関、中小企業の不況対策に特別融資制度創設</p>	<p>3 「九州の自然を守る会」連絡協議会発会</p> <p>5 集中豪雨、異常潮位、家屋損壊5戸、家屋浸水689戸</p> <p>6 国鉄鹿児島本線鳥栖～肥前旭駅間で貨物列車競合脱線</p>	<p>1 佐大理工学部に生産機械工学科設置決定</p> <p>4 鳥栖市民吹奏楽団誕生</p> <p>6 三日月町土生の鉱害復旧工事現場で弥生中期の大集落発見</p> <p>11 日本古美術展</p> <p>16 県教委、三日月町土生遺跡を国史跡に仮指定</p>
<p>1 佐世保検疫所伊万里出張所設置 鳥栖久留米地区開発協議会開催</p>	<p>1 県盲人会連合会点字出版所開設 県下市町村で老人医療費の軽減措置実施</p> <p>4 有明海沿岸に異常潮位</p> <p>10 佐賀市の「日峰さん」に歩行者天国出現</p>	<p>4 県教委、小城町畑田、弥生住居遺跡「久蘇遺跡」緊急発掘調査</p> <p>10 「体育の日」に県総合運動場無料開放</p>

昭和46年（1971年）・昭和47年（1972年）

	国内・国際	県治
		政
10 月	<p>15 日米繊維交渉妥結</p> <p>20 国鉄第3次合理化案提示 關芸連冷凍果汁工場操業開始（小城町布施ヶ里）</p> <p>26 中国の国連参加決定</p>	<p>15 県農村地域工業導入対策審議会設置</p> <p>19 県公害対策審議会、有明海の水質環境基準海域の指定答申</p>
11 月	<p>5 国鉄第4次合理化案提示</p> <p>10 愛知県全県下で1日ノーカー運動</p> <p>16 全購連、全販連合併調印</p> <p>30 新潟港沖でタンカー座礁原油流出 政府、BHCの製造、販売を全面禁止</p>	<p>12 日中国交回復県民会議結成大会</p> <p>18 佐賀・長崎両県九州新幹線建設促進大会</p> <p>25 中央公害対策審議会、有明海を水域類型に指定</p>
12 月	<p>9 文部省大学入試改善会議、共通テスト実施を報告</p> <p>20 国語審議会、当用漢字音訓表の改定 新レート「1ドル=308円実施</p> <p>22 沖繩返還協定承認</p>	<p>10 定例県議会（12/10～12/23）</p> <p>21 山村振興対策審議会、振興山村に三瀬村指定</p> <p>22 県農村工業導入対策審議会初会合</p> <p>24 県伊万里湾工業用地造成事業特別会計創設</p>
1 月	<p>5 佐藤首相訪米</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 第1回武雄商工業者大会</p> <p>23 小城郡農協カントリーエレベーター落成</p> <p>25 国道264号線開通式</p> <p>○ 県東部工業団地構想まとまる</p> <p>○ 唐津市内のミカンに公害発生</p>	<p>13 基山町の笹原山に九電送電線工事用大型ヘリ墜落8人重軽傷</p> <p>20 東京県人会から「ふるさと訪問団」来佐</p> <p>29 伊万里市国見中で県内初めてのヘルメット自転車通学始まる</p>	<p>16 歌誌「ひのくに」創刊50年記念大会日新小分校建設起工（佐賀市）</p>
<p>2 闘芸連果汁工場落成式</p> <p>25 有田青年会議所設立総会</p> <p>○ 県水産課、栽培漁業振興にのりだす</p>	<p>3 伊万里市民会館落成</p> <p>15 身体障害者自動車操作訓練所開所</p> <p>24 唐津市で大規模な重油火災消火訓練実施</p>	<p>7 財団法人佐賀育英会学生寮「松濤学舎」新築落成</p> <p>9 佐賀大学学長選挙、田中定当選</p>
<p>7 多良岳国定公園指定促進協議会発会</p> <p>16 港湾審議会、伊万里湾開発を承認九電、米原子力委との間で玄海原電燃料濃縮について調印</p> <p>25 佐賀南部バイパス全面開通国鉄佐賀駅高架工事の佐賀工事区事務所開所</p>	<p>15 鎮西町、名護屋、打上の両診療所閉鎖</p> <p>20 県、佐賀市職員を中心に1日ノーカーデー行われる</p> <p>24 国の出先機関の佐賀地方合同庁舎落成式</p>	<p>12 武雄市西川登小で火事、職員室など4室焼く</p> <p>17 伊東玄朴胸像除幕（神埼町）</p>
	<p>3 佐賀競馬でファン騒ぐ</p>	<p>1 佐賀市文化連盟結成</p> <p>5 全九州教職員卓球大会で佐賀商高優勝</p>

昭和47年（1972年）

	国内・国際	県治
		政
1 月	7 日米共同声明、沖縄の核抜き本土並み返還決定	11 佐賀医科大学に調査費がつく
	20 農林省、標準価格米創設を提案	
	24 グアム島で元日本兵横井正一を発見	24 県広域市町村圏推進連絡会
	28 農林省47年度米の生産調整発表（全国215万t、県3万7,400t、適地適産を打ち出す）	
2 月	3 札幌オリンピック開幕	
	10 新幹線福岡市内起工式	
	19 連合赤軍浅間山荘事件発生	
	21 ニクソン米大統領、訪中 27 米中共同コミュニケ発表	21 自治省、鳥栖市を公営競技（競馬）施行市町村に指定 29 定例県議会（2/29～3/27）
3 月		1 佐賀市公共下水道事業認可

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
17 名村造船の土地買収解決 20 県うなぎ養殖漁業協同組合創立総会 21 国鉄佐賀駅移転工事くい打ち始まる 25 佐賀ミカン、韓国に初出荷 26 西部地区開発推進協議会設立総会 27 岩屋川内ダム定礎式	21 基山町洗心寮寮舎落成式 29 伊万里市南波多町実験集落整備事業起工 ○ 地盤沈下測定用水準点測量始まる	12 佐大に生産機械工学科新設決定 16 県立博物館、博物館教室を開設 22 佐工70年記念碑除幕式 27 県文化財に米多浮立ら3件指定
1 玄海町仮屋に国土地理院検潮所開所 8 鳥栖基山農協の育苗センター完成 12 神埼ソーメンのJAS合格認定書の伝達式 15 国道新武雄～佐世保線新設促進期成会発会式 県漁業取締船新「まつろ」就航 28 伊万里湾漁業補償交渉調印式 ○ 長崎県、カナギまき領釣りの制限を通告 ○ 三日月町、町単独で減反見舞金支給 ○ 農家の米作り放棄急増	1 県、工場排出ばい煙工場9社に改善指示 6 佐賀市での佐賀競馬、最後のレース 10 第1回県内精薄施設合同展 16 鳥栖市、BSタイヤと公害防止協定結ぶ 19 県、重金属排出企業5社に改善命令 26 第1回施設出身就職者激励大会	2 高田保馬（文化功労者）死去 13 県野鳥の会、有明海の水鳥を4県合同調査 19 国体市町村説明会 20 佐賀の自然と文化を守る会発足 第1回県レクリエーション大会
1 県経済連畜産センター開所 13 小城羊かん協同組合創立20周年記念式典	1 大雪（3/1～3/4）農作物を中心に被害 4 鎮西町松島に診療所開設 6 武雄市老人福祉センター「日輪荘」開所 13 鳥栖機関区から蒸気機関車姿消す 14 武雄～永尾間の機関車二重連結、ダイヤ改正で姿消す（C11・C57）	6 県自然保護審議会第1回会合 13 中原町の姫方遺跡緊急発掘

昭和47年（1972年）

	国内・国際	県治
		政
3 月	<p>15 沖縄返還協定批准書交換 山陽新幹線岡山まで開通</p> <p>22 奈良県明日香村で高松塚古墳発掘</p> <p>30 全農設立総会</p> <p>○ 連合赤軍リンチ殺人事件明るみになる</p>	
4 月	<p>1 福岡・札幌・川崎の3市、政令指定都市となる</p> <p>4 沖縄返還協定機密漏えい事件で西山記者ら2人逮捕</p> <p>13 自治医科大学開学式</p> <p>16 ノーベル賞作家川端康成自殺</p>	<p>1 県警本部に交通企画課新設 神埼地区消防事務組合に脊振、三瀬村加入 伊万里、北松広域市町村圏設立総会 県競馬組合、新発足（県、鳥栖市） 唐津東松浦広域市町村圏消防本部開庁式</p>
5 月	<p>2 鉄道建設審議会、九州新幹線の組み入れを答申</p> <p>13 大阪千日デパート火災、死者116人、重軽傷38人</p> <p>15 沖縄27年ぶり本土復帰 首相官邸とホワイトハウスを結ぶ日米ホットライン開通</p>	<p>4 臨時県議会（5/4～5/6）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>19 名村造船進出協定調印式</p> <p>31 財団法人玄海海中公園公社認可</p>	<p>24 県大気環境測定車運行開始</p> <p>30 鳥栖市内の交通信号自動感應方式となる 県心身障害者対策協議会設置 ○ 女子刑余者の更生施設「清風寮」閉鎖 ○ 多久保育会法人認可（私立保育園7を統合）</p>	<p>19 神野公園の野外音楽堂贈呈式 20 県立点字図書館完成</p> <p>29 米多浮立、県重要無形文化財に指定</p>
<p>1 米の自由販売開始 日本専売公社、佐賀支局に格下げ、小城出張所を廃止</p> <p>5 有明漁連、ノリ調整保管倉庫完成</p> <p>7 国道34号線北部バイパス1部開通 県公害防止技術連絡会議発足</p> <p>11 唐津港湾合同庁舎落成 県上場農村青少年研修センター完成</p> <p>14 県農村地域工業導入対策審議会、基本計画を承認</p> <p>18 有明海関係漁協、海の大掃除作戦を展開</p> <p>○ 佐賀市商業近代化地域計画まとまる</p>	<p>1 唐津東松浦医師会発足</p> <p>10 県遺族会の「平和会館」落成</p> <p>17 県警、交通事故死急増対策に特別体制を敷く</p> <p>23 県障害児親の会結成</p> <p>24 鳥栖市で宮入員掃討作戦</p> <p>29 県内タクシースト</p> <p>○ 学校周辺通学道路にスクールゾーン誕生</p>	<p>1 鳥栖市文化連盟結成 社会教育指導員配置 大隈重信侯50年祭</p> <p>2 県庁前に「51年国体を佐賀県で」の広告塔出現</p> <p>3 中川副公民館（佐野記念館併設）完成</p> <p>16 第1回県馬術大会</p> <p>25 県教委、伊万里市セツ島の縄文遺跡を調査記録保存</p>
<p>2 呼子漁港臨港道路開通</p> <p>8 名村造船下請企業整備促進会発足</p>	<p>1 県、6 病院、5 医師を保険医取消処分</p> <p>2 唐津市制施行40周年記念式典</p> <p>11 ニクピタン事件で和解成立</p> <p>12 伊万里市大川町のモデルコミュニティセンター完成</p> <p>16 呼子町の養護老人ホーム「延寿荘」落成</p>	<p>5 第1回サイクリングオリエンテーション大会</p>

昭和47年（1972年）

	国内・国際	県治
		政
5 月		30 港湾審議会唐津湾の水産物流通加工センター建設を答申
6 月	<p>5 スtockホルムで国連人間環境会議開く</p> <p>11 田中角栄、「日本列島改造論」発表</p> <p>13 コンコルド（超音速旅客機）日本に初飛来</p> <p>14 日航機、インドのニューデリーで墜落</p> <p>17 佐藤首相、退陣を表明</p> <p>24 東京外国為替市場閉鎖 水質汚濁防止法全面施行</p>	<p>1 池田知事、文部省と日体協に佐賀国体誘致を陳情、申請書提出</p> <p>10 臨時県議会（6/10～6/14）</p> <p>12 県議会、名村造船特別委員会設置</p> <p>22 県災害対策本部設置</p> <p>26 鳥栖総合庁舎完成</p> <p>27 定例県議会（6/27～7/11）</p> <p>30 知事、佐賀空港建設予定地の川副町民に協力要請</p>
7 月	<p>5 自由民主党臨時党大会、田中角栄総裁に選ばれる</p> <p>7 第1次田中内閣発足</p>	<p>6 川副町議会、空港特別委員会設置</p> <p>10 県議会に開発特別委員会設置</p> <p>12 三池信、郵政大臣に就任 佐賀市に災害救助法適用</p> <p>16 自由民主党災害視察団九州班、県内災害状況を視察</p> <p>19 唐津東松浦広域市町村圏消防本部、唐津海上保安部と海上火災消火について協力協定結ぶ</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>13 国見山開発促進協議会発会</p> <p>16 県、重金属たれ流し工場に改善命令</p> <p>21 鳥栖筑紫野有料道路供用開始</p> <p>23 伊万里湾漁民転業対策委員会発足</p> <p>27 県農林部のパイプライン用水方式、上野賞を受賞</p>	<p>17 元衆議院議員 田中善内死去</p>	<p>28 「ひのくに」創刊50周年記念祝賀会</p> <p>○ 中原町姫方遺跡の取扱い問題化</p>
<p>1 県園芸連、ミカンの消費拡大にサンレージュースの販売を決める九州公害分析センター完成</p> <p>10 佐賀相互銀行本店完成</p> <p>17 47年度米減反計画まとまる。割当7,053ha、3万7,400t、計画8,543ha、4万4,810tで目標を19%上回る</p> <p>22 建設大臣、九州横断自動車道（武雄～鳥栖）に施行命令</p> <p>29 県競馬場落成</p> <p>○ 唐津市神楽島に民宿ブーム</p> <p>○ 公害防止のため、ノーカーボン紙の追放行われる</p>	<p>1 自衛隊沖縄派遣阻止の過激派学生80人、佐大構内に入る 県労働者信用基金協会発足</p> <p>9 佐教組事件の休職処分無効訴訟、双方和解を受諾</p> <p>16 離島への緊急医療用ヘリポート完成</p> <p>20 佐教組事件の第1回和解審理</p> <p>21 集中豪雨（6/21～6/22）県西部を中心に被害発生</p>	<p>7 佐賀市青年の家完成</p> <p>14 県文化室、民家緊急調査の第1次報告を取りまとめる</p> <p>19 牛津町オアシス運動展開</p> <p>○ 北茂安町の白石焼民陶で復活する</p> <p>○ 鎮西町立名護屋中に文化財愛護少年団結成</p>
<p>1 鳥栖市の佐賀競馬場オープン</p> <p>5 北山ダムに三瀬村農協の農産物直売所完成</p> <p>6 県、九州電力玄海原子力発電所周辺に13か所のモニタリングポスト設置</p>	<p>3 脊振山系に豪雨、被害</p> <p>8 太良・塩田町7.8災10周年慰霊祭</p> <p>9 県北西部、県中南部に集中豪雨（7/9～7/13）佐賀市中心部巨勢川堤防の決壊により湛水、死者3人、負傷16人、家屋全半壊78戸、床上浸水1,148戸、床下浸水1万5,325戸</p> <p>19 県下ボタ山総点検始まる</p>	<p>4 玄海・有明海漁撈具展</p>

昭和47年（1972年）

	国内・国際	県治
		政
7 月	<p>29 47年度産米150kg 2万2,384円に決定</p> <p>30 中国湖南省の馬王堆で2,100年前の完全な人体発掘</p> <p>31 環境庁、宮崎県土呂久鉱害を公害病と認定</p>	<p>25 51年国体開催佐賀県に決定（於九州体協長会議）</p>
8 月	<p>12 日航機、中国へ戦後初の直行便飛ばす</p> <p>26 ミュンヘンオリンピック開幕</p>	<p>1 県消防学校落成</p> <p>2 日体協第2回国体委員会</p> <p>4 県漁業調整委員会委員選挙</p> <p>8 杵藤地区広域市町村圏組合設立総会</p> <p>15 県、7月豪雨で激じん法指定</p> <p>26 機構改革 文化課、国体準備室設置、農地改良局、環境保全局、電子計算課、漁港課、特定地域開発室、公共用地室新設 嘉瀬川改修事務所廃止</p> <p>28 第31回国体開催準備委員会創立総会</p>
9 月	<p>1 日米首脳会談</p> <p>5 パレスチナゲリラ、ミュンヘン五輪の選手村を襲う</p> <p>25 田中首相訪中</p>	<p>20 定例県議会（9/20～10/4）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
20 上場開発研究青年同志会設立総会 24 県水質審議会、六角川水系の水質基準を答申 26 肥前町出稼ぎ就労者互助会結成 ○ 県農林部、米の転作計画まとめる、転作率71%	30 第1回民間社会福祉施設で働く人達を励ます会	21 文化財保護委員会、高志狂言を無形文化財に指定 28 第1回文化財愛護地域活動推進協議会 ○ 鎮西町史跡を守る会発足
1 玄海海中公園「ビジターセンター」落成 11 佐賀東部広域水道推進協議会設立 18 鎮西町出稼ぎ労働者互助会結成 25 全国商工会連合会会長に福岡日出鷹就任 26 名村造船下請関連懇談会	4 九電唐津火力発電所故障で停電騒ぎ 9 有明海で異常潮位 10 佐賀市に納涼佐賀まつり登場 11 呼子町加部島沖の砂利運搬船沈没事故で船長海底24mから無事生還 22 県交通事故犠牲者合同慰霊祭 ○ 三根町でイ草農家の健康診断実施 ○ 元唐津海上保安部庁舎保存なされる ○ 県内の被爆者1,678人	10 佐賀国体の標語募集開始 13 詩誌「はんぎい」創刊 20 呼子海洋少年団結成 21 県育英学生と知事との懇談会
7 佐賀・福岡両県ノリ養殖安定化連合協議会設立 9 唐津市鉄道路線近代化協議会初会合 18 生産組合「知事を囲む会」 19 佐賀土地改良区理事会、杵島工業用水道1日1万t取水大筋で解決 20 県貿易協会、神戸市で陶磁器輸出促進展示会 21 協同組合西部地区LPガス保安調査事務所創立総会 22 県、47年度米の生産調整まとめる、目標20%超過、転作率65.7%	1 水質汚濁に係る環境基準の水域類型六角川・牛津川関係の指定 県、かまぼこ業者6人に排水基準の改善命令 18 唐津鉄工所争議、140日より解決 20 第1回県職員退職者慰労会 24 県労働者レクリエーション大会	23 県ユースホステル協会創立10周年記念大会 25 県スイミングクラブ協議会発会

昭和47年（1972年）

	国内・国際	政	県治
9月	29 日中共同声明発表、国交回復なる 国府、対日断交発表	30 社会党県本部執行部総辞職	
10月	5 学制百年記念式典 14 鉄道開業百周年記念式 19 フィリピンのルパン島で元日本兵2人発見、1人射殺 28 中国のパンダ2頭、上野動物園着 西鉄球団、太平洋クラブに身売り	1 鳥栖・三養基地区消防組合発足 14 木村建設大臣、佐賀入り 19 有明海地域総合開発4県協議会（沿岸道路の整備を協議） 天災融資法に基づく特別被害区域の指定 21 川副町地元の西川副千拓7年ぶりに帰属決定 31 県の電算機始動式 ○ 県内の自治体、企業の電算機導入盛ん	
11月	6 国鉄北陸トンネル内で列車火災、29人死亡、 703人負傷 7 ニクソン米大統領再選 9 鉄道建設審議会、長崎新幹線の基本計画組 み入れを答申 13 衆議院解散 15 株価過熱、ダウ平均4,600円(史上最高) 20 衆議院議員総選挙公示 28 日航機、モスクワで墜落 ○ 愛媛県松山市で弥生時代の住居ほぼ原形で 出土	10 県、出先機関の宿日直の段階的廃止を通知 14 北部山村開発センター落成（富士町）	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 公害企業と住民との間に公害防止協定を結ぶ例が多くなる ○ 県、佐賀市の広域排水計画の策定開始 	<p>29 国立嬉野病院総合落成式</p>	<p>30 劇団「ぼっち」（佐賀市）第1回公演「バカの療治」</p>
<p>5 名村造船伊万里造船所起工式</p> <p>11 杵島工業用水道水利権調印式</p> <p>12 県子豚価格安定基金協会設立総会</p> <p>13 呼子造船鉄工団地漁業補償妥結</p> <p>16 三日月農業機械銀行創立総会</p> <p>20 県建設協同組合設立総会</p> <p>25 ダイエー佐賀店「ショッピングプラザ」開店</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県産自主流通米ほとんど売れず 	<p>1 県内の週休2日制、46企業が実施</p> <p>3 第1回県老人スポーツ大会</p> <p>4 県消費生活センター、洗剤をテーマとする消費者1日教室開催</p> <p>7 佐賀市公共下水道起工式</p> <p>14 唐津日赤病院創立15周年記念式典 県PCBの残留結果を発表</p> <p>22 県生活協同組合連合会創立総会</p>	<p>2 下村湖人生家保存工事落成式</p> <p>10 蒼海、梧竹展（県立博物館）</p> <p>11 伊万里市教委、鍋島藩窯を発掘調査</p> <p>25 県文化会議、県芸術文化賞を設ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 唐津市の虹の松原沖の砂採取で地元、白砂浸食に拍車と中止を要望
<p>1 県鶏卵販売農協設立総会</p> <p>6 県、九州電力と原子力発電所の公害防止協定結ぶ</p> <p>9 佐賀スレート協同組合同工場完成</p> <p>12 電々公社、広域時分制を実施</p> <p>21 第1回諸富町木工展 小城炭鉱復旧工事完工</p> <p>24 県閉山対策協議会発足</p> <p>28 国営嘉瀬川農業水利事業完成</p> <p>29 新明治鉱業明治佐賀・西杵岡鉱閉山、県内から炭鉱消える</p>	<p>5 日ノ隈山で全国初の盲人オリエンテーリング開催</p> <p>8 唐津港でタンカー火災訓練</p> <p>20 佐賀市消費生活懇談会発足</p> <p>27 新明治佐賀労組解散大会</p>	<p>1 51年佐賀国体標語「青空と緑がつくる佐賀国体」に決定</p> <p>2 県立高校教育整備振興協議会初会合 有田町山辺田古窯跡発掘調査</p> <p>26 全日本年齢別柔道選手権大会年齢別で松本剛儀（県警）優勝</p>

昭和47年（1972年）・昭和48年（1973年）

	国内・国際	政	県治
12月	<p>10 第32回衆議院議員総選挙、自民と社共対決時代（公明、民社敗退）</p> <p>22 第2次田中内閣発足 第72特別国会</p> <p>○ 地価・木材高騰、土地買占め盛ん</p>	<p>8 県新明治鉱業閉山対策協議会</p> <p>10 第32回衆議院議員総選挙立候補者7人、投票率81.24%、当選者 保利茂（自民）八木昇（社会）愛野興一郎（自民）三池信（自民）山下徳夫（自民）</p> <p>12 定例県議会（12/12～12/25）</p> <p>25 知事部局内に国体準備委員会事務局設置 伊万里湾県立自然公園の指定解除</p> <p>27 国営有明干拓福富工区の滞属問題事実上決定</p>	
	<p>8 ウォーターゲート刑事裁判始まる</p> <p>11 北京駐在大使館開設</p> <p>16 ソ連のルナ21号、月面軟着陸成功</p> <p>26 政府、土地対策要綱決定</p> <p>27 ベトナム和平調印式</p>	<p>4 唐津市、市民サービスセンター開設</p> <p>8 川副町の一部を東与賀町に編入</p> <p>9 佐賀空港予定地地権者の用地買収調印、74戸に達す</p> <p>16 唐津東松浦広域市町村圏組合庁舎落成</p> <p>17 県、余剰ミカン1万t買い上げ決める</p> <p>23 県広域市町村圏連絡協議会設立</p> <p>27 県公害対策審議会、六角川水系の上乗せ排水基準答申</p>	
1月			

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 唐津水産加工団地協同組合冷凍冷蔵庫起工</p> <p>15 九州電力唐津火力発電所第3号発電機火入式</p> <p>17 新都市計画法に基づく鳥栖市の線引き公聴会2年3か月ぶり開催</p> <p>19 九州新幹線佐世保ルート建設促進大会</p> <p>23 緊急米対策会議</p> <p>24 佐賀北部バイパス、有田バイパス一部開通</p> <p>25 県内最低賃金1日990円に改定</p> <p>28 九州電力唐津火力発電所のミカン媒じん公害補償調印</p> <p>31 日本航空会社会長松尾静磨死去</p> <p>○ ミカンの過剰生産問題化</p> <p>○ 木材高騰で合板会社潤う</p>	<p>19 新明治鋳業明治佐賀鋳労組解散大会</p> <p>20 三田川町で幼稚園送迎バスから園児転落、死亡</p>	<p>2 学制百年記念教育資料展（県立博物館）</p> <p>7 学制百年記念式典</p> <p>16 科学者会議県支部発会</p> <p>17 佐賀の自然と文化を守る連絡会議結成</p>
<p>16 伊万里信用金庫本店完成</p> <p>18 佐賀市地下水自主調整協議会発足白杵鉄工所、唐津妙見工場団地を視察</p> <p>20 多久市・北方町に県緊急石炭対策現地相談所開設</p> <p>25 肥前町高串～長崎県日比港にフェリー就航</p> <p>○ 建設省嘉瀬川ダム建設調査費1億円計上</p>	<p>1 老人医療70歳から無料化</p> <p>16 大雪災害救助訓練 佐賀市のし尿処理場の放流水問題12年ぶり解決</p> <p>20 長崎県油症患者診療研究班県内患者を検診</p> <p>28 佐賀市医師会立看護学院校舎落成</p>	<p>5 国体準備委員会第1回企画会議</p> <p>8 鳥栖インターチェンジ工事現場で弥生式遺跡発掘</p> <p>15 佐大の電子工学科新設決定</p> <p>19 第1回九州青年の船佐賀県団出発式</p> <p>25 日本古地図絵図展（主催県立図書館）</p> <p>27 佐賀文化連盟第1回総会</p>

昭和48年（1973年）

	国内・国際	県治
		政
2 月	<p>1 中国政府、東京に駐日中国大使館開設</p> <p>12 ドル、10%切下げ</p> <p>14 円、変動相場制に移行</p> <p>21 ラオス和平協定調印</p> <p>26 農林省、ミカンの減反を通達</p> <p>○ 大企業の商品土地買占め問題化</p>	<p>1 県、みかん暴落対策を決める 県土地開発公社設立</p> <p>19 県農業生産対策協議会、48年産米生産調整決定、3万3,800 t・ 6,381ha</p> <p>23 嘉瀬川ダム建設反対同盟設立総会</p> <p>28 定例県議会開会（2/28～3/28）</p>
	<p>2 東京外国為替市場閉鎖（19日再開）</p> <p>5 中央公害対策審議会、筑後川・宝満川等の 水質環境基準答申</p> <p>8 済生会八幡病院火事13人焼死</p> <p>17 勤労のストで日本列島半身不随</p> <p>20 水俣病民事裁判第1審判決、患者勝訴</p> <p>29 米軍、南ベトナムから撤退</p>	<p>15 佐賀空港反対抗議集会</p> <p>30 県農政審議会設置</p> <p>31 国造干拓（空港予定地）買収調印式</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 県、ニューカッスル病発生対策を 議じる</p> <p>2 園芸連ミカン搾汁カス貯蔵庫完成</p> <p>8 鳥栖地区身障者雇用協力会設立</p> <p>15 第1回機械金属輸出促進取引商談 会</p> <p>17 県輸出関連業者懇談会</p>	<p>1 県下の浴場の入浴料40円に値上げ 食料品一斉値上げ</p> <p>11 白石高校北校舎全焼</p> <p>17 精薄施設合同作品展</p>	<p>1 第45回選抜高校野球大会に唐津商高 県代表として出場決定</p> <p>5 佐賀国体ポスター完成</p> <p>7 色鍋島の重要無形文化財記録映画撮 影始まる</p> <p>9 県自然保護審議会、権限山と七山村 湿原の保護を答申</p> <p>11 第1回「みんなで走ろう歩こう運動」</p> <p>○ 県教委、県立高校の表彰制度を廃止</p>
<p>2 名村造船下請会社の第1回転業会 社設立準備委員会</p> <p>10 唐津市内の呼子線路線発表 国鉄第5次営業近代化案として久 保田駅等を民間委託に提示</p> <p>12 江北町鉦害被害者組合総決起大会</p> <p>20 河川審議会、嘉瀬川ダム実施計画 答申</p> <p>31 神埼郡農協発足</p> <p>○ 日本列島改造ブームで建設資材不 足を来たし資材高騰、公共事業遅 れる</p>	<p>16 佐大生協食堂問題でまた機動隊出動</p> <p>28 佐賀駅前に盲人用信号機登場</p> <p>30 佐教組事件の4人の休職処分和解な る</p> <p>○ 県離島保健婦常駐廃止</p>	<p>2 文化庁、土生遺跡を史跡に指定</p> <p>4 第1回玄海10kmマイルロードレース</p> <p>5 佐賀国体選手強化対策本部発足</p> <p>11 県体育館10周年記念式典</p> <p>12 鳥栖市河内町の横井古墳群発掘</p> <p>18 第1回佐賀新聞招待マラソン大会 (君原健二優勝)</p> <p>27 佐野常民記念館開館</p> <p>31 鹿島市民体育館落成</p>

昭和48年（1973年）

	国内・国際	県治
		政
4 月	<p>21 新潟水俣病補償解決</p> <p>25 石橋湛山元首相死去</p> <p>26 公労協統一スト交通マヒ状態となる (4/26～4/27)</p>	<p>1 県輸出入関連企業応急対策保証損失補償要綱制定 東部工業用水道局設置 鳥栖・三養基地区消防組合実働に入る 県警機構改革、交通機動隊厚生課新設 建築行政の一部、県から佐賀市に移管 杵藤地区広域消防発足</p> <p>4 伊万里市と長崎県福島町消防事務委託調印式 県道路線の番号整理</p> <p>16 建設省、嘉瀬川ダム・殿木ダムの調査を発表</p> <p>19 元県知事早川三郎死去 九州横断自動車道用地買収事務委託協定調印式</p> <p>24 臨時県議会（4/24～4/30） 副議長に宮崎辰己選任</p>
5 月	<p>1 新関門トンネル貫通式</p> <p>3 沖縄特別国体開会</p> <p>4 日中海底ケーブル敷設調印式</p> <p>15 日本と東独、モスクワで外交関係設定交換 公文に調印</p> <p>17 ウォーターゲート米上院公聴会始まる</p> <p>22 熊本大研究班、有明海に第3水俣病の存在 を発表</p>	<p>1 県立希望の家設置 臨時県議会19年ぶり流会となる 県森林公園開園</p> <p>2 佐賀空港建設で知事、漁民との現地交渉</p> <p>12 臨時県議会（5/12） 県土地対策委員会発足</p> <p>16 県警交通機動隊庁舎、相知警察署庁舎落成</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 県窯業試験場実技研修所開所</p> <p>5 国道35号線有田バイパス全面開通 佐賀専門店会20周年記念式典</p> <p>11 蔵木バイパス開通・伊万里バイパス一部開通</p> <p>14 玄海原子力発電所展示館開館</p> <p>16 県中小企業課にセメント斡旋相談所設ける</p> <p>21 唐津市内の県土木関係合同庁舎落成</p> <p>27 県中小企業団体中央会創立25周年記念式典</p> <p>○ 玄海原子力発電所用淡水ダム完工</p> <p>○ 県産ノリ 53億9,000枚で全国第2位</p> <p>○ 米の生産調整、自主減反広がる</p> <p>○ セメント不足で建設事業の遅れが目立つ</p> <p>○ 県農試、直播の本格的普及にのりだす</p>	<p>9 県警「動く交通対策室」開設</p> <p>23 唐津市公害センター起工式</p> <p>27 交通ゼネストで、県内の交通マヒ状態、佐教組半日スト</p> <p>○ 佐賀中央犬抑留所移転解決（三瀬村に移転）</p>	<p>1 県立大和養護学校設置 佐賀実高、佐賀学園高校と改称</p> <p>23 伊東玄朴旧宅、県史跡に指定 国体準備委員会、種目会場を決定</p> <p>29 県体協理事長、辞意表明</p> <p>○ 沖縄国体出場予定の目達原自衛隊出場もめる</p>
<p>10 セツ島産業株式会社創立総会</p> <p>12 佐賀銀行頭取に香月義人就任</p> <p>19 九州電力唐津火力発電所、重油専焼に切り替え</p>	<p>1 日本住血吸虫病実態調査</p> <p>2 県公害対策審議会、松浦川・有田川水系環境基準を答申</p> <p>16 北波多村山彦地区11戸、防災集団移転促進事業法に基づく移転申請</p> <p>22 県立佐賀コロニー完成 県、有明海の水銀分析調査開始</p> <p>25 県、医師会と協力して水俣病患者調査を開始</p> <p>27 第1回日曜緑化教室</p>	<p>16 第1回佐賀芸術展</p>

昭和48年（1973年）

	国内・国際	県治
		政
5月		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「第3水俣病」の報告、県水産業にショックを与える
6月	<ul style="list-style-type: none"> 2 石油輸出機構と国際石油資本の値上げ交渉、原油11.9%の値上げで合意 5 世界環境デー 12 政府、水銀汚染対策で水銀汚染対策推進会議設置 15 全ベトナムで協定に基づく停戦発効 25 政府、有明海等9水域の環境調査決める 28 政府、総需要抑制として公共事業の繰り延を決定 	<ul style="list-style-type: none"> 5 有明海沿岸幹線道路協議会設立総会 16 機構改革、国体事務局、物価対策課、土地利用対策室、九州横断自動車道用地事務所、公共用地課、流通対策課、九州横断自動車道対策室、同和対策室設置 18 県庁内に「国立佐賀医科大学誘致推進本部」設置 25 佐賀空港反対漁民集会 29 6月定期県議会（6/29～7/13） 30 川副町長、佐賀空港建設を川副町空港対策協議会総会で拒否宣言（同日、県、議決要請を撤回）
7月	<ul style="list-style-type: none"> 1 経済企画庁に物価局新設 6 買占め防止法公布施行 9 水俣病補償協定調印 	<ul style="list-style-type: none"> 3 池田知事、議会で「佐賀空港は造らない」と正式表明 9 医大誘致で唐津市立候補 10 日体協理事会で51年佐賀国体開催決定

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
31 県園芸連、ミカンの生産調整決める	30 特別養護老人ホーム「ちぐさの」落成 ○ 有明海の魚貝類、第3水俣病事件で売れず	
2 有田協会館建設促進委員会設立総会 8 名村造船ドック排水式 16 建設省厳木ダム調査事務所開所 24 有明4県漁連、つなぎ資金15億円を公営企業に要求 30 九州電力唐津火力発電所3号機営業運転開始 ○ 佐賀東部排水対策報告書まとまる(佐賀市) ○ 48年度米生産調整、目標の102%、単純休耕23%	1 7市で車庫規制始まる 知事、有明海の魚貝類の安全宣言 松浦川・有田川・伊万里川水系に環境基準の水域類型の指定 4 県警、飛行機墜落事故想定大模倣訓練 5 世界環境デー、県内ではノーカーデー、事業所点検行われる 6 県、有明海の漁員類の水銀分析結果を発表 8 県消費生活センター主催「暮らしの大学講座」開講式 12 県、有明海の魚貝類について総合的安全宣言 21 県、有明海漁民の第1次健康調査実施 25 武雄保健所庁舎完成 26 豪雨、佐賀市で3,278戸水びたし 13 県春闘共闘委員会、佐賀国体協力拒否を日体協に通告 15 佐賀美術協会60周年記念展 16 佐賀市水泳連盟「大人水泳教室」開設 25 佐賀国体県民運動推進協議会設立総会 29 松本弘二(県出身画家、2科会)死去	
1 田手川改修工事ショートカット工事完工(千代田町) 2 伊万里・有田地区農業共済組合スタート 5 水産物流通加工センター冷凍冷蔵庫完成 西九州茶農協創立総会		

昭和48年（1973年）

	国内・国際	政	県治
7 月	<p>20 日航機、パレスチナゲリラに乗っ取られる</p> <p>31 日米首脳会談</p>	<p>18 「佐賀県民の歌」歌詞決定</p> <p>19 県、国立医科大用地で高木瀬を断念、鍋島町に全力を挙ぐ</p> <p>20 第31回国民体育大会佐賀県実行委員会設立総会</p> <p>25 第1回県消防救助技術大会</p> <p>26 全国町村議長会会長に牛津町議会議長関川功就任</p> <p>28 国立医科大学鍋島町誘致促進期成会発会</p> <p>30 全国都道府県議会議長会会長に県議会議長小原嘉登次就任</p>	
8 月	<p>3 米価審議会、48年産米価答申変則3本立答申、8日政府16.1%、1俵1万401円に引上げ決定</p> <p>8 金大中（元韓国大統領候補）事件発生</p> <p>17 環境庁水銀汚染調査検討委員会、第3水俣病を否定</p> <p>31 物価安定緊急対策決定</p> <p>○ 景気過熱で原材料値、思惑買いが横行</p>	<p>1 臨時県議会（8/1～8/2） 内職公共職業補導所、内職相談センターと改称</p> <p>3 副知事竹下亮一、出納長森一郎退任</p> <p>9 県土地利用対策指導要綱制定</p> <p>10 知事、田中首相に医大誘致を陳情</p> <p>16 第3水俣病関係で第1次住民健康調査を発表、1,000人が類似症状</p> <p>25 県長期総合開発計画を軌道修正</p> <p>○ 県、建材暴騰のため公共事業の一部繰り延べを決める</p> <p>○ 県、医大誘致に全力投球</p>	
9 月	<p>1 全農配合飼料21%引上げ</p> <p>5 警視庁、韓国大使館金1等書記官を金大中事件で出頭要請</p>		<p>9 多久市長選挙藤井儀作当選</p> <p>10 国立医科大学の用地買収調印式</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>12 県水産試験場、玄海原電の事前海洋調査実施</p> <p>21 食糧庁、48年産米の産地銘柄告示、県産の「レイホウ」・「日本晴」特例銘柄となる</p> <p>24 福所江沿岸漁民、佐賀板紙に補償要求で座り込み</p> <p>30 有田焼卸団地協同組合創立総会</p>	<p>15 県鮮魚商公害対策総決起大会</p> <p>18 佐賀大学学生の「むつごろう」有明海に船出</p> <p>22 交通遊児のリレーサイクリング「赤トンボ号」来県</p> <p>27 公害追放県民会議結成</p> <p>28 原子力、火力発電所問題唐津討論集会 県消費生活センター、輸入牛肉の食味テスト実施</p>	<p>12 日の隈山麓石棺台地緊急発掘</p> <p>20 鍋島藩の蒸気機関車と蒸気船の模型一般公開</p> <p>27 県文化財愛護モデル地区に伊万里市を指定</p> <p>31 第55回全国高校野球選手権大会県代表に唐津商高決定</p>
<p>10 県河川課、「佐賀江川改修計画」まとめる 県労働者福祉対策連絡協議会発会</p> <p>13 県中小企業課内に小型棒網あつ旋所開設</p> <p>27 県野菜特産振興対策協議会設立総会</p> <p>28 国鉄唐津線のSL姿を消す</p> <p>29 佐賀ミカン銘柄確立総決起大会</p>	<p>1 第1回県福祉夏季大学講座開会</p> <p>7 佐賀市の松原川に鯉放流</p> <p>8 県、日脳対策本部設置 佐賀駅にコインロッカー登場</p>	<p>1 NBC佐賀放送局、県に1,000万円の寄付</p> <p>9 県教委、玄海沿岸のカブトガニ調査</p> <p>11 県、九州横断自動車道予定地内の遺跡を発表</p> <p>20 県教委、上場高校(仮称)建設について玄海町1校建設を決定</p> <p>26 第6回九州地区中学生体操選手権大会、県勢、男女団体が優勝</p>
<p>3 県塩化ビニール幹旋相談所開設 地域食品点検事業協会発足</p> <p>7 九州電力玄海原子力発電所、原子炉搬入</p> <p>10 佐賀・長崎両県合同伊万里湾公害調査</p> <p>11 九州横断自動車道正式ルート発表</p>	<p>6 唐津市公害センター完成</p> <p>7 県警、行方不明者相談所開設</p> <p>12 県菊花連盟発足</p> <p>14 佐賀市、自転車安全利用モデル都市に指定</p>	<p>6 県教委に太良及び離島住民高校新設を陳情</p>

昭和48年（1973年）

	国内・国際	県治
		政
9 月	<p>18 第28回国連総会東西独の加盟決定 原子力委員会日本初の原電公聴会</p> <p>21 日本と北ベトナム、国交樹立交渉妥結、調印</p>	<p>19 池田知事、天皇陛下に県勢を御説明</p> <p>21 県、医大関連病院として県立病院の改築を決定</p> <p>25 定例県議会（9/25～10/9） 海外移住事業団県事務所閉鎖</p>
10 月	<p>1 軽自動車に車検適用 通産省、灯油価格の凍結を要請</p> <p>2 文部省、学校統合について通達</p> <p>6 第4次中東戦争勃発</p> <p>8 日ソ首脳会議</p> <p>16 OPEC、原油17%上げを決定</p> <p>17 鉄道建設審議会、長崎新幹線等を工事整備計画として答申</p> <p>20 アラブ産油国、石油の対米禁輸を決定</p> <p>23 ノーベル物理学賞に江崎玲於奈決定</p> <p>○ 資源エネルギー節約政策登場 ○ 10月中旬の卸売物価20%を越す上昇 ○ 中東戦争に石油戦略登場（値上げと生産削減）</p>	<p>9 県副知事に森一郎任命</p> <p>11 県出納長に相良勝太任命</p> <p>12 伊万里・北松浦地域広域圏電算センター完成</p> <p>25 51年国体のテーマ「若楠国体」に決定</p>
11 月	<p>1 金大中事件で日韓合意</p> <p>4 アラブ産油国石油生産の25%減産を決める</p> <p>7 国連大学の日本設置決定 厚生省、有明海等7海域の魚の安全宣言</p>	<p>1 県警、高速自動車道路交通警察隊発足 県有明水産試験場設置（川副分室廃止）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>19 九州横断自動車道説明会開始</p> <p>○ 農業機械も生産不足を来たす ○ ボーリング場の休廃止相次ぐ</p>	<p>17 勧銀事件、時効となる 第3水俣病事件で県環境保全局第2次健康調査開始</p> <p>21 老人福祉法施行10周年記念県老人福祉大会</p> <p>27 佐賀地裁でカネミ油症出張尋問</p> <p>○ 県内各警察署、独居老人の実態調査を実施</p>	<p>29 九州沖繩工芸秀作展</p> <p>31 第21回九州各県対抗陸上競技大会、県勢女子総合優勝</p>
<p>2 九州横断高速自動車道建設絶対反対（大和・三日月・小城町）共闘会議発足</p> <p>4 佐賀職安、婦人を対象とする短期職業講習会開催</p> <p>10 建設省、嘉瀬川ダム調査所初の説明会開催</p> <p>13 国鉄、第5次合理化伊賀屋駅等無人化を提示</p> <p>14 浜玉町の県営ほ場整備事業完了</p> <p>18 県緑化対策協議会設置</p> <p>22 1日中小企業庁</p> <p>24 九州のリセンター完成 県農政審議会初会合</p> <p>27 県、九電唐津火力発電所公害防止協定調印</p>	<p>1 高額療養費制度発足</p> <p>11 厚生年金、5万円に引上げ 県身体障害者福祉会館完成</p> <p>13 県共済連スポーツセンター完成</p> <p>27 佐賀市で断水3万戸</p> <p>○ 市町村の「犬取締条例」の制定すすむ、34市町村 ○ 灯油高騰、(18㍊) 450円</p>	<p>10 茶室「清恵庵」完成（県立博物館、故市村清寄贈）</p> <p>○ 北方中に西杵炭鉱遺品の炭鉱資料館できる</p>
	<p>1 県社会福祉会館に老人就労斡旋所開設</p> <p>7 馬渡島で移動保健所開設</p> <p>10 原電の安全性についての公開討論会（唐津市）</p> <p>13 九州縦貫自動車道の救急体制決定</p>	<p>1 環境庁、権現岳を特別鳥獣保護区に指定</p> <p>2 佐大学長選挙、田中定当選</p> <p>9 県下の民家5棟、国の重要文化財に指定</p> <p>10 県立図書館創立60周年記念資料展</p>

昭和48年（1973年）・昭和49年（1974年）

	国内・国際	政	県治
11月	<p>14 関門橋開通</p> <p>16 政府、緊急石油対策推進本部設置 政府、緊急石油対策要綱決定</p> <p>20 石油電力の10%節減スタート</p> <p>22 政府、新アラブ政策表明</p> <p>25 第2次田中改造内閣発足（行政管理庁長官に保利茂就任）</p> <p>29 熊本市大洋デパート火災、死者99人、負傷100人</p>	<p>14 県、物価モニター委嘱</p> <p>15 県、率先して資源節約運動開始 県公害対策審議会、地下水採取の規制を答申</p> <p>20 県佐賀総合庁舎落成 県「物を大切にす運動」スタート</p> <p>27 有明海の重複漁場佐賀・長崎両県話し合い（物別れになる）</p>	
12月	<p>4 公労協スト</p> <p>8 LPガス緊急放出</p> <p>21 石油需給適正化法、国民生活安定法成立</p> <p>22 政府、石油危機に緊急事態を宣言</p> <p>23 OPEC、原油の2倍値上げを決定</p> <p>25 OPEC、日本を友好国と決定</p>	<p>1 県、鳥栖市・基山町の市街化区域調整区域の指定告示</p> <p>7 定例県議会（12/7～12/21）</p> <p>27 佐賀都市計画用途地域決定 県民生活安定緊急対策本部設置</p> <p>29 佐賀医科大学設置決定</p>	
1月			<p>9 前衆議院議員大坪保雄死去</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>13 九州電力、10%の節電を要請</p> <p>16 九州縦貫自動車道、鳥栖～南関開通</p> <p>○ 施設園芸、重油不足高騰で打撃を受ける</p>	<p>18 ガソリンスタンド石油節約のため日曜休業</p> <p>22 佐賀市で石油買い占め摘発</p> <p>26 久保田駅で貨車6両脱線</p> <p>28 県、灯油価格380円の厳守を指示</p> <p>○ 県総合庁舎に車イス用スロープ登場</p> <p>○ 県婦人連絡協議会、買い控え運動提唱</p> <p>○ 各地で石油・砂糖・チリ紙買い占め騒ぎ発生</p>	<p>12 佐賀国体のテーマカラー、黄・青・緑に決定</p> <p>○ 就学前児童の入園率80%を上回る</p>
<p>1 ガソリンスタンド、タクシー会社にプロパンガスの6割値上げと3割供給削減を通告</p> <p>3 名村造船操業開始</p> <p>17 県石油製品あっせん相談所開設</p> <p>○ プロパンガス5割値上げ</p>	<p>1 天山斎場完成(多久市)</p> <p>2 県連合会青年団主催「第1回県青年談会」</p> <p>4 県老人就労あっせん所開設</p> <p>5 医師研修審議会、県立病院好生館を研修指定病院に指定</p> <p>11 杵藤地区ゴミ処理センター完成 嬉野町で石油買い占め摘発</p> <p>17 映画館、午前中の上映自粛</p> <p>21 1人暮らしのおばあさん、消防車購入資金に4百万円寄付</p> <p>○ 各地で石油の供給不足・高騰、問題となる</p>	<p>9 第1回県文化振興会議</p> <p>10 県文化財、県東部工業団地の埋蔵文化財の事前調査に着手</p> <p>25 自然環境保全審議会、天山鳥獣保護区と極原湿地の保全地区指定を答申</p>
<p>4 ガソリンスタンドの一部に配給制登場</p> <p>7 佐賀市営バス、地方公営交通事業の健全化促進法の適用による再建決定</p>	<p>1 モーター規制実施</p>	<p>8 上場高校「東松浦高」の名称に決定</p> <p>9 「はがくれの里史跡公園」第1回現地調査</p>

昭和49年（1974年）

	国内・国際	県治
		政
1 月	<p>15 田中首相訪問先のジャカルタで反日デモ 16 第2次石油、電力15%節減実施</p> <p>19 自動車排気ガス50年4月規制実施決定</p> <p>23 トイレットペーパー、チリ紙、国民生活安定法の指定品目となる</p>	<p>17 県民生活安定緊急対策本部事務局設置</p> <p>20 鳥栖市長選挙、原忠實当選</p>
2 月	<p>4 政府の各省庁物価価格安定対策本部設置 5 公正取引委員会、石油12社に価格協定破棄を勧告 6 クウェートの日本大使館、ゲリラが占拠</p> <p>12 日銀、1月の卸売物価発表、前年比34%の大幅上昇（朝鮮動乱時なみ）</p> <p>15 建設省、企業の土地保有状況発表、上場1,068社、非営業用6万6,000ha所有</p> <p>19 公正取引委、石油連盟と12社告発</p> <p>22 教員確保法成立</p> <p>25 衆院予算委員会、物価・モノ不足集中審議、民間企業から参考人呼ぶ</p>	<p>2 長崎本線・佐世保線電化促進期成会、鉄道利用費の引受け決定</p> <p>11 「佐賀県民の歌」公表</p> <p>20 県公害対策審議会、水質規制と悪臭規制について答申</p> <p>24 武雄市長選挙、本山昌太郎当選</p> <p>26 水資源開発審議会、筑後大ぜきと福岡導水路の2事業組み入れに同意</p> <p>28 定例県議会（2/28～3/29）</p>
3 月	<p>1 大型店法施行</p> <p>3 通産省、生活物資の価格凍結を百貨店等に要請</p>	<p>1 県農政審議会に「佐賀農業確立のためにとるべき方策について」を諮問 元最高裁長官、田中耕太郎死去</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>19 佐賀・白石平野の地盤沈下調査始まる</p> <p>25 県南部地区地盤対策事業期成会発表</p> <p>29 鉄道路線近代化促進協議会、東唐津駅移転を承認（唐津市）</p>	<p>14 県民生活安定緊急対策本部、灯油とプロパンの価格表示を指示</p> <p>31 恵まれぬ人に灯油などの給付始まる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 紙不足深刻化 ○ 人手不足と賃金高騰で日曜大工ブーム 	<p>30 若楠国体シンボルマーク決定</p>
<p>6 49年度米生産調整割当（佐賀2万800t）</p> <p>19 国鉄第5次合理化（県関係無人化1、民間委託6等で）妥結</p> <p>25 七ッ島工業団地のハッパ公害補償合意</p> <p>○ 48年度県産自主流通米3万2,000t</p>	<p>1 県消費生活展（玉屋） 県、チリ紙・トイレットペーパーの価格パトロール</p> <p>2 県、公害防止条例の基準を上回る2企業に改善命令</p> <p>8 第1回ガン撲滅県大会</p> <p>16 県、有明海沿岸住民健康調査公表（県内の水俣病患者の存在否定さる）</p> <p>19 県民生活安定緊急対策行政懇談会</p> <p>22 県総評、51年国体の開催返上を決定</p> <p>26 県、標準価格（LPガス・ちり紙等4品目）一斉価格調査</p>	<p>9 鹿島地区高校教育振興協議会設立総会</p> <p>16 「国体の歌」「国体音頭」入選発表</p> <p>21 大和町でドルメン遺跡発見</p> <p>22 大森勇次（剣道10段）死去</p> <p>25 姫方遺跡、鹿島城赤門等県文化財に指定</p>
	<p>4 県、国民生活安定法指定物資のチリ紙、トイレットペーパーの枚数、長さ不足の8業者公表</p>	

昭和49年（1974年）

	国内・国際	県
		政 治
3 月	<p>9 フィリピン・ルパン島の小野田寛郎救出</p> <p>30 会社臨時特別税法成立</p>	<p>7 県農業生産対策協議会、49年度割当2万800t、3,902ha、稲作転換は農家の自主性にまかせることを決める 池田知事、佐賀国体方針通り開催を表明し、関係市町村に協力要請</p> <p>25 中央公害対策審議会、地盤沈下関係委員9人県内視察 佐賀郡消防事務組合発足</p> <p>28 県農政審議会、自然休養村農村施設整備計画、2次構について答申</p>
4 月	<p>2 48年度農業白書発表、食糧の安定自給を訴える</p> <p>17 森永ミルク中毒被害児対策の財団法人「ひかり」設立決定</p> <p>20 日中航空協定調印 モナリザ来日（国立博物館）</p>	<p>1 県公害センター設置</p> <p>11 法務省福岡入国管理事務所伊万里出張所開所</p> <p>12 伊万里市長選挙、竹内通教当選</p> <p>18 県、「あすの佐賀県を考える」懸賞論文募集</p> <p>21 鹿島市長選挙、矢野正治当選</p> <p>○ 県人口、19年ぶりに増加に転ずる、82万9,401人、前年比2,300人増</p>
5 月	<p>8 森永ミルク中毒事件、19年ぶり解決</p> <p>9 伊豆半島に地震、マグニチュード6.8、死者・行方不明29人</p> <p>18 インド核実験</p> <p>21 電力料金値上げ平均56.8%</p> <p>23 通産省、灯油の元売り価格を2倍に引上げ</p>	<p>7 知事職務代理者に副知事森一郎を指定 池田知事、日本地方自治首長訪中団団長として訪中</p> <p>15 小原県議会議長、全国都道府県議長会友好訪中団団長として訪中</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>8 筑後川下流土地改良事業神埼地区推進協議会発足</p> <p>11 九州計量検定所開所</p> <p>15 県、49年度稲作転換の市町村割当(転作の難易で傾斜割当)</p> <p>26 住ノ江港にタンカー第1船入港</p> <p>27 佐賀地区身体障害者雇用協会設立</p> <p>28 白杵鉄工所進出の漁業補償解決</p>	<p>10 伊万里市に戦時捕虜補償金恩謝料獲得推進協議会同盟発足</p> <p>26 春闘第2波ストで県内の足乱る</p> <p>30 花とみどりの市(佐賀市)</p> <p>○ 3桁ガソリン時代到来</p>	<p>8 自治労県本部、51年佐賀国体返上を決議</p> <p>15 国体募金推進委員会設立総会</p> <p>16 51年佐賀国体返上運動県民会議結成大会</p> <p>29 江藤新平記念碑建設委員会発足</p> <p>30 県総合運動場庭球場完成</p>
<p>1 宝くじ付定期預金発売</p> <p>8 県、佐賀・白石平野の「地盤高図」公表</p> <p>13 西九州広域流通センター完成</p> <p>15 県内第1号の九州横断自動車道用地タイ打ち式 農村地域工業導入対策審議会、実施計画を答申</p> <p>17 伊万里港に1,000隻目の貿易船入港</p> <p>24 国道34号線北部バイパス全面開通</p> <p>25 佐賀東部工業団地(中核工業団地)の佐賀開発所開所</p> <p>26 白杵鉄工所、唐津造船所進出協定調印</p>	<p>10 公労協のストで駅閑散、延44高校休校</p> <p>11 県内公務員共闘スト、県庁に機動隊出動、ピケ排除</p> <p>28 県教職員連合結成大会</p>	<p>1 県立東松浦高校設置 NBC唐津ラジオ放送局開局</p> <p>13 佐賀の乱百年祭</p> <p>15 小原嘉登次県議会議長、県体協会長に就任</p> <p>30 佐教組、国体協力拒否を決定</p>
<p>1 外津大橋開通 松浦大ぜき完成</p> <p>2 作礼山産業道路完工</p> <p>13 県営岩屋川内ダム完成 森林保全巡視員設置</p> <p>24 県、「中小企業のための総合技術相談所」を開設</p>	<p>7 佐大で内ゲバ、3人負傷</p> <p>20 県、環境放射能技術会議発足</p> <p>23 10・21スト大量審査請求の第1回審理</p>	<p>8 県立東松浦高校開校(玄海町)</p>

昭和49年（1974年）

	国内・国際	県治
		政
5 月	<p>○ 狂乱物価時の経済統制徐々に解除さる</p>	<p>31 臨時県議会（5/31～6/3）</p>
6 月	<p>1 灯油の標準価格撤廃</p> <p>14 参議院議員選挙公示</p> <p>26 国土庁設置 27 米ソ首脳会談</p>	<p>3 県会、原電2号基問題で紛糾、流会</p> <p>5 田中首相来佐</p> <p>11 臨時県議会（6/11）</p>
7 月	<p>2 中央選管委員長、企業ぐるみ選挙に異例の見解</p> <p>16 田中内閣の福田蔵相、保利行政管理庁長官辞任</p> <p>22 政府、49年産米生産者米価決定、37.4%の引上げ</p>	<p>1 機構改革 広報課、森林保全課新設、水産課を漁政課、水産振興課に分離、 全国身体障害者スポーツ大会開催準備室、竜門ダム、伊岐佐ダム建設事務所設置</p> <p>2 県警、警察法施行20周年記念式典開催、物価対策課廃止</p> <p>7 参議院議員選挙、立候補4人、投票率78.67%、当選福岡日出磨（自民）</p> <p>12 定例県議会（7/12～7/26）</p> <p>17 水資源開発審議会、筑後川開発計画変更を了承</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
28 九州電力社長に永倉三郎就任 29 有明干拓廻里江工区潮止工事 31 運輸大臣、国鉄呼子線松原～佐志間の工事認可 ○ 武雄市で温州ミカンからイヨミカンへの系統更新事業始まる ○ 川副町に稲作転換特別対策事業として畜産団地建設	25 県、鹿島地区の温泉調査開始	28 国体映画「若穂に向って」試写会 ○ 県教委、在宅障害児教育対策として32人の訪問指導員任命
4 県有明水産試験場落成 6 玄海町、玄海原電2号基設置に同意 12 観光PRに漫画作戦、富永一朗ら漫画家招く 13 県、玄海原電2号基設置に同意 15 佐賀ミカン高品質計画生産運動推進大会 21 玄海原電1号基用核燃料搬入、機動隊ピケ排除 ○ 県、「佐賀農業賞」新設	3 唐津地方にヒョウ、農作物に被害 19 県警、暴走族取締対策本部設置 20 社会を明るくする運動県実施委員会発会 22 暴走族一斉取締、11人逮捕、121人検挙、群衆600人にふくれあがる 29 敵木小火災、体育館全焼 暴走族取締、群衆1,000人、ヤジ馬騒ぐ、5人逮捕、105人検挙	9 県アーチェリー協会発足 22 1974年オリンピックデー・パレード 28 佐賀市教委、民話の収集開始
1 武雄地区農業共済組合発足 4 電源開発調整審議会、玄海原電2号基を認可 19 玄海原電ウラン燃料第4次搬入	6 台風8号(7/6～7/7) 10 母子福祉法制定10周年記念大会 16 自動車事故対策センター佐賀支所発足	18 第1回現代佐賀洋画展 20 「佐賀国体の歌」「佐賀国体音頭」発表会

昭和49年（1974年）

	国内・国際	県治
		政
	<p>24 第73臨時国会召集</p> <p>26 人事院、公務員給与の引上げを勧告（平均32.48%の史上最高の引上げ）</p> <p>27 米下院司法委、大統領訴追を採択</p>	<p>27 白石警察署庁舎落成</p>
8月	<p>8 ニクソン米大統領辞任、後任フォード副大統領</p> <p>9 政府、しょうゆ等33品目の価格凍結解除</p> <p>15 在日韓国人、韓国の朴大統領狙撃、夫人死亡</p> <p>23 厚生省、合成殺菌剤A F 2 を使用禁止（9月1日から実施）</p>	<p>13 佐賀・長崎両県重複漁業免許問題で島原半島の12漁協、漁業権の取消しを提訴</p>
9月	<p>1 原子力船「むつ」放射能漏れ事故起す</p> <p>6 韓国の日本大使館にデモ隊乱入</p> <p>13 日本赤軍、ハーグの仏大使館を占拠</p> <p>19 椎名特使訪韓</p>	<p>2 佐賀団体会場地市町村長連絡会議</p> <p>3 県教委、教頭職の辞令交付（小173人・中98人・高55人）</p> <p>17 定例県議会（9/17～10/1）</p> <p>24 「あすの佐賀県を考える論文」審査発表、第1位山田 登</p> <p>30 団体会場地市町村長連絡会議で県、簡素国体案提示</p> <p>○ 県内の失業者1万2,000人に達する</p>
10月	<p>2 第61回列国議会同盟会議</p>	<p>2 県国土利用計画地方審議会、土地利用審査会設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>29 佐賀・白石両平野の地下水規制始まる</p>		<p>27 県文化会議、県文化団体協議会に改称</p> <p>○ 県文化会議「県文化年鑑」発刊</p>
<p>3 県植物病害虫防除所、10年ぶり水稲のイモチ病の警報</p> <p>7 唐津東松浦農民組合結成</p> <p>21 県工業試験場庁舎完成</p> <p>24 九州横断自動車道の地質調査始まる</p> <p>○ 有明漁連、ノリの生産調整を検討</p>	<p>15 県、昨年の佐賀・白石平野の地盤沈下発表、白石平野13cm沈下</p> <p>19 佐賀電気通信局、九州初の点字電話帳作成</p> <p>24 県農協労働組合連合会結成</p> <p>○ 県社会福祉協議会、父子家庭の実態調査に着手</p> <p>○ 4月以降の解雇者1,217人に達す(特に誘致企業の不振目立つ)</p>	<p>1 全国高校総合体育大会</p> <p>16 国立佐賀医科大学創立準備室長に古川哲二(九大医学部長)を発令</p> <p>26 佐賀東部工業団地埋蔵文化財本調査に着手</p> <p>○ 九州点字出版所、全国初の点字歌誌年間作品集「白日」発刊</p>
<p>3 うまい佐賀ミカンづくり運動推進本部、摘果奨励</p> <p>14 鳥栖地区農民組合結成大会</p> <p>18 富士町、佐賀北部野菜指定産地に指定</p> <p>26 九電玄海原電「むつ」事故を教訓に、ウラン装荷を2か月遅らすなど設備の一斉総点検</p>	<p>6 交通事故犠牲者合同慰霊祭</p> <p>16 唐津市の休日救急医療センター開所</p> <p>20 第1回若楠花壇コンクール実施</p> <p>21 秋の交通安全運動、生活ゾーンの定着をはかる</p>	<p>3 日中友好「九州青年の船」県団員結団式</p> <p>6 「オリンピックと若楠国体展」</p> <p>9 東松浦高校校舎完成</p> <p>17 日体協国体委員会、51年佐賀国体の日程決定</p> <p>28 佐賀新聞創刊90周年記念式典</p> <p>30 伊万里学園創立10周年記念式典</p>
		<p>1 派遣社会教育主事設置</p>

昭和49年（1974年）

	国内・国際	政	県治
10月	<p>7 サリドマイド訴訟和解合意</p> <p>8 ノーベル平和賞佐藤栄作（前首相）に決定</p> <p>14 三井物産本社爆破さる</p>		<p>21 鹿島警察署に警備艇「よしきり」配備</p>
11月	<p>6 最高裁、公務員の政治活動禁止の合憲判決（猿払事件等3件の上告審）</p> <p>9 東京湾でLPGタンカー衝突炎上</p> <p>11 田中改造内閣発足</p> <p>18 フォード大統領来日</p> <p>26 田中角栄首相辞意表明</p> <p>○ 田中金脈の疑惑、広がる</p>	<p>5 国体実行委員会基本方針（明るさ、楽しさを基調に、質実なもの）を承認</p> <p>10 中学生県政現地めぐり実施</p>	
12月		<p>2 県道路公社設立</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>7 佐賀・長崎両県の有明海重複漁場の行政訴訟第1回口頭弁論</p> <p>11 鉱害復旧用土砂運搬道立体橋完成</p> <p>14 県、有田タイルの連鎖倒産防止に「倒産関連特別保証制度」の適用申請</p> <p>15 有明干拓20周年記念式典</p> <p>25 県、中小企業臨時相談室開設</p> <p>28 佐賀相互銀行社長に宮副新一就任</p> <p>31 佐賀商工会議所、県下初の小規模企業振興委員会設置</p>	<p>4 小城保健所新築落成</p> <p>16 「薬と健康展」</p> <p>20 県身障者趣味の作品展</p> <p>23 県公害センター落成式</p> <p>28 天龍化学問題で県地労委第1回審問</p>	<p>3 太良町営野球場完成</p> <p>14 森林公園にシンボル像「森の幻想」除幕</p> <p>15 県青年会館完成</p> <p>19 第1回高校新聞コンクール表彰式</p> <p>22 県立高校教育整備振興協議会第15回総会、高進学率時代の対応策を答申</p> <p>23 県立ろう学校創立50周年記念式典</p>
<p>5 道路審議会、国道への昇格答申、県関係、382、383号線</p> <p>8 うまい佐賀のりづくり運動推進本部、実践本部発会</p> <p>12 農村総合整備計画のモデル農村に東与賀・久保田・浜玉・東脊振の4町村指定</p> <p>27 名村造船伊万里工場第1船タンカ一進水</p> <p>30 玄海海中公園展望塔、波戸岬レストハウス完成</p> <p>○ 佐賀銀行、「移動銀行バス」運行</p> <p>○ 呼子港の避難港工事完成</p>	<p>13 県、大腿4頭筋短縮症一斉検診実施</p> <p>20 日中友好条約締結促進県民集会 県警、死亡事故抑止緊急対策本部設置</p> <p>27 国民年金法施行15周年記念大会</p>	<p>6 現代日本画大家展</p> <p>8 文化財保護審議会、川原狂言を無形文化財に指定を答申</p> <p>13 大関大麒麟引退、年寄押尾川を襲名</p> <p>16 松方コレクション佐賀展</p> <p>23 県庁演劇サークル20周年記念「高柳父子」上演 伊万里農高総合落成式</p> <p>25 県産業教育90周年記念式典</p> <p>29 鳥栖商高総合施設落成式</p>
<p>2 第1回伊万里湾周辺地域整備構想策定委員会</p>	<p>1 戦時捕虜補償金慰謝料獲得推進協県連合会結成</p>	

昭和49年（1974年）・昭和50年（1975年）

	国内・国際	政	県治
12月	<p>4 自由民主党総裁に三木武夫決定</p> <p>9 三木内閣発足</p> <p>18 岡山県水島の三菱製油所、重油流出事故起し、瀬戸内海汚染さる</p> <p>20 韓国大統領狙撃犯人の文世光死刑執行</p> <p>24 国土利用計画法施行</p>	<p>7 定例県議会（12/7～12/21）</p> <p>20 県防災会議「原子力防災計画」を決定</p> <p>21 県農政審議会中間答申（53年農業生産目標、48年の1.5倍とする）</p>	
1月	<p>6 マラッカ海峡で日本のタンカー祥和丸座礁、原油流出</p>	<p>20 県原子力環境安全連絡協議会発足</p> <p>22 県国土利用計画地方審議会、県土地利用審査会発会、県、土地利用基本計画試案諮問</p> <p>○ 政府予算案に白石平野地盤沈下対策事業採択される</p>	
2月	<p>8 関東地方地震、マグニチュード5.5</p>	<p>4 県開発公社、佐賀市庁舎跡地を買い上げ決定</p> <p>5 昭和50年度米の生産調整割当1万4200t、県自主減反で対処</p> <p>8 県警、団体準備室開設</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>3 県都市計画地方審議会、多布施川緑地計画を承認</p> <p>5 県農業会議創立20周年記念農政推進総決起大会</p> <p>7 伊万里港振興協議会発足</p> <p>12 玄海原電に火ダネ「中性子源」搬入</p> <p>23 県・玄海町・九電、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」に基づく覚書を交換</p> <p>24 九電玄海原電核燃料装荷</p>	<p>4 県、大塚4頭筋短縮症の実態発表</p> <p>13 県消費者グループ協議会設立総会</p>	<p>21 国体市町村長連絡会議で、県国体規模縮小案(参加者4,000人削減、開閉会式の簡素化)を示す</p>
<p>10 有明ノリに肥料投入作戦</p> <p>11 農村施設総合整備事業に伊万里市採択さる 天龍化学の退職金問題100日ぶり和解成立</p> <p>28 玄海原電1号基、臨界に達す</p> <p>29 県営佐賀東部大規模農場整備事業起工 玄海原電臨界式</p> <p>31 有田タイルに会社更生法手續開始決定</p>	<p>8 県、楠木の戸籍調査開始</p> <p>16 資源とエネルギーを大切にす県民運動推進会議発会</p> <p>23 県畜犬センター完成</p> <p>26 シェル石油新佐賀油槽所で爆発事故、4人重軽傷(福富町)</p>	<p>4 下村湖人生家、県に寄付さる</p> <p>10 県総合運動場陸上競技場全天候走路に改装</p> <p>16 県スポーツ振興審議会へ「県における社会体育の振興策」を諮問</p> <p>20 佐教組、国体非協力体制解く</p> <p>24 50年度九州高校総体県実行委員会設立総会</p>
<p>3 佐賀板紙、大和紡績佐賀工場一時掃休を実施(1,400人)</p>	<p>6 資源とエネルギーを大切にす県民運動大会</p> <p>10 佐賀市救急医療対策協議会設立総会「国際婦人年の集い」県集会</p> <p>11 県高齢者退職者組合連絡協議会結成</p> <p>13 唐津市で油流出事故総合訓練実施</p>	<p>2 自治労、国体拒否解く</p>

昭和50年（1975年）

	国内・国際	政	県治
2月	<p>16 三重県四日市の石油コンビナートで石油タンク炎上</p> <p>17 韓国政府、日本人早川・太刀川両氏を釈放</p> <p>24 東大宇宙研究所、科学衛星「たいよう」打ち上げ</p>	<p>19 松浦・有明海区漁業調整委員会事務局合併</p> <p>21 定例県議会（2/21～3/10）</p> <p>24 県農業生産対策協議会、転作は農家の自主性に任せることを決定</p>	
3月	<p>1 韓国政府、金大中を自宅軟禁</p> <p>10 新幹線博多駅乗り入れ</p> <p>19 第8回統一地方選挙</p> <p>27 大須事件控訴審、騒乱罪の適用認める</p> <p>○ 企業の一時休業広がる</p>	<p>3 杵藤地区広域市町村圏組合、太良・山内・大町の3消防分署業務開始</p> <p>12 県選管「選挙をきれいにする国民運動県本部」設置</p> <p>19 知事選挙告示</p> <p>23 三木首相来佐</p>	
4月	<p>1 自動車排ガス51年規制始まる</p> <p>5 台湾の蒋介石総統死去</p>	<p>1 県議会議員選挙告示 県立黒髪少年自然の家設置</p> <p>2 元県知事井上英死去</p> <p>5 県、県議選の選挙公報を初めて印刷</p> <p>13 知事選挙、立候補者2人・投票率86.23%、当選池田直5選 県議会議員選挙立候補者73人・投票率86.32%、当選自民30・社会4・民社1・公明1・無所属6</p> <p>17 市長・市議選告示</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
14 玄海原電初送電 15 呼子避難港防波堤7年ぶり完工 上場広域営農団地農道開通 17 県心身障害者雇用促進協会設立総 会	20 県、森永ミルク中毒事件の潜在後遺 患者の発見、調査実施 西日本一帯にドカ雪、小中高校56校休 校（2/20～2/21） 28 唐津競艇場サヨナラレース	23 県歌人協会結成 24 武雄温泉楼門、武雄神社文書等県文 化財に指定 27 県公民館振興市町村連盟設立総会
1 大型店の営業活動制限始まる 4 藤津東部地区遊水防除事業促進期 成会発会 9 県営竜門ダム完成 11 佐賀ミカン高品質計画生産運動推 進生産者大会 13 九州縦貫自動車道鳥栖～古賀開通 20 名村造船伊万里造船所の第1船 「インダストリアル・プロスベリ テイ号」引渡し 23 建設省地下水実態調査発表（白石 平野全国3位） 25 唐津市唐ノ川・鎮西町横竹の国営 農地開発事業完成 31 三稜基農業共済組合発足	8 唐津市の新競艇場落成 10 社会福祉部門雇用問題連絡協議会発 足 12 県立希望の家完成 15 県総評、地方財政危機突破県民共闘 会議結成 ○ 麗刑務所改築完成	16 県馬術場開設記念大会 24 大川内山藩窯跡第2次発掘 ○ 三日月町石木遺跡で全国初の竹製 「箆」出土
1 白石地区農協と須古農協合併 3 伊万里バイパス、波瀬の浦大橋完 成 9 有田焼卸団地協同組合卸団地完成 15 唐津鉄工団地協同組合補充事業 （第2団地）完成	1 県警テレホン相談スタート 唐津都市コミュニティセンター完 成 2 県環境放射能測定車配置 8 第12回身障者スポーツ大会のスロー ガン、「がんばってはげましあって わく希望」を発表 16 特別養護老人ホーム「歌垣之園」落 成	2 カササギの営巣調査発表 5 第1回有明海探鳥会 10 有田町文化体育館落成

昭和50年（1975年）

	国内・国際	政	県治
4 月	<p>18 マラッカ海峡で日本のタンカー土佐丸衝突、炎上、沈没</p> <p>30 南ベトナムのサイゴン無条件降伏（ベトナム戦争終結）</p>	<p>19 副知事森一郎退任</p> <p>20 町村長、町村議会議員選挙告示</p> <p>27 統一地方選挙、市町村長、市町村議会議員選挙、佐賀市長に宮田虎雄当選、唐津市長に瀬戸尚当選</p>	
5 月	<p>1 長崎空港開港（大村湾）</p> <p>7 イギリスのエリザベス女王来日</p> <p>8 金鍾泌韓国首相来日</p> <p>16 日本女子登山隊エベレスト登頂成功</p>	<p>7 臨時県議会（5/7～5/9） 議長小原嘉登次、副議長幸地一郎選任</p> <p>13 県土地利用対策室、土地買い占め鎮静化を発表</p> <p>23 県代表友好訪中団結団式</p> <p>30 佐賀警察署新庁舎完成</p> <p>○ 県、米の増産方針を決定、収量目標550kg</p>	
6 月	<p>1 第1回極東・南太平洋身体障害者スポーツ大会</p> <p>3 佐藤栄作元首相死去</p> <p>5 スエズ運河再開</p> <p>7 日ソ漁業操業協定調印</p> <p>14 根室沖でマグニチュード7の地震</p>	<p>2 国勢調査県実施本部設置</p> <p>13 県、玄海原電事故で九電に抗議</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>30 外津橋、日本土木学会「田中賞」、全日本建設技術協会「全建賞」受賞</p>	<p>22 古川編物の退職金闘争、74日より解決（同盟系）</p> <p>○ 4月末までの雇用調整給付金、18業種178社の申請に達す</p>	<p>19 与賀神社楼門修理工事完成</p>
<p>7 県、長引く不況対策として県中小企業特別対策室設置</p> <p>15 県米づくり推進大会、米の増産、土づくりを強調</p> <p>19 農業センサス中間発表、5年間で農家5,000戸減る、専業10%</p> <p>20 県水防協議会、田手川等64か所を重要水防に指定</p> <p>21 国際海中公園会議一行、玄海海中公園展望塔視察</p> <p>23 名村造給伊万里工場、不況対策として下請100人整理、新採中止を決定</p> <p>29 県有明漁連、長崎県諫早湾入会漁場問題で免許取消訴訟を提訴 伊万里湾漁協解散大会 田中鉄工所の天井走行クレーン用サドル、全国発明協会表彰を受ける</p>	<p>8 警察官の厚生施設「楠会館」完成</p> <p>15 くらしと建築展</p> <p>23 厚生省、身障者モデル都市に唐津市を指定</p> <p>26 佐賀市公共下水道終末処理場起工式</p> <p>28 県警、爆破事件防暴訓練</p>	<p>2 12代今泉今右衛門死去</p> <p>6 国体実行委企画会議、秋季大会の仮設スタンド廃止を決定 国体参加章デザイン決定</p> <p>13 日体協国体委員会、佐賀国体4,000人削減方向を了承</p> <p>21 武雄市文化会館落成</p> <p>27 佐大の有明海海象観測塔完成</p>
<p>6 県農林部稲作転換計画まとめる、割当1万4,200㌧、計画1万3,727㌧（農家の稲作意欲減退）</p> <p>10 九電玄海原電で放射能漏れ発生 竜門ダム落成式</p> <p>11 国見トンネル貫通式</p>	<p>7 県内の大腿4頭筋短縮症患者20人と発表</p> <p>8 暴走族逮捕第1号でる</p>	<p>4 高教組、国体など非協力解く</p> <p>11 佐賀郡視聴覚連絡協議会発足</p>

昭和50年（1975年）

	国内・国際	県
		政 治
6 月	<p>16 佐藤元首相国民葬</p> <p>19 国際婦人年世界会議</p> <p>23 東京地検、田中金脈で新星企業を起訴</p>	<p>17 玄海原電事故で県議会公害特別委員会開催</p> <p>20 県西部地区県政モニター懇談会</p> <p>27 県警、交通死亡事故緊急対策本部設置</p> <p>28 定例県議会（6/28～7/12）</p>
7 月	<p>4 政治資金規制法、参議院議長決裁で成立</p> <p>13 50年産米の生産者米価1俵1万5,570円(14.4%引き上げ)に決定</p> <p>17 皇太子ご夫妻に沖縄で火炎びん投げる</p> <p>18 水島石油コンビナートでまた爆発事故</p> <p>19 沖縄海洋博開幕</p> <p>30 全欧安保会議開催</p>	<p>1 武雄社会保険事務所設置</p> <p>3 県議会5日ぶりに正常化</p> <p>25 伊万里湾開発長期ビジョンまとまる</p> <p>28 副知事に香月熊雄任命</p> <p>30 県原子力安全連絡協議会開催</p>
8 月	<p>2 三木首相、訪米</p> <p>4 日本赤軍、マレーシアの米大使館占拠</p> <p>15 政府間協定による日中漁業協定正式調印</p>	<p>1 機構改革 7部1局59課13室となる 厚生部を福祉生活部と保健環境部に、農林部と経済部を農業水産部、農地林務部、経済部に、企画部、参事室、県民室、環境保全局、農地改良開発局廃止 県民ホール開設</p> <p>2 県財政非常事態宣言</p> <p>4 「小中学校生徒の県政バス」実施</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>16 県内初めての米生産地地力培養推進実験事業としての土づくりの共同たい肥舎完成</p> <p>19 武雄駅を「武雄温泉駅」と改称</p> <p>30 「日本晴」、指定銘柄に復帰</p>	<p>27 陸上自衛隊目達原駐とん地第4飛行隊所属セスナ機墜落</p> <p>○ 県内の失業保険受給者1万人突破</p> <p>○ 県福祉課、生活保護の実態まとめる(旧産炭地の保護率の高率目立つ)</p>	<p>19 今泉善詔、13代今右衛門を襲名</p>
<p>14 九州電力、玄海原電事故原因発表 県商工懇話会発足</p> <p>17 玄海海中公園公社七ツ釜レストハウス落成</p> <p>19 玄海海中公園公社神集島ロッヂ落成</p> <p>22 玄海海中公園公社加部島レストハウス落成 森林審議会森林保安部会新設</p> <p>○ 酪農家の経営規模拡大すすむ</p>	<p>3 沖縄海洋博記念硬貨発売</p> <p>16 県警、暴走族絶滅に罰則強化</p> <p>○ 県内の被爆者健康手帳交付1,961人に達す</p>	<p>1 東ドイツドレスデン国立美術館蔵磁器里帰り展「古伊万里名品展」開く</p> <p>16 祐徳運動広場完成</p> <p>20 九州高校総体開幕(7/20～7/23)</p> <p>21 カササギ営巣実態調査まとまる</p>
<p>1 県中小企業共済協同組合創立総会</p> <p>8 国鉄武雄温泉駅改築落成式</p> <p>9 県水産試験船「かがみ」就航</p> <p>13 唐津港から戦後初めて中国へ工作機械輸出</p> <p>19 国営筑後川下流土地改良推進協議会、事業採択申請書を佐賀・福岡両県知事に提出</p> <p>23 県栽培漁業センター起工式</p>	<p>1 加唐島で1日県立病院 社会奉仕活動指導センター発足</p> <p>18 クロムメッキ工場立入調査開始</p> <p>23 杵藤葬斎公園完成</p> <p>26 糟苺者教育福祉県大会 鳥栖市、9社と公害防止協定結ぶ</p>	<p>21 文化庁、伊万里湾のカプトガニ実態調査</p>

昭和50年（1975年）

	国内・国際	県治
		政
8月	26 與人倒産、戦後最大の倒産	26 県行財政対策委員会設置
9月	11 第76臨時国会召集 17 政府、第4次不況対策決定 22 日中漁業安全操業の民間議定書調印 30 天皇・皇后両陛下ご訪米	1 (玄海の離島五島で) 移動県庁(9/1~9/2) 18 県立自然公園審議会、県立公園の再編成を答申 20 定例県議会(9/20~10/4)
10月	1 第12回国勢調査 11 ハノイに日本大使館開設 31 天皇・皇后両陛下、初の公式記者会見	1 県民ホール開所 国勢調査実施、県人口83万7,680人 県、管理職手当の20%カットを実施 9 第12回全国身体障害者スポーツ大会県実行委員会設立総会 25 県内の日中友好団体5年ぶり1本化さる ○ 県、市町村財政危機対策で行政の見直し盛ん
11月		

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>28 県、玄海原電の試運転再開に同意</p> <p>○ 若楠酒造設立（地場酒造会社4社企業合同）</p> <p>○ 49年末の財形貯蓄422社実施</p>	<p>○ 印鑑登録証、12市町村が実施</p> <p>○ 公立病院の医師の平均充足数65%</p>	<p>○ 第43回日本高校選手権水泳大会で伊東ひとみ100m自由形で優勝</p>
<p>3 玄海原電試運転再開、臨界に達す</p> <p>11 県心身障害者雇用促進大会</p> <p>16 玄海沿岸出漁者協議会</p> <p>18 鳥栖・基山農協住宅団地の造成にのりだす</p> <p>30 唐津水産物産地流通加工センター完成</p> <p>○ 県園芸連、中東にミカンジュース36億円輸出契約</p>	<p>2 呼子町のフグはえ縄漁船松生丸、北朝鮮から銃撃捕獲さる、2人死亡、2人負傷</p> <p>6 異常潮位、有明海沿岸で被害（9/6～9/7）</p> <p>14 松生丸、2人の遺体と共に悲しみの帰港</p> <p>15 敬老会の弁当で133人が中毒</p> <p>○ 住宅ローン、不況のため延滞が増加</p>	<p>3 日体協理事会、佐賀国体の参加人員1万4,241人を正式決定</p> <p>4 押尾川親方（元大麒麟）、二所の関部屋から独立</p> <p>12 県私立高校幼稚園父母の会総決起大会</p> <p>14 県重要無形文化財の音成面浮立カラー映画記録</p>
<p>1 佐賀西信用組合発足</p> <p>8 白石地区農協農業管理センター落成</p> <p>9 県、50年度地価調査基準地価格公表</p> <p>14 一斉公開建築パトロール（10/14～10/15）107件摘発、69件工事停止</p> <p>15 玄海原電、営業運転開始</p> <p>17 県、「75年農業センサス県版」発表、農家戸数7万戸割る</p> <p>20 佐賀銀行本店新築工事完工</p> <p>30 ミカン暴落対策に出荷調整始まる</p> <p>31 国道202号唐津バイパス供用開始</p>	<p>1 単一重度心身障害者医療費全額助成スタート（県・市町村折半）</p> <p>8 全国身体障害者スポーツ大会の手話通訳員養成始まる</p> <p>15 高圧ガス総合防災訓練</p> <p>16 県人工肛門医療会結成</p> <p>30 鳥栖・三養基地区医師会、救急指定病院辞退</p>	<p>7 県内の学校給食用パン、リジン無添加に切り替え</p> <p>11 国の無形文化財興川忠右衛門死去</p> <p>18 ウィンブルドン九州テニスクラブオープン 佐賀国体返上運動県民会議、国体の延期、中止を要求</p>
	<p>2 県交通安全フェスティバル</p> <p>5 タンカー火災防災訓練</p>	<p>3 大川内焼開窯三百年記念祭 第6回全日本ジュニア陸上競技選手権大会で吉松幸宏400mで優勝</p>

昭和50年（1975年）・昭和51年（1976年）

	国内・国際	政	県治
11月	<p>12 昭和50年度地方交付税、地方債特例法成立</p> <p>17 先進6か国首脳会議、ランブイエ宣言採択</p> <p>19 政府、松生丸事件について公海上と見解発表</p> <p>25 スト権選挙統一スト始まる</p>	<p>13 自動車安全運転センター県事務所開設</p> <p>25 国体企画会議、若補国体改善計画決定</p> <p>27 「青年の県政バス」実施</p> <p>28 県下の全消防本部、全県的な常備消防相互応援協定結ぶ</p>	
12月	<p>3 公労協、スト権スト中止</p> <p>24 赤字国債特例法成立</p> <p>29 国立佐賀医科大学の53年4月開講決定</p>	<p>4 県、公害対策審議会に産業廃棄物処理計画について諮問</p> <p>5 県立病院経営改善委員会発足</p> <p>8 定例県議会（12/8～12/22）</p> <p>12 脊振・北山県立自然公園、川上・金立県立自然公園指定（基山・脊振山・北山ダム・川上の4自然公園を再編成）</p>	
1月	<p>8 周恩来中国首相死去</p> <p>12 伊藤忠と安宅産業、業務提携発表</p> <p>18 沖縄海洋博閉会</p>		

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>7 県工業試験場・計量検定所移転新築落成</p> <p>10 政府、夏の干ばつによる農業被害に天災融資法発動を決める</p> <p>21 農林省筑後川水利事業所、白石平野支所開所</p> <p>25 県ダンプ協会設立</p> <p>29 生鮮食料品振替輸送対策協議会設置</p> <p>○ 県内の4信用金庫、オンライン化</p> <p>○ 公労協ストでトラック奪い合い、ミカン、鮮魚滞貨</p>	<p>26 国鉄ストで、県内鉄道完全マヒ、6高校臨時休校</p> <p>29 県下の地公労統一スト</p>	<p>5 県立図書館所蔵の「貴重資料展示会」</p> <p>7 文化財保護審議会、肥前磁器窯跡の史跡指定を答申</p> <p>11 佐大学長選挙、池田数好(前九大学長)を選出</p> <p>17 肥前国府跡第1次発掘</p> <p>21 県、若箭国体の31項目の改善最終案をまとめる</p>
<p>8 主要地方道に相知ー山内線など8路線昇格</p> <p>17 国鉄ストによるミカンの損害に対し、県園芸連、労使双方に補償を要求</p> <p>18 農林省、野菜指定産地に上場のジャガイモを指定</p> <p>25 50年産ミカン収穫予想、全国3位、34万5,500t</p> <p>31 県下の農協貯金2,000億円を突破</p>	<p>1 飲酒運転追放県民運動始まる</p> <p>2 覚せい剤一斉取締り、8人逮捕</p> <p>5 県消費生活センター「家庭用電気器具修理デー」開く</p> <p>○ ゲイラータコ、県内にも登場</p>	<p>5 三井きやまニュータウン埋蔵文化財調査開始</p> <p>7 県立博物館に「青木繁コーナー」開設</p> <p>12 第1回反射炉まつり</p> <p>16 佐大学長に池田数好発令</p>
<p>15 伊万里湾環境アセスメント(産業公害事前調査)開始</p> <p>20 佐賀大和工業団地起工式</p> <p>23 政府、玄海原発2号機の設置を許可</p>	<p>19 県、種痘とジフテリアの予防接種の中止又は延期を指示</p>	<p>16 全日本総合団体卓球選手権大会</p> <p>17 第1回県スキー大会</p>

昭和51年（1976年）

	国内・国際	政	県治
1 月			
2 月	<p>4 米上院外交委員会、ロッキードの売り込み 工作資金を公表</p> <p>7 政府、原子力船むつ修理港を佐世保市に正式要請</p> <p>16 国会、ロッキード事件で証人喚問</p> <p>23 衆参両院、ロッキード事件の全資料提供要請を決議</p> <p>29 わが国初の実用衛星電離層観測衛星打上げ成功</p> <p>○ ロッキード疑惑広がる</p>	<p>1 県ライフル射撃場設置</p> <p>3 日体協国体委員会、若楠国体実施要項決定</p> <p>13 長崎県知事、長崎南部総合開発計画の実現について県に協力要請</p> <p>16 県環境緑化対策協議会、57年度を目標とする緑化基本計画を答申</p> <p>26 定例県議会（2/26～3/27）</p> <p>28 県、国体ヨットに自衛隊の支援を正式要請</p>	
3 月	<p>1 衆院予算委員会ロッキード事件第2次証人喚問</p> <p>2 北海道庁爆破さる、死者2人、重軽傷85人</p> <p>23 児玉邸に小型機突込む</p> <p>24 ロッキード事件資料提供日米相互援助取決め調印</p>	<p>10 七山村樫原湿原、県自然環境保全地域に指定</p> <p>12 元参議院議員今泉政喜死去</p> <p>24 県警人事異動、国体と交通を強化</p> <p>○ 財政難から地方公共団体の退職勧奨、定期昇給停止盛ん</p>	

参考文献

近代日本総合年表（岩波書店）、日本史年表（歴史学研究会編）、戦後資料20年（日本評論社）、学制90年史（文部省編）、朝日年鑑（朝日新聞社）、毎日年鑑（毎日新聞社）、佐賀新聞（佐賀新聞社）、激動の20年（毎日新聞社）、佐賀県年鑑（佐賀新聞社）、有明干拓史（農林省編）、佐賀経済のあゆみ（佐賀商工会議所）、県公報、県公報紙、県選挙結果調、教育佐賀、新郷土、県議会議事録、佐賀県災異誌、佐賀県史、警友、炭鉱離職者対策